

「第四次北本市障害者福祉計画」
「北本市第八期障害福祉計画及び
北本市第四期障害児福祉計画」策定のための
アンケート調査結果報告書

令和8年3月

北本市

目次

I. アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II. 障がい者アンケート調査結果.....	3
1 はじめに.....	3
2 あなた（あて名の方）について.....	4
3 障がいの状況について.....	5
4 暮らしについて.....	13
5 外出について.....	18
6 余暇活動について.....	21
7 地域とのつながりについて.....	25
8 就労等について.....	30
9 相談・情報について.....	37
10 障がい福祉サービスについて.....	45
11 災害対策について.....	56
12 権利擁護などについて.....	59
13 市の施策について.....	65
14 介助・援助について.....	69
III. 障がい児アンケート調査結果.....	82
1 はじめに.....	82
2 あて名のお子さんについて.....	83
3 障がいの状況について.....	84
4 外出について.....	92
5 余暇活動について.....	94
6 地域とのつながりについて.....	98
7 日中の過ごし方について.....	100
8 相談・情報について.....	110
9 障がい児福祉サービスについて.....	114
10 災害対策について.....	123
11 権利擁護などについて.....	125
12 暮らしについて.....	131
13 介助・援助について.....	133
14 市の施策について.....	138

I. アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第四次北本市障害者福祉計画」「北本市第八期障害福祉計画及び北本市第四期障害児福祉計画」の策定にあたり、基礎資料とするために実施しました。

2 調査概要

- 調査名：「第四次北本市障害者福祉計画」「北本市第八期障害福祉計画及び北本市第四期障害児福祉計画」策定のためのアンケート調査
- 調査期間：令和7年12月4日～令和8年1月5日
- 調査方法：郵送による配付・回収及びWEB回答方式

調査種類	対象		配付数	回収数	回収率
障がい者アンケート	障害者手帳をお持ちの方	今回調査 R7.12	1,000	610	61.0%
		前回調査 R4.12	1,000	634	63.4%
障がい児アンケート	障害者手帳をお持ちの方・障害児通所支援等を利用している障がい児の保護者	今回調査 R7.12	100	60	60.0%
		前回調査 R4.12	100	64	64.0%

3 報告書の見方

- 本報告書では、障がい種別を次のとおり表記しています。

身体障害者手帳所持者	身体障がい
療育手帳所持者	知的障がい
精神障害者保健福祉手帳所持者	精神障がい

- 「n (number of cases)」は、集計対象者数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 回答結果の割合「%」は集計対象者数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 本報告書は、それぞれの手帳所持者別にクロス集計をかけることで身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者がそれぞれに数えられ、集計されています。

- クロス集計においては、各分析軸の不明・無回答は除いて集計しています。そのため、全体のn数とは一致しません。
- クロス集計の表組において、「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの第1位に網掛けをしています。
- 障がい児アンケート調査結果におけるクロス集計の表組について、障がいの種類別の【精神障がい】はn数が少ないため省略しています。
- n数の少ないものなど、一部分析を省略しています。

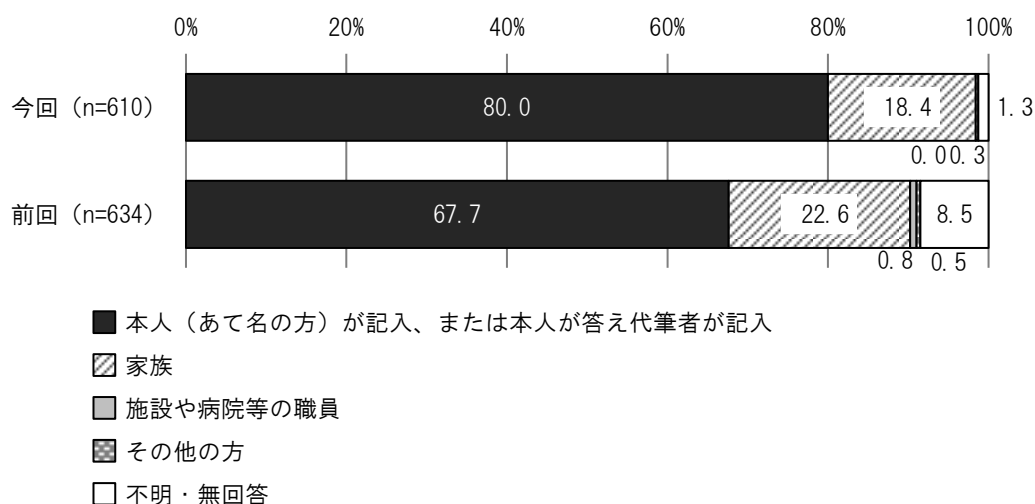
Ⅱ．障がい者アンケート調査結果

1 はじめに

問1 この調査票に記入されるのはどなたですか。（単数回答）

記入者についてみると、全体では「本人（あて名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」が80.0%と最も高く、次いで「家族」が18.4%、「その他の方」が0.3%となっています。

前回調査と比較すると、「本人（あて名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入」で増加傾向がみられます。

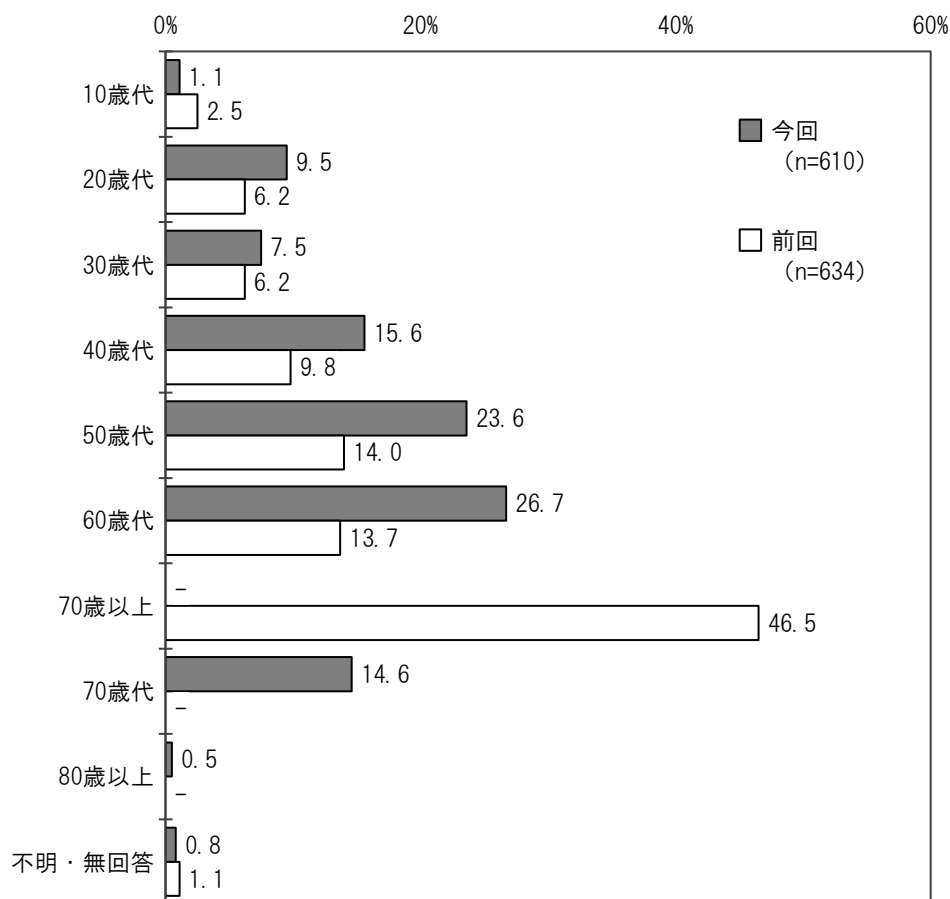


2 あなた（あて名の方）について

問2 年齢（12月1日現在）をお答えください。（単数回答）

年齢についてみると、全体では「60歳代」が26.7%と最も高く、次いで「50歳代」が23.6%、「40歳代」が15.6%となっています。

前回調査と比較すると、「40歳代」から「60歳代」で増加傾向、「70歳以上（70歳代と80歳以上）」で減少傾向がみられます。



※グラフ上で「-」となっている箇所は今回及び前回調査にて選択肢がない項目です（以下同様）。

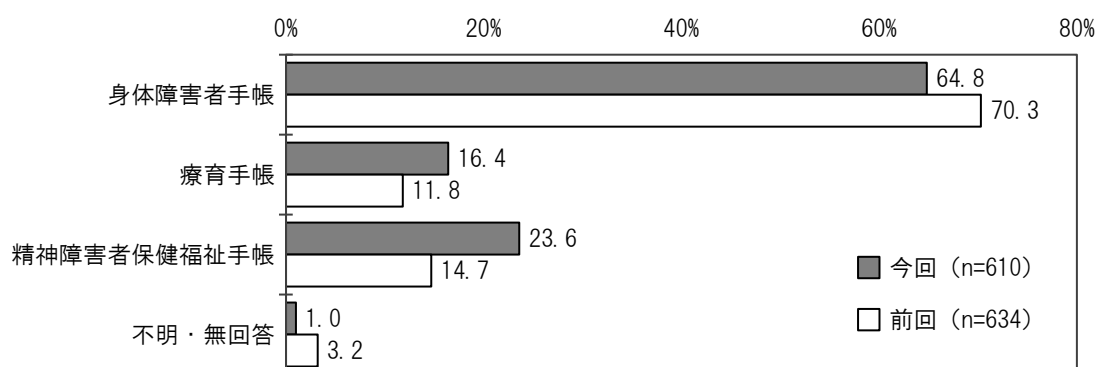
3 障がいの状況について

問3 お持ちの手帳の種類をお答えください。(複数回答)

手帳の種類についてみると、全体では「身体障害者手帳」が64.8%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が23.6%、「療育手帳」が16.4%となっています。

前回調査と比較すると、「精神障害者保健福祉手帳」で増加傾向、「身体障害者手帳」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】で「療育手帳」、【40歳代】で「精神障害者保健福祉手帳」、【30歳代】【50歳代】から【70歳以上】で「身体障害者手帳」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

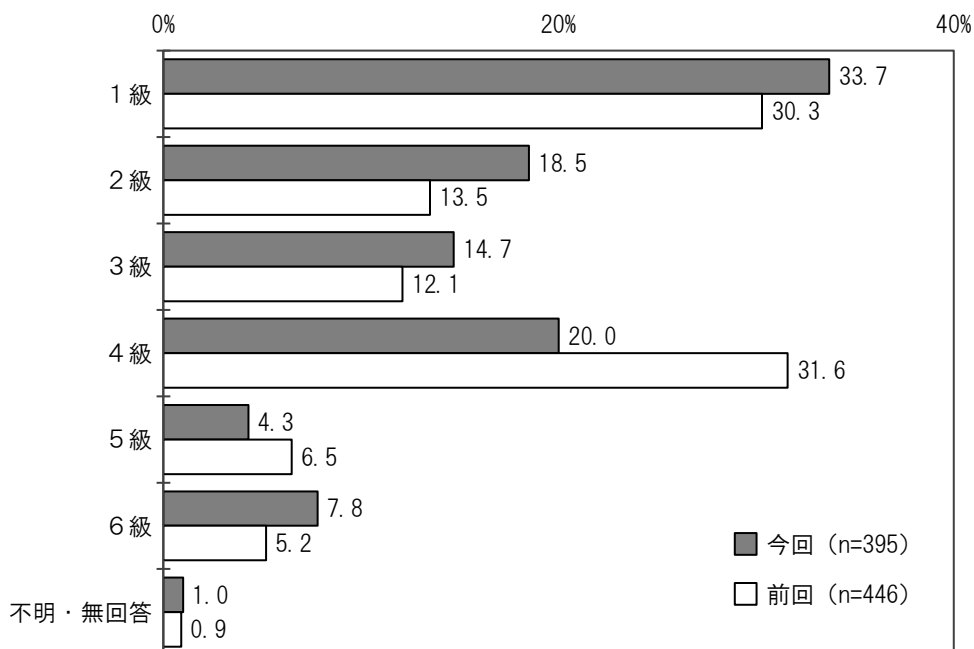


		n	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	不明・無回答
全体		610	64.8	16.4	23.6	1.0
年齢	10～20歳代	65	20.0	58.5	32.3	1.5
	30歳代	46	47.8	37.0	34.8	0.0
	40歳代	95	38.9	26.3	44.2	0.0
	50歳代	144	60.4	12.5	31.9	0.0
	60歳代	163	90.2	0.6	9.8	0.6
	70歳以上	92	95.7	1.1	3.3	0.0

問3 ①身体障害者手帳（単数回答）

身体障害者手帳の等級についてみると、全体では「1級」が33.7%と最も高く、次いで「4級」が20.0%、「2級」が18.5%となっています。

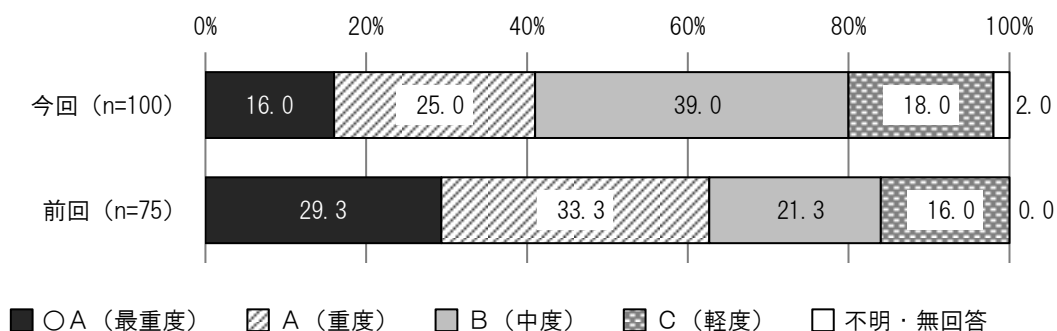
前回調査と比較すると、「2級」で増加傾向、「4級」で減少傾向がみられます。



問3 ②療育手帳（単数回答）

療育手帳の程度についてみると、「B(中度)」が39.0%と最も高く、次いで「A(重度)」が25.0%、「C(軽度)」が18.0%となっています。

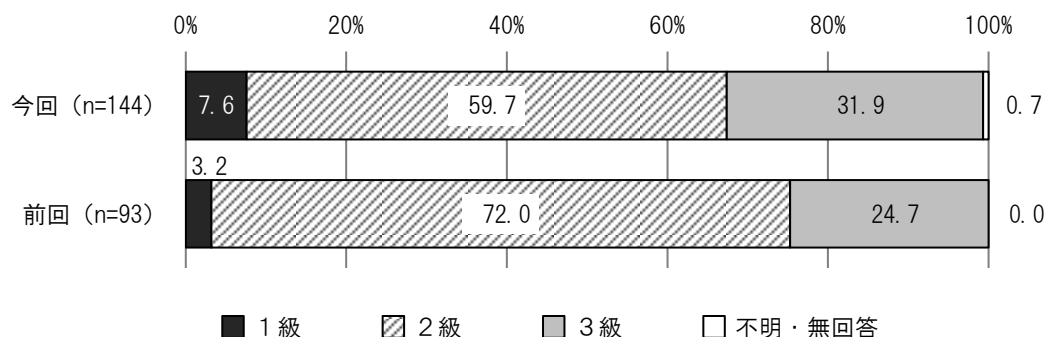
前回調査と比較すると、「B(中度)」で増加傾向、「○A(最重度)」「A(重度)」で減少傾向がみられます。



問3 ③精神障害者保健福祉手帳（単数回答）

精神障害者保健福祉手帳の等級についてみると、全体では「2級」が59.7%と最も高く、次いで「3級」が31.9%、「1級」が7.6%となっています。

前回調査と比較すると、「3級」で増加傾向、「2級」で減少傾向がみられます。

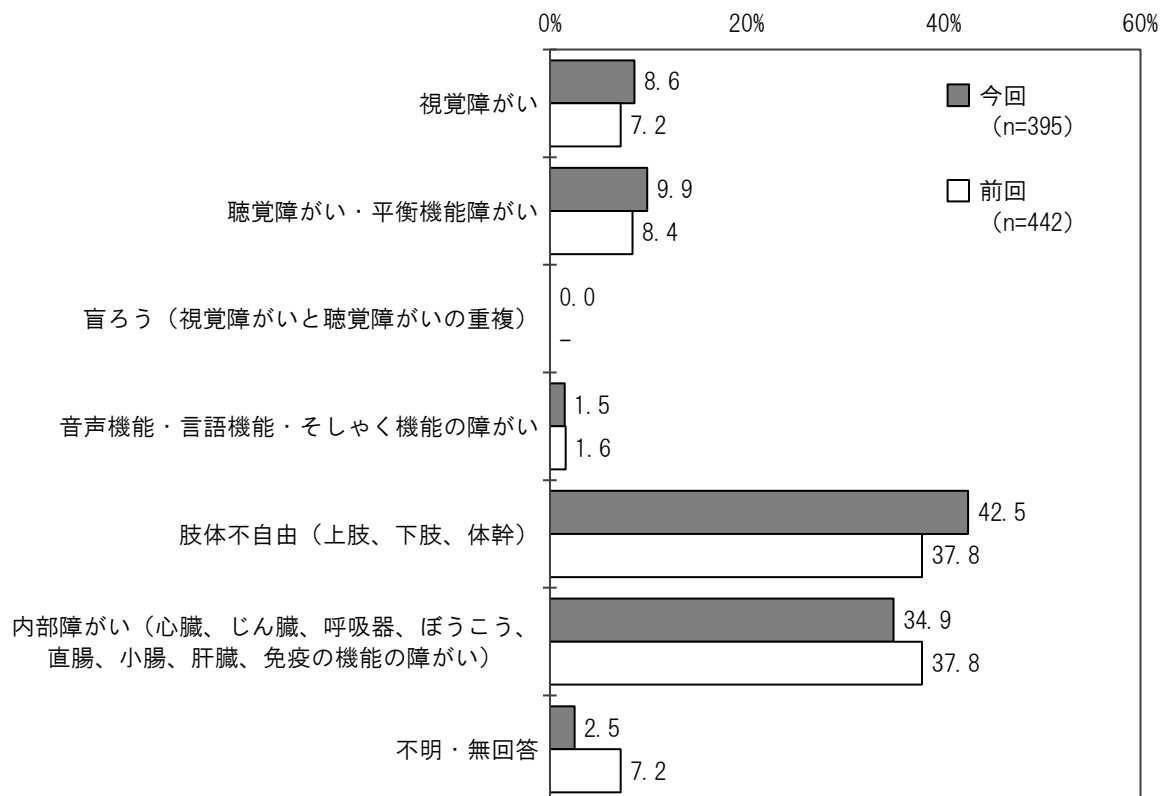


【問3で「身体障害者手帳」と回答した方】

問3-1 手帳に記載されている障がいは次のどれですか。主な障がい1つをお答えください。
（単数回答）

主な身体障がいの種類についてみると、全体では「肢体不自由」が42.5%と最も高く、次いで「内部障がい」が34.9%、「聴覚障がい・平衡機能障がい」が9.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。



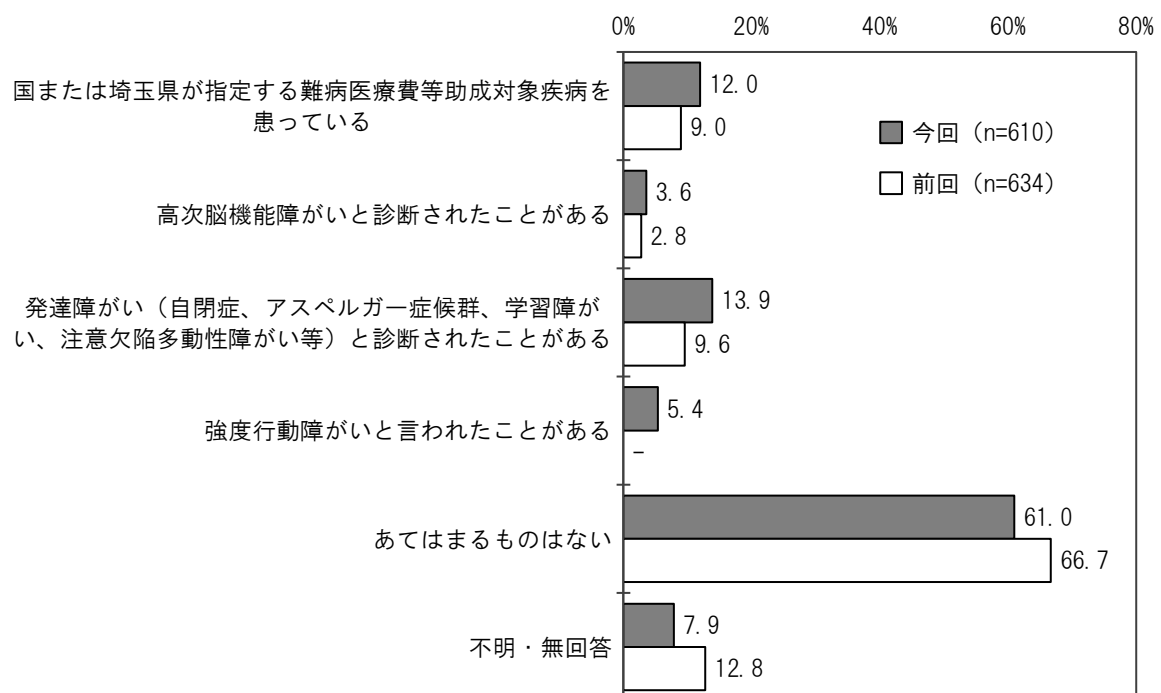
問4 次のうち、あてはまるものはありますか。(複数回答)

障がい等の状況についてみると、全体では「あてはまるものはない」が61.0%と最も高く、次いで「発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等)と診断されたことがある」が13.9%、「国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている」が12.0%となっています。

前回調査と比較すると、「あてはまるものはない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】で「発達障がいと診断されたことがある」、【30歳代】以上で「あてはまるものはない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【精神障がい】で「あてはまるものはない」、【知的障がい】で「発達障がいと診断されたことがある」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	を患っている 国または埼玉県が指定する 難病医療費等助成対象疾病	高次脳機能障がいと診断され たことがある	発達障がいと診断されたこ とがある	強度行動障がいと言われた ことがある	あてはまるものはない	不明・無回答
全体		610	12.0	3.6	13.9	5.4	61.0	7.9
年齢	10～20歳代	65	7.7	1.5	56.9	6.2	29.2	4.6
	30歳代	46	13.0	0.0	28.3	15.2	47.8	4.3
	40歳代	95	12.6	3.2	16.8	10.5	49.5	15.8
	50歳代	144	14.6	6.9	11.1	6.3	58.3	6.3
	60歳代	163	9.8	3.7	0.6	0.6	80.4	5.5
	70歳以上	92	14.1	2.2	2.2	2.2	72.8	7.6
障がいの種類	身体障がい	395	17.2	4.6	2.3	0.5	70.4	5.8
	知的障がい	100	6.0	0.0	46.0	14.0	33.0	12.0
	精神障がい	144	2.1	2.8	28.5	14.6	52.8	8.3

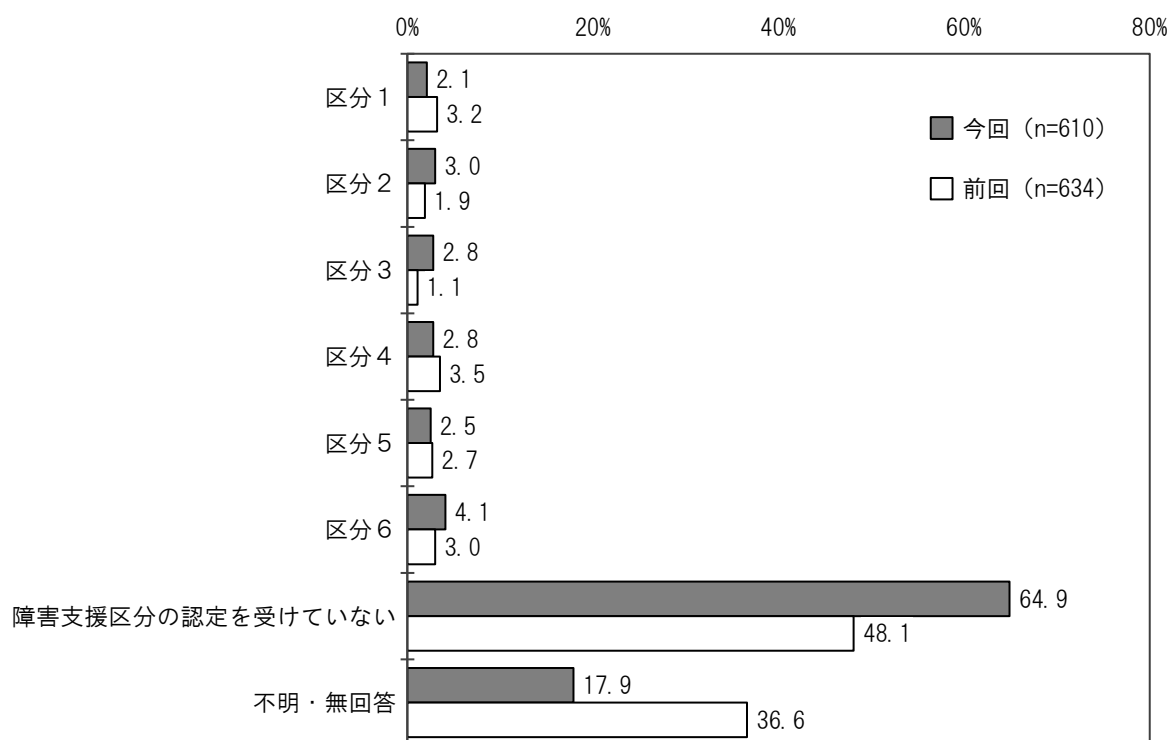
問5 あなたは、「障害支援区分」（必要とされる支援の度合い、区分6が最も高い）の認定を受けていますか。（単数回答）

障害支援区分についてみると、全体では「障害支援区分の認定を受けていない」が64.9%と最も高く、次いで「区分6」が4.1%、「区分2」が3.0%となっています。

前回調査と比較すると、「障害支援区分の認定を受けていない」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「障害支援区分の認定を受けていない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「障害支援区分の認定を受けていない」の割合が最も高くなっています。



		n	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	障害を 認定受 けるに たいの	不明・ 無回 答
全体		610	2.1	3.0	2.8	2.8	2.5	4.1	64.9	17.9
年齢	10～20歳代	65	1.5	3.1	4.6	6.2	4.6	6.2	60.0	13.8
	30歳代	46	2.2	0.0	0.0	2.2	4.3	8.7	69.6	13.0
	40歳代	95	2.1	4.2	3.2	8.4	4.2	8.4	50.5	18.9
	50歳代	144	2.1	4.9	2.8	1.4	2.8	2.8	65.3	18.1
	60歳代	163	3.7	1.2	2.5	0.6	1.2	1.8	74.2	14.7
	70歳以上	92	0.0	3.3	2.2	1.1	0.0	2.2	66.3	25.0
障がいの種類	身体障がい	395	2.8	1.5	2.8	1.0	1.3	4.6	69.9	16.2
	知的障がい	100	1.0	3.0	6.0	13.0	10.0	15.0	33.0	19.0
	精神障がい	144	2.1	6.3	1.4	2.8	0.7	0.7	66.7	19.4

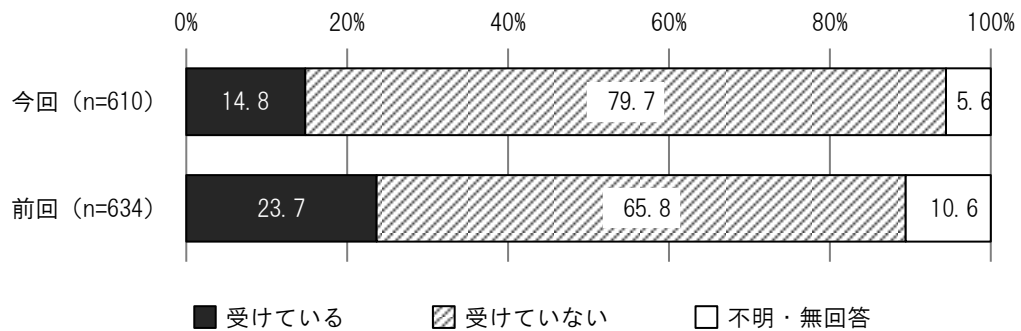
問6 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。(単数回答)

要介護認定の状況についてみると、全体では「受けていない」が79.7%と、「受けている」の14.8%を上回っています。

前回調査と比較すると、「受けていない」で増加傾向、「受けている」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「受けていない」の割合が高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「受けていない」の割合が高くなっています。



		n	受けている	受けていない	不明・無回答
全体		610	14.8	79.7	5.6
年齢	40歳代	95	8.4	82.1	9.5
	50歳代	144	11.8	81.3	6.9
	60歳代	163	22.1	77.3	0.6
	70歳以上	92	25.0	69.6	5.4
障がいの種類	身体障がい	395	20.0	77.0	3.0
	知的障がい	100	8.0	81.0	11.0
	精神障がい	144	4.2	86.8	9.0

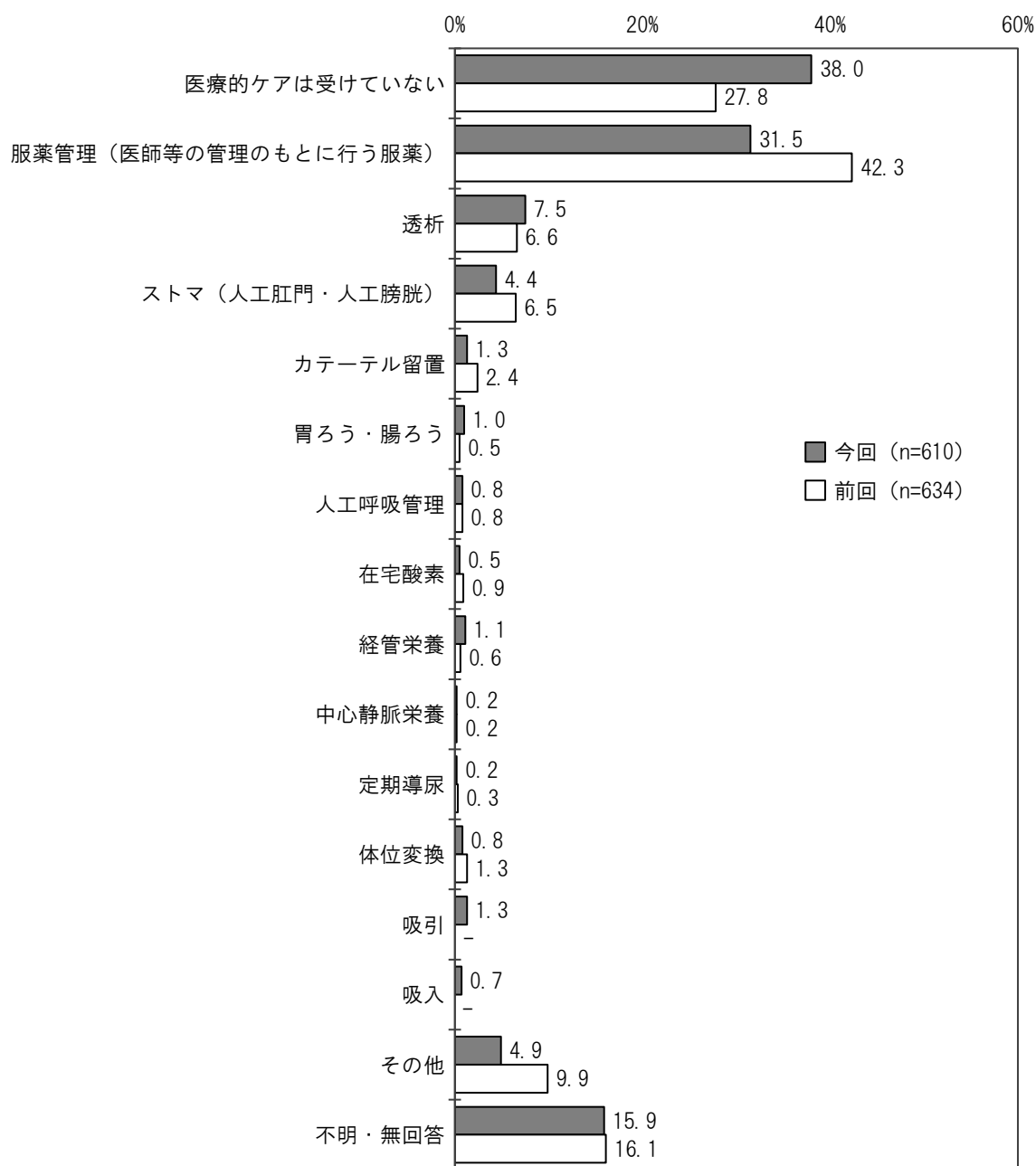
問7 あなたは現在、次のような医療的ケア等を受けていますか。(複数回答)

現在受けている医療的ケアについてみると、全体では「医療的ケアは受けていない」が38.0%と最も高く、次いで「服薬管理(医師等の管理のもとに行う服薬)」が31.5%、「透析」が7.5%となっています。

前回調査と比較すると、「医療的ケアは受けていない」で増加傾向、「服薬管理」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【30歳代】【60歳代】【70歳以上】で「医療的ケアは受けていない」、【40歳代】【50歳代】で「服薬管理」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】で「医療的ケアは受けていない」、【精神障がい】で「服薬管理」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	医療的ケアは受けていない	服薬管理（医師等服薬管理のもとに行う）	透析	ストマ（人工肛門・人工膀胱）	カテーテル留置	胃ろう・腸ろう	人工呼吸管理	在宅酸素
全体		610	38.0	31.5	7.5	4.4	1.3	1.0	0.8	0.5
年齢	10～20歳代	65	53.8	29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0
	30歳代	46	39.1	26.1	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	95	30.5	34.7	4.2	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1
	50歳代	144	29.9	40.3	12.5	3.5	0.7	0.7	0.0	0.7
	60歳代	163	42.9	29.4	8.0	4.9	3.1	1.8	1.8	0.6
	70歳以上	92	37.0	21.7	9.8	13.0	2.2	1.1	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	395	39.5	28.4	11.6	6.8	2.0	1.5	1.0	0.8
	知的障がい	100	38.0	27.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神障がい	144	31.3	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0

		n	経管栄養	中心静脈栄養	定期導尿	体位変換	吸引	吸入	その他	不明・無回答
全体		610	1.1	0.2	0.2	0.8	1.3	0.7	4.9	15.9
年齢	10～20歳代	65	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	13.8
	30歳代	46	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	23.9
	40歳代	95	2.1	0.0	0.0	1.1	2.1	2.1	6.3	22.1
	50歳代	144	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	4.9	16.0
	60歳代	163	2.5	0.0	0.0	1.2	1.8	0.6	5.5	11.0
	70歳以上	92	1.1	1.1	0.0	1.1	2.2	1.1	5.4	16.3
障がいの種類	身体障がい	395	1.8	0.3	0.3	1.3	2.0	0.8	4.8	12.7
	知的障がい	100	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	3.0	30.0
	精神障がい	144	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	6.9	19.4

4 暮らしについて

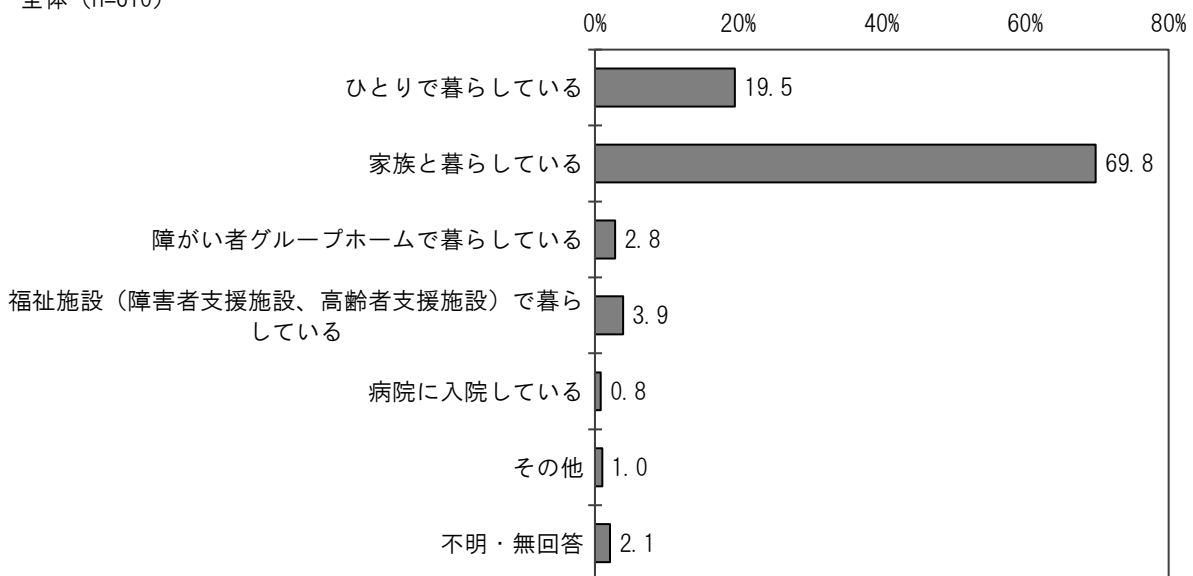
問8 現在、どのような暮らしをしていますか。(単数回答)

現在の暮らし方についてみると、全体では「家族と暮らしている」が69.8%と最も高く、次いで「ひとりで暮らしている」が19.5%、「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」が3.9%となっています。

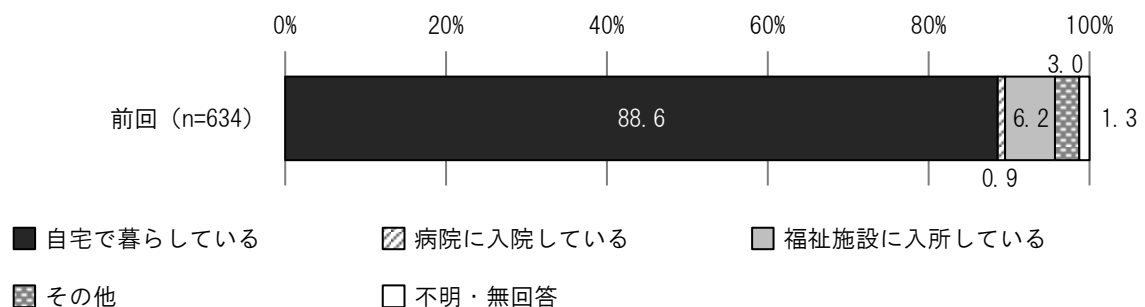
年齢別でみると、いずれも「家族と暮らしている」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「家族と暮らしている」の割合が最も高くなっています。【知的障がい】で「障がい者グループホームで暮らしている」「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」が他の障がいの種類に比べて高くなっています。

全体 (n=610)



《参考》



		n	ひとりで暮らしている	家族と暮らしている	障がい者グループホームで暮らしている	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている	病院に入院している	その他	不明・無回答
全体		610	19.5	69.8	2.8	3.9	0.8	1.0	2.1
年齢	10～20歳代	65	3.1	89.2	4.6	1.5	0.0	0.0	1.5
	30歳代	46	10.9	76.1	2.2	6.5	0.0	4.3	0.0
	40歳代	95	14.7	64.2	9.5	7.4	0.0	3.2	1.1
	50歳代	144	22.9	68.1	2.8	2.8	2.1	0.0	1.4
	60歳代	163	26.4	68.7	0.0	1.8	0.6	0.0	2.5
	70歳以上	92	22.8	64.1	0.0	5.4	1.1	1.1	5.4
障がいの種類	身体障がい	395	22.0	70.1	0.8	3.0	0.8	1.0	2.3
	知的障がい	100	3.0	66.0	16.0	13.0	0.0	0.0	2.0
	精神障がい	144	22.2	71.5	0.7	0.0	1.4	2.1	2.1

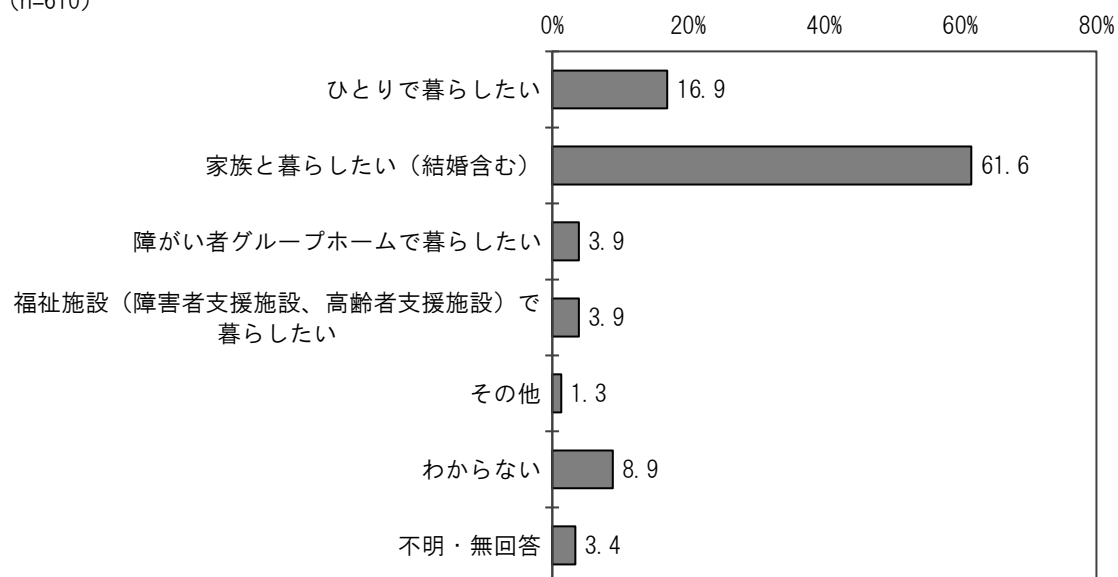
問9 今後（おおむね3年以内）はどのように暮らしたいですか。（単数回答）

暮らしについての今後の意向についてみると、全体では「家族と暮らしたい（結婚含む）」が61.6%と最も高く、次いで「ひとりで暮らしたい」が16.9%、「わからない」が8.9%となっています。

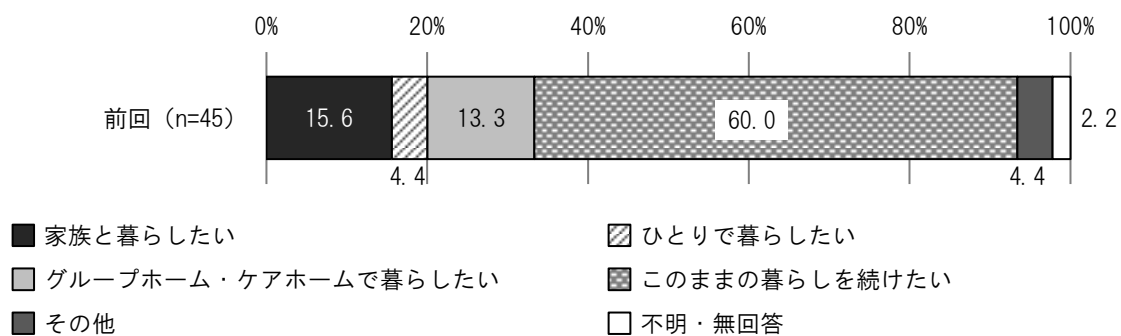
年齢別でみると、いずれも「家族と暮らしたい（結婚含む）」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「家族と暮らしたい（結婚含む）」の割合が最も高くなっています。【知的障がい】で「障がい者グループホームで暮らしたい」「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしたい」が他の障がいの種類に比べて高くなっています。

全体（n=610）



《参考》



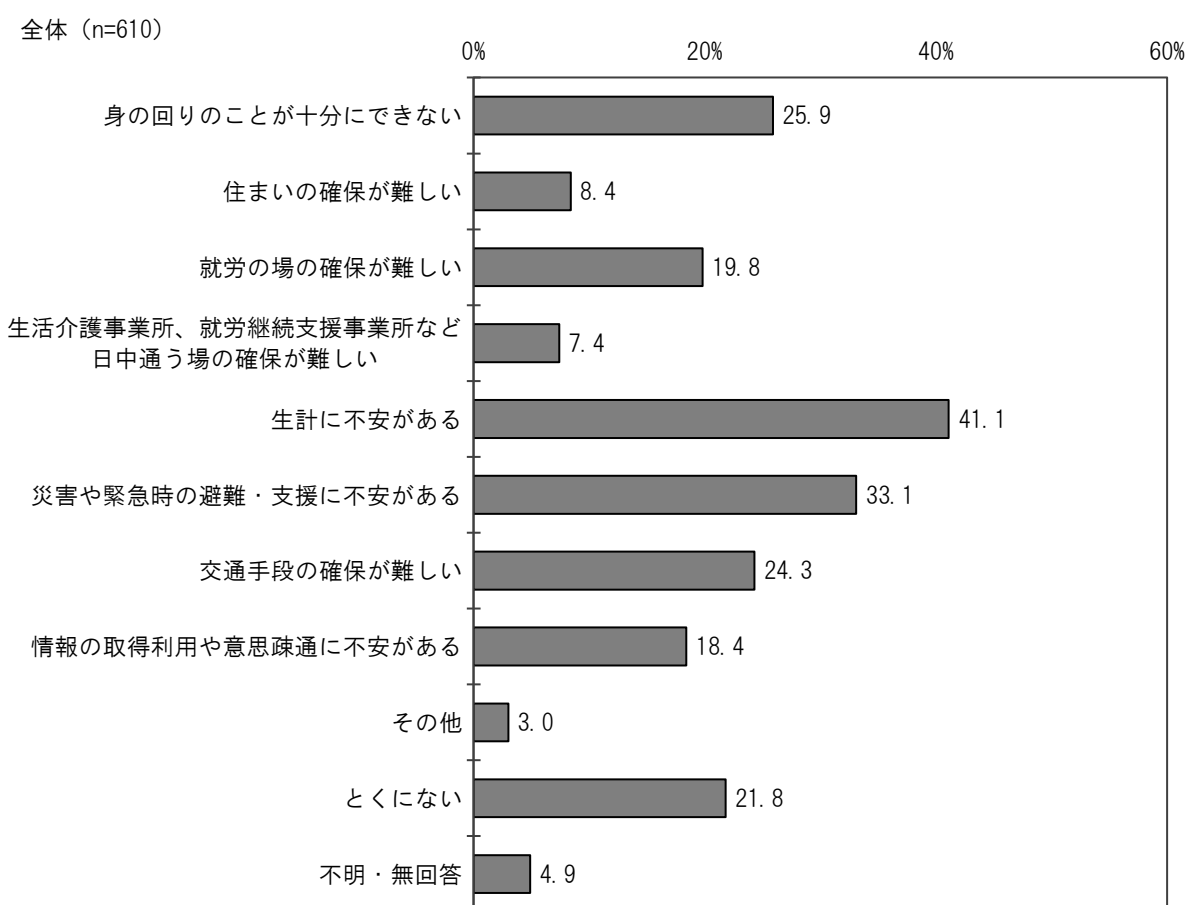
		n	ひとりで暮らしたい	家族と暮らしたい（結婚含む）	障がい者グループホームで暮らしたい	福祉施設（障害者支援施設）で暮らしたい	その他	わからない	不明・無回答
全体		610	16.9	61.6	3.9	3.9	1.3	8.9	3.4
年齢	10～20歳代	65	9.2	60.0	6.2	3.1	1.5	13.8	6.2
	30歳代	46	15.2	63.0	2.2	6.5	4.3	8.7	0.0
	40歳代	95	10.5	58.9	9.5	6.3	1.1	10.5	3.2
	50歳代	144	17.4	59.7	6.3	5.6	1.4	7.6	2.1
	60歳代	163	20.9	64.4	0.6	0.0	0.6	9.8	3.7
	70歳以上	92	19.6	64.1	0.0	5.4	1.1	4.3	5.4
障がいの種類	身体障がい	395	18.5	65.1	1.0	2.0	1.0	8.6	3.8
	知的障がい	100	5.0	47.0	16.0	16.0	0.0	12.0	4.0
	精神障がい	144	18.8	59.7	4.9	1.4	3.5	9.0	2.8

問10 住み慣れた地域で生活するため（地域での生活を続けるため）に、どのようなことが課題になると思いますか。（複数回答）

住み慣れた地域で生活するために課題になると思うことについてみると、全体では「生計に不安がある」が41.1%と最も高く、次いで「災害や緊急時の避難・支援に不安がある」が33.1%、「身の回りのことが十分にできない」が25.9%となっています。

年齢別でみると、【50歳代】以下で「生計に不安がある」、【60歳代】で「生計に不安がある」「災害や緊急時の避難・支援に不安がある」、【70歳以上】で「災害や緊急時の避難・支援に不安がある」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「災害や緊急時の避難・支援に不安がある」、【知的障がい】で「身の回りのことが十分にできない」、【精神障がい】で「生計に不安がある」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	身の回りのことが十分にできない	住まいの確保が難しい	就労の場の確保が難しい	生活介護事業所、就労継続支援事業所など日中通いの場の確保が難しい	生計に不安がある	災害や緊急時の避難・支援に不安がある	交通手段の確保が難しい	情報の取得利用や意思疎通に不安がある	その他	とくにない	不明・無回答
全体		610	25.9	8.4	19.8	7.4	41.1	33.1	24.3	18.4	3.0	21.8	4.9
年齢	10～20歳代	65	33.8	12.3	21.5	15.4	50.8	30.8	26.2	30.8	6.2	15.4	3.1
	30歳代	46	34.8	13.0	21.7	10.9	47.8	43.5	23.9	21.7	6.5	15.2	0.0
	40歳代	95	32.6	12.6	26.3	8.4	48.4	27.4	25.3	25.3	3.2	18.9	8.4
	50歳代	144	24.3	11.1	28.5	9.7	48.6	33.3	16.7	18.1	2.1	20.1	2.8
	60歳代	163	20.2	3.1	13.5	3.7	31.9	31.9	28.8	11.0	1.8	30.7	3.7
	70歳以上	92	22.8	4.3	8.7	2.2	27.2	37.0	25.0	14.1	2.2	20.7	10.9
障がいの種類	身体障がい	395	22.0	5.1	13.9	3.3	34.7	34.9	24.1	10.6	2.8	25.6	5.6
	知的障がい	100	44.0	17.0	19.0	20.0	35.0	39.0	26.0	42.0	4.0	15.0	8.0
	精神障がい	144	29.2	13.9	36.1	10.4	61.8	27.1	24.3	22.9	4.2	13.2	2.8

5 外出について

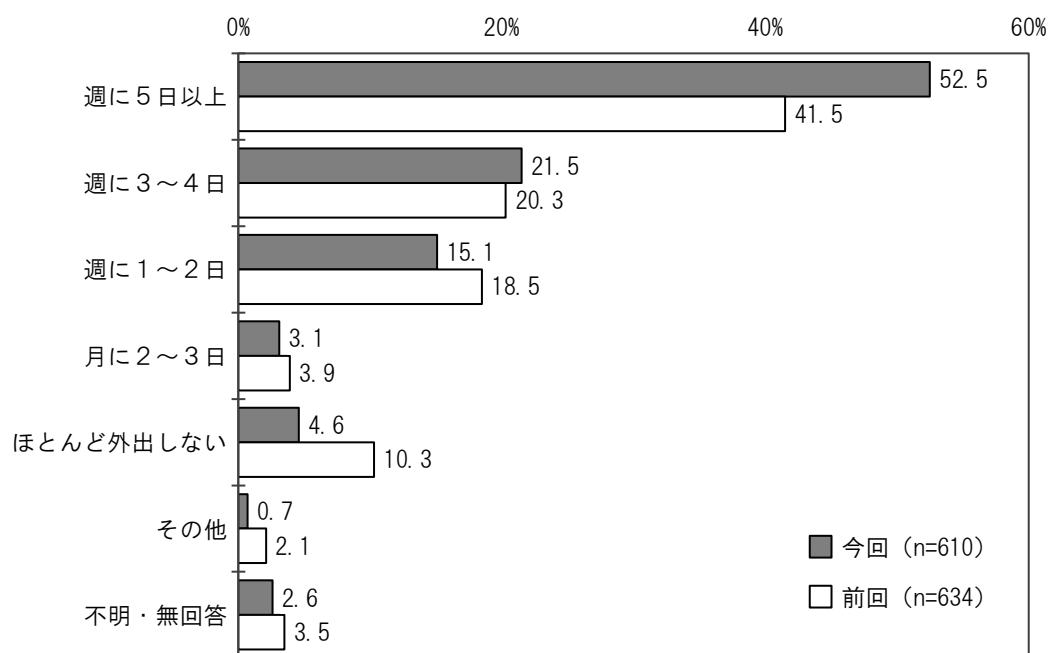
問11 あなたは、1週間にどのくらい外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。（単数回答）

外出の頻度についてみると、全体では「週に5日以上」が52.5%と最も高く、次いで「週に3～4日」が21.5%、「週に1～2日」が15.1%となっています。

前回調査と比較すると、「週に5日以上」で増加傾向、「ほとんど外出しない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【60歳代】以下で「週に5日以上」、【70歳以上】で「週に3～4日」の割合がそれぞれ最も高くなっています

障がいの種類別では、いずれも「週に5日以上」の割合が最も高くなっています。



		n	週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	月に2～3日	ほとんど外出しない	その他	不明・無回答
全体		610	52.5	21.5	15.1	3.1	4.6	0.7	2.6
年齢	10～20歳代	65	73.8	13.8	7.7	0.0	3.1	0.0	1.5
	30歳代	46	69.6	15.2	10.9	0.0	4.3	0.0	0.0
	40歳代	95	55.8	14.7	17.9	4.2	5.3	0.0	2.1
	50歳代	144	55.6	19.4	13.2	3.5	5.6	0.7	2.1
	60歳代	163	46.6	24.5	16.6	3.1	4.9	1.8	2.5
	70歳以上	92	30.4	34.8	20.7	5.4	3.3	0.0	5.4
障がいの種類	身体障がい	395	50.9	23.8	13.7	4.3	4.3	0.8	2.3
	知的障がい	100	68.0	10.0	12.0	2.0	3.0	0.0	5.0
	精神障がい	144	45.1	22.9	21.5	1.4	6.3	0.7	2.1

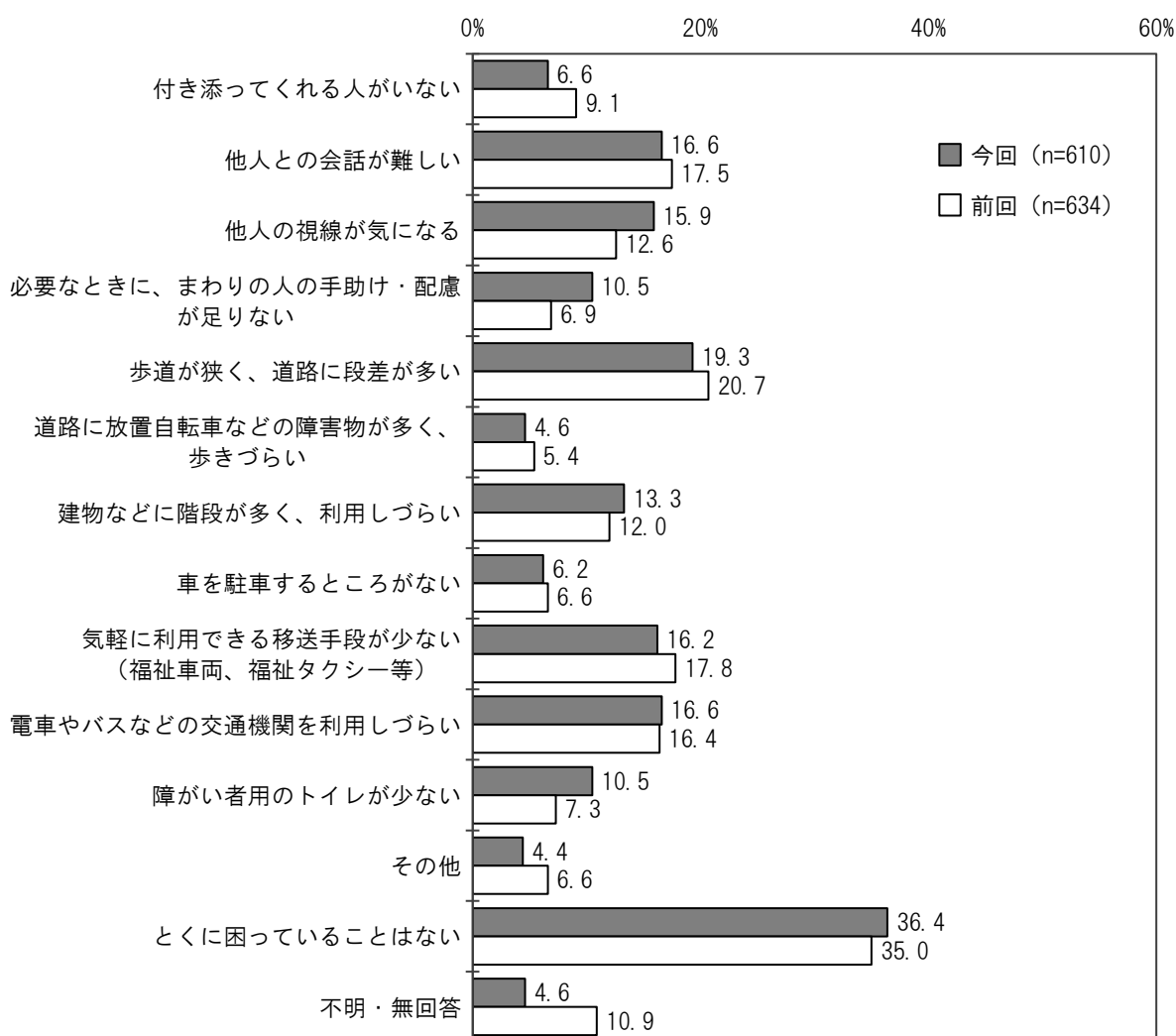
問12 外出の際に困っていることはありますか。(複数回答)

外出の際に困っていることについてみると、全体では「とくに困っていることはない」が36.4%と最も高く、次いで「歩道が狭く、道路に段差が多い」が19.3%、「他人との会話が難しい」「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」が16.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別でみると、【10～20歳代】【30歳代】【50歳代】から【70歳以上】で「とくに困っていることはない」、【40歳代】で「他人の視線が気になる」「とくに困っていることはない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「とくに困っていることはない」、【知的障がい】で「他人との会話が難しい」、【精神障がい】で「他人の視線が気になる」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



			付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	他人の視線が気になる	必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない	歩道が狭く、道路に段差が多い	道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きづらい	建物などに階段が多く、利用しづらい	車を駐車するところがない	気軽に利用できる移送手段が少ない（福祉車両、福祉タクシー等）	電車やバスなどの交通機関を利用しづらい	障がい者用のトイレが少ない	その他	とくに困っていることはない	不明・無回答
	n															
全体	610		6.6	16.6	15.9	10.5	19.3	4.6	13.3	6.2	16.2	16.6	10.5	4.4	36.4	4.6
年齢	10～20歳代	65	7.7	32.3	18.5	13.8	13.8	3.1	6.2	4.6	18.5	20.0	12.3	4.6	35.4	1.5
	30歳代	46	13.0	23.9	21.7	10.9	19.6	6.5	10.9	6.5	13.0	15.2	10.9	6.5	37.0	0.0
	40歳代	95	6.3	17.9	30.5	16.8	18.9	4.2	13.7	6.3	17.9	17.9	11.6	6.3	30.5	6.3
	50歳代	144	9.0	20.1	18.8	13.9	22.2	4.9	14.6	10.4	17.4	18.1	7.6	2.8	33.3	2.8
	60歳代	163	4.9	8.0	9.2	8.0	21.5	4.9	15.3	6.1	15.3	16.0	12.9	5.5	39.9	4.9
	70歳以上	92	2.2	10.9	4.3	1.1	16.3	4.3	12.0	1.1	15.2	13.0	8.7	2.2	42.4	7.6
障がいの種類	身体障がい	395	4.8	10.9	9.1	6.8	22.3	5.1	15.9	7.1	16.5	16.5	12.7	4.1	37.7	3.8
	知的障がい	100	13.0	44.0	19.0	16.0	10.0	4.0	5.0	5.0	18.0	17.0	14.0	3.0	30.0	6.0
	精神障がい	144	9.0	19.4	35.4	16.7	20.8	4.9	11.8	4.2	16.0	18.1	4.9	6.9	31.9	4.9

6 余暇活動について

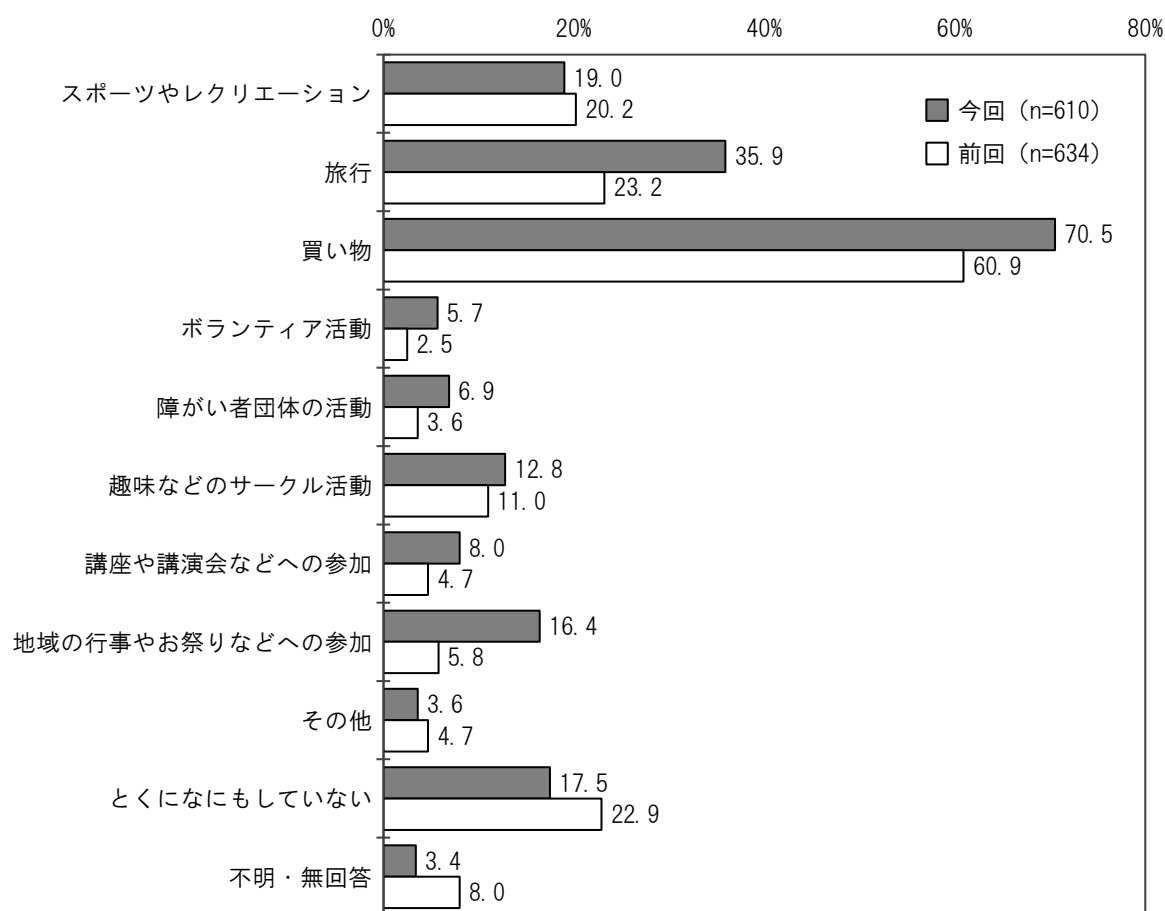
問13 直近1年の間に、次のような活動をしましたか。(複数回答)

直近1年の間に行った活動についてみると、全体では「買い物」が70.5%と最も高く、次いで「旅行」が35.9%、「スポーツやレクリエーション」が19.0%となっています。

前回調査と比較すると、「旅行」「買い物」「地域の行事やお祭りなどへの参加」で増加傾向、「とくになにもしていない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「買い物」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「買い物」の割合が最も高くなっています。



		ンクスポ リエーシ ンやヨレ	旅行	買 い 物	活 動 ボ ラ ン テ ィ ア	の 障 が い 者 団 体	サ ー ク ル な ど の 活 動	な 講 座 へ の 講 演 会	の お 祭 り な ど の 事 へ の 参 加	地 域 の 行 事 へ の 参 加	そ の 他	し と く に な い に も	不 明 ・ 無 回 答
全体		610	19.0	35.9	70.5	5.7	6.9	12.8	8.0	16.4	3.6	17.5	3.4
年齢	10～20歳代	65	29.2	41.5	83.1	3.1	13.8	16.9	10.8	16.9	3.1	7.7	1.5
	30歳代	46	17.4	41.3	71.7	4.3	13.0	15.2	6.5	19.6	2.2	23.9	0.0
	40歳代	95	23.2	37.9	80.0	3.2	15.8	21.1	6.3	23.2	2.1	8.4	2.1
	50歳代	144	16.7	27.8	70.1	4.9	2.8	5.6	9.0	11.8	7.6	20.8	2.8
	60歳代	163	15.3	40.5	68.1	8.6	3.1	11.7	8.0	14.7	3.1	18.4	3.7
	70歳以上	92	19.6	33.7	55.4	7.6	3.3	14.1	7.6	18.5	0.0	23.9	8.7
障がいの種類	身体障がい	395	15.9	37.5	68.1	6.6	4.3	11.9	7.6	14.4	3.0	19.7	3.3
	知的障がい	100	29.0	30.0	68.0	1.0	23.0	12.0	3.0	16.0	2.0	19.0	3.0
	精神障がい	144	17.4	31.9	72.2	5.6	5.6	13.9	11.1	22.9	4.9	16.7	2.8

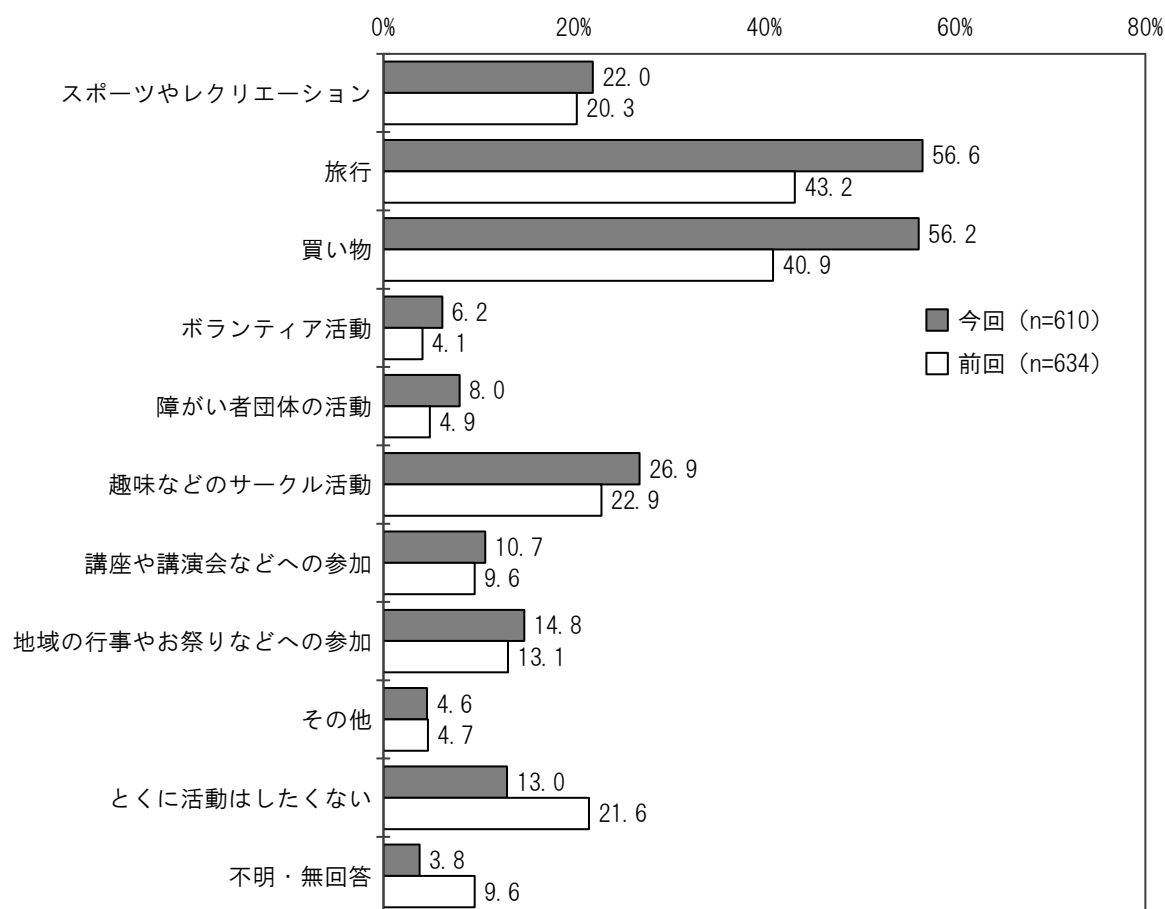
問14 これからどのような活動をしたいと思いますか。(複数回答)

これからしたいと思う活動についてみると、全体では「旅行」が56.6%と最も高く、次いで「買い物」が56.2%、「趣味などのサークル活動」が26.9%となっています。

前回調査と比較すると、「旅行」「買い物」で増加傾向、「とくに活動はしたくない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【60歳代】【70歳以上】で「旅行」、【30歳代】【50歳代】で「旅行」「買い物」、【40歳代】で「買い物」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「旅行」、【知的障がい】【精神障がい】で「買い物」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	スポーツ エー シ ョ ン	旅行	買 い 物	活 動 ボ ラ ン テ ィ ア	障 が い 者 団 体	サ ー クル な ど の 活 動	講 座 や の 講 演 会	お 祭 り の 事 や の 参 加	地 域 の 行 事 や	そ の 他	し と く に 活 動 は	不 明 ・ 無 回 答
全体		610	22.0	56.6	56.2	6.2	8.0	26.9	10.7	14.8	4.6	13.0	3.8	
年齢	10～20歳代	65	33.8	66.2	64.6	3.1	13.8	27.7	6.2	13.8	4.6	4.6	1.5	
	30歳代	46	19.6	60.9	60.9	0.0	6.5	30.4	10.9	19.6	2.2	19.6	0.0	
	40歳代	95	24.2	53.7	65.3	7.4	20.0	37.9	11.6	17.9	3.2	9.5	2.1	
	50歳代	144	19.4	54.2	54.2	5.6	6.3	17.4	9.0	11.1	7.6	16.7	4.2	
	60歳代	163	22.1	63.2	57.1	9.2	4.9	27.6	12.3	17.2	3.7	8.0	3.7	
	70歳以上	92	16.3	44.6	41.3	6.5	0.0	28.3	13.0	12.0	3.3	22.8	6.5	
障がいの種類	身体障がい	395	19.2	57.0	55.9	6.6	5.8	25.8	10.4	12.9	3.8	13.7	3.5	
	知的障がい	100	30.0	53.0	55.0	1.0	19.0	19.0	3.0	16.0	2.0	12.0	4.0	
	精神障がい	144	22.2	52.8	56.3	7.6	9.0	33.3	15.3	18.8	6.9	16.7	2.1	

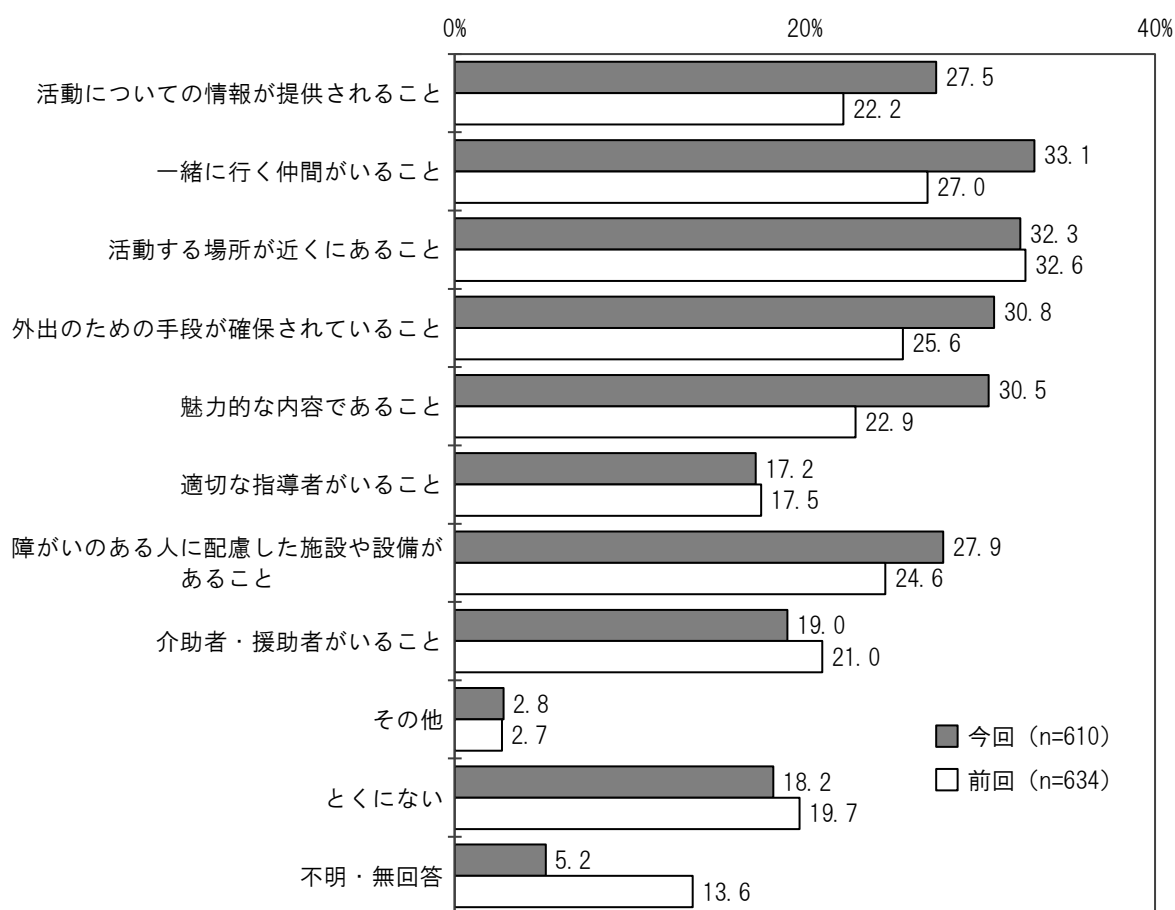
問15 前問のような活動をするためには、どのような条件が必要だと思いますか。（複数回答）

活動をするために必要な条件についてみると、全体では「一緒に行く仲間がいること」が33.1%と最も高く、次いで「活動する場所が近くにあること」が32.3%、「外出のための手段が確保されていること」が30.8%となっています。

前回調査と比較すると、「活動についての情報が提供されること」「一緒に行く仲間がいること」「外出のための手段が確保されていること」「魅力的な内容であること」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【40歳代】で「活動する場所が近くにあること」、【50歳代】で「外出のための手段が確保されていること」、【60歳代】で「外出のための手段が確保されていること」「魅力的な内容であること」、【10～20歳代】【30歳代】【70歳以上】で「一緒に行く仲間がいること」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「外出のための手段が確保されていること」、【知的障がい】で「一緒に行く仲間がいること」、【精神障がい】で「活動する場所が近くにあること」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		活動に関する情報提供 活動について の情報が提 供されること	一緒に 行く仲間 がいるこ と	活動する 場所が近 くにあ ること	外出のため の手段が 確保 されてい ること	魅力的な 内容であ ること	適切な指 導者がい ること	障がいのある 人に配慮 した施設 や設備が あること	介助者・援 助者がい ること	その他	とくにない	不明・無 回答	
	全体	610	27.5	33.1	32.3	30.8	30.5	17.2	27.9	19.0	2.8	18.2	5.2
年齢	10～20歳代	65	26.2	53.8	41.5	30.8	33.8	24.6	32.3	29.2	1.5	12.3	1.5
	30歳代	46	21.7	45.7	30.4	19.6	39.1	15.2	30.4	23.9	6.5	21.7	6.5
	40歳代	95	42.1	35.8	48.4	35.8	36.8	28.4	27.4	25.3	2.1	7.4	5.3
	50歳代	144	25.7	27.1	26.4	30.6	25.7	13.9	26.4	15.3	3.5	21.5	8.3
	60歳代	163	27.0	27.6	28.8	33.7	33.7	16.0	31.3	14.1	3.7	17.2	3.7
	70歳以上	92	21.7	28.3	27.2	27.2	18.5	9.8	21.7	18.5	0.0	27.2	5.4
障がいの種類	身体障がい	395	24.3	29.6	28.1	31.4	28.1	12.2	29.9	17.0	2.3	19.5	5.3
	知的障がい	100	26.0	47.0	35.0	33.0	18.0	26.0	34.0	46.0	2.0	14.0	8.0
	精神障がい	144	38.2	35.4	46.5	29.9	41.0	27.8	21.5	13.9	4.9	13.9	4.9

7 地域とのつながりについて

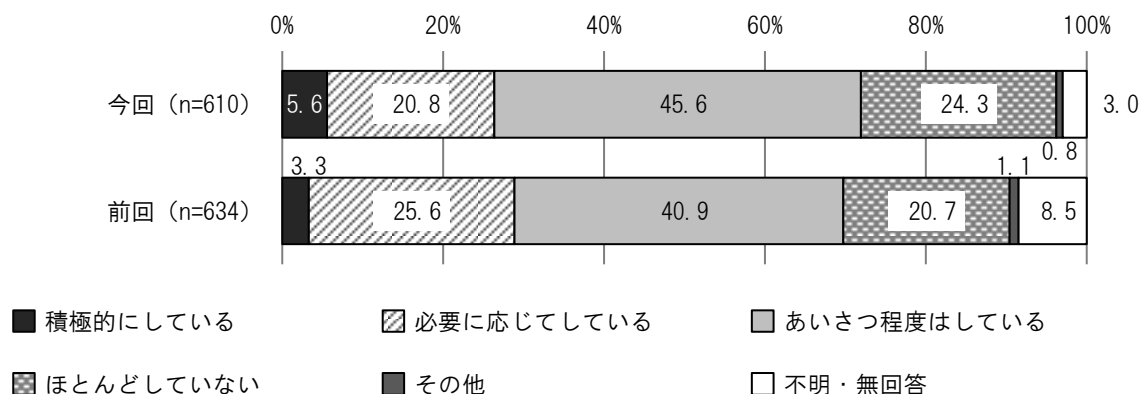
問16 ご近所とおつきあいは、次のどれにあてはまりますか。(単数回答)

ご近所づきあいの程度についてみると、全体では「あいさつ程度はしている」が45.6%と最も高く、次いで「ほとんどしていない」が24.3%、「必要に応じてしている」が20.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別でみると、いずれも「あいさつ程度はしている」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「あいさつ程度はしている」の割合が最も高くなっています。



		n	積極的にしている	必要に応じてしている	あいさつ程度はしている	ほとんどしていない	その他	不明・無回答
全体		610	5.6	20.8	45.6	24.3	0.8	3.0
年齢	10～20歳代	65	4.6	15.4	43.1	36.9	0.0	0.0
	30歳代	46	6.5	10.9	45.7	37.0	0.0	0.0
	40歳代	95	4.2	6.3	48.4	34.7	1.1	5.3
	50歳代	144	3.5	22.9	45.8	24.3	1.4	2.1
	60歳代	163	8.0	28.2	46.6	12.9	0.6	3.7
	70歳以上	92	6.5	28.3	43.5	16.3	1.1	4.3
障がいの種類	身体障がい	395	7.6	26.1	43.8	19.0	0.5	3.0
	知的障がい	100	2.0	8.0	44.0	42.0	0.0	4.0
	精神障がい	144	1.4	11.1	49.3	34.0	2.1	2.1

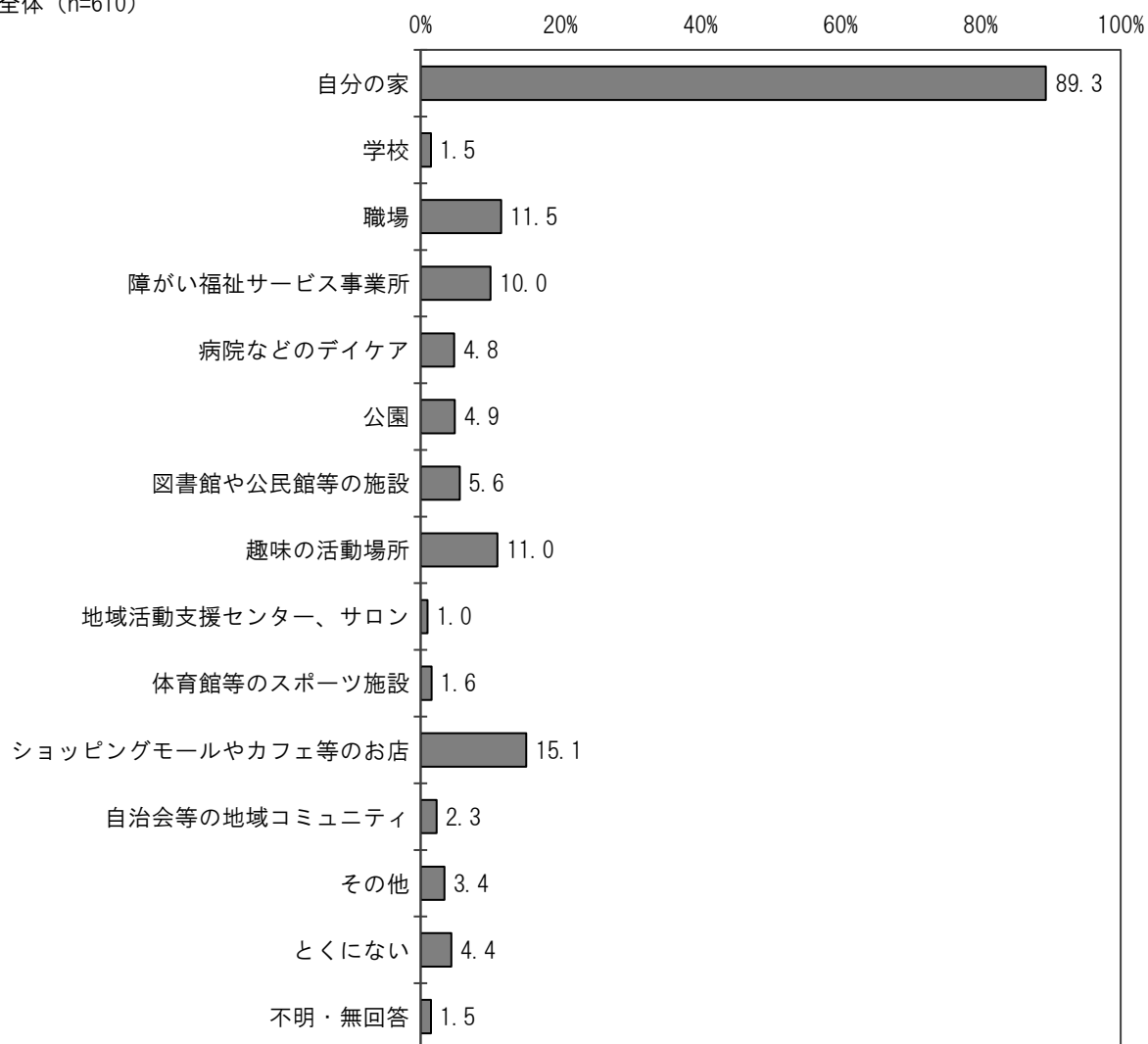
問17 あなたが安心して過ごせる「居場所」はありますか。(複数回答)

安心して過ごせる居場所についてみると、全体では「自分の家」が89.3%と最も高く、次いで「ショッピングモールやカフェ等のお店」が15.1%、「職場」が11.5%となっています。

年齢別でみると、いずれも「自分の家」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「自分の家」の割合が最も高くなっています。

全体 (n=610)



		自分の家	学校	職場	障がい福祉サービス所	病院などのデイケア	公園	施設 図書館や公民館等の	趣味の活動場所
	n								
全体	610	89.3	1.5	11.5	10.0	4.8	4.9	5.6	11.0
年齢	10～20歳代	65	90.8	10.8	21.5	26.2	7.7	6.2	9.2
	30歳代	46	91.3	0.0	23.9	15.2	0.0	4.3	10.9
	40歳代	95	85.3	0.0	10.5	20.0	4.2	7.4	10.5
	50歳代	144	88.2	0.7	11.8	9.0	4.2	0.7	4.2
	60歳代	163	92.0	0.0	8.6	0.6	7.4	6.7	3.7
	70歳以上	92	89.1	1.1	3.3	4.3	2.2	5.4	4.3
障がいの種類	身体障がい	395	91.9	1.0	11.1	4.8	5.6	5.1	2.8
	知的障がい	100	83.0	1.0	16.0	43.0	3.0	7.0	5.0
	精神障がい	144	86.8	2.1	8.3	9.0	4.2	3.5	12.5

		地域、活動支援センター	施設 体育館等のスポーツ	シャッピングやカフェ等のモール	ミニ自治会等の地域コミュニティ	その他	とくにない	不明・無回答
	n							
全体	610	1.0	1.6	15.1	2.3	3.4	4.4	1.5
年齢	10～20歳代	65	1.5	3.1	16.9	3.1	4.6	3.1
	30歳代	46	0.0	2.2	17.4	0.0	4.3	6.5
	40歳代	95	2.1	0.0	17.9	2.1	1.1	7.4
	50歳代	144	1.4	0.7	11.8	1.4	4.9	4.2
	60歳代	163	0.0	1.2	15.3	3.7	3.7	3.7
	70歳以上	92	1.1	4.3	14.1	2.2	2.2	2.2
障がいの種類	身体障がい	395	0.3	1.8	14.9	2.3	3.0	3.8
	知的障がい	100	2.0	3.0	11.0	3.0	3.0	4.0
	精神障がい	144	2.1	0.0	18.1	1.4	5.6	6.3

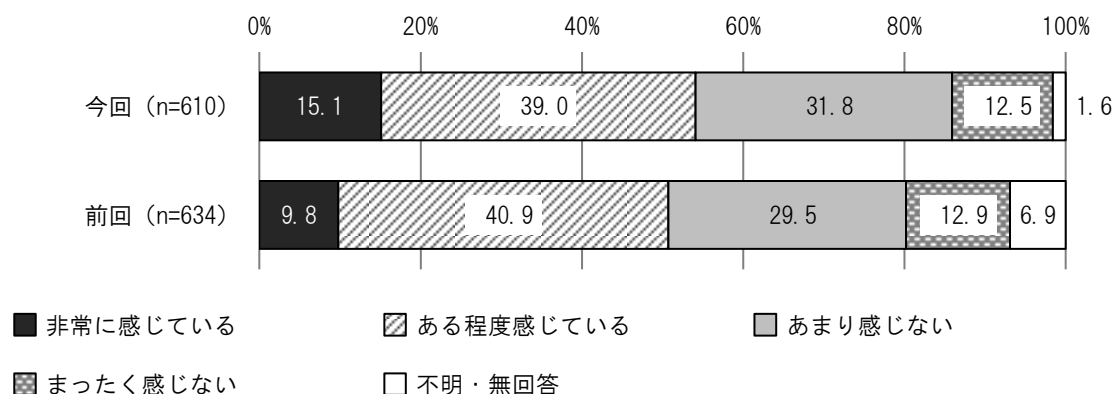
問18 あなたは、自分自身が地域の人や社会に支えられていると感じますか。(単数回答)

自分自身が地域の人や社会に支えられていると感じるかについてみると、全体では「ある程度感じている」が39.0%と最も高く、次いで「あまり感じない」が31.8%、「非常に感じている」が15.1%となっています。

前回調査と比較すると、「非常に感じている」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【50歳代】以下で「ある程度感じている」、【60歳代】で「あまり感じない」、【70歳以上】で「ある程度感じている」「あまり感じない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「ある程度感じている」の割合が最も高くなっています。



		n	非常に感じている	ある程度感じている	あまり感じない	まったく感じない	不明・無回答
全体		610	15.1	39.0	31.8	12.5	1.6
年齢	10～20歳代	65	18.5	47.7	26.2	7.7	0.0
	30歳代	46	13.0	43.5	28.3	13.0	2.2
	40歳代	95	17.9	44.2	22.1	14.7	1.1
	50歳代	144	20.1	34.7	31.9	11.1	2.1
	60歳代	163	11.0	37.4	38.0	11.7	1.8
	70歳以上	92	10.9	35.9	35.9	15.2	2.2
障がいの種類	身体障がい	395	15.4	37.7	33.4	12.2	1.3
	知的障がい	100	10.0	40.0	32.0	13.0	5.0
	精神障がい	144	16.7	43.1	27.1	13.2	0.0

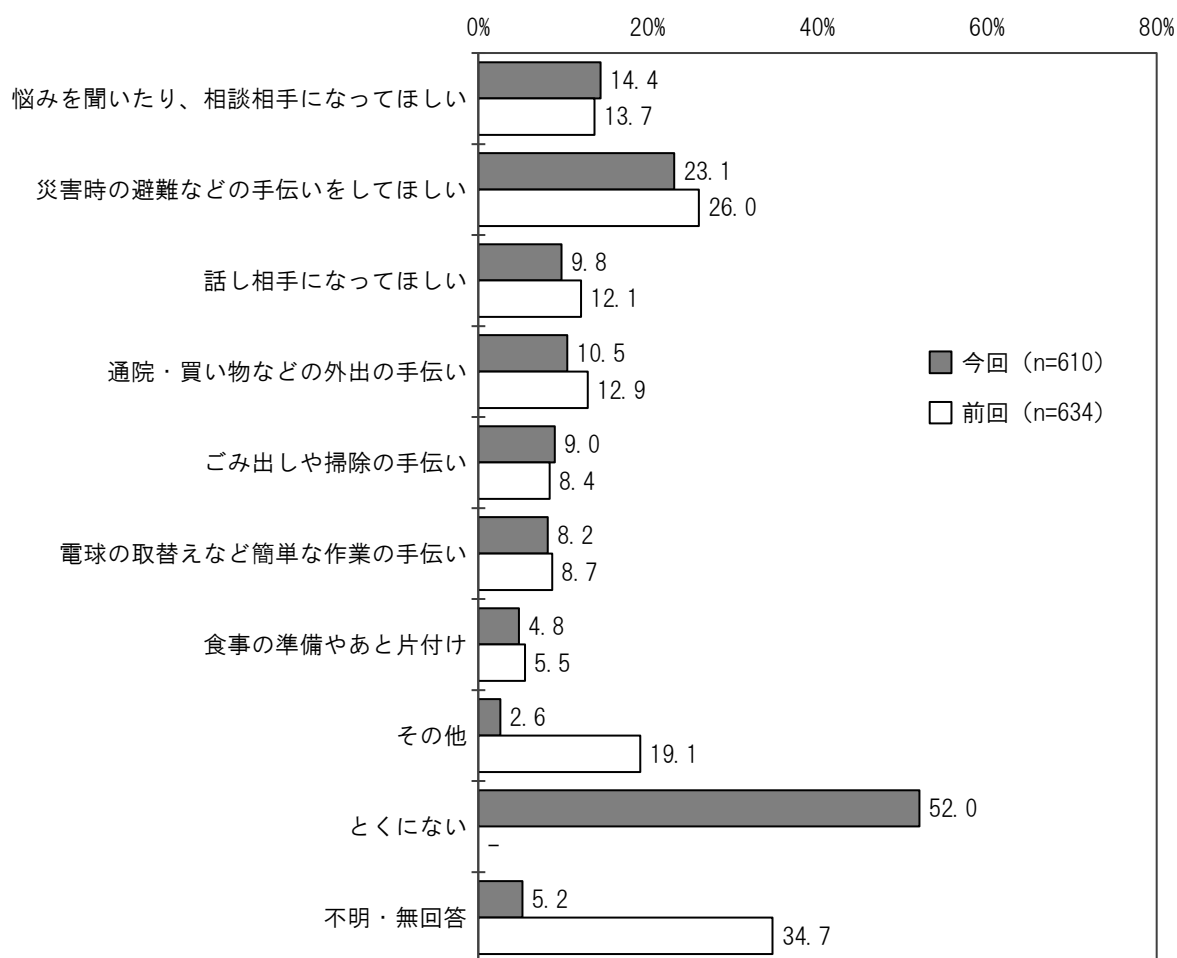
問19 あなたは、地域の身近な人に手助けしてほしいことがありますか。（複数回答）

地域の身近な人に手助けしてほしいことについてみると、「とくにない」が52.0%と最も高く、次いで「災害時の避難などの手伝いをしてほしい」が23.1%、「悩みを聞いたり、相談相手になってほしい」が14.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別でみると、いずれも「とくにない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「とくにない」の割合が最も高くなっています。



		n	悩みを聞いたり、相談	伝災い害をしの避難などの手	い話し相手になつてほし	出の院手・伝買い物などの外	いごみ出しや掃除の手伝	な電球の取手替えなど簡単	け食事の準備やあと片付	その他	とくにない	不明・無回答
全体		610	14.4	23.1	9.8	10.5	9.0	8.2	4.8	2.6	52.0	5.2
年齢	10～20歳代	65	23.1	30.8	15.4	15.4	6.2	6.2	6.2	4.6	49.2	0.0
	30歳代	46	15.2	26.1	4.3	10.9	4.3	4.3	2.2	2.2	54.3	6.5
	40歳代	95	25.3	29.5	17.9	21.1	15.8	8.4	10.5	4.2	32.6	9.5
	50歳代	144	15.3	19.4	10.4	11.1	11.1	9.0	3.5	3.5	53.5	3.5
	60歳代	163	8.0	22.1	7.4	6.1	9.2	9.8	4.3	1.8	58.3	3.7
	70歳以上	92	6.5	18.5	4.3	2.2	3.3	7.6	2.2	0.0	59.8	8.7
障がいの種類	身体障がい	395	8.1	23.0	5.3	7.3	7.6	8.9	3.5	1.5	58.0	4.1
	知的障がい	100	22.0	31.0	16.0	20.0	8.0	6.0	7.0	3.0	37.0	12.0
	精神障がい	144	29.2	22.2	18.8	16.0	15.3	9.7	6.3	5.6	41.7	3.5

8 就労等について

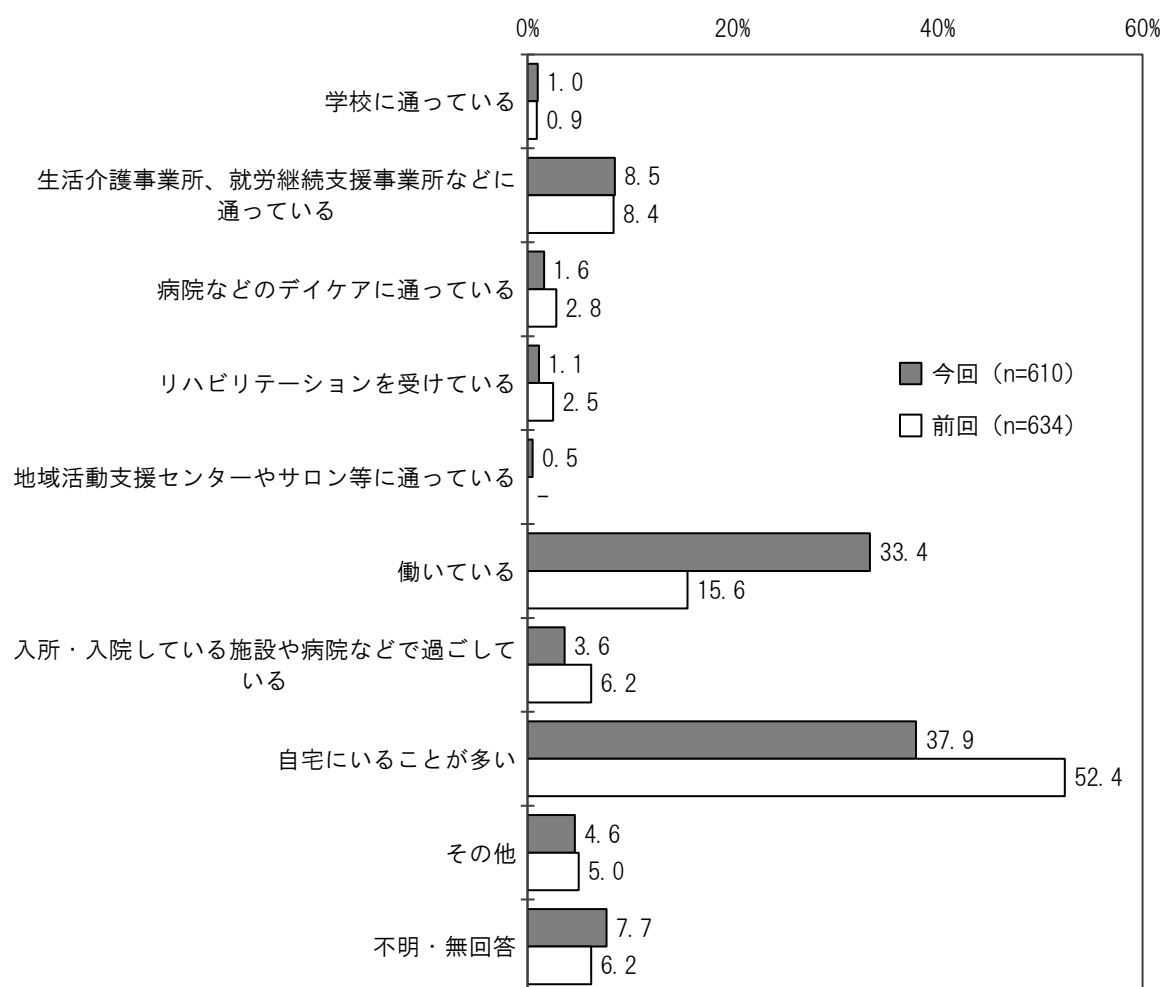
問20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（単数回答）

平日の日中の過ごし方についてみると、全体では「自宅にすることが多い」が37.9%と最も高く、次いで「働いている」が33.4%、「生活介護事業所、就労継続支援事業所などに通っている」が8.5%となっています。

前回調査と比較すると、「働いている」で増加傾向、「自宅にすることが多い」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【30歳代】【50歳代】で「働いている」、【40歳代】【60歳代】【70歳以上】で「自宅にすることが多い」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【精神障がい】で「自宅にすることが多い」、【知的障がい】で「生活介護事業所、就労継続支援事業所などに通っている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	学校に通っている	労働継続支援事業所、就労に就いている	生活介護事業所、就労に就いている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	通っている	地域活動支援センターやサロン等に活動している	働いている	施設や入院などで行っている	入所・入院などで行っている	自宅にすることが多い	その他	不明・無回答
全体		610	1.0	8.5	1.6	1.1	0.5	33.4	3.6	37.9	4.6	7.7			
年齢	10～20歳代	65	7.7	30.8	1.5	0.0	0.0	43.1	0.0	9.2	1.5	6.2			
	30歳代	46	0.0	17.4	0.0	0.0	2.2	50.0	4.3	23.9	2.2	0.0			
	40歳代	95	0.0	16.8	1.1	1.1	1.1	29.5	5.3	32.6	3.2	9.5			
	50歳代	144	0.7	3.5	2.1	1.4	0.0	43.1	3.5	32.6	4.9	8.3			
	60歳代	163	0.0	0.6	2.5	1.2	0.0	33.1	2.5	48.5	6.1	5.5			
	70歳以上	92	0.0	2.2	1.1	1.1	1.1	7.6	5.4	60.9	6.5	14.1			
障がいの種類	身体障がい	395	0.8	3.0	2.0	1.5	0.3	34.4	3.3	41.5	5.1	8.1			
	知的障がい	100	1.0	41.0	0.0	1.0	0.0	23.0	8.0	13.0	3.0	10.0			
	精神障がい	144	1.4	6.3	1.4	0.7	1.4	32.6	1.4	45.1	4.2	5.6			

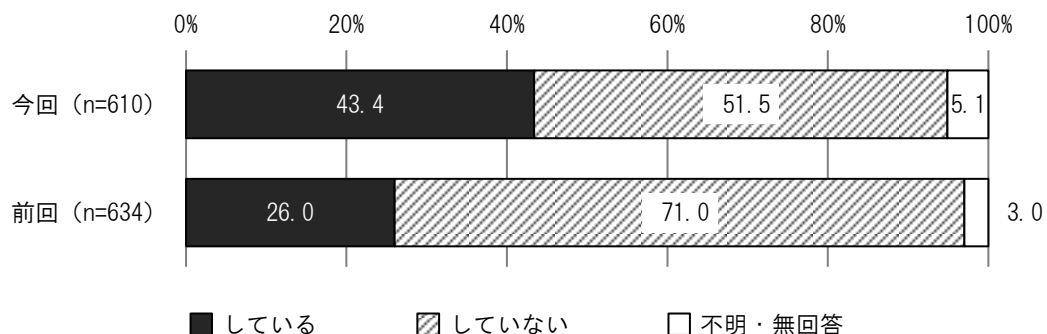
問21 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(単数回答)

収入を伴う仕事の有無についてみると、全体では「していない」が51.5%と、「している」の43.4%を上回っています。

前回調査と比較すると、「している」で増加傾向、「していない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【30歳代】【50歳代】で「している」の割合が高くなっています。

障がいの種類別では、【知的障がい】で「している」の割合が高くなっています。



		n	している	していない	不明・無回答
全体		610	43.4	51.5	5.1
年齢	10～20歳代	65	64.6	30.8	4.6
	30歳代	46	60.9	37.0	2.2
	40歳代	95	45.3	50.5	4.2
	50歳代	144	53.5	41.7	4.9
	60歳代	163	36.8	57.7	5.5
	70歳以上	92	14.1	78.3	7.6
障がいの種類	身体障がい	395	40.5	53.7	5.8
	知的障がい	100	49.0	43.0	8.0
	精神障がい	144	43.8	52.8	3.5

【問21で「している」と回答した方】

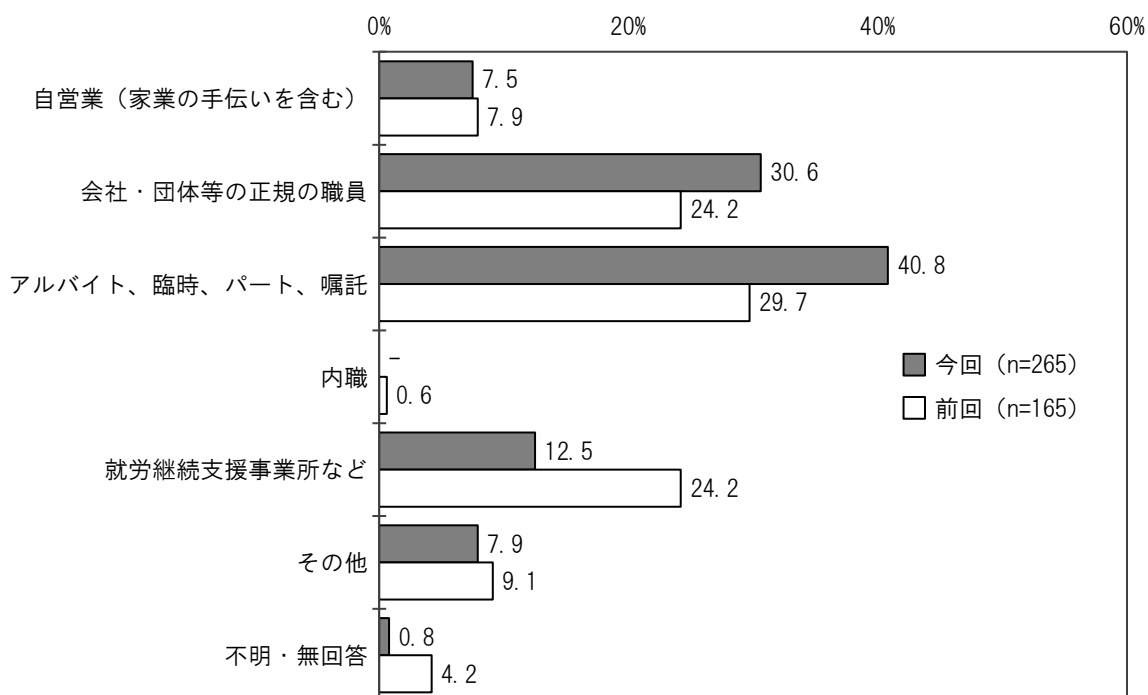
問21-1 仕事の形態は、次のうちどれですか。（単数回答）

仕事の形態についてみると、全体では「アルバイト、臨時、パート、嘱託」が40.8%と最も高く、次いで「会社・団体等の正規の職員」が30.6%、「就労継続支援事業所など」が12.5%となっています。

前回調査と比較すると、「会社・団体等の正規の職員」「アルバイト、臨時、パート、嘱託」で増加傾向、「就労継続支援事業所など」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【30歳代】【50歳代】で「会社・団体等の正規の職員」、【10～20歳代】【40歳代】【60歳代】【70歳以上】で「アルバイト、臨時、パート、嘱託」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「会社・団体等の正規の職員」、【知的障がい】で「就労継続支援事業所など」、【精神障がい】で「アルバイト、臨時、パート、嘱託」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	自営業（家業の手伝いを含む）	会社・団体等の正規の職員	アルバイト、パート、嘱託	就労継続支援事業所など	その他	不明・無回答
全体		265	7.5	30.6	40.8	12.5	7.9	0.8
年齢	10～20歳代	42	2.4	14.3	52.4	21.4	9.5	0.0
	30歳代	28	0.0	46.4	28.6	17.9	7.1	0.0
	40歳代	43	2.3	18.6	44.2	25.6	9.3	0.0
	50歳代	77	9.1	39.0	35.1	7.8	7.8	1.3
	60歳代	60	15.0	36.7	40.0	1.7	6.7	0.0
	70歳以上	13	15.4	15.4	53.8	7.7	7.7	0.0
障がいの種類	身体障がい	160	10.0	45.0	36.3	4.4	4.4	0.0
	知的障がい	49	0.0	4.1	32.7	51.0	12.2	0.0
	精神障がい	63	6.3	11.1	57.1	11.1	12.7	1.6

【問 21 で「している」と回答した方】

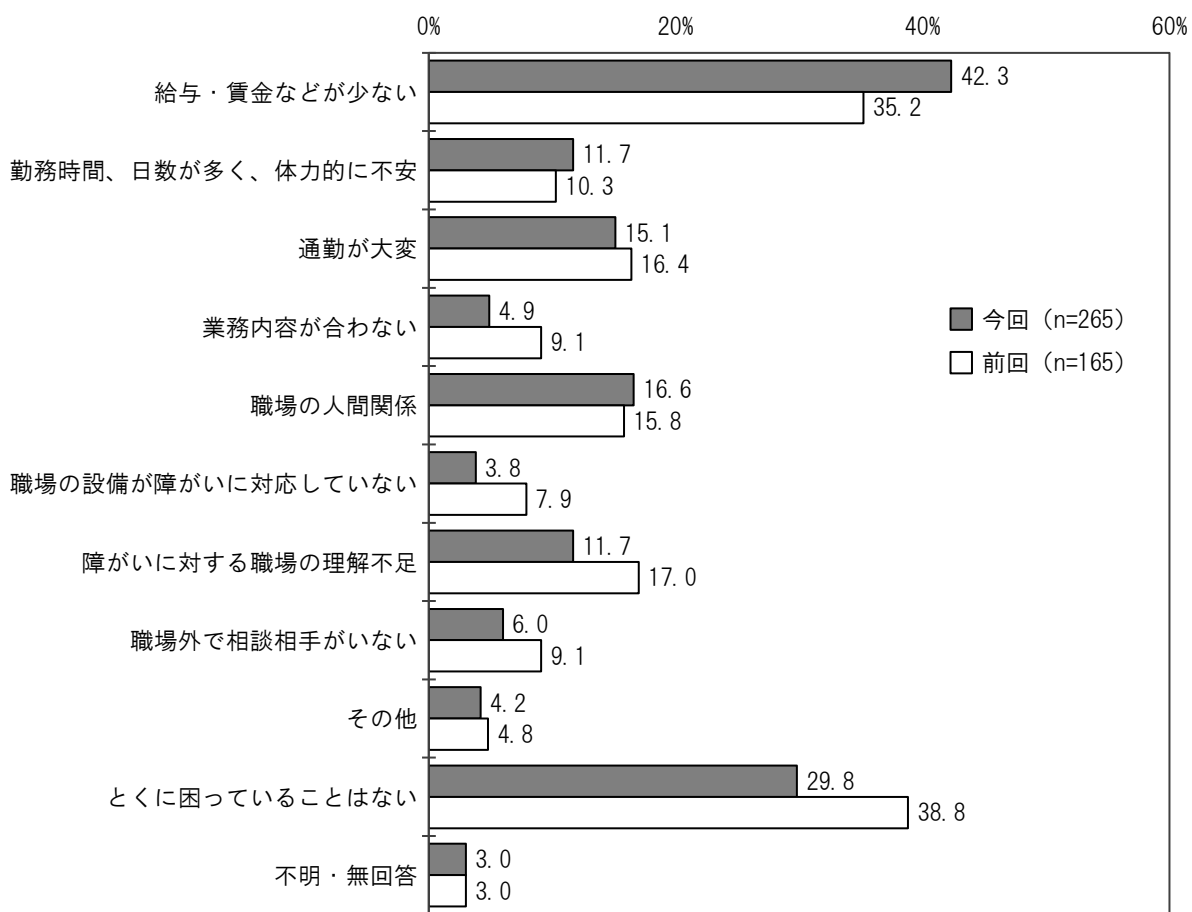
問21－ 2 仕事をするうえで困っていることはありますか。(複数回答)

仕事をするうえで困っていることについてみると、全体では「給与・賃金などが少ない」が42.3%と最も高く、次いで「とくに困っていることはない」が29.8%、「職場の人間関係」が16.6%となっています。

前回調査と比較すると、「給与・賃金などが少ない」で増加傾向、「障がいに対する職場の理解不足」「とくに困っていることはない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【50歳代】以下で「給与・賃金などが少ない」、【60歳代】以上で「とくに困っていることはない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「給与・賃金などが少ない」の割合が最も高くなっています。



		n	給与・賃金などが少ない	勤務時間、日数が多く、体力的に不安	通勤が大変	業務内容が合わない	職場の人間関係	職場の設備が障がいに対応していない	障がいに対する職場の理解不足	職場外で相談相手がない	その他	とくに困っていることはない	不明・無回答
全体		265	42.3	11.7	15.1	4.9	16.6	3.8	11.7	6.0	4.2	29.8	3.0
年齢	10～20歳代	42	52.4	7.1	16.7	4.8	14.3	2.4	11.9	2.4	4.8	26.2	4.8
	30歳代	28	46.4	17.9	25.0	7.1	28.6	7.1	14.3	10.7	7.1	17.9	3.6
	40歳代	43	48.8	18.6	11.6	7.0	20.9	4.7	11.6	4.7	4.7	23.3	4.7
	50歳代	77	46.8	10.4	13.0	5.2	20.8	2.6	15.6	7.8	2.6	29.9	2.6
	60歳代	60	28.3	11.7	16.7	3.3	5.0	5.0	8.3	5.0	5.0	35.0	1.7
	70歳以上	13	15.4	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	69.2	0.0
障がいの種類	身体障がい	160	36.9	10.6	17.5	3.1	11.9	4.4	12.5	6.9	1.3	35.0	3.8
	知的障がい	49	40.8	6.1	8.2	2.0	18.4	2.0	8.2	4.1	6.1	36.7	6.1
	精神障がい	63	60.3	20.6	15.9	11.1	27.0	3.2	11.1	6.3	11.1	7.9	0.0

【問 21 で「していない」と回答した方】

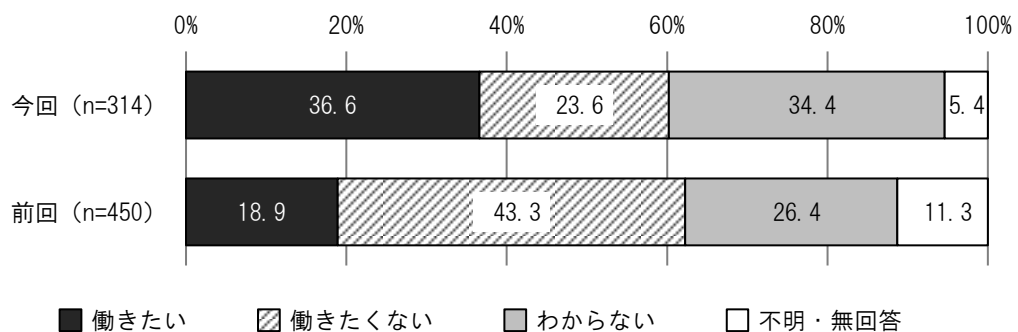
問21－ 3 今後、自分の健康状況や通勤手段など条件が整えば働きたいと思いますか。(単数回答)

条件が整えば働きたいと思うかについてみると、全体では「働きたい」が36.6%と最も高く、次いで「わからない」が34.4%、「働きたくない」が23.6%となっています。

前回調査と比較すると、「働きたい」「わからない」で増加傾向、「働きたくない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【40歳代】【50歳代】で「働きたい」、【30歳代】【60歳代】で「わからない」、【70歳以上】で「働きたくない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】で「わからない」、【精神障がい】で「働きたい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	働きたい	働きたくない	わからない	不明・無回答
全体		314	36.6	23.6	34.4	5.4
年齢	10～20歳代	20	60.0	5.0	30.0	5.0
	30歳代	17	29.4	17.6	47.1	5.9
	40歳代	48	43.8	12.5	41.7	2.1
	50歳代	60	45.0	11.7	35.0	8.3
	60歳代	94	35.1	24.5	36.2	4.3
	70歳以上	72	20.8	47.2	25.0	6.9
障がいの種類	身体障がい	212	33.0	29.2	33.5	4.2
	知的障がい	43	25.6	11.6	51.2	11.6
	精神障がい	76	50.0	14.5	31.6	3.9

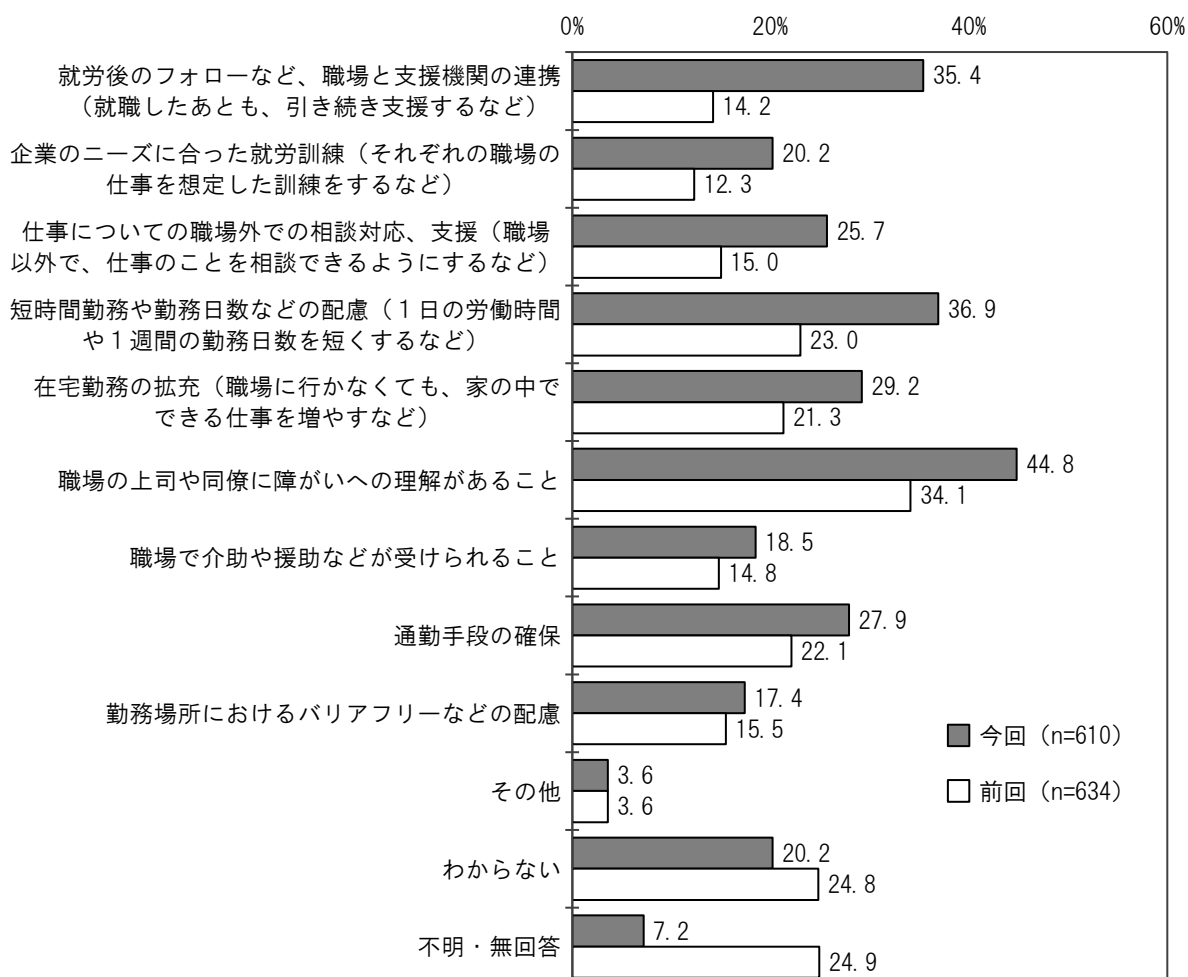
問22 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

就労支援として必要なことについてみると、全体では「職場の上司や同僚に障がいへの理解があること」が44.8%と最も高く、次いで「短時間勤務や勤務日数などの配慮（1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど）」が36.9%、「就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携（就職したあとも、引き続き支援するなど）」が35.4%となっています。

前回調査と比較すると、「職場で介助や援助などが受けられること」「勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮」「わからない」を除いた項目で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【40歳代】で「就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携」、【30歳代】【50歳代】【60歳代】で「職場の上司や同僚に障がいへの理解があること」、【70歳以上】で「職場の上司や同僚に障がいへの理解があること」「わからない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】で「職場の上司や同僚に障がいへの理解があること」、【精神障がい】で「就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



			就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携（就職したあとも、引き続き支援するなど）	企業のニーズに合った就労訓練（それぞれの職場の仕事で想定した訓練をするなど）	仕事についての職場外での相談対応、支援（職場以外で、仕事のことを相談できるようにするなど）	短時間勤務や勤務日数などの配慮（1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど）	在宅勤務の拡充（職場に行かなくても、家の中でできる仕事を増やすなど）	職場の上司や同僚に障がいへの理解があること	職場で介助や援助などが受けられること	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	その他	わからない	不明・無回答
		n												
	全体	610	35.4	20.2	25.7	36.9	29.2	44.8	18.5	27.9	17.4	3.6	20.2	7.2
	年齢													
	10～20歳代	65	53.8	32.3	33.8	36.9	24.6	47.7	20.0	38.5	15.4	7.7	10.8	6.2
	30歳代	46	52.2	26.1	39.1	41.3	23.9	56.5	19.6	23.9	23.9	4.3	13.0	2.2
	40歳代	95	52.6	31.6	36.8	46.3	40.0	51.6	26.3	31.6	16.8	4.2	12.6	7.4
	50歳代	144	34.7	17.4	27.1	34.0	30.6	50.0	16.0	27.1	11.1	3.5	19.4	6.3
	60歳代	163	23.3	13.5	18.4	39.3	32.5	41.1	17.8	27.0	22.1	2.5	25.2	8.0
	70歳以上	92	20.7	14.1	14.1	25.0	16.3	30.4	14.1	20.7	17.4	2.2	30.4	10.9
	障がいの種類													
	身体障がい	395	27.1	14.4	19.2	35.9	29.6	41.0	16.2	26.6	21.0	2.3	22.5	7.8
	知的障がい	100	39.0	24.0	24.0	25.0	11.0	45.0	30.0	30.0	14.0	2.0	21.0	12.0
	精神障がい	144	57.6	34.0	43.8	47.9	38.9	54.9	18.8	31.9	8.3	8.3	13.9	2.8

9 相談・情報について

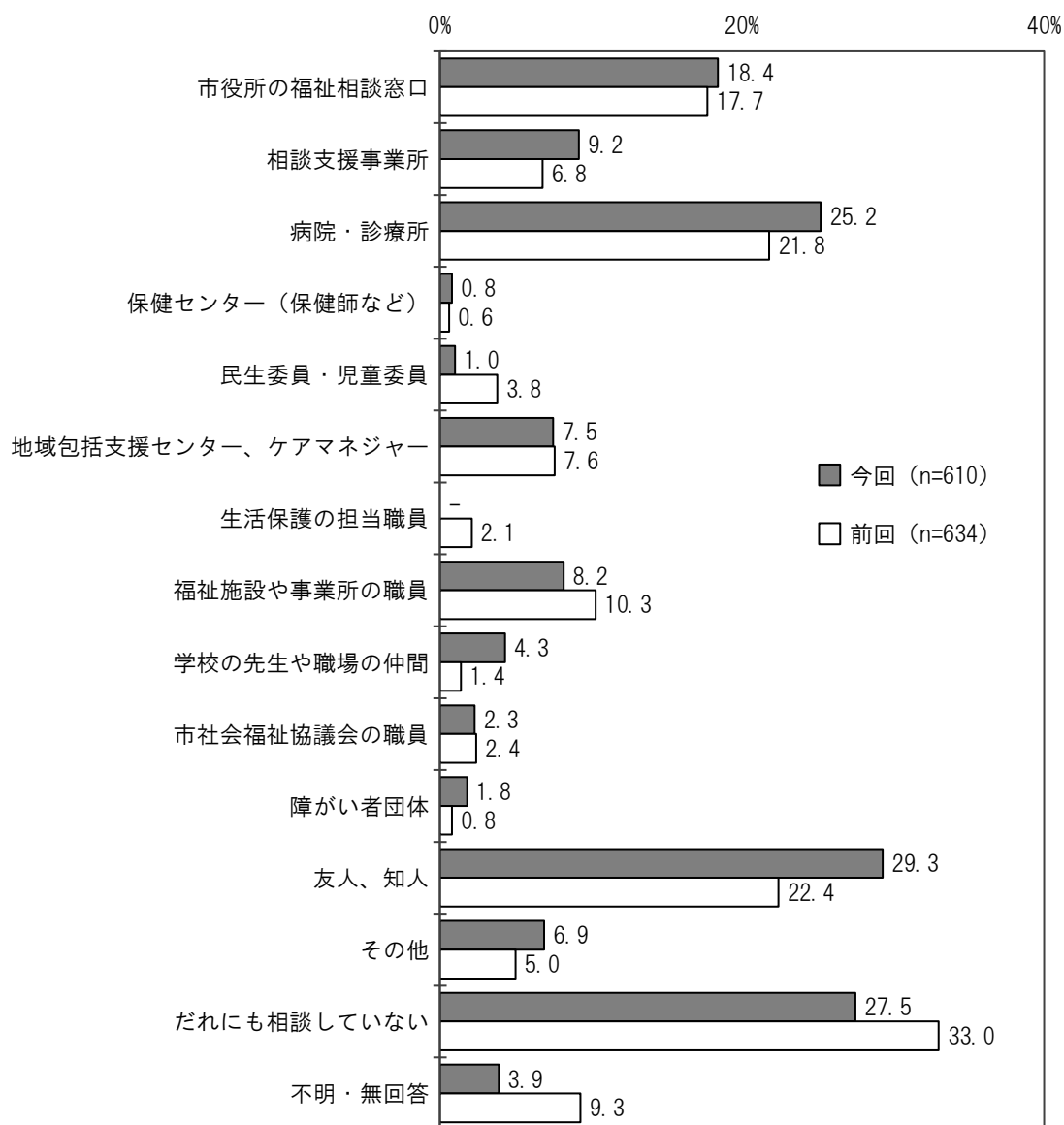
問23 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（複数回答）

悩みごとや心配ごとの相談先についてみると、全体では「友人、知人」が29.3%と最も高く、次いで「だれにも相談していない」が27.5%、「病院・診療所」が25.2%となっています。

前回調査と比較すると、「友人、知人」で増加傾向、「だれにも相談していない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】で「病院・診療所」「友人、知人」「だれにも相談していない」、【30歳代】から【50歳代】で「病院・診療所」、【60歳代】以上で「だれにも相談していない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「友人、知人」、【知的障がい】で「福祉施設や事業所の職員」、【精神障がい】で「病院・診療所」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	市役所の福祉相談窓口	相談支援事業所	病院・診療所	保健センター（保健師など）	民生委員・児童委員	地域包括支援センター、ケアマネジャー	福祉施設や事業所の職員	学校の先生や職場の仲間	市社会福祉協議会の職員	障がい者団体	友人、知人	その他	だれにも相談していない	不明・無回答
全体		610	18.4	9.2	25.2	0.8	1.0	7.5	8.2	4.3	2.3	1.8	29.3	6.9	27.5	3.9
年齢	10～20歳代	65	18.5	21.5	24.6	3.1	1.5	1.5	21.5	18.5	0.0	4.6	24.6	9.2	24.6	4.6
	30歳代	46	17.4	13.0	37.0	0.0	0.0	0.0	15.2	2.2	0.0	4.3	32.6	8.7	26.1	0.0
	40歳代	95	21.1	17.9	30.5	2.1	2.1	9.5	15.8	4.2	3.2	4.2	29.5	8.4	15.8	5.3
	50歳代	144	20.1	10.4	29.2	0.0	0.0	6.3	5.6	1.4	3.5	0.0	26.4	9.7	23.6	2.1
	60歳代	163	16.0	2.5	21.5	0.6	0.6	9.2	1.2	3.7	1.2	0.6	33.1	3.7	34.4	4.9
	70歳以上	92	16.3	0.0	14.1	0.0	2.2	12.0	4.3	1.1	4.3	1.1	29.3	4.3	37.0	5.4
障がいの種類	身体障がい	395	17.5	4.3	19.2	0.3	0.5	10.1	3.5	3.8	2.3	1.0	34.2	4.3	30.4	4.1
	知的障がい	100	21.0	29.0	18.0	1.0	0.0	1.0	31.0	6.0	2.0	5.0	8.0	3.0	25.0	7.0
	精神障がい	144	21.5	13.9	47.9	2.1	2.8	4.2	8.3	3.5	2.1	2.8	27.1	15.3	20.8	1.4

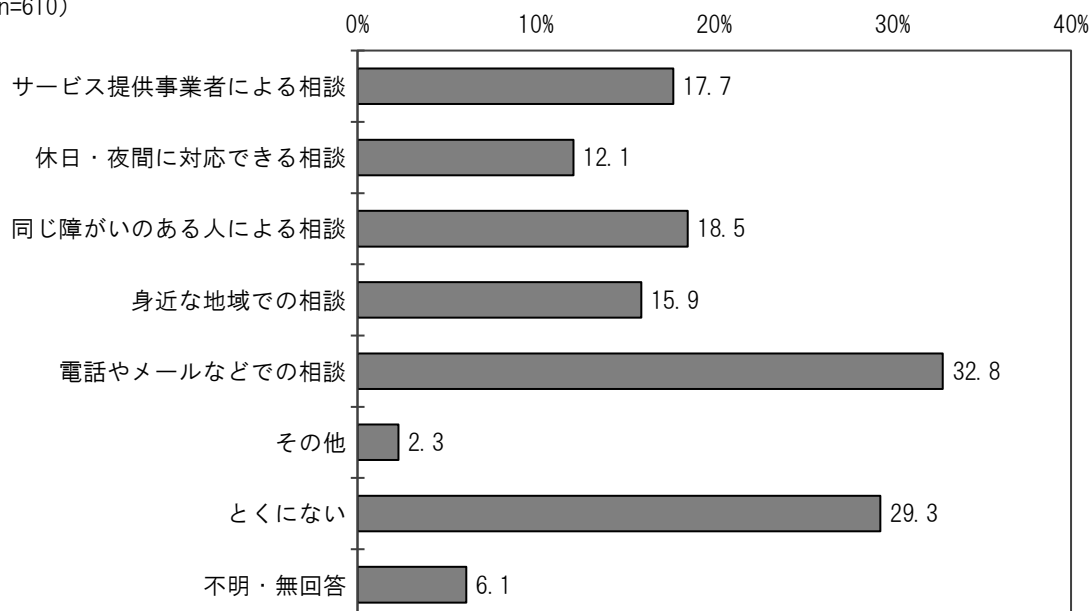
問24 あなたが利用しやすいと思う相談方法は何ですか。（複数回答）

利用しやすいと思う相談方法についてみると、全体では「電話やメールなどでの相談」が32.8%と最も高く、次いで「とくにない」が29.3%、「同じ障がいのある人による相談」が18.5%となっています。

年齢別でみると、【10～20歳代】【40歳代】で「サービス提供事業者による相談」、【30歳代】【60歳代】で「電話やメールなどでの相談」、【50歳代】で「電話やメールなどでの相談」「とくにない」、【70歳以上】で「とくにない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【精神障がい】で「電話やメールなどでの相談」、【知的障がい】で「サービス提供事業者による相談」の割合がそれぞれ最も高くなっています。【精神障がい】で「休日・夜間に対応できる相談」が他の障がいの種類に比べて高くなっています。

全体（n=610）



		n	サービス提供者 による相談	休日・夜間に対応で きる相談	同じ障がいのある人 による相談	身近な地域での相談	電話やメールなどで の相談	その他	とくにない	不明・無回答
全体		610	17.7	12.1	18.5	15.9	32.8	2.3	29.3	6.1
年齢	10～20歳代	65	40.0	15.4	18.5	15.4	23.1	1.5	18.5	10.8
	30歳代	46	8.7	19.6	30.4	8.7	43.5	0.0	28.3	4.3
	40歳代	95	31.6	17.9	23.2	15.8	30.5	4.2	18.9	5.3
	50歳代	144	15.3	13.9	21.5	16.7	31.3	4.9	31.3	5.6
	60歳代	163	9.2	9.8	14.1	18.4	38.7	1.2	31.9	4.3
	70歳以上	92	10.9	2.2	12.0	15.2	30.4	0.0	39.1	7.6
障がいの種類	身体障がい	395	11.4	7.8	18.5	15.9	34.2	1.3	33.4	5.3
	知的障がい	100	37.0	9.0	11.0	10.0	13.0	1.0	26.0	14.0
	精神障がい	144	23.6	28.5	23.6	17.4	41.0	6.3	19.4	2.8

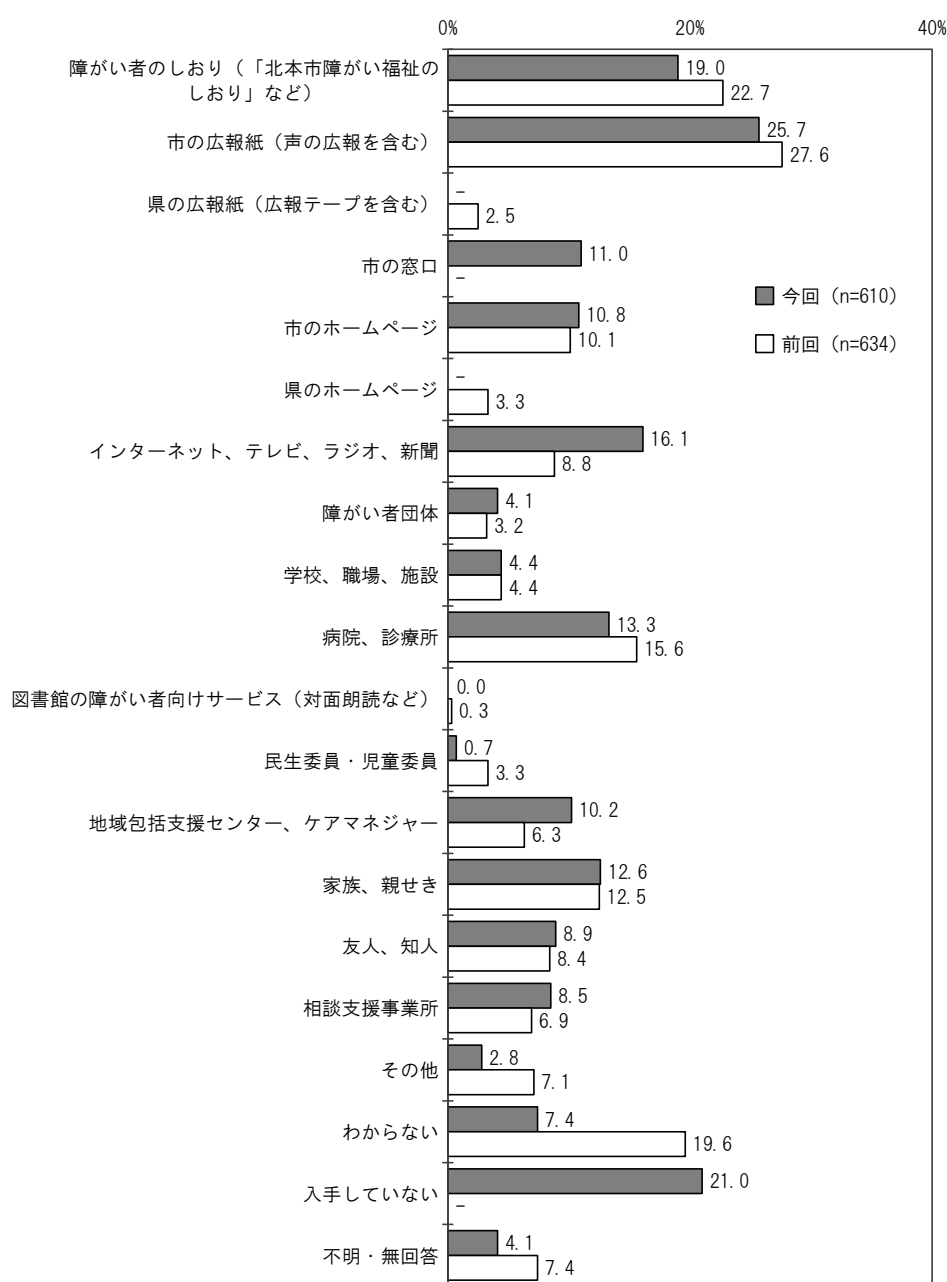
問25 障がい福祉サービスなどの情報をどこから得ていますか。（複数回答）

障がい福祉サービスなどの情報の入手先についてみると、全体では「市の広報紙（声の広報を含む）」が25.7%と最も高く、次いで「入手していない」が21.0%、「障がい者のしおり」（「北本市障がい福祉のしおり」など）が19.0%となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット、テレビ、ラジオ、新聞」で増加傾向、「わからない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】で「市の広報紙（声の広報を含む）」「家族、親せき」、【30歳代】で「障がい者のしおり」「入手していない」、【40歳代】で「相談支援事業所」、【50歳代】で「障がい者のしおり」、【60歳代】【70歳以上】で「市の広報紙」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【精神障がい】で「市の広報紙」、【知的障がい】で「相談支援事業所」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	障がい者のしおり（「北 本市障がい福祉のしお り」など）	市の広報紙（声の広報を 含む）	市の窓 口	市のホーム ページ	イン ター ネット、 テレ ビ、ラ ジオ、 新聞	障 が い 者 団 体	学 校、 職 場、 施 設	病 院、 診 療 所	図 書 館 の 障 が い 者 向 け サ ー ビ ス （ 対 面 朗 読 な ど）
全体		610	19.0	25.7	11.0	10.8	16.1	4.1	4.4	13.3	0.0
年齢	10～20歳代	65	12.3	23.1	9.2	7.7	7.7	7.7	13.8	10.8	0.0
	30歳代	46	28.3	19.6	10.9	15.2	23.9	4.3	6.5	21.7	0.0
	40歳代	95	17.9	22.1	14.7	11.6	18.9	7.4	9.5	16.8	0.0
	50歳代	144	22.2	19.4	11.8	9.0	13.9	1.4	2.8	14.6	0.0
	60歳代	163	17.2	31.9	11.0	12.9	17.8	3.1	1.2	12.9	0.0
	70歳以上	92	18.5	34.8	7.6	9.8	14.1	4.3	0.0	5.4	0.0
障がいの種類	身体障がい	395	19.7	28.6	11.4	12.4	16.5	3.5	2.5	11.9	0.0
	知的障がい	100	14.0	16.0	7.0	0.0	4.0	10.0	11.0	8.0	0.0
	精神障がい	144	19.4	22.2	12.5	11.1	18.8	2.8	6.3	20.8	0.0

		n	民 生 委 員・ 児 童 委 員	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー、 ケ ア マ ネ ジ ャ ー	家 族、 親 せ き	友 人、 知 人	相 談 支 援 事 業 所	そ の 他	わ か ら な い	入 手 し て い な い	不 明・ 無 回 答
全体		610	0.7	10.2	12.6	8.9	8.5	2.8	7.4	21.0	4.1
年齢	10～20歳代	65	0.0	3.1	23.1	4.6	20.0	1.5	12.3	18.5	6.2
	30歳代	46	0.0	2.2	8.7	10.9	13.0	6.5	8.7	28.3	0.0
	40歳代	95	1.1	10.5	13.7	15.8	23.2	3.2	3.2	15.8	2.1
	50歳代	144	0.0	9.7	9.0	8.3	6.3	4.2	8.3	21.5	3.5
	60歳代	163	1.2	12.3	10.4	6.7	1.2	1.8	5.5	27.0	3.7
	70歳以上	92	1.1	15.2	15.2	8.7	0.0	1.1	8.7	13.0	8.7
障がいの種類	身体障がい	395	0.5	11.6	10.1	9.6	3.8	1.8	6.6	22.0	4.3
	知的障がい	100	0.0	4.0	17.0	11.0	32.0	2.0	9.0	15.0	7.0
	精神障がい	144	1.4	9.7	16.7	7.6	13.2	6.3	7.6	20.1	1.4

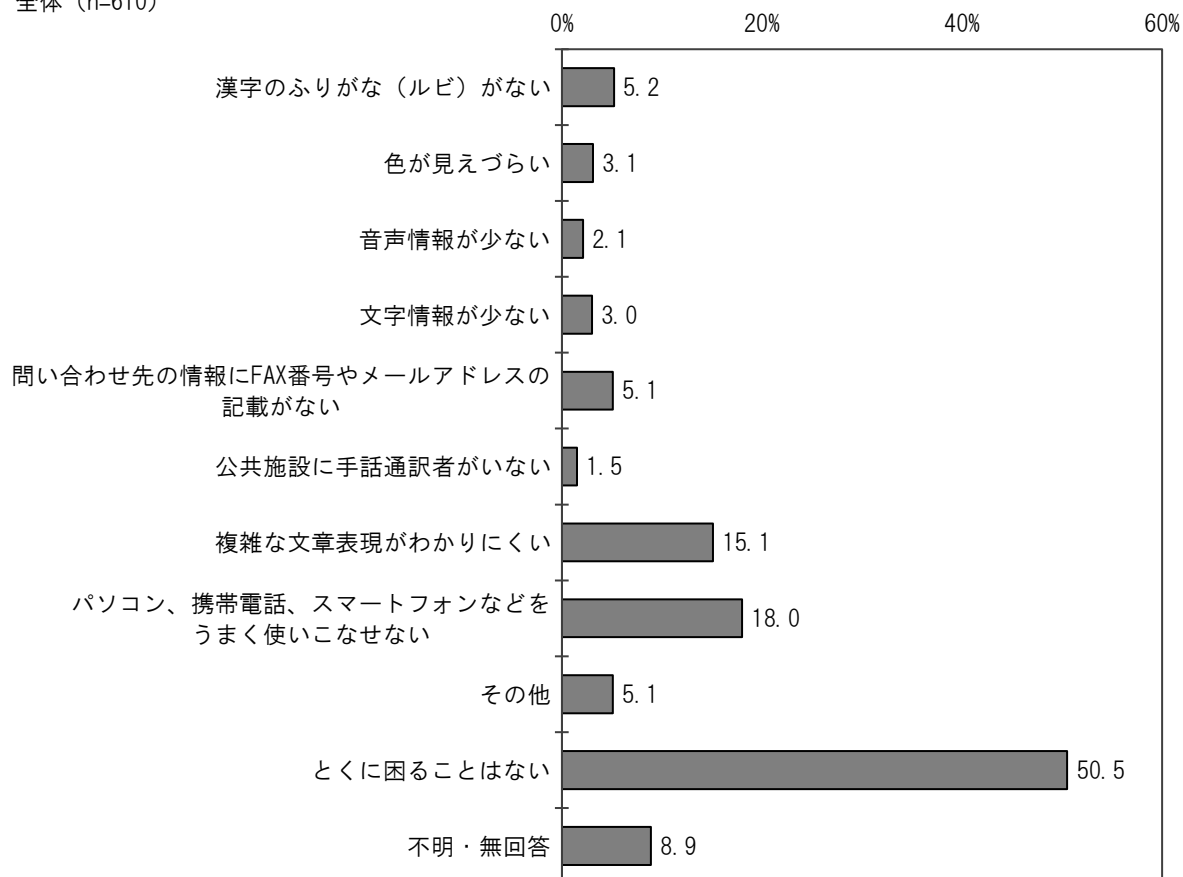
問26 情報を取得するうえで困ることはありますか。(複数回答)

情報を取得するうえで困ることについてみると、全体では「とくに困ることはない」が50.5%と最も高く、次いで「パソコン、携帯電話、スマートフォンなどをうまく使いこなせない」が18.0%、「複雑な文章表現がわかりにくい」が15.1%となっています。

年齢別でみると、いずれも「とくに困ることはない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【精神障がい】で「とくに困ることはない」、【知的障がい】で「複雑な文章表現がわかりにくい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

全体 (n=610)



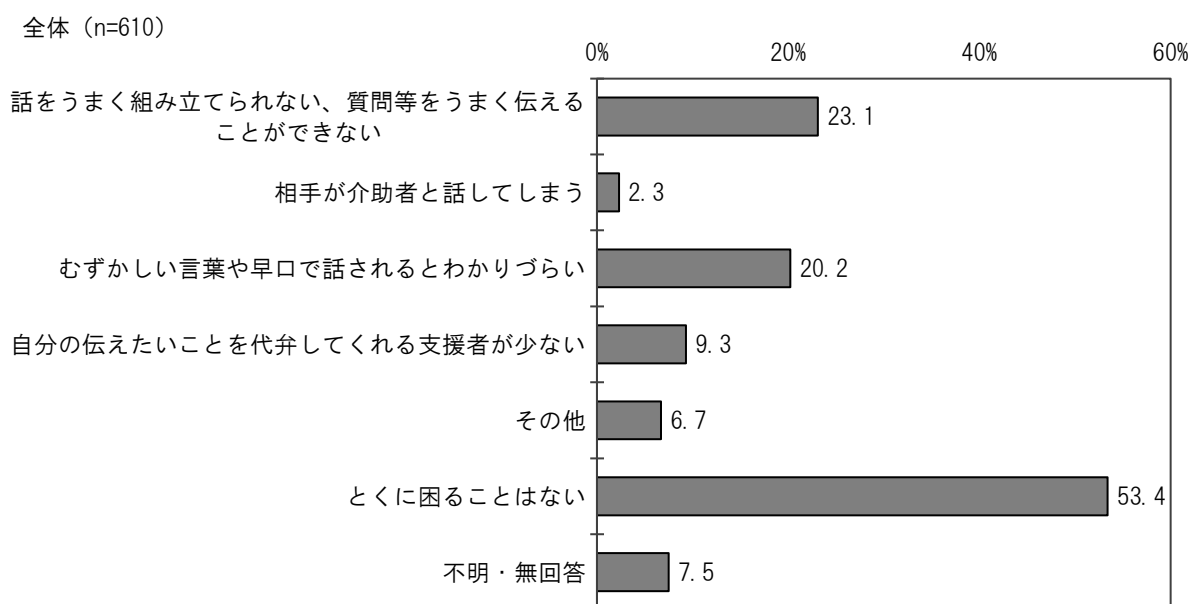
		n	漢字の ふりがな (ルビ) がない	色が見え づらい	音声情報 が少ない	文字情報 が少ない	FAX番号 やメール アドレス の記載が ない	問い合わせ 先の情報 にない	公共施設 に手話通 訳者がい ない	複雑な文 章表現が わかりい にくい	パソコン、 携帯電話、 スマートフォン などをう まく使 いこな せない	その他	とくに困 ることは ない	不明・無 回答
全体		610	5.2	3.1	2.1	3.0	5.1	1.5	15.1	18.0	5.1	50.5	8.9	
年齢	10～20歳代	65	15.4	6.2	1.5	3.1	3.1	0.0	30.8	6.2	6.2	44.6	7.7	
	30歳代	46	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	6.5	10.9	60.9	8.7	
	40歳代	95	9.5	1.1	1.1	3.2	9.5	2.1	20.0	21.1	6.3	43.2	9.5	
	50歳代	144	2.8	2.1	3.5	3.5	4.9	2.8	15.3	17.4	4.2	52.1	9.7	
	60歳代	163	1.2	2.5	1.8	1.8	7.4	0.6	11.0	19.0	3.1	54.0	8.6	
	70歳以上	92	6.5	6.5	3.3	5.4	1.1	2.2	7.6	29.3	4.3	47.8	7.6	
障がいの種類	身体障がい	395	2.8	3.5	2.5	2.8	5.3	2.0	9.1	17.7	4.3	55.7	7.8	
	知的障がい	100	12.0	3.0	2.0	1.0	1.0	2.0	30.0	21.0	9.0	25.0	19.0	
	精神障がい	144	7.6	2.8	0.7	3.5	6.3	0.7	21.5	18.1	5.6	48.6	6.9	

問27 コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。（複数回答）

コミュニケーションをとるうえで困ることについてみると、全体では「とくに困ることはない」が53.4%と最も高く、次いで「話をうまく組み立てられない、質問等をうまく伝えることができない」が23.1%、「むずかしい言葉や早口で話されるとわかりづらい」が20.2%となっています。

年齢別でみると、【10～20歳代】で「話をうまく組み立てられない、質問等をうまく伝えることができない」、【40歳代】で「話をうまく組み立てられない、質問等をうまく伝えることができない」「とくに困ることはない」、【30歳代】【50歳代】から【70歳以上】で「とくに困ることはない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

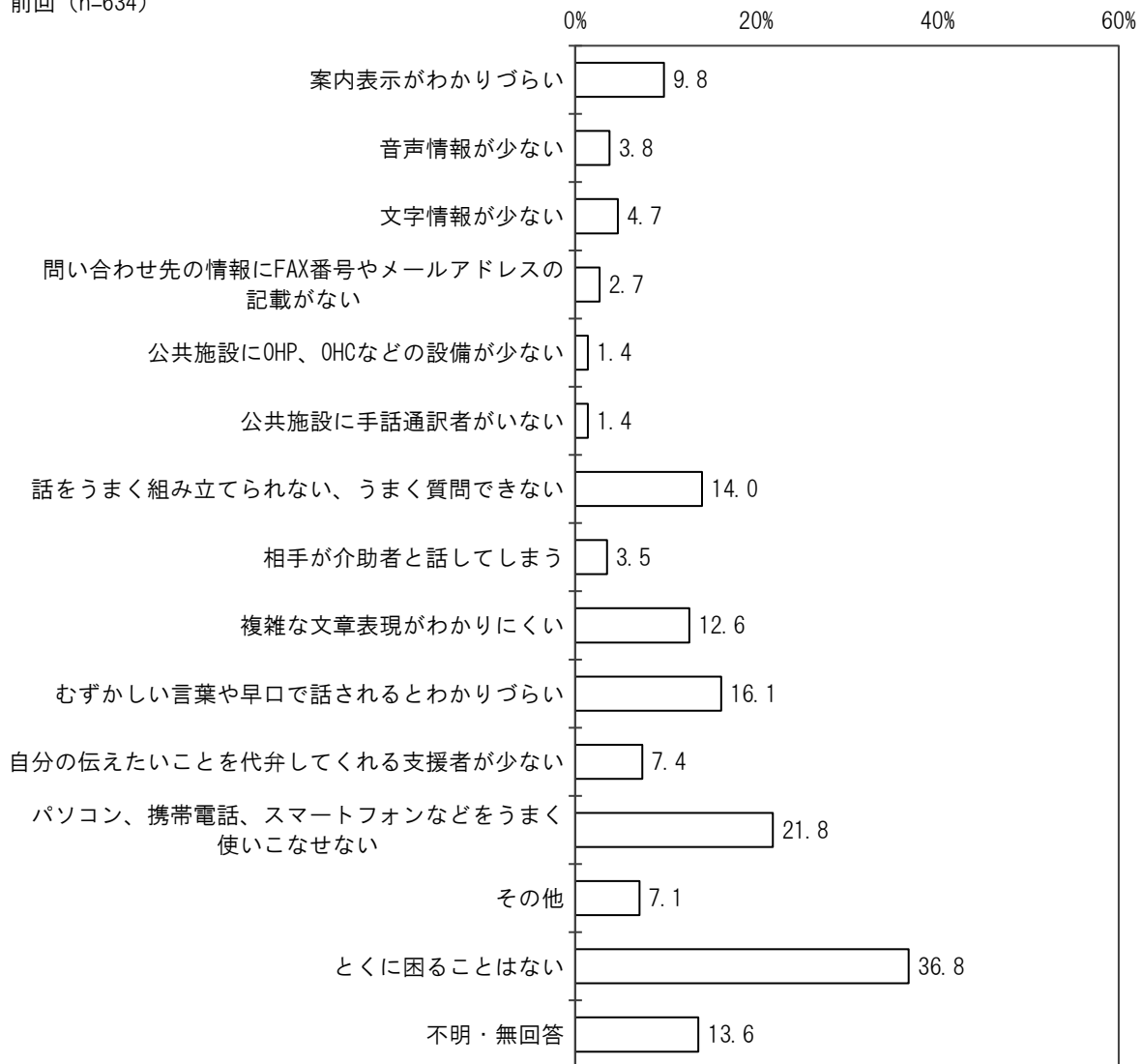
障がいの種類別では、【身体障がい】で「とくに困ることはない」、【知的障がい】【精神障がい】で「話をうまく組み立てられない、質問等をうまく伝えることができない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		えな話ま相話むな弁自そとと不明	
	n	るいをうさずいし分ののくに明	
		ること、くが介がれたいの困る・無	
		でき、質問手ががし言えたいことは回	
		ないまをみと話し早い援者少	
		まてくら	
		えれ	
全体	610	23.1	2.3
年齢	10～20歳代	65	41.5
	30歳代	46	32.6
	40歳代	95	37.9
	50歳代	144	25.0
	60歳代	163	10.4
	70歳以上	92	10.9
			0.0
障がいの種類	身体障がい	395	11.1
	知的障がい	100	48.0
	精神障がい	144	47.2

《参考》前回設問:コミュニケーションや情報取得をするうえで困ることはどのようなことですか。
(複数回答)

前回 (n=634)



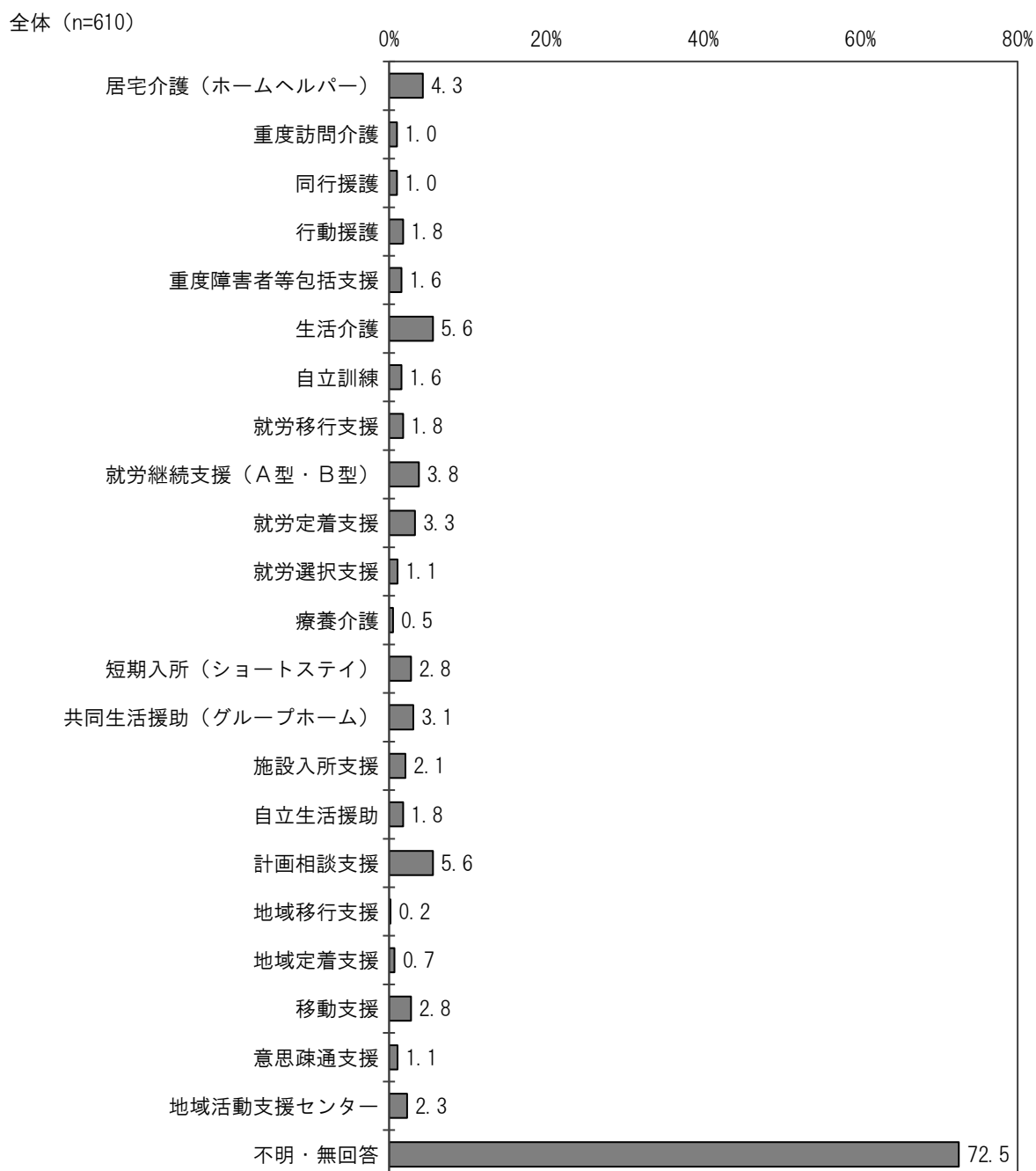
10 障がい福祉サービスについて

問28 下記の障がい福祉サービス等を利用していますか。(複数回答)

サービスの利用状況についてみると、全体では「生活介護」「計画相談支援」が5.6%と最も高く、次いで「居宅介護(ホームヘルパー)」が4.3%となっています。

年齢別でみると、【10～20歳代】で「計画相談支援」、【30歳代】【50歳代】で「生活介護」、【40歳代】で「就労継続支援(A型・B型)」、【60歳代】で「居宅介護(ホームヘルパー)」、【70歳以上】で「意思疎通支援」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

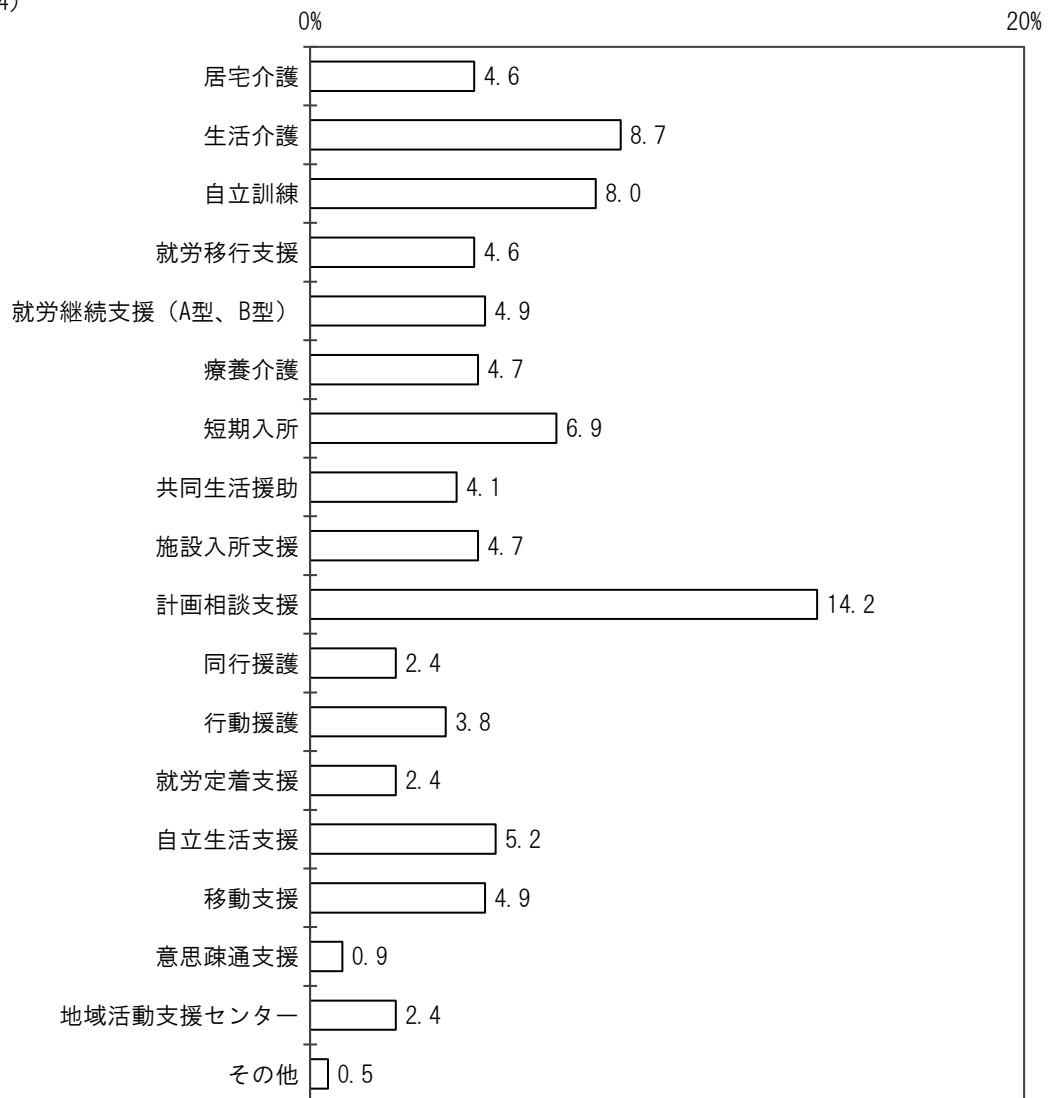
障がいの種類別では、【身体障がい】で「居宅介護(ホームヘルパー)」、【知的障がい】で「生活介護」、【精神障がい】で「就労定着支援」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



《参考》前回設問：あなたは、ここ1年くらいの間に、次のサービスを利用しましたか。また、今後、利用したいですか。

「利用の有無」で「ある」と回答した割合

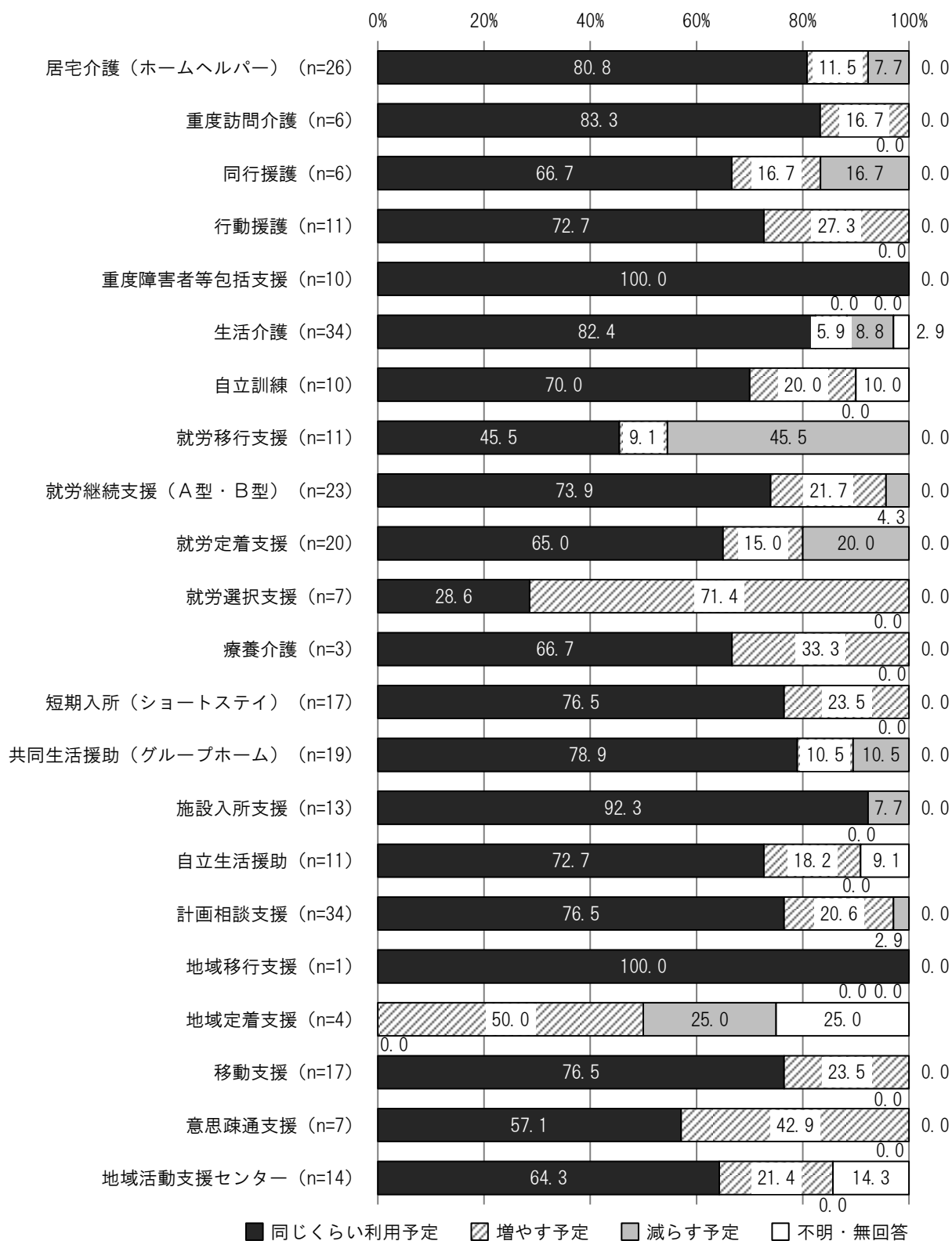
前回（n=634）



		n	居宅介護（ホームヘルパー）	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	生活介護	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	就労定着支援	就労選択支援	療養介護
全体		610	4.3	1.0	1.0	1.8	1.6	5.6	1.6	1.8	3.8	3.3	1.1	0.5
年齢	10～20歳代	65	3.1	1.5	0.0	9.2	0.0	10.8	1.5	9.2	9.2	7.7	0.0	0.0
	30歳代	46	4.3	2.2	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	0.0	2.2	6.5	0.0	0.0
	40歳代	95	6.3	1.1	2.1	1.1	5.3	7.4	2.1	1.1	10.5	6.3	3.2	0.0
	50歳代	144	4.9	0.7	0.7	2.1	1.4	5.6	0.7	2.1	3.5	3.5	2.1	0.7
	60歳代	163	4.9	1.2	1.2	0.6	1.2	1.8	2.5	0.6	0.6	0.6	0.0	1.2
	70歳以上	92	1.1	0.0	1.1	0.0	1.1	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
障がいの種類	身体障がい	395	4.3	1.3	1.5	0.5	2.3	3.3	2.0	0.3	2.3	1.5	1.0	0.8
	知的障がい	100	3.0	1.0	0.0	8.0	3.0	24.0	0.0	3.0	15.0	3.0	1.0	0.0
	精神障がい	144	6.9	1.4	0.0	1.4	0.7	2.8	1.4	4.9	3.5	9.0	2.1	0.0

		n	（短期入所）（シヨートステイ）	（グループホーム）共同生活援助	施設入所支援	自立生活援助	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	移動支援	意思疎通支援	地域活動支援センター	不明・無回答
全体		610	2.8	3.1	2.1	1.8	5.6	0.2	0.7	2.8	1.1	2.3	72.5
年齢	10～20歳代	65	10.8	6.2	1.5	0.0	15.4	0.0	1.5	3.1	0.0	3.1	56.9
	30歳代	46	4.3	0.0	4.3	4.3	8.7	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	71.7
	40歳代	95	3.2	7.4	7.4	3.2	9.5	1.1	1.1	7.4	0.0	3.2	52.6
	50歳代	144	2.1	4.2	0.7	2.1	4.9	0.0	0.7	2.8	2.1	1.4	70.8
	60歳代	163	0.6	0.6	1.2	1.2	2.5	0.0	0.6	1.8	0.6	2.5	83.4
	70歳以上	92	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	1.1	87.0
障がいの種類	身体障がい	395	1.8	1.3	1.3	0.8	3.3	0.0	0.3	2.5	1.8	1.5	79.7
	知的障がい	100	11.0	16.0	10.0	2.0	19.0	0.0	0.0	8.0	0.0	2.0	42.0
	精神障がい	144	2.8	1.4	0.0	4.9	6.3	0.7	2.1	1.4	0.0	4.2	64.6

■今後（３年以内）の利用予定（単数回答）

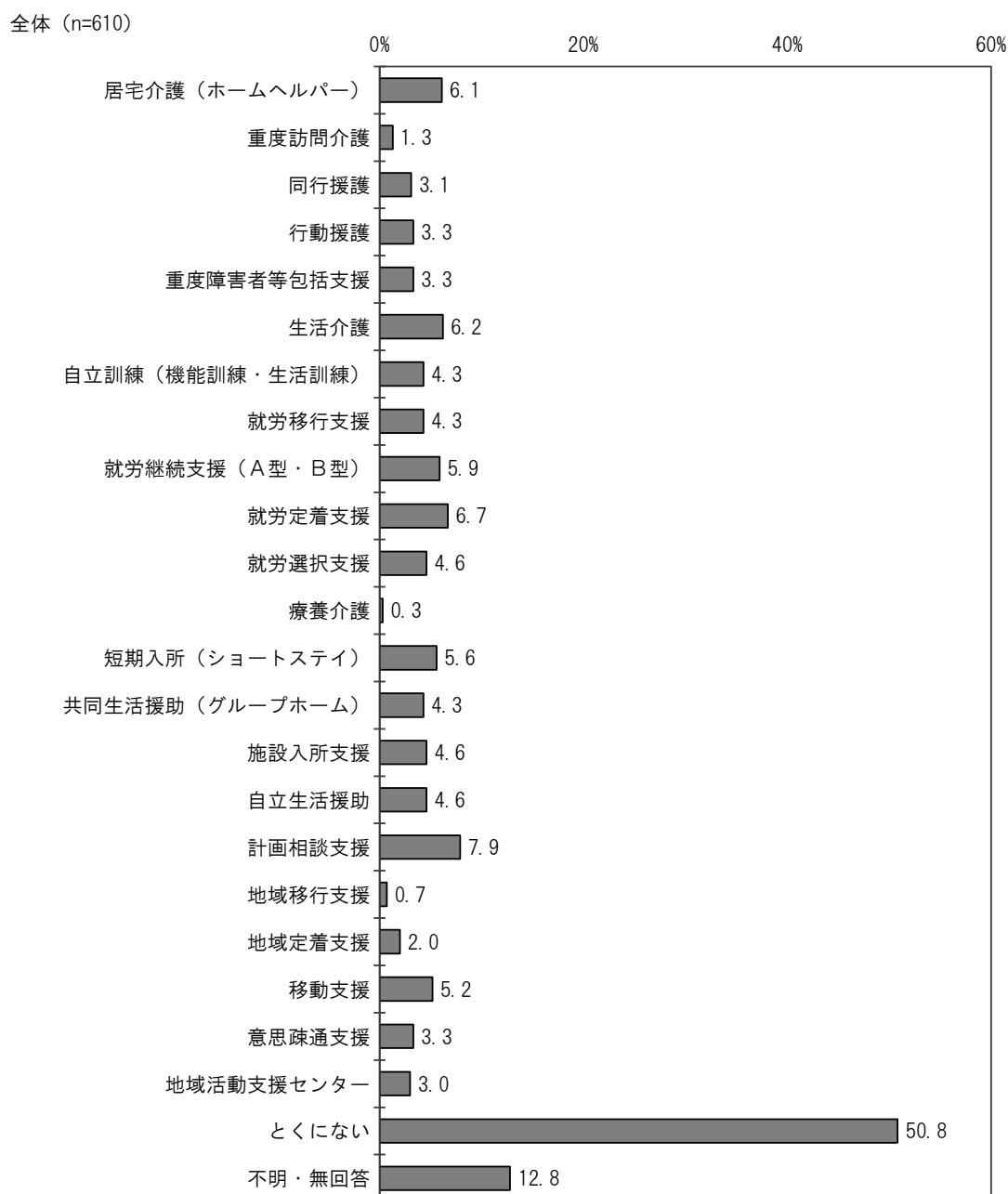


問29 現在の利用にかかわらず、今後（おおむね3年以内）に利用したい障がい福祉サービス等がありますか。（複数回答）

今後利用したい障がい福祉サービスについてみると、全体では「とくにない」が50.8%と最も高く、次いで「計画相談支援」が7.9%、「就労定着支援」が6.7%となっています。

年齢別でみると、いずれも「とくにない」の割合が最も高くなっていますが、「とくにない」を除くと、【10～20歳代】で「短期入所（ショートステイ）」「計画相談支援」、【30歳代】で「生活介護」「短期入所（ショートステイ）」「計画相談支援」、【40歳代】で「就労継続支援（A型・B型）」、【50歳代】で「就労定着支援」「計画相談支援」、【60歳代】で「居宅介護（ホームヘルパー）」、【70歳以上】で「意思疎通支援」が高くなっています。

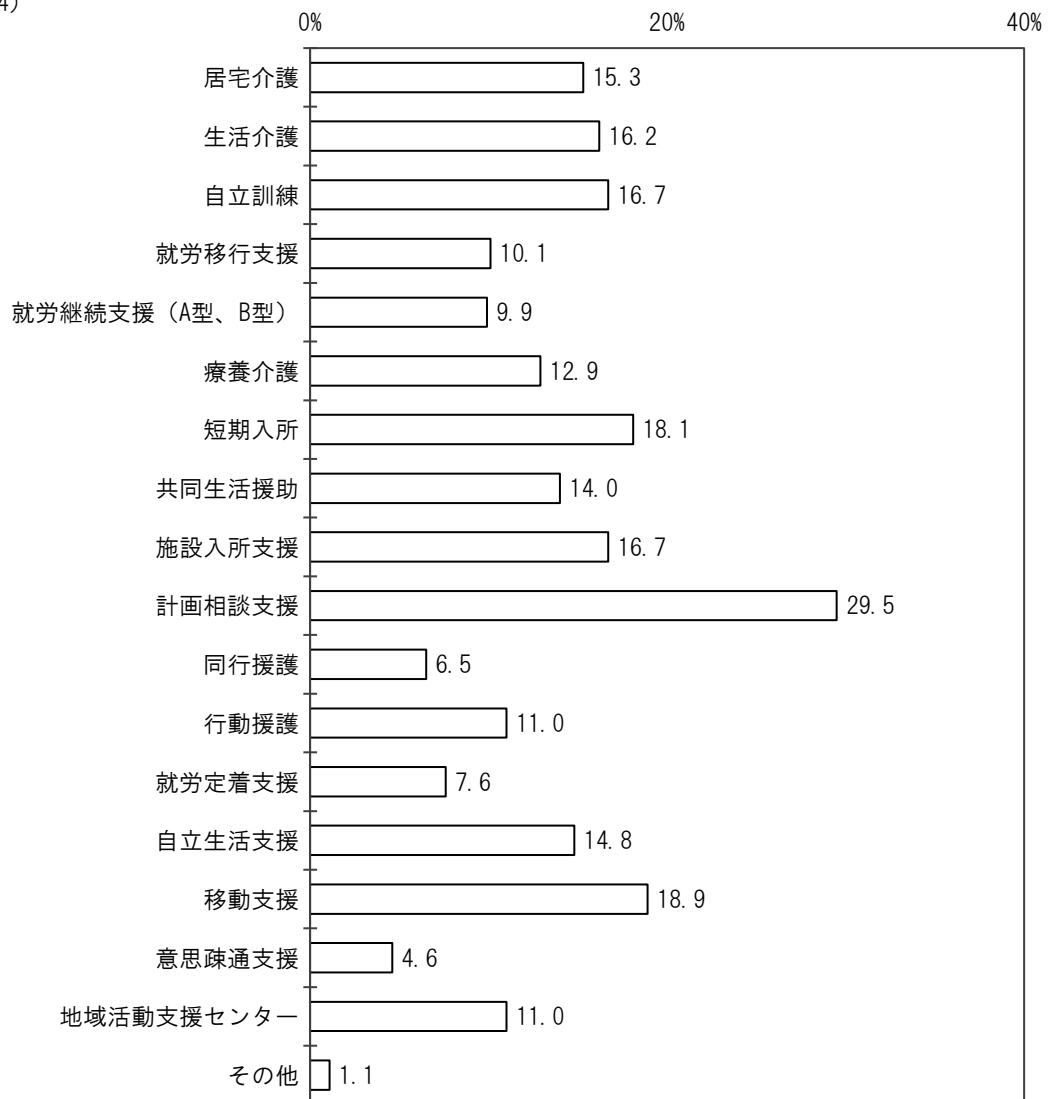
障がいの種類別では、いずれも「とくにない」の割合が最も高くなっていますが、「とくにない」を除くと、【身体障がい】で「居宅介護（ホームヘルパー）」「生活介護」、【知的障がい】で「生活介護」、【精神障がい】で「就労定着支援」が高くなっています。



《参考》前回設問：あなたは、ここ1年くらいの間に、次のサービスを利用しましたか。また、今後、利用したいですか。

「利用意向」で「ある」と回答した割合

前回（n=634）



		n	居宅介護 （ホームヘルパー）	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括 支援	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	就労定着支援	就労選択支援	療養介護
全体		610	6.1	1.3	3.1	3.3	3.3	6.2	4.3	4.3	5.9	6.7	4.6	0.3
年齢	10～20歳代	65	4.6	3.1	4.6	10.8	1.5	10.8	7.7	6.2	9.2	12.3	1.5	1.5
	30歳代	46	4.3	2.2	0.0	6.5	4.3	13.0	6.5	2.2	4.3	8.7	2.2	0.0
	40歳代	95	10.5	2.1	4.2	3.2	5.3	8.4	4.2	11.6	17.9	15.8	9.5	0.0
	50歳代	144	4.9	0.7	4.2	2.1	4.2	3.5	4.2	4.2	6.9	8.3	6.9	0.0
	60歳代	163	6.1	1.2	3.1	1.2	2.5	5.5	3.1	2.5	0.6	1.2	3.7	0.6
	70歳以上	92	4.3	0.0	1.1	2.2	2.2	3.3	2.2	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
障がいの種類	身体障がい	395	5.1	1.0	2.5	1.5	3.3	5.1	2.8	1.5	1.8	2.0	3.0	0.3
	知的障がい	100	5.0	4.0	4.0	12.0	8.0	21.0	8.0	2.0	15.0	7.0	2.0	1.0
	精神障がい	144	9.7	1.4	3.5	4.9	3.5	5.6	6.9	12.5	14.6	20.1	10.4	0.0

		n	ト短期入所（ショートステイ）	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	自立生活援助	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	移動支援	意思疎通支援	地域活動支援センター	とくにない	不明・無回答
全体		610	5.6	4.3	4.6	4.6	7.9	0.7	2.0	5.2	3.3	3.0	50.8	12.8
年齢	10～20歳代	65	15.4	6.2	4.6	7.7	15.4	3.1	4.6	3.1	6.2	4.6	43.1	6.2
	30歳代	46	13.0	4.3	6.5	8.7	13.0	0.0	0.0	6.5	2.2	0.0	56.5	10.9
	40歳代	95	5.3	9.5	10.5	4.2	12.6	1.1	2.1	11.6	2.1	6.3	29.5	10.5
	50歳代	144	2.8	4.2	3.5	4.9	8.3	0.0	2.8	4.2	4.2	2.1	50.7	14.6
	60歳代	163	4.3	1.2	1.8	3.1	4.9	0.6	1.8	3.7	1.2	2.5	61.3	13.5
	70歳以上	92	2.2	3.3	4.3	3.3	0.0	0.0	0.0	4.3	5.4	2.2	56.5	17.4
障がいの種類	身体障がい	395	4.1	2.0	2.8	1.8	3.5	0.0	1.0	4.6	2.8	1.3	58.0	14.4
	知的障がい	100	19.0	13.0	16.0	4.0	20.0	1.0	2.0	13.0	5.0	4.0	25.0	11.0
	精神障がい	144	6.3	6.9	3.5	13.2	16.0	2.1	4.2	4.9	4.2	6.3	39.6	9.7

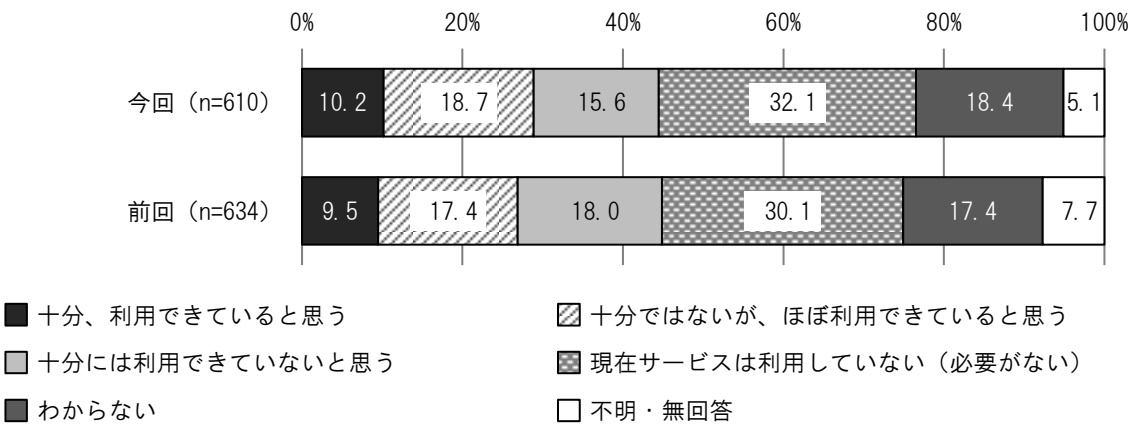
問30 あなたは現在、福祉サービスを十分に利用できていると思いますか。（単数回答）

福祉サービスを十分に利用できていると思うかについてみると、全体では「現在サービスは利用していない（必要がない）」が32.1%と最も高く、次いで「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が18.7%、「わからない」が18.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別でみると、【10～20歳代】【40歳代】で「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」、【30歳代】【50歳代】から【70歳以上】で「現在サービスは利用していない（必要がない）」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「現在サービスは利用していない（必要がない）」、【知的障がい】で「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」、【精神障がい】で「十分には利用できていないと思う」「現在サービスは利用していない（必要がない）」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



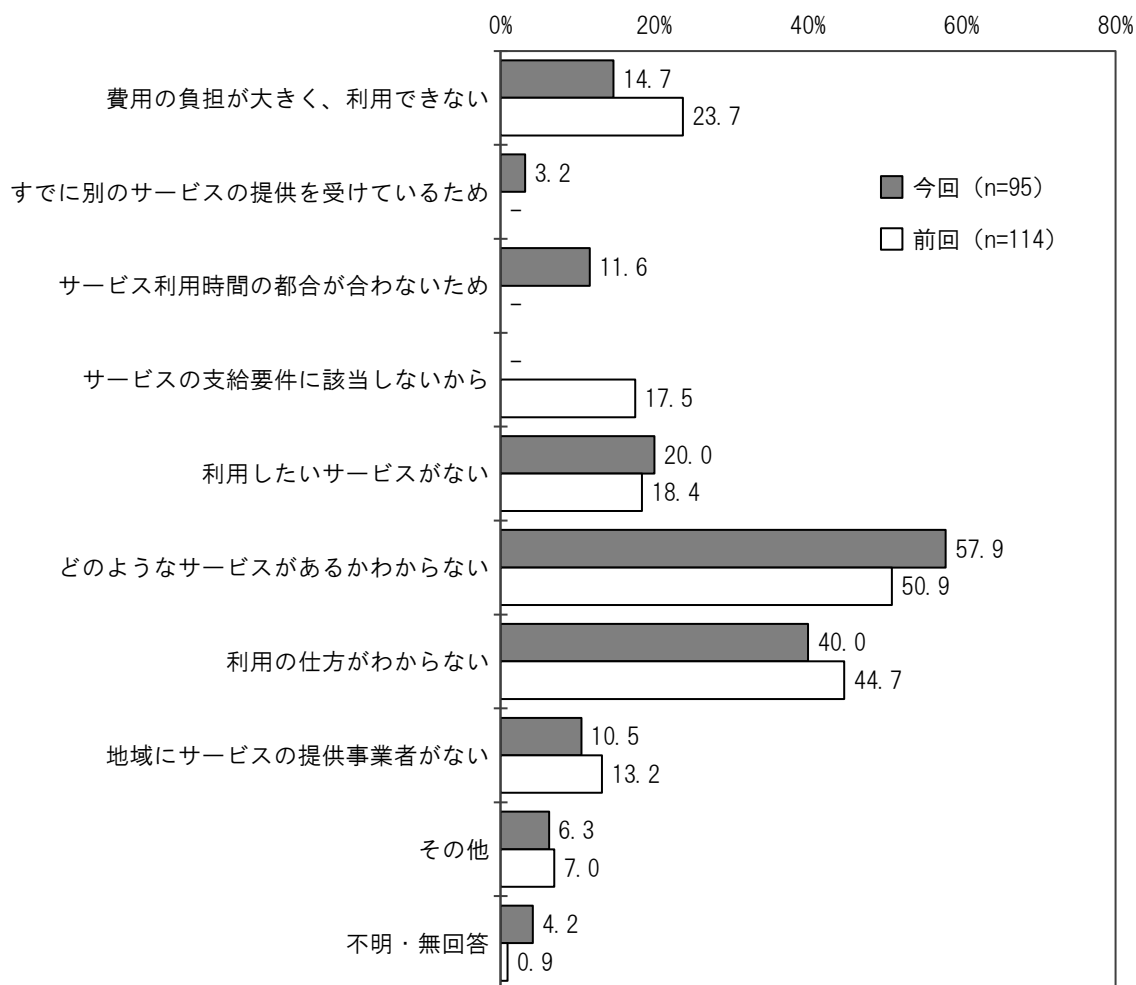
		n	十分、利用できていると思う	十分ではないが、ほぼ利用できていると思う	十分には利用できていないと思う	現在サービスは利用していない（必要がない）	わからない	不明・無回答
全体		610	10.2	18.7	15.6	32.1	18.4	5.1
年齢	10～20歳代	65	16.9	27.7	15.4	18.5	20.0	1.5
	30歳代	46	8.7	13.0	23.9	32.6	21.7	0.0
	40歳代	95	18.9	29.5	17.9	13.7	15.8	4.2
	50歳代	144	5.6	20.8	22.9	28.5	18.8	3.5
	60歳代	163	6.1	14.7	10.4	42.3	19.6	6.7
	70歳以上	92	12.0	7.6	7.6	47.8	14.1	10.9
障がいの種類	身体障がい	395	8.6	14.7	13.2	38.5	18.5	6.6
	知的障がい	100	16.0	36.0	18.0	8.0	18.0	4.0
	精神障がい	144	11.8	22.2	24.3	24.3	16.0	1.4

【問 30 で「十分には利用できていないと思う」と回答した方】

問30－ 1 利用できていないと思う理由は何ですか。（複数回答）

十分に利用できていないと思う理由についてみると、全体では「どのようなサービスがあるかわからない」が57.9%と最も高く、次いで「利用の仕方がわからない」が40.0%、「利用したいサービスがない」が20.0%となっています。

前回調査と比較すると、「どのようなサービスがあるかわからない」で増加傾向、「費用の負担が大きく、利用できない」で減少傾向がみられます。



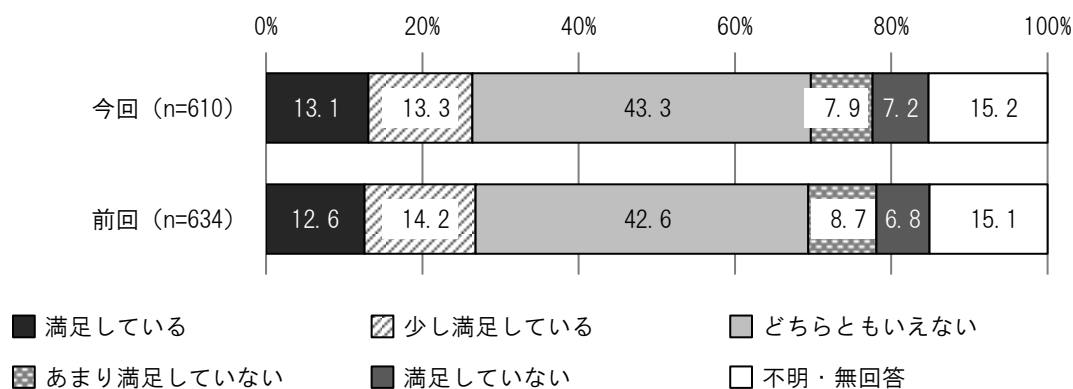
問31 障がい福祉サービス全般について、満足していますか。(単数回答)

市の障がい福祉サービス全般についての満足度についてみると、全体では「どちらともいえない」が43.3%と最も高く、次いで「少し満足している」が13.3%、「満足している」が13.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別でみると、いずれも「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。



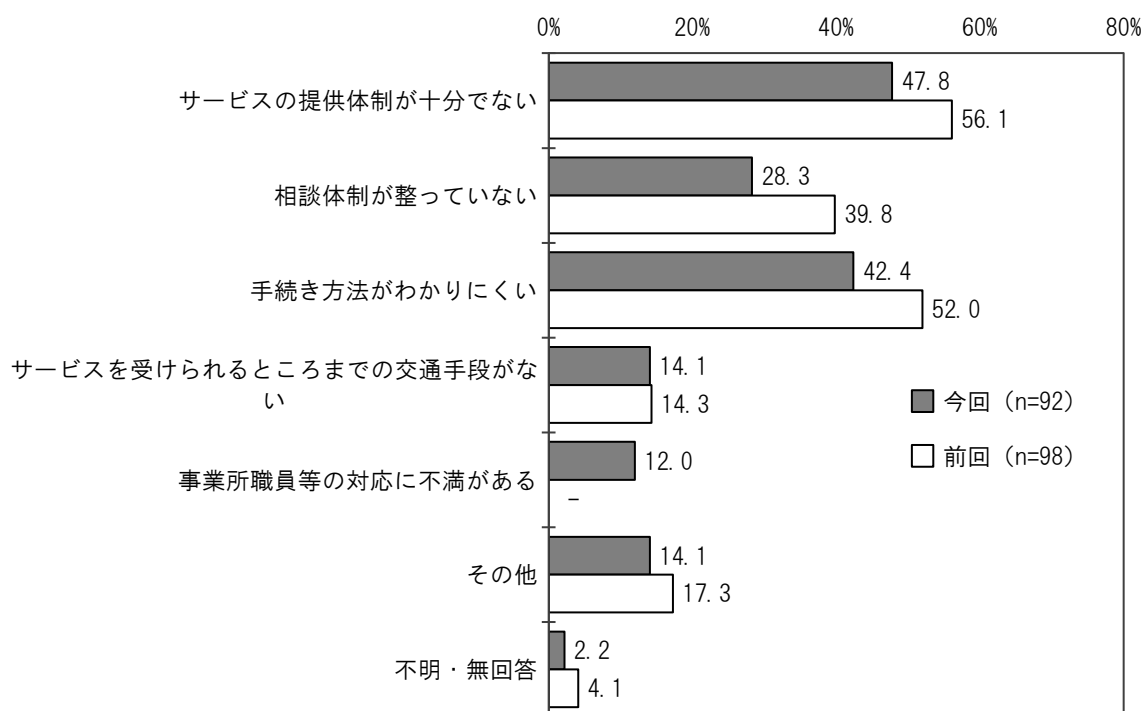
		n	満足している	少し満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	不明・無回答
全体		610	13.1	13.3	43.3	7.9	7.2	15.2
年齢	10～20歳代	65	27.7	12.3	35.4	4.6	10.8	9.2
	30歳代	46	6.5	19.6	41.3	8.7	10.9	13.0
	40歳代	95	15.8	25.3	37.9	8.4	6.3	6.3
	50歳代	144	11.8	11.8	44.4	13.9	7.6	10.4
	60歳代	163	8.6	10.4	47.9	7.4	8.0	17.8
	70歳以上	92	13.0	6.5	44.6	1.1	1.1	33.7
障がいの種類	身体障がい	395	10.9	10.9	46.3	7.6	5.1	19.2
	知的障がい	100	22.0	20.0	30.0	5.0	10.0	13.0
	精神障がい	144	13.2	17.4	42.4	11.8	11.8	3.5

【問 31 で「あまり満足していない」または「満足していない」と回答した方】

問31－ 1 満足していない理由は何ですか。（複数回答）

満足していない理由についてみると、全体では「サービスの提供体制が十分でない」が47.8%と最も高く、次いで「手続き方法がわかりにくい」が42.4%、「相談体制が整っていない」が28.3%となっています。

前回調査と比較すると、「サービスの提供体制が十分でない」「相談体制が整っていない」「手続き方法がわかりにくい」で減少傾向がみられます。



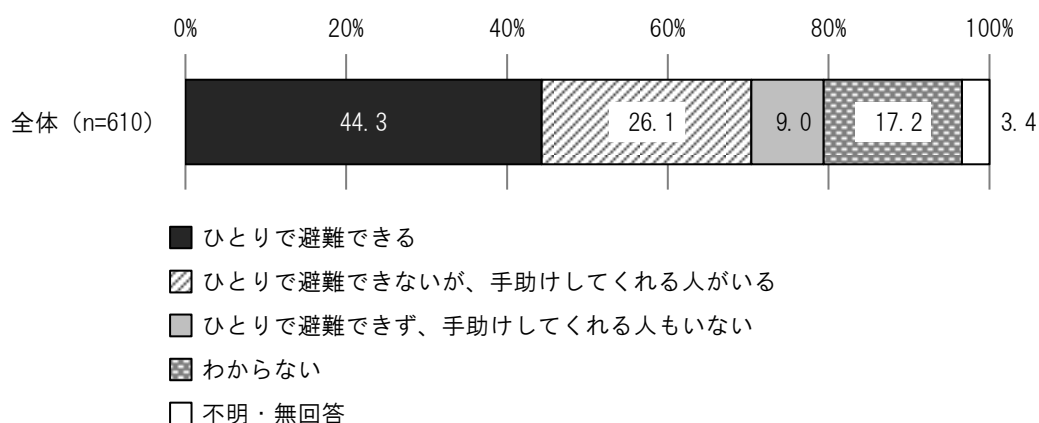
11 災害対策について

問32 あなたは、地震や台風などの災害時に、ひとりで避難できると思いますか。また、手助けしてくれる人はいますか。（単数回答）

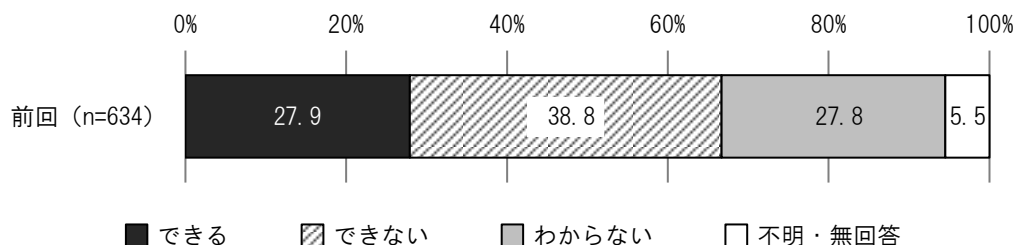
災害時に、ひとりで避難できると思うかについてみると、全体では「ひとりで避難できる」が44.3%と最も高く、次いで「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」が26.1%、「わからない」が17.2%となっています。

年齢別でみると、いずれも「ひとりで避難できる」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【精神障がい】で「ひとりで避難できる」、【知的障がい】で「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



《参考》前回設問：あなたは、地震や台風などの災害時に、ひとりで避難できると思いますか。（単数回答）



		ひとりで避難できる	手助けして避難できない人がいる	ひとりで避難できないが、手助け	わからない	不明・無回答
	n					
全体	610	44.3	26.1	9.0	17.2	3.4
年齢	10～20歳代	65	40.0	36.9	9.2	13.8
	30歳代	46	37.0	30.4	8.7	23.9
	40歳代	95	40.0	27.4	9.5	18.9
	50歳代	144	41.0	21.5	11.1	22.2
	60歳代	163	54.0	20.2	8.0	14.1
	70歳以上	92	43.5	32.6	6.5	12.0
障がいの種類	身体障がい	395	47.3	24.6	8.4	15.7
	知的障がい	100	16.0	51.0	11.0	20.0
	精神障がい	144	47.2	18.8	9.7	22.2

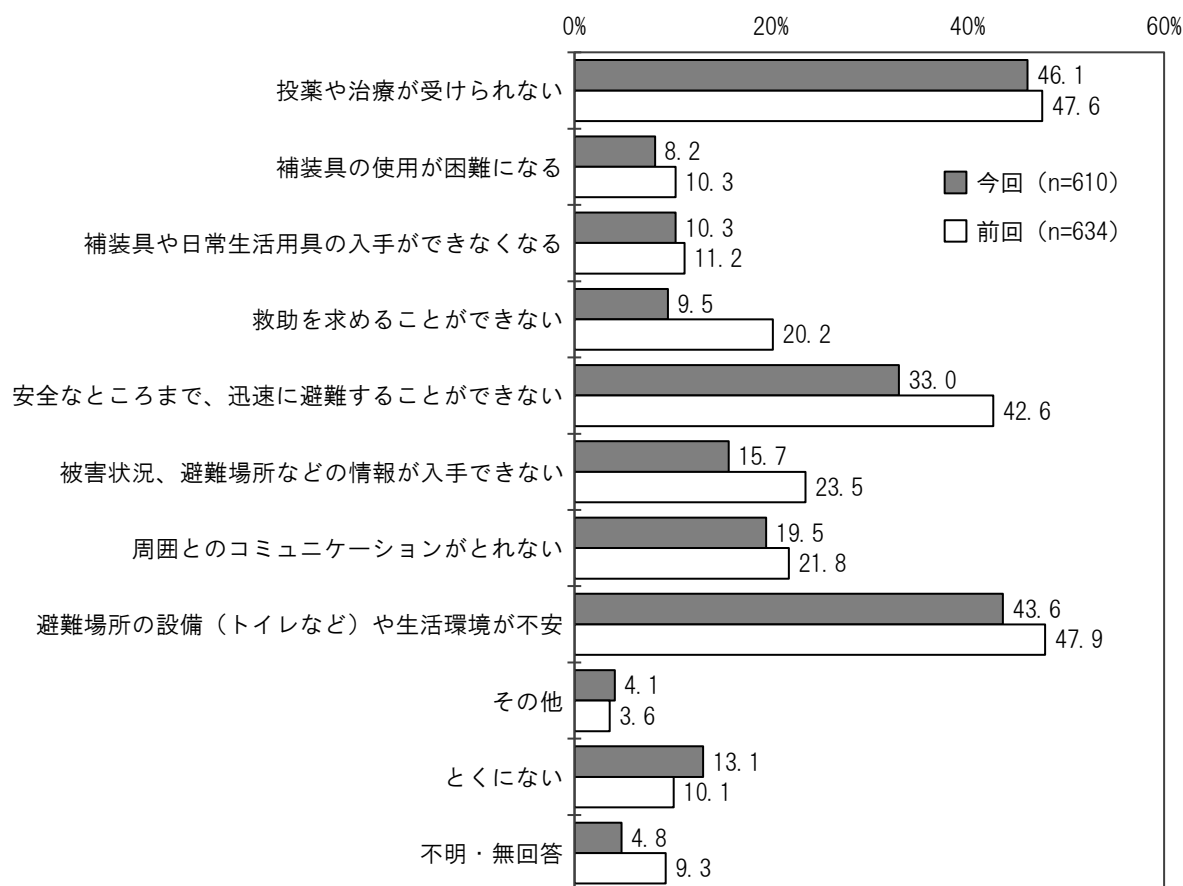
問33 地震や台風などの災害時に困ると思うことは何ですか。（複数回答）

災害時に困ると思うことについてみると、全体では「投薬や治療が受けられない」が46.1%と最も高く、次いで「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が43.6%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が33.0%となっています。

前回調査と比較すると、「救助を求めることができない」「安全なところまで、迅速に避難することができない」「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】で「安全なところまで、迅速に避難することができない」「周囲とのコミュニケーションがとれない」「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」、【40歳代】で「投薬や治療が受けられない」「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」、【60歳代】で「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」、【30歳代】【50歳代】【70歳以上】で「投薬や治療が受けられない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【精神障がい】で「投薬や治療が受けられない」、【知的障がい】で「周囲とのコミュニケーションがとれない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。【知的障がい】で「救助を求めることができない」が他の障がいの種類に比べて高くなっています。



		n	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手がでなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とのコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安	その他	とくにない	不明・無回答
全体		610	46.1	8.2	10.3	9.5	33.0	15.7	19.5	43.6	4.1	13.1	4.8
年齢	10～20歳代	65	32.3	1.5	6.2	16.9	44.6	21.5	44.6	44.6	7.7	18.5	1.5
	30歳代	46	47.8	4.3	6.5	13.0	30.4	13.0	34.8	41.3	10.9	13.0	0.0
	40歳代	95	46.3	5.3	11.6	14.7	34.7	17.9	26.3	46.3	5.3	11.6	5.3
	50歳代	144	52.8	8.3	7.6	6.3	29.2	16.0	13.2	39.6	3.5	8.3	4.9
	60歳代	163	44.8	12.3	12.9	6.7	35.0	14.1	11.7	47.9	1.8	14.7	4.9
	70歳以上	92	46.7	10.9	14.1	7.6	27.2	13.0	12.0	40.2	2.2	15.2	8.7
障がいの種類	身体障がい	395	43.8	11.6	13.4	7.6	34.7	11.6	11.1	43.0	2.5	13.7	5.8
	知的障がい	100	33.0	3.0	8.0	24.0	40.0	25.0	51.0	41.0	6.0	14.0	3.0
	精神障がい	144	63.2	2.1	5.6	9.7	25.7	21.5	28.5	47.9	7.6	9.0	2.1

12 権利擁護などについて

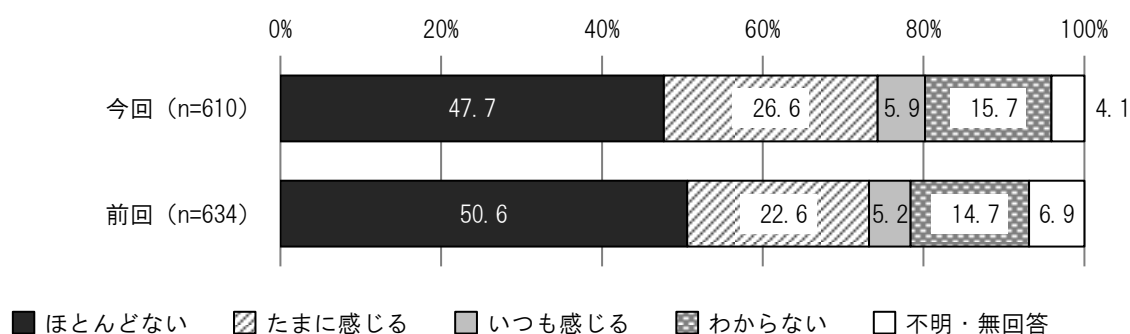
問34 障がいがあることで、差別や人権侵害を受けていると感じることはありますか。(単数回答)

障がいがあることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがあるかについてみると、全体では「ほとんどない」が47.7%と最も高く、次いで「たまに感じる」が26.6%、「わからない」が15.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別でみると、【30歳代】【40歳代】で「たまに感じる」、【10～20歳代】【50歳代】から【70歳以上】で「ほとんどない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「ほとんどない」、【知的障がい】【精神障がい】で「たまに感じる」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	ほとんどない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	不明・無回答
全体		610	47.7	26.6	5.9	15.7	4.1
年齢	10～20歳代	65	41.5	29.2	6.2	16.9	6.2
	30歳代	46	32.6	37.0	6.5	21.7	2.2
	40歳代	95	29.5	35.8	6.3	22.1	6.3
	50歳代	144	40.3	29.9	9.7	17.4	2.8
	60歳代	163	60.7	23.9	2.5	9.8	3.1
	70歳以上	92	66.3	9.8	4.3	14.1	5.4
障がいの種類	身体障がい	395	58.0	21.8	3.8	12.9	3.5
	知的障がい	100	21.0	33.0	8.0	30.0	8.0
	精神障がい	144	31.3	36.1	12.5	17.4	2.8

【問34で「たまに感じる」または「いつも感じる」と回答した方】

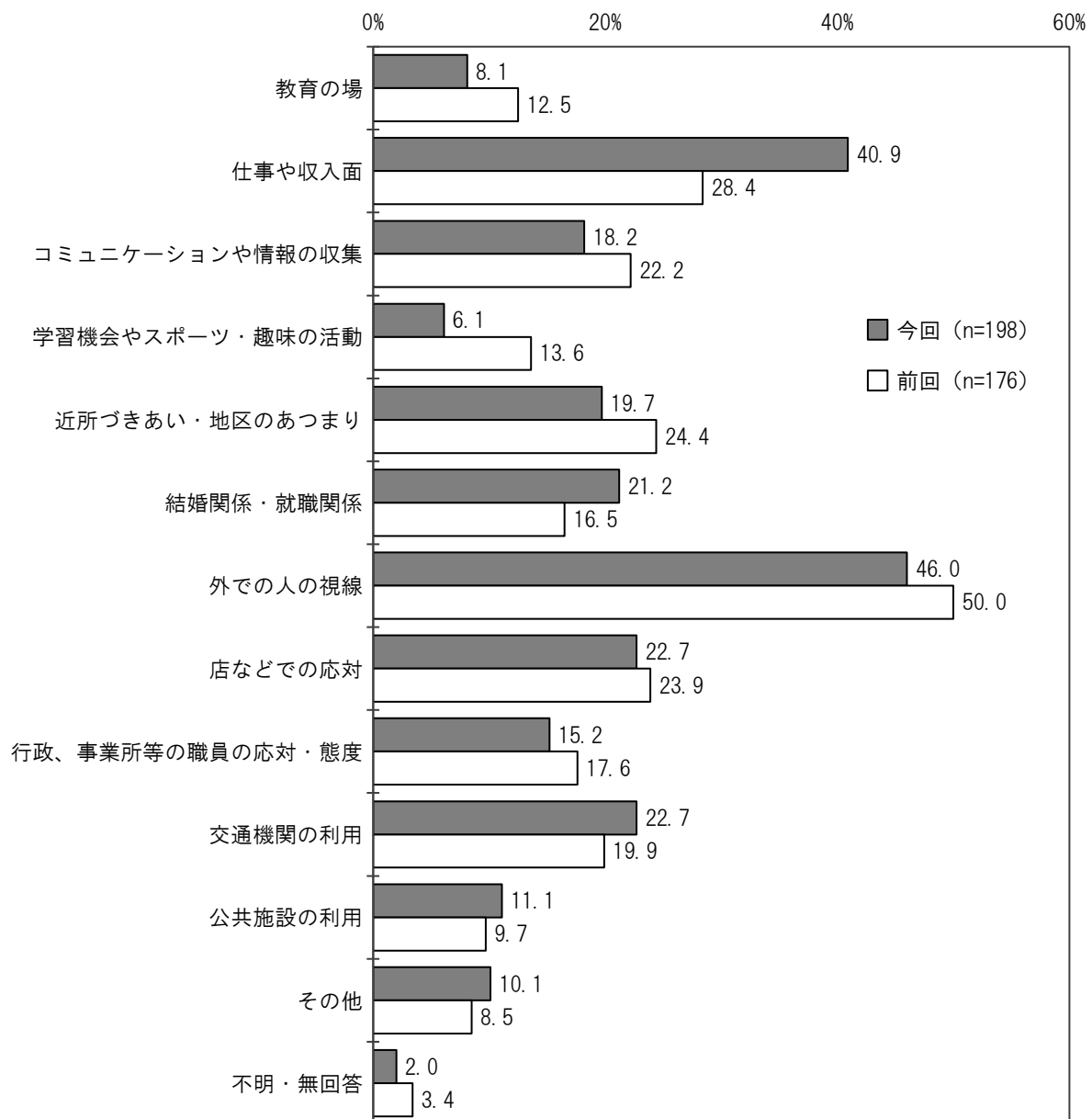
問34-1 どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。(複数回答)

どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じるかについてみると、全体では「外での人の視線」が46.0%と最も高く、次いで「仕事や収入面」が40.9%、「店などでの応対」「交通機関の利用」が22.7%となっています。

前回調査と比較すると、「仕事や収入面」で増加傾向、「学習機会やスポーツ・趣味の活動」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【60歳代】【70歳以上】で「外での人の視線」、【30歳代】で「仕事や収入面」「外での人の視線」、【40歳代】【50歳代】で「仕事や収入面」の割合がそれぞれ最も高くなっています。【10～20歳代】で「教育の場」が他の年齢に比べて高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】で「外での人の視線」、【精神障がい】で「仕事や収入面」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



			教育の場	仕事や収入面	コミュニケーションや情報の収集	コンピュータ・趣味の活動	学習機会やスポーツ・あそび	近所づきあいや地域の活動	結婚関係・就職関係	外での人の視線	店などでの対応	行政、事業所等の職員の対応・態度	交通機関の利用	公共施設の利用	その他	不明・無回答
		n														
全体		198	8.1	40.9	18.2	6.1	19.7	21.2	46.0	22.7	15.2	22.7	11.1	10.1	2.0	
年齢	10～20歳代	23	26.1	52.2	30.4	17.4	26.1	26.1	69.6	34.8	8.7	30.4	17.4	8.7	0.0	
	30歳代	20	5.0	45.0	15.0	0.0	15.0	35.0	45.0	15.0	15.0	20.0	5.0	20.0	5.0	
	40歳代	40	10.0	45.0	22.5	5.0	22.5	27.5	42.5	22.5	25.0	30.0	12.5	2.5	2.5	
	50歳代	57	5.3	47.4	19.3	7.0	17.5	24.6	42.1	26.3	12.3	17.5	12.3	7.0	0.0	
	60歳代	43	2.3	27.9	11.6	4.7	18.6	7.0	41.9	23.3	16.3	23.3	9.3	16.3	0.0	
	70歳以上	13	7.7	23.1	7.7	0.0	23.1	7.7	46.2	0.0	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	
障がいの種類	身体障がい	101	5.0	36.6	10.9	2.0	14.9	14.9	44.6	25.7	13.9	21.8	6.9	8.9	1.0	
	知的障がい	41	7.3	24.4	17.1	7.3	19.5	9.8	68.3	22.0	14.6	22.0	14.6	7.3	4.9	
	精神障がい	70	11.4	57.1	27.1	10.0	25.7	35.7	41.4	18.6	18.6	22.9	14.3	15.7	0.0	

問35 以下の法律や制度を知っていますか。

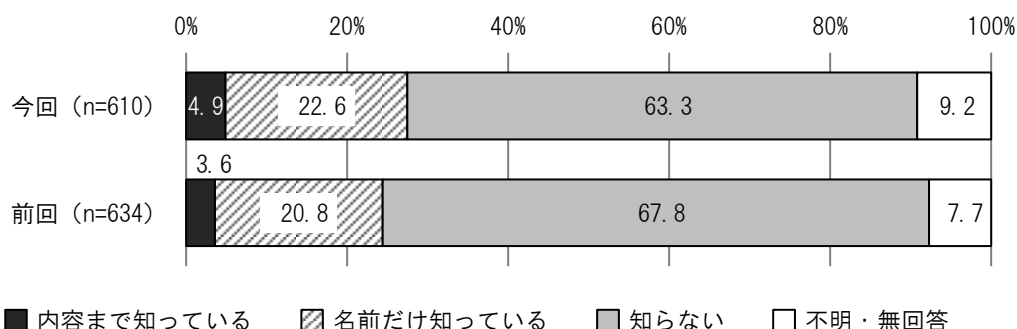
問35 ①障害者差別解消法（単数回答）

全体では「知らない」が63.3%と最も高く、次いで「名前だけ知っている」が22.6%、「内容まで知っている」が4.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別でみると、いずれも「知らない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「知らない」の割合が最も高くなっています。



		n	内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	不明・無回答
全体		610	4.9	22.6	63.3	9.2
年齢	10～20歳代	65	6.2	26.2	61.5	6.2
	30歳代	46	10.9	30.4	54.3	4.3
	40歳代	95	5.3	25.3	61.1	8.4
	50歳代	144	5.6	22.2	61.8	10.4
	60歳代	163	3.7	19.0	70.6	6.7
	70歳以上	92	2.2	19.6	60.9	17.4
障がいの種類	身体障がい	395	4.8	23.5	63.3	8.4
	知的障がい	100	5.0	21.0	60.0	14.0
	精神障がい	144	5.6	21.5	66.0	6.9

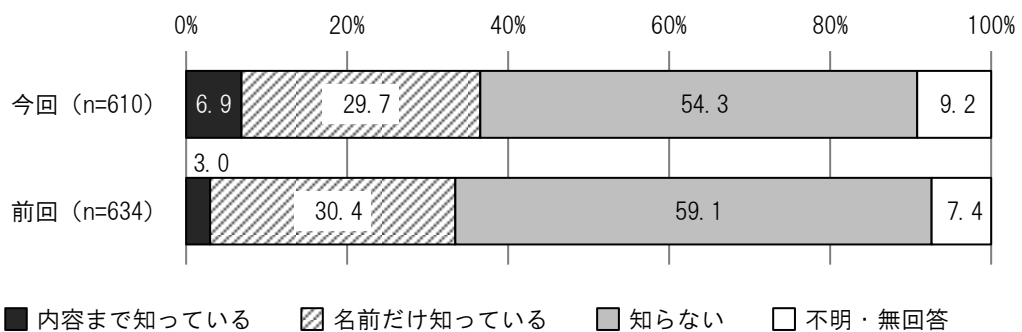
問35 ②障害者虐待防止法（単数回答）

全体では「知らない」が54.3%と最も高く、次いで「名前だけ知っている」が29.7%、「内容まで知っている」が6.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別でみると、いずれも「知らない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「知らない」の割合が最も高くなっています。



		n	内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	不明・無回答
全体		610	6.9	29.7	54.3	9.2
年齢	10～20歳代	65	12.3	29.2	52.3	6.2
	30歳代	46	10.9	39.1	45.7	4.3
	40歳代	95	5.3	34.7	50.5	9.5
	50歳代	144	7.6	25.7	57.6	9.0
	60歳代	163	5.5	29.4	58.3	6.7
	70歳以上	92	4.3	26.1	51.1	18.5
障がいの種類	身体障がい	395	5.6	31.9	53.7	8.9
	知的障がい	100	9.0	27.0	50.0	14.0
	精神障がい	144	8.3	27.1	58.3	6.3

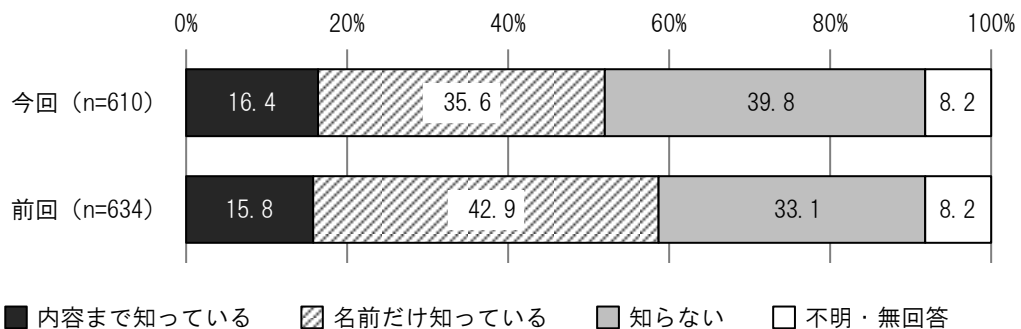
問35 ③成年後見制度（単数回答）

全体では「知らない」が39.8%と最も高く、次いで「名前だけ知っている」が35.6%、「内容まで知っている」が16.4%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」で増加傾向、「名前だけ知っている」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【40歳代】【70歳以上】で「知らない」、【30歳代】【50歳代】【60歳代】で「名前だけ知っている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「知らない」の割合が最も高くなっています。



		n	内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	不明・無回答
全体		610	16.4	35.6	39.8	8.2
年齢	10～20歳代	65	12.3	29.2	52.3	6.2
	30歳代	46	23.9	37.0	34.8	4.3
	40歳代	95	13.7	34.7	43.2	8.4
	50歳代	144	15.3	40.3	38.2	6.3
	60歳代	163	16.0	40.5	36.8	6.7
	70歳以上	92	20.7	25.0	37.0	17.4
障がいの種類	身体障がい	395	17.0	36.2	38.5	8.4
	知的障がい	100	11.0	31.0	47.0	11.0
	精神障がい	144	15.3	37.5	41.7	5.6

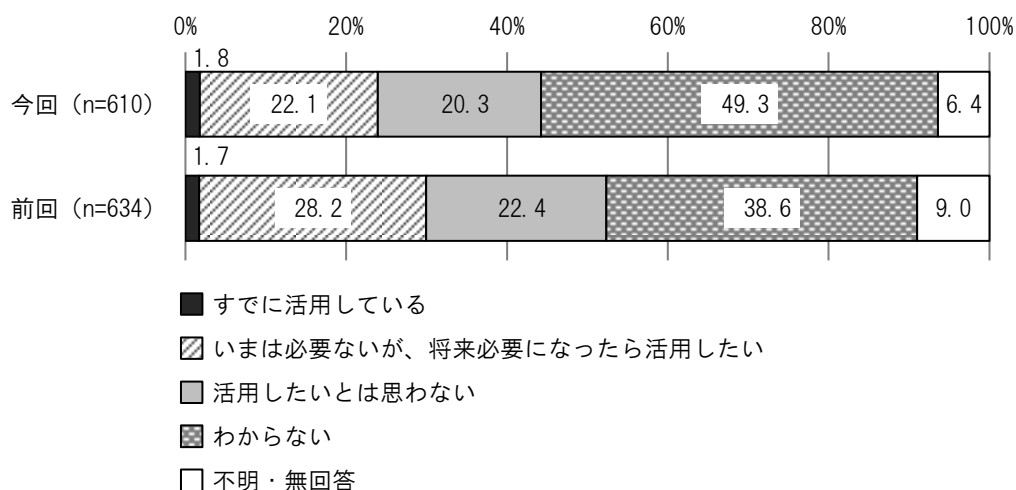
問36 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(単数回答)

成年後見制度の活用意向についてみると、全体では「わからない」が49.3%と最も高く、次いで「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」が22.1%、「活用したいとは思わない」が20.3%となっています。

前回調査と比較すると、「わからない」で増加傾向、「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「わからない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「わからない」の割合が最も高くなっています。



		n	すでに活用している	いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい	活用したいとは思わない	わからない	不明・無回答
全体		610	1.8	22.1	20.3	49.3	6.4
年齢	10～20歳代	65	1.5	26.2	13.8	52.3	6.2
	30歳代	46	2.2	21.7	23.9	50.0	2.2
	40歳代	95	2.1	25.3	22.1	44.2	6.3
	50歳代	144	4.2	20.8	17.4	52.8	4.9
	60歳代	163	0.6	17.2	27.0	50.3	4.9
	70歳以上	92	0.0	25.0	13.0	47.8	14.1
障がいの種類	身体障がい	395	0.8	19.2	20.5	52.9	6.6
	知的障がい	100	8.0	28.0	13.0	42.0	9.0
	精神障がい	144	1.4	26.4	20.8	46.5	4.9

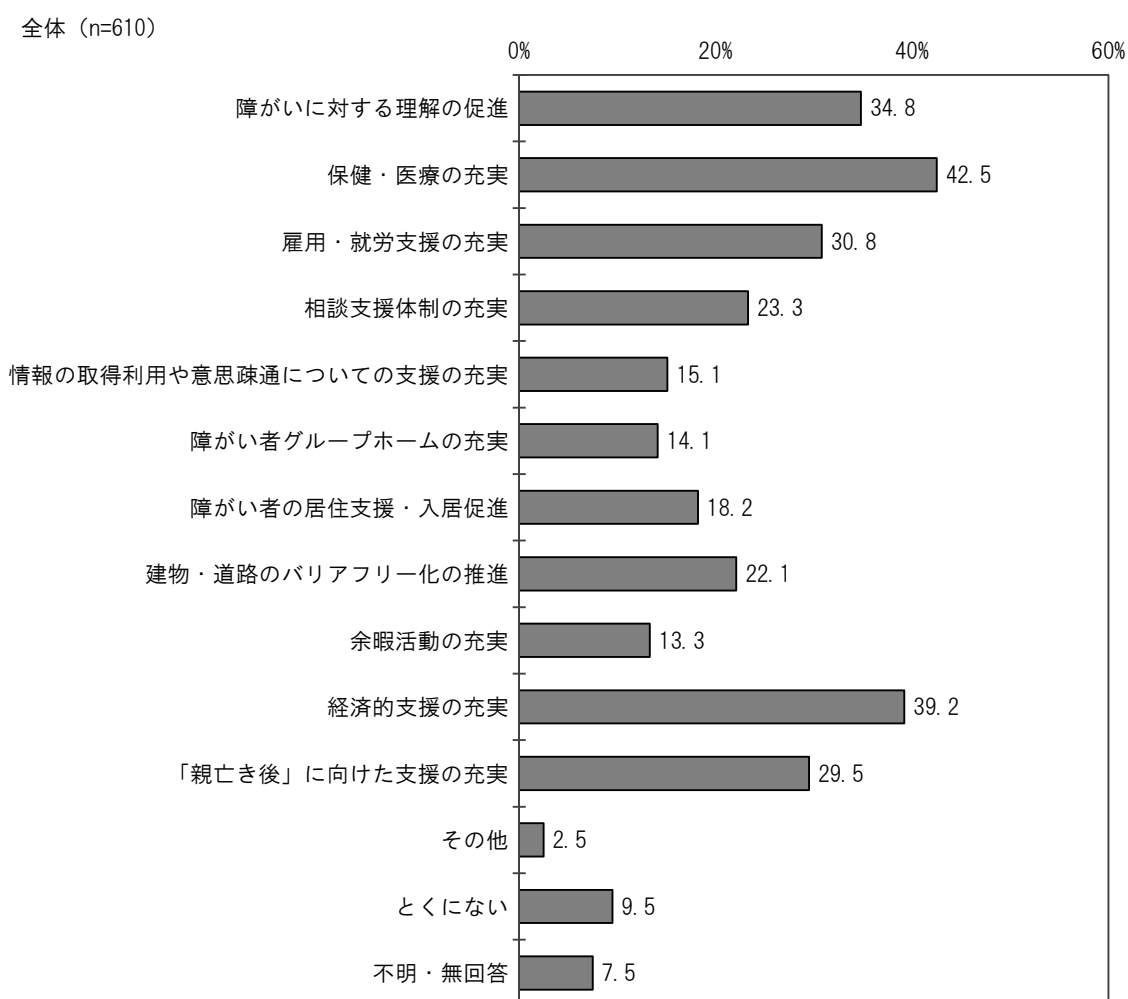
13 市の施策について

問37 あなたは、障がい者施策で、どのような面に力を入れてほしいと思いますか。（複数回答）

障がい者施策で力を入れてほしいことについてみると、全体では「保健・医療の充実」が42.5%と最も高く、次いで「経済的支援の充実」が39.2%、「障がいに対する理解の促進」が34.8%となっています。

年齢別でみると、【10～20歳代】【30歳代】で「『親亡き後』に向けた支援の充実」、【40歳代】で「障がいに対する理解の促進」、【50歳代】で「経済的支援の充実」、【60歳代】【70歳以上】で「保健・医療の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「保健・医療の充実」、【知的障がい】で「『親亡き後』に向けた支援の充実」、【精神障がい】で「経済的支援の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。【知的障がい】で「障がい者グループホームの充実」、【精神障がい】で「障がいに対する理解の促進」「雇用・就労支援の充実」が他の障がいの種類に比べて高くなっています。



		障がいに対する理解の促進	保健・医療の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	情報の取得利用や意思疎通についての支援の充実	障がい者グループホームの充実	障がい者の居住支援・入居促進	建物・道路のバリアフリー化の推進	余暇活動の充実	経済的支援の充実	「親亡き後」に向けた支援の充実	その他	とくにない	不明・無回答	
全体	n	610	34.8	42.5	30.8	23.3	15.1	14.1	18.2	22.1	13.3	39.2	29.5	2.5	9.5	7.5
年齢	10～20歳代	65	46.2	38.5	44.6	36.9	26.2	33.8	21.5	18.5	20.0	46.2	58.5	4.6	6.2	6.2
	30歳代	46	34.8	43.5	41.3	30.4	8.7	17.4	17.4	19.6	23.9	50.0	58.7	2.2	8.7	4.3
	40歳代	95	50.5	30.5	38.9	32.6	13.7	16.8	22.1	16.8	16.8	43.2	46.3	1.1	5.3	10.5
	50歳代	144	34.0	38.9	37.5	20.8	14.6	12.5	22.2	16.7	7.6	41.7	33.3	6.3	6.9	4.9
	60歳代	163	30.1	51.5	23.9	20.9	16.0	9.8	16.0	30.7	15.3	36.8	9.2	0.0	14.1	5.5
	70歳以上	92	21.7	48.9	9.8	9.8	12.0	6.5	10.9	23.9	5.4	26.1	8.7	1.1	12.0	15.2
障がいの種類	身体障がい	395	28.9	44.8	25.1	16.7	12.9	8.6	14.4	26.8	10.4	35.2	17.5	1.5	11.6	8.4
	知的障がい	100	37.0	31.0	25.0	33.0	20.0	36.0	23.0	12.0	17.0	34.0	69.0	4.0	7.0	10.0
	精神障がい	144	52.1	43.8	51.4	38.2	19.4	18.1	25.7	13.9	19.4	55.6	43.1	4.9	4.2	3.5

問38 そのほか、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。（記述回答）

77名の方からご意見が寄せられました。主なご意見は下記のとおりです。

分類項目	主な意見内容
障がい福祉サービス、施設について	・精神障がい1級と重く、行動援護や重度障がい者等の包括支援等を利用したいです。また、障がい者グループホームも障がいが軽い方だけでなく、重度の人も対象にしてくれるようなところを是非近くに作って欲しいです。 ・北本市の独自の福祉サービスを増やして欲しいです。例えばですが、近隣の市町村に住んでいる人の話を聞くと移動手段の補助として福祉タクシーの利用券や自動車燃料補助券（ガソリン代の補助）等を毎月配布しているところがあるそうです。高齢者や障がい者に優しい住みやすい北本市になってもらいたいです。 ・障がい福祉は家族など面倒を見る人がいることを前提にしていると感じられ、障がい者がひとりで生きていくのは難しい。
行政について	・障がい福祉課の職員の方々にはいつも丁寧であたたかい受付をしていただきありがとうございます。今後も明るい窓口を続けて下さい。 ・駐車場でバリアフリーの場所を利用したいけれど、精神障がいの場合は利用できない。また、障がい者手帳のサイズが大きいため財布に入らず困る。 ・担当者の変更に伴い、引き継ぎが不十分と感じている。できる限り、改善してほしい。 ・すでに始めている自治体もあるようだが、「高齢者等終身支援サービス」に北本市も早く取りかかって欲しい。一番現実的で待ち望んでいる事はこの問題。
情報提供について	・週5日のフルタイムで働いていると、障がい福祉サービスを利用する時間が取れない。介助をされる側ではなく、高齢の親の介助をする側だが、自分の障がいで体調を崩しやすいので、親の介護が負担になっている。利用できる行政サービスの情報提供を積極的に行ってもらえると助かる。 ・障がい福祉課には手帳等の更新にしか行かないので、ここに書かれている障がい者向けのサービスや支援等が沢山あることを初めて知りました。「どこに行けば教えてくれるのか」という情報が知りたいです。 ・色々なお知らせが紙ベースなので、本人は読めない。 ・受けられるサービス、支援をもっとわかりやすくして欲しい。こちらから聞く前に知らせて欲しい。
移動・交通・外出支援について	・車イスでも移動できるコミュニティバスを作してほしい。北本市民なのに、桶川の「べにばなGO」や鴻巣の「フラワー号」を沢山使っている。 ・車の運転ができるが、車で行けないところはバスも利用したいと思うが、バスが無い。以前はあったが廃路線になった。デマンドバス、タクシーを利用しろという意見があるが、電話は繋がらないし予約が取れない。予約を取れないと取れる時間に合わせないといけないので予定時間に着かない。 ・運転免許を返納すると移動手段が問題になる。デマンドバスは余りあてにならない。

分類項目	主な意見内容
雇用・就労について	・働いても賃金が少ない。障がい者雇用なので軽度だと障がいが無い人と同じ仕事をしても損していると思えてくる。 ・有給休暇を使い通院するとそれだけで有給が無くなってしまうため通院に有給休暇を使わずに有給で休める制度が欲しい(通院するために休むと減給される制度では意味がない)
住まいや暮らしについて	・現在、私はサービスを受けなくても生活できています。いずれ必要になった時に受けられるサービスがあることは、生活の助けや安心になります。 ・夫婦が同じ年で老々介護は目に見えています。今はまだ主人が働いているので、障がいのある私が1人で家におります。周りの方もいませんし、1人でいるときはどうしたものかと思います。でもまだ家の中にいる時は1人でやることはやっていますので、とにかく少しでも元気で頑張りたいです。 ・日常生活のなかで、視覚障がい者が不便と感じる部分は多くある。例えば、駅の案内板は文字が小さく読みづらく、人混みがあるためゆっくりできない。また、飲食店・スーパーでは、近年、人手不足から店員を減らし、注文や会計を自身で機械を使って行わなければならないとなっている。機械の文字は小さく読みづらく、店員にサポートをお願いしようにも、人がいないなど、非常に困る場面もあり、一人で利用する際は、そういったハードルを感じる場面が増えてきた。電子化で便利になる一方、社会的・心理的ハードルが高くなったケースも多く感じている。
障がい・障がい者への理解について	・「障がい者の人が困っている時に遭遇したけどどうすれば良いのかどこに誰に言えば良いのかわからない…」という人が落ち着いて気軽に安心して行動に移せる環境や雰囲気醸成できると良いなと感じることがあります。
家計・経済・年金・手当について	・物価高騰により生活に支障が出ており、ガソリン代の補助も年間 5,000 円では厳しいと思っています。健常者よりも手厚い経済的支援をご検討ください。
保健・医療について	・病院で医療費が高額となり、一時的にお金を窓口を支払わなければならないときがあり、負担に感じる。窓口での支払いをなくして頂きたい。 ・必要な治療や介護の費用は、全額支給されるようになると良いと思う。
将来の不安について	・現在仕事はできているが、この先の収入および生活の不安がある。 ・親が亡くなった後、自分がどう生きていけば良いのか。グループホームや入所施設等の相談がしたい。
アンケートについて	・まず、このアンケートを実施して下さることに感謝します。いろんな障がいがあり、対応することは大変な苦勞があると思いますが、どうか良い住みやすい北本市になっていくことを願います。よろしく願いいたします。 ・アンケートの内容が少し難しかったです(特に障がい福祉サービスについて)。
その他	・北本に障がい者×LGBTQ+の憩いの場があると嬉しい。 ・銀行などの手続きで本人を連れてきてとの要望が困ります。手帳掲示などで済むようにして欲しいです。

14 介助・援助について

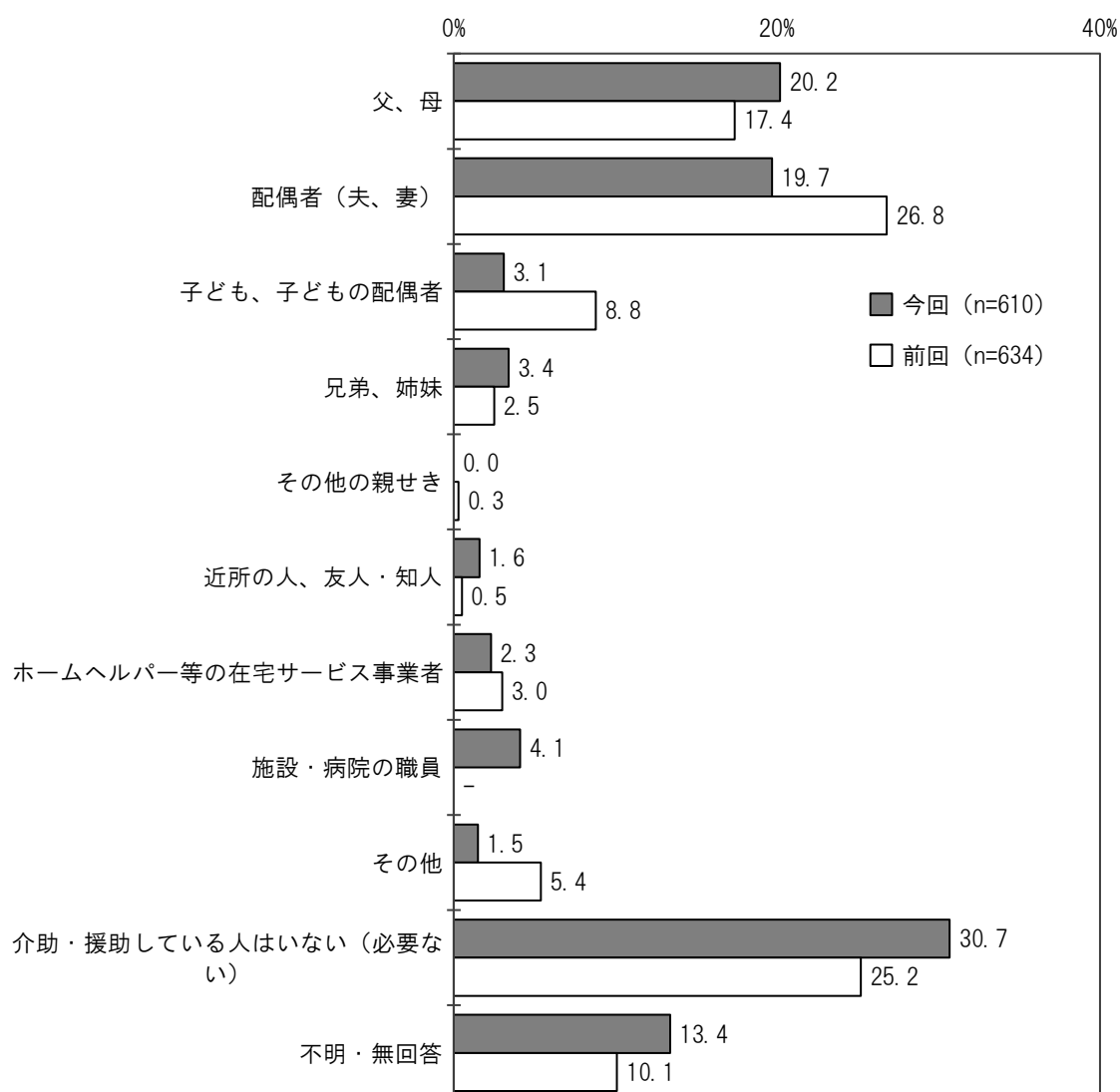
問39 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。（単数回答）

介助・援助者についてみると、全体では「介助・援助している人はいない（必要ない）」が30.7%と最も高く、次いで「父、母」が20.2%、「配偶者（夫、妻）」が19.7%となっています。

前回調査と比較すると、「介助・援助している人はいない（必要ない）」で増加傾向、「配偶者（夫、妻）」「子ども、子どもの配偶者」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【40歳代】以下で「父、母」、【50歳代】【60歳代】で「介助・援助している人はいない（必要ない）」、【70歳以上】で「配偶者（夫、妻）」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「介助・援助している人はいない（必要ない）」、【知的障がい】【精神障がい】で「父、母」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	父、母	配偶者（夫、妻）	子ども、子どもの配偶者	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者の在	施設・病院の職員	その他	介助・援助していない（必要ない人）	不明・無回答
全体		610	20.2	19.7	3.1	3.4	0.0	1.6	2.3	4.1	1.5	30.7	13.4
あて名の方の年齢	10～20歳代	65	52.3	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	3.1	3.1	1.5	27.7	10.8
	30歳代	46	45.7	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	30.4	6.5
	40歳代	95	30.5	10.5	2.1	2.1	0.0	2.1	3.2	12.6	3.2	21.1	12.6
	50歳代	144	22.2	16.7	2.1	5.6	0.0	0.7	2.8	3.5	0.7	29.9	16.0
	60歳代	163	2.5	30.1	2.5	3.7	0.0	2.5	2.5	0.6	1.2	42.3	12.3
	70歳以上	92	2.2	35.9	8.7	2.2	0.0	3.3	1.1	3.3	1.1	25.0	17.4
あて名の方の障がいの種類	身体障がい	395	11.4	24.1	3.0	4.3	0.0	2.3	2.0	2.0	1.3	35.9	13.7
	知的障がい	100	58.0	1.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	11.0	2.0	7.0	17.0
	精神障がい	144	28.5	17.4	3.5	1.4	0.0	0.7	4.9	4.2	3.5	25.7	10.4

【あて名の方を主に介助・援助されているご家族について】

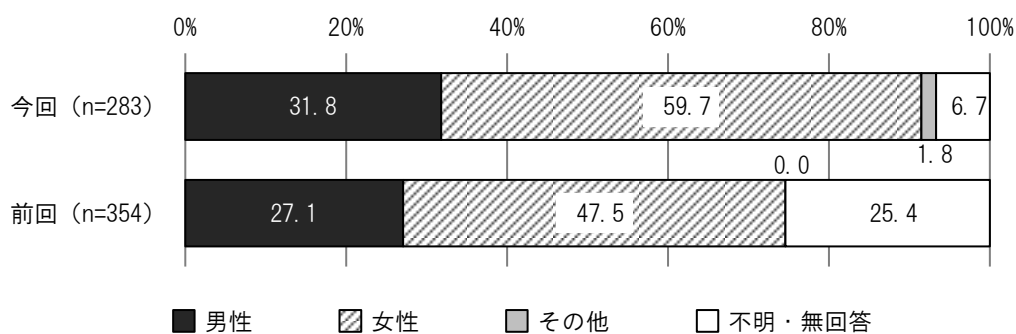
問40 あなた(介助・援助をしている方)の性別をお答えください。(単数回答)

介助・援助者の性別についてみると、全体では「女性」が59.7%と最も高く、次いで「男性」が31.8%となっています。

前回調査と比較すると、「女性」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「女性」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「女性」の割合が最も高くなっています。



		n	男性	女性	その他	不明・無回答
全体		283	31.8	59.7	1.8	6.7
あて名の方の年齢	10～20歳代	35	11.4	85.7	2.9	0.0
	30歳代	27	25.9	70.4	0.0	3.7
	40歳代	43	32.6	58.1	2.3	7.0
	50歳代	67	32.8	58.2	3.0	6.0
	60歳代	63	38.1	49.2	1.6	11.1
	70歳以上	45	42.2	48.9	0.0	8.9
あて名の方の障がいの種類	身体障がい	169	32.5	58.6	0.6	8.3
	知的障がい	63	22.2	74.6	1.6	1.6
	精神障がい	73	34.2	56.2	4.1	5.5

【あて名の方を主に介助・援助されているご家族について】

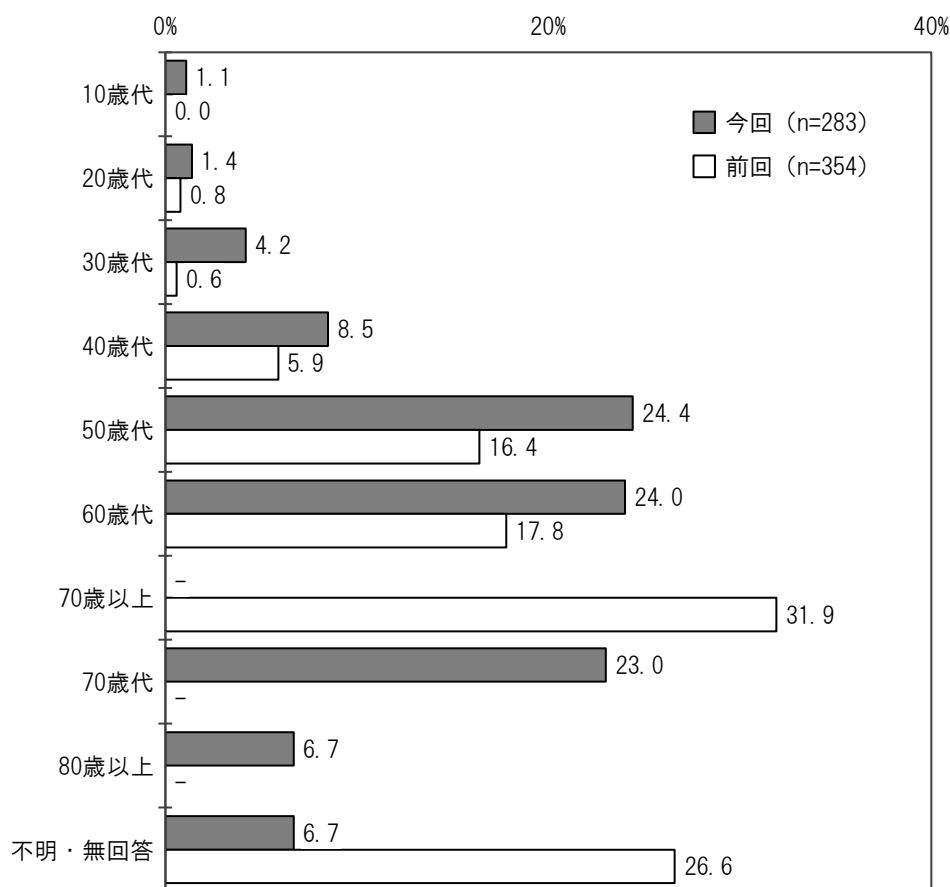
問41 あなたの年齢をお答えください。（単数回答）

介助・援助者の年齢についてみると、全体では「50歳代」が24.4%と最も高く、次いで「60歳代」が24.0%、「70歳代」が23.0%となっています。

前回調査と比較すると、「50歳代」「60歳代」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【10～20歳代】【50歳代】で「50歳代」、【30歳代】【60歳代】で「60歳代」、【40歳代】【70歳以上】で「70歳代」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「60歳代」、【知的障がい】【精神障がい】で「50歳代」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明・無回答
	n									
全体		283	1.1	1.4	4.2	8.5	24.4	24.0	23.0	6.7
あて名の方の年齢	10～20歳代	35	2.9	8.6	0.0	17.1	60.0	8.6	2.9	0.0
	30歳代	27	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2	44.4	3.7	0.0
	40歳代	43	4.7	0.0	2.3	25.6	11.6	4.7	39.5	4.7
	50歳代	67	0.0	0.0	0.0	4.5	41.8	9.0	16.4	20.9
	60歳代	63	0.0	1.6	4.8	0.0	9.5	58.7	15.9	3.2
	70歳以上	45	0.0	0.0	2.2	6.7	4.4	17.8	55.6	2.2
あて名の方の障がいの種類	身体障がい	169	0.0	0.6	4.1	6.5	17.8	30.8	29.6	3.6
	知的障がい	63	0.0	3.2	3.2	14.3	36.5	15.9	19.0	4.8
	精神障がい	73	4.1	1.4	2.7	6.8	35.6	16.4	11.0	13.7

【あて名の方を主に介助・援助されているご家族について】

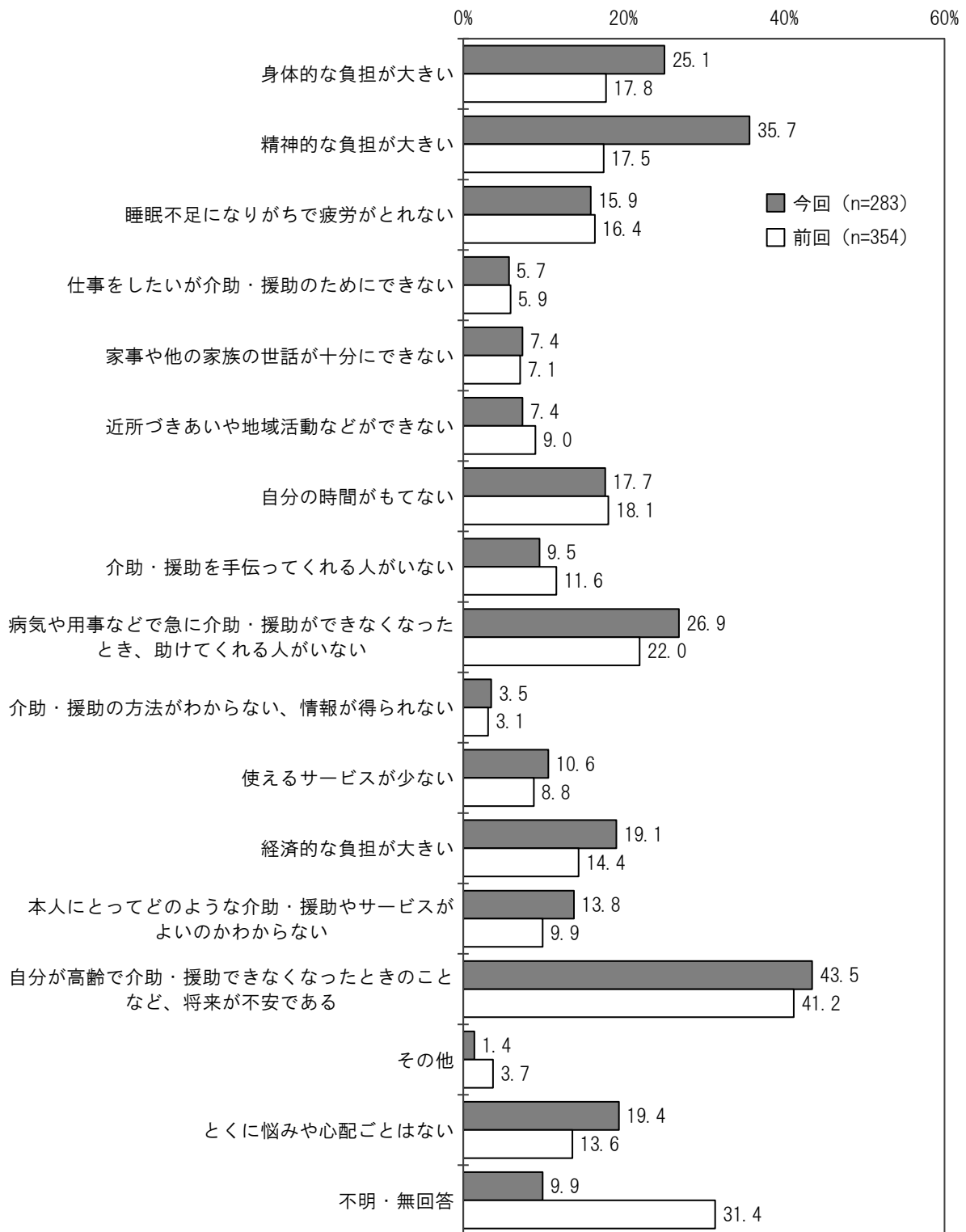
問42 ふだんから介助・援助をしていて、どのような悩みや心配ごとがありますか。（複数回答）

介助・援助者の悩みや心配ごとについてみると、全体では「自分が高齢で介助・援助できなくなった時のことなど、将来が不安である」が43.5%と最も高く、次いで「精神的な負担が大きい」が35.7%、「病気や用事などで急に介助・援助ができなくなったとき、助けてくれる人がいない」が26.9%となっています。

前回調査と比較すると、「身体的な負担が大きい」「精神的な負担が大きい」「とくに悩みや心配ごとはない」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【40歳代】で「精神的な負担が大きい」、【10～20歳代】【30歳代】【50歳代】から【70歳以上】で「自分が高齢で介助・援助できなくなった時のことなど、将来が不安である」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】で「自分が高齢で介助・援助できなくなった時のことなど、将来が不安である」、【精神障がい】で「精神的な負担が大きい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	睡眠不足になりがちで疲労がとれない	仕事をしたいが介助・援助のためにできない	家事や他の家族の世話が十分にできない	近所づきあいや地域活動などができない	自分の時間がもてない	介助・援助を手伝ってくれる人がいない	病気や用事などで急に介助・援助がなくなる人がないとき、助けにくくなる人がないとき、
全体		283	25.1	35.7	15.9	5.7	7.4	7.4	17.7	9.5	26.9
あて名の方の年齢	10～20歳代	35	28.6	34.3	17.1	14.3	17.1	11.4	28.6	20.0	31.4
	30歳代	27	18.5	25.9	3.7	3.7	3.7	7.4	7.4	3.7	25.9
	40歳代	43	30.2	53.5	27.9	4.7	14.0	16.3	32.6	16.3	32.6
	50歳代	67	26.9	38.8	14.9	1.5	6.0	6.0	19.4	9.0	28.4
	60歳代	63	22.2	34.9	19.0	7.9	4.8	4.8	12.7	7.9	22.2
	70歳以上	45	22.2	22.2	8.9	4.4	2.2	2.2	6.7	2.2	24.4
あて名の方の障がいの種類	身体障がい	169	24.9	27.2	11.8	5.3	3.6	3.6	14.2	5.9	21.9
	知的障がい	63	33.3	42.9	19.0	11.1	15.9	15.9	23.8	14.3	34.9
	精神障がい	73	24.7	52.1	27.4	4.1	12.3	11.0	26.0	15.1	35.6

		n	介助・援助の情報の方を得られないから	使えるサービスが少ない	経済的な負担が大きい	本人に頼るかわからない	本人に頼るかわからない	自分が高齢で介助・援助できなくなる不安がある	その他	いかに悩みや心配ごとはない	不明・無回答
全体		283	3.5	10.6	19.1	13.8	43.5	1.4	19.4	9.9	
あて名の方の年齢	10～20歳代	35	5.7	20.0	20.0	20.0	60.0	2.9	20.0	0.0	
	30歳代	27	0.0	14.8	11.1	11.1	44.4	7.4	14.8	22.2	
	40歳代	43	4.7	14.0	23.3	18.6	41.9	0.0	9.3	14.0	
	50歳代	67	4.5	13.4	26.9	17.9	50.7	1.5	13.4	7.5	
	60歳代	63	3.2	6.3	19.0	7.9	38.1	0.0	27.0	7.9	
	70歳以上	45	2.2	0.0	8.9	8.9	31.1	0.0	26.7	13.3	
あて名の方の障がいの種類	身体障がい	169	2.4	5.9	14.8	10.7	37.9	1.8	24.9	10.1	
	知的障がい	63	3.2	20.6	19.0	17.5	71.4	1.6	7.9	4.8	
	精神障がい	73	5.5	20.5	30.1	23.3	45.2	2.7	8.2	13.7	

【あて名の方を主に介助・援助されているご家族について】

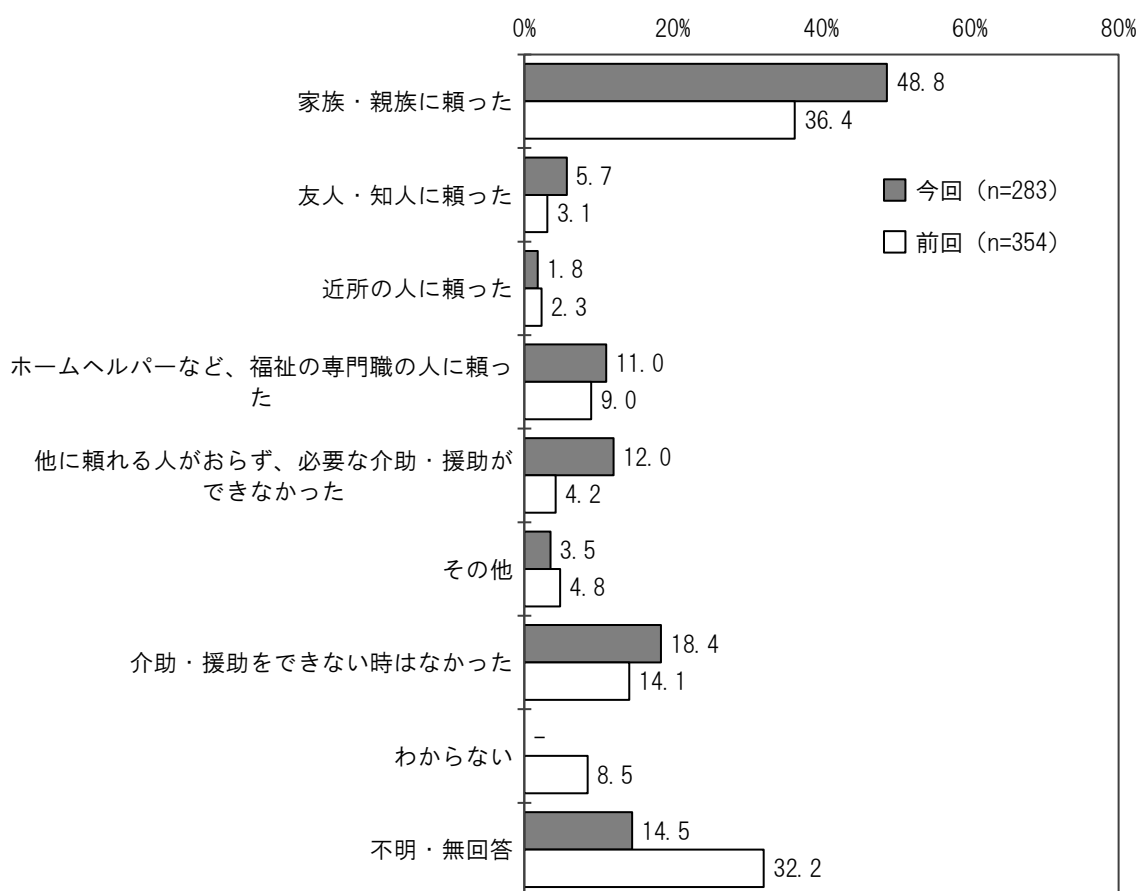
問43 あなたが介助・援助をできないとき、どのように対処しましたか。（複数回答）

介助・援助者が介助・援助できない時の対処についてみると、全体では「家族・親族に頼った」が48.8%と最も高く、次いで「介助・援助をできない時はなかった」が18.4%、「他に頼れる人がおらず、必要な介助・援助ができなかった」が12.0%となっています。

前回調査と比較すると、「家族・親族に頼った」「他に頼れる人がおらず、必要な介助・援助ができなかった」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「家族・親族に頼った」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、いずれも「家族・親族に頼った」の割合が最も高くなっています。【精神障がい】で「他に頼れる人がおらず、必要な介助・援助ができなかった」が他の障がいの種類に比べて高くなっています。



			家族・親族に頼った	友人・知人に頼った	近所の人に頼った	ホームヘルパーなど、福祉の専門職の人に頼った	他に頼れる人がおらず、必要な援助がでなかった	その他	介助・援助をできない時はなかった	不明・無回答
		n								
全体		283	48.8	5.7	1.8	11.0	12.0	3.5	18.4	14.5
あて名の方の年齢	10～20歳代	35	71.4	11.4	2.9	11.4	11.4	2.9	17.1	0.0
	30歳代	27	33.3	3.7	0.0	0.0	18.5	7.4	7.4	37.0
	40歳代	43	41.9	2.3	0.0	11.6	23.3	4.7	9.3	16.3
	50歳代	67	43.3	6.0	0.0	9.0	17.9	4.5	20.9	14.9
	60歳代	63	55.6	1.6	3.2	15.9	4.8	1.6	17.5	14.3
	70歳以上	45	46.7	8.9	4.4	13.3	0.0	2.2	31.1	11.1
あて名の方の障がいの種類	身体障がい	169	51.5	5.9	2.4	11.8	7.1	1.8	21.3	13.0
	知的障がい	63	57.1	6.3	1.6	12.7	12.7	7.9	11.1	12.7
	精神障がい	73	35.6	2.7	0.0	6.8	27.4	5.5	16.4	17.8

【あて名の方を主に介助・援助されているご家族について】

問44 あなたは、本人(あて名の方)の将来の生活について、どのように考えていますか。

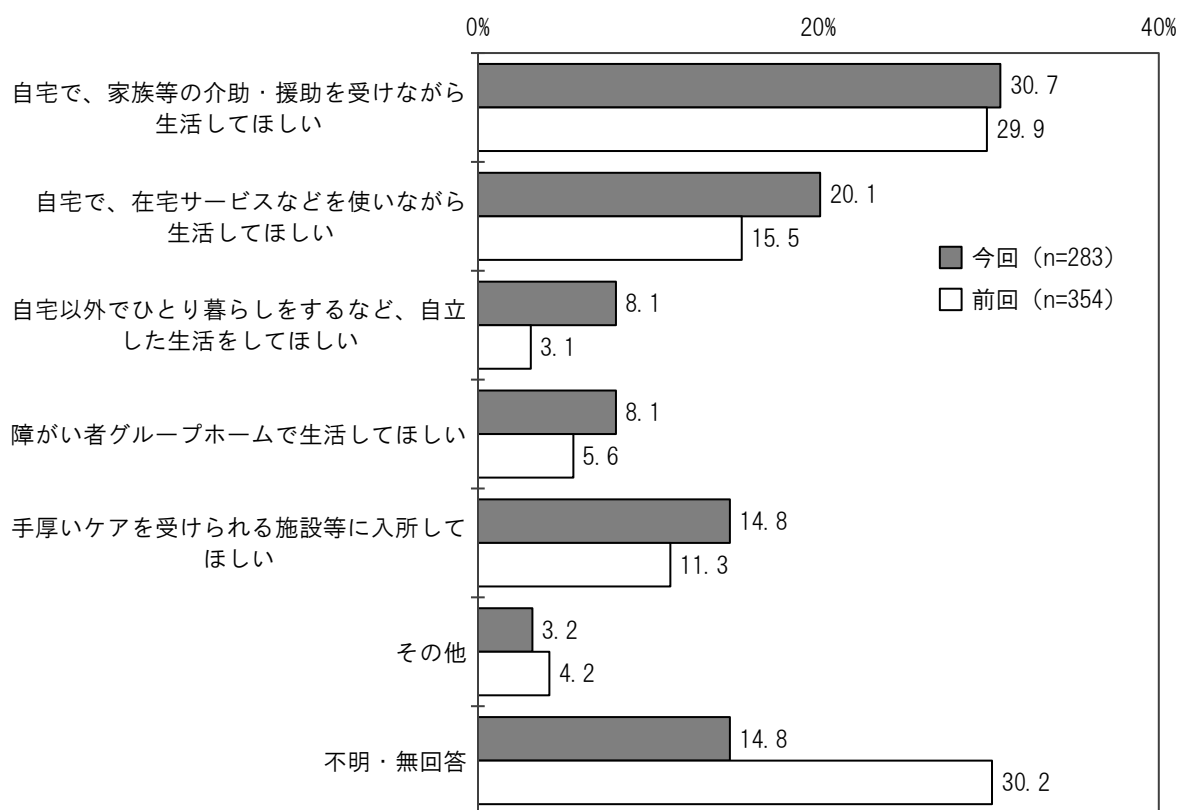
(単数回答)

介助・援助者からみた、将来の生活への希望などについてみると、全体では「自宅で、家族等の介助・援助を受けながら生活してほしい」が30.7%と最も高く、次いで「自宅で、在宅サービスなどを使いながら生活してほしい」が20.1%、「手厚いケアを受けられる施設等に入所してほしい」が14.8%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅以外でひとり暮らしをするなど、自立した生活をしてほしい」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【30歳代】で「自宅以外でひとり暮らしをするなど、自立した生活をしてほしい」、【60歳代】で「自宅で、家族等の介助・援助を受けながら生活してほしい」「自宅で、在宅サービスなどを使いながら生活してほしい」、【10～20歳代】【40歳代】【50歳代】【70歳以上】で「自宅で、家族等の介助・援助を受けながら生活してほしい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【精神障がい】で「自宅で、家族等の介助・援助を受けながら生活してほしい」、【知的障がい】で「手厚いケアを受けられる施設等に入所してほしい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



			け 自 な が ら 生 活 し て ほ し い	宅 で 、 家 族 等 の 介 助 ・ 援 助 を 受 け る	自 宅 で 、 在 宅 サ ー ビ ス な ど を 使 い な が ら 生 活 し て ほ し い	ど、 自 宅 以 外 で ひ と り 暮 ら し を す る な ど、 自 立 し た 生 活 を し て ほ し い	障 が い 者 グ ル ー プ ホ ー ム で 生 活 し て ほ し い	入 所 し て ほ し い	手 厚 い ケ ア を 受 け ら れ る 施 設 等 に	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
		n									
全体		283	30.7	20.1	8.1	8.1	14.8	3.2	14.8		
あて名の方の 年齢	10～20歳代	35	25.7	11.4	14.3	20.0	11.4	8.6	8.6		
	30歳代	27	14.8	14.8	18.5	7.4	14.8	3.7	25.9		
	40歳代	43	41.9	9.3	14.0	4.7	16.3	2.3	11.6		
	50歳代	67	29.9	20.9	7.5	10.4	17.9	4.5	9.0		
	60歳代	63	31.7	31.7	3.2	4.8	4.8	1.6	22.2		
	70歳以上	45	35.6	22.2	0.0	4.4	24.4	0.0	13.3		
あて名の方の 障がいの種類	身体障がい	169	34.3	24.9	3.6	5.9	15.4	1.2	14.8		
	知的障がい	63	23.8	7.9	9.5	17.5	28.6	3.2	9.5		
	精神障がい	73	28.8	17.8	13.7	6.8	9.6	6.8	16.4		

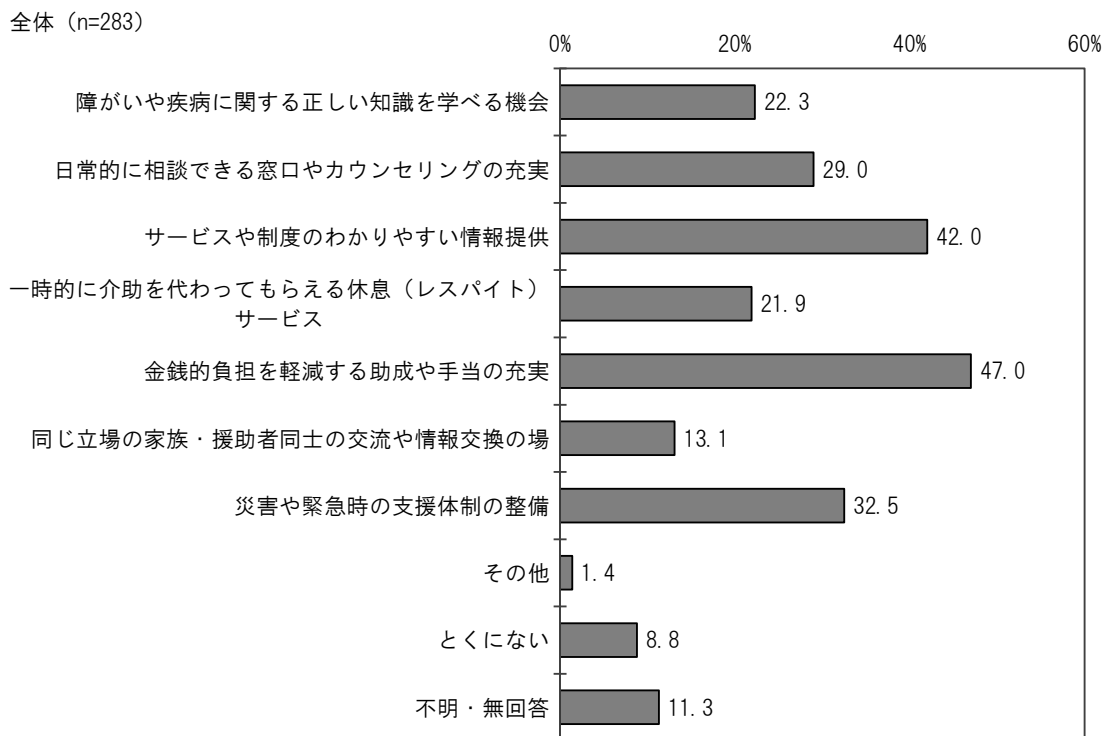
【あて名の方を主に介助・援助されているご家族について】

問45 家族・援助者への支援で必要だと思うことは何ですか。（複数回答）

介助・援助者の支援で必要だと思うことについてみると、全体では「金銭的負担を軽減する助成や手当の充実」が47.0%と最も高く、次いで「サービスや制度のわかりやすい情報提供」が42.0%、「災害や緊急時の支援体制の整備」が32.5%となっています。

年齢別でみると、【10～20歳代】【70歳以上】で「サービスや制度のわかりやすい情報提供」、【30歳代】から【60歳代】で「金銭的負担を軽減する助成や手当の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「サービスや制度のわかりやすい情報提供」、【知的障がい】【精神障がい】で「金銭的負担を軽減する助成や手当の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



	n	会 正 し い 知 識 を 学 べ る 機 会	障 が い や 疾 病 に 関 する 正 し い 知 識 を 学 べ る 機 会	充 実 の 窓 口 や カ ウ ン セ リ ン グ の 充 実	日 常 に 相 談 で き る 窓 口 や カ ウ ン セ リ ン グ の 充 実	リ サ ー ビ ス や 制 度 の わ か り や す い 情 報 提 供	パ イ ト の サ ー ビ ス を 代 わ る 機 会	一 時 的 に 介 助 を 代 わ る 機 会	助 成 や 手 当 の 充 実	金 銭 的 負 担 を 軽 減 す る	換 の 同 じ 立 場 の 交 流 や 情 報 交 換	制 の 整 備	災 害 や 緊 急 時 の 支 援 体 制	そ の 他	と く に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	283	22.3	22.3	29.0	29.0	42.0	21.9	21.9	47.0	47.0	13.1	32.5	32.5	1.4	8.8	11.3
あて名の方の 年齢	10～20歳代	35	25.7	45.7	45.7	51.4	28.6	28.6	45.7	45.7	28.6	31.4	31.4	5.7	14.3	5.7
	30歳代	27	18.5	14.8	14.8	29.6	25.9	25.9	40.7	40.7	11.1	22.2	22.2	3.7	3.7	22.2
	40歳代	43	30.2	41.9	41.9	41.9	37.2	37.2	51.2	51.2	18.6	37.2	37.2	0.0	4.7	11.6
	50歳代	67	20.9	28.4	28.4	41.8	13.4	13.4	53.7	53.7	13.4	26.9	26.9	1.5	10.4	4.5
	60歳代	63	25.4	19.0	19.0	41.3	17.5	17.5	47.6	47.6	9.5	38.1	38.1	0.0	11.1	15.9
	70歳以上	45	13.3	28.9	28.9	46.7	20.0	20.0	37.8	37.8	2.2	35.6	35.6	0.0	4.4	13.3
あて名の方の 障がいの種類	身体障がい	169	17.2	20.7	20.7	43.2	19.5	19.5	40.8	40.8	4.7	34.9	34.9	1.2	10.1	13.0
	知的障がい	63	20.6	34.9	34.9	38.1	33.3	33.3	49.2	49.2	22.2	36.5	36.5	6.3	7.9	6.3
	精神障がい	73	35.6	45.2	45.2	42.5	27.4	27.4	58.9	58.9	27.4	24.7	24.7	1.4	5.5	9.6

【あて名の方を主に介助・援助されているご家族について】

問46 そのほか、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。（記述回答）

55名の方からご意見が寄せられました。主なご意見は下記のとおりです。

分類項目	主な意見内容
障害福祉サービス、施設について	・レスパイトサービスは費用が高いため、使わないで我慢しています。安くしていただきたいです。 ・公的サービスは平日の日中しか受けることができないため、利用しにくい面がある。例えば私が深夜勤務の場合、夜間に具合が悪くなっても病院に連れて行く人がいない。 ・重度の障がいがあっても安心して通える場所が北本市にはありません。また、遠くに通うためには送迎が必要になりますが、気軽に使える方法が北本市にはありません。二人対応でなければ危険も伴うため、送迎が見つからなければ外出を諦めなければなりません。 ・北本市内に障がい者福祉事業所や施設がまだまだ不足していると思います。将来的にグループホームで生活をしてほしいと希望していますが、せめて入所できるまでの間、自宅で居宅介護や行動援護、レスパイトサービス支援を受けるなど選択できればと思います。
行政について	・北本市は障がい者への福祉サービスの支給決定基準が厳しい。市役所の開庁時間も短く、利用しづらくて困っています。 ・行政の支援体制がよくわからない。広報活動をもっとしっかりして欲しい。 ・ゴミ出し援助を精神障がい2級も認めてもらいたいです。
移動・交通・外出支援について	・とにかく今困っているのは、交通手段です。通院、買い物すべてが大変です。バスの増便、新しい路線、デマンドバスの増便（増車）、経済的負担が大きいタクシー券の額など。とにかく免許がない人への支援を考えて欲しい。お互いの市のことなので難しいと思いますが、せめて病院だけでも北本/桶川/鴻巣の3市またいでデマンドバスを走らせて欲しい。 ・市のデマンドバスの制度はとても良い制度だと思います。ただ私のように下肢に障がいがあると、車椅子を車内に格納するところまで一人でできないと、結局は利用が難しいです。乗り降りは可能でも、自身で車椅子を格納するところまでは不可能なので、今まで利用したことは無いです。デマンドバスがもっと気軽に使えたら、行動範囲も広がってもっと充実した日々が過ごせると考えます。 ・サービスの利用料金を考えると、自分が有給を使った方が娘の負担にならないと思い、移動支援等のサービスの利用をためらいがちになってしまう。
家計・経済・年金・手当について	・金銭的な助成や手当を知らせて欲しい。 ・税金、介護保険料、医療費の負担が大きく、経済的に困難です。 ・経済的に大変苦しい。障害年金も受けられない。条件が厳しすぎる。

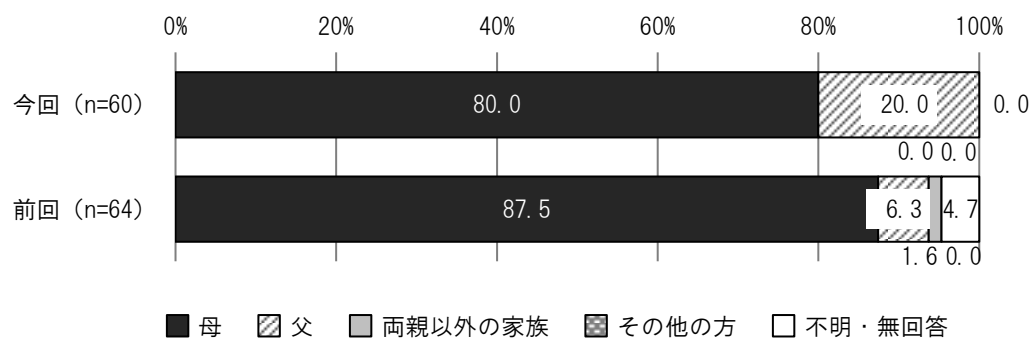
分類項目	主な意見内容
将来の不安について	・介助している自分が元気なうちは良いが、年を重ねるうちに介助できなくなってもホームには今の年金ではとても無理。生活するだけでいっぱいです。 ・当事者 50 代、介助者 80 才になり、介助者の方に病気等が出てきております。現在は二人で支え合い助け合って生活を営んでおりますが、今後年齢と共に介助者が当事者に。これ以上の負担がかからないよう、努力しておりますが、双方で将来の不安を感じつつの日々です。 ・今のところはない。ただこの先は少し不安です。高齢になり介助ができなくなるときが来た場合、援助を誰に頼めばよいかと悩むことがある。
情報提供について	・親亡き後の支援を親が亡くなる前にどうしたらよいのか発信して欲しい。 ・情報を得るためにもスマホの使い方を教えていただきたい。
住まいや暮らしについて	・障がい者が安心して生活できるようにしてもらいたい。 ・親の高齢化に伴って障がいを持つ子どもの心配や不安が募ります。何かあってからではなく、入所できる支援やグループホーム、アパート等を作って頂きたいです。親亡き後も安心して暮らせるように希望します。
アンケートについて	・障がい者本人が、書けない、よめない、よめるようにふりがなをふっても意味がわからないのに、なぜアンケートは必要なのか。 ・毎年のようにアンケートに答えているが、改善されていない。 ・問の意味が分かりづらい。
その他	・障がい状態が理解されにくく、説明することが難しい。 ・家族・援助者同士の交流や情報交換の場を作ってもらいたいです。 ・障がい者の立場になって、声がけ(お手伝い)ができ、安心した生活のできる北本市であって欲しいです。

Ⅲ. 障がい児アンケート調査結果

1 はじめに

問1 この調査票に記入されるのはどなたですか。(単数回答)

記入者についてみると、全体では「母」が80.0%と最も高く、次いで「父」が20.0%となっています。前回調査と比較すると、「父」で増加傾向、「母」で減少傾向がみられます。

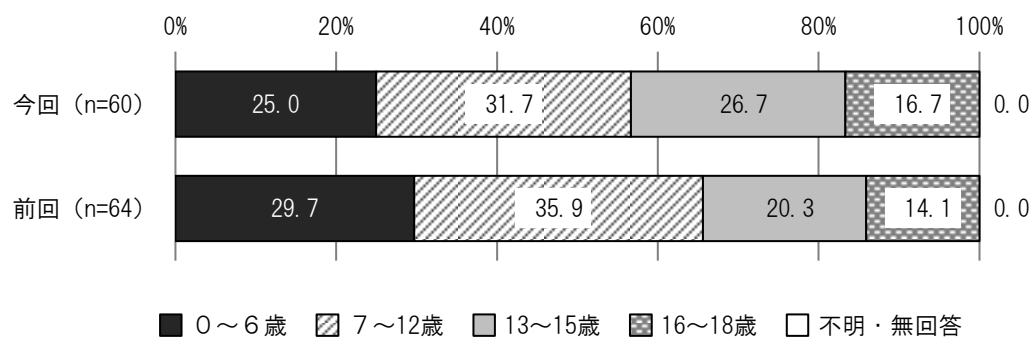


2 あて名のお子さんについて

問2 お子さんの年齢（12月1日現在）をお答えください。（数量回答）

年齢についてみると、全体では「7～12歳」が31.7%と最も高く、次いで「13～15歳」が26.7%、「0～6歳」が25.0%となっています。

前回調査と比較すると、「13～15歳」で増加傾向がみられます。



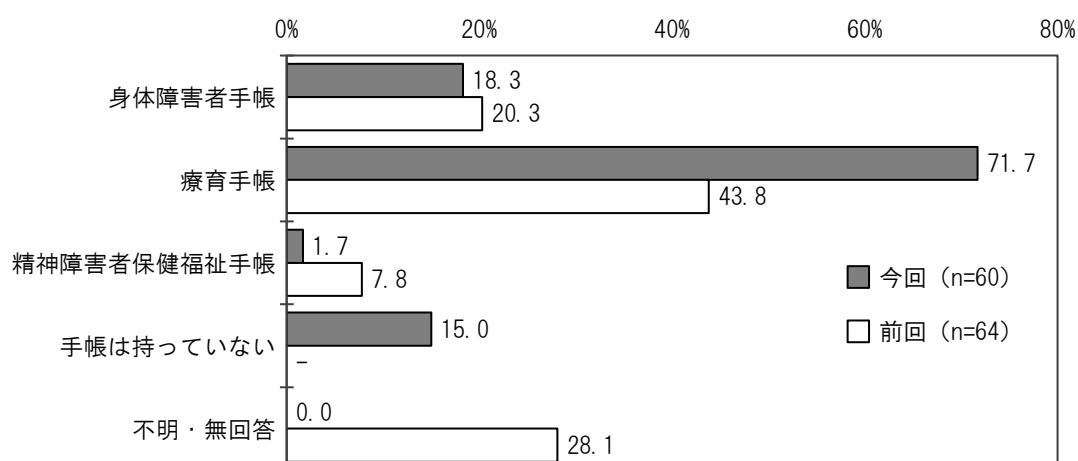
3 障がいの状況について

問3 お子さんは、障がい者に関する手帳をお持ちですか。（複数回答）

手帳の種類についてみると、全体では「療育手帳」が71.7%と最も高く、次いで「身体障害者手帳」が18.3%、「手帳は持っていない」が15.0%となっています。

前回調査と比較すると、「療育手帳」で増加傾向、「精神障害者保健福祉手帳」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「療育手帳」の割合が最も高くなっています。

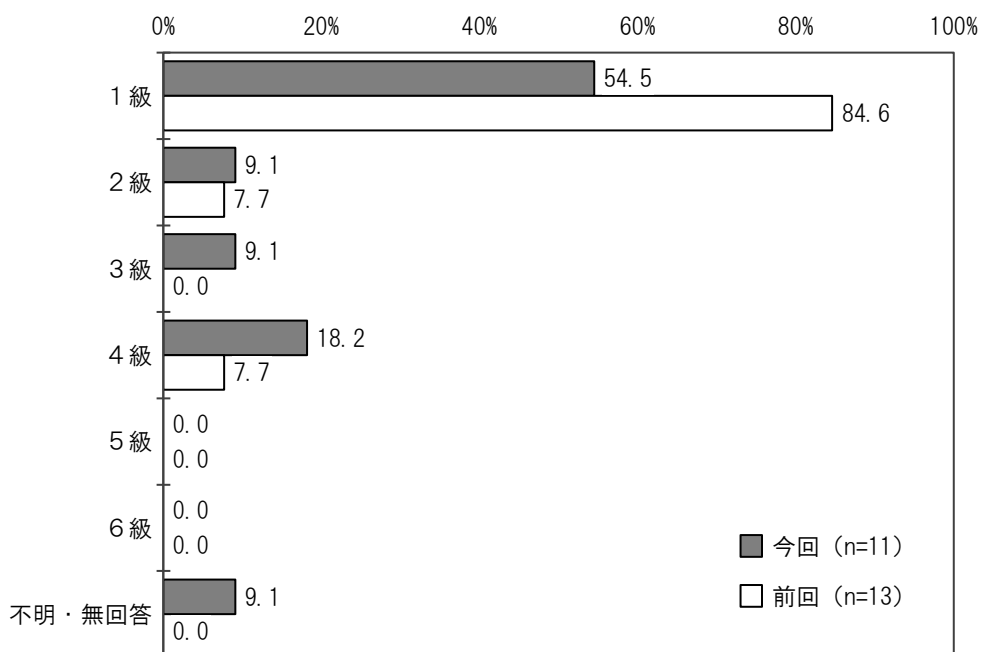


		n	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	手帳は持っていない	不明・無回答
全体		60	18.3	71.7	1.7	15.0	0.0
年齢	0～6歳	15	20.0	60.0	0.0	26.7	0.0
	7～12歳	19	0.0	68.4	5.3	26.3	0.0
	13～15歳	16	31.3	75.0	0.0	0.0	0.0
	16～18歳	10	30.0	90.0	0.0	0.0	0.0

問3① 身体障害者手帳（単数回答）

身体障害者手帳の等級についてみると、全体では「1級」が54.5%と最も高く、次いで「4級」が18.2%、「2級」「3級」が9.1%となっています。

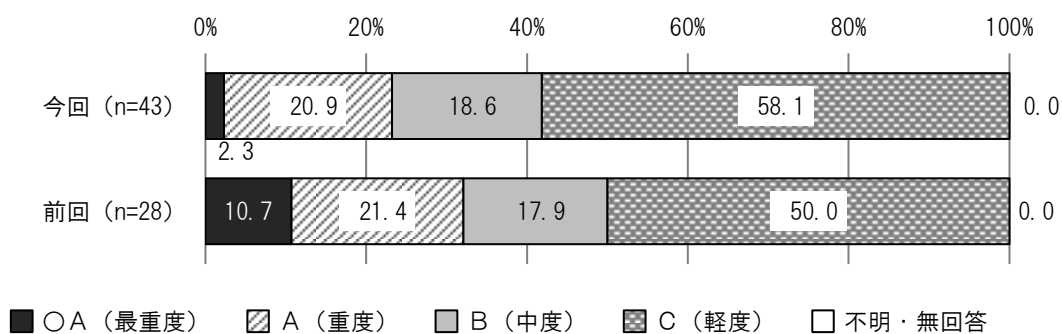
前回調査と比較すると、「1級」で減少傾向がみられます。



問3② 療育手帳（単数回答）

療育手帳の程度についてみると、「C(軽度)」が58.1%と最も高く、次いで「A(重度)」が20.9%、「B(中度)」が18.6%となっています。

前回調査と比較すると、「C(軽度)」で増加傾向、「OA(最重度)」で減少傾向がみられます。



問3③ 精神障害者保健福祉手帳（単数回答）

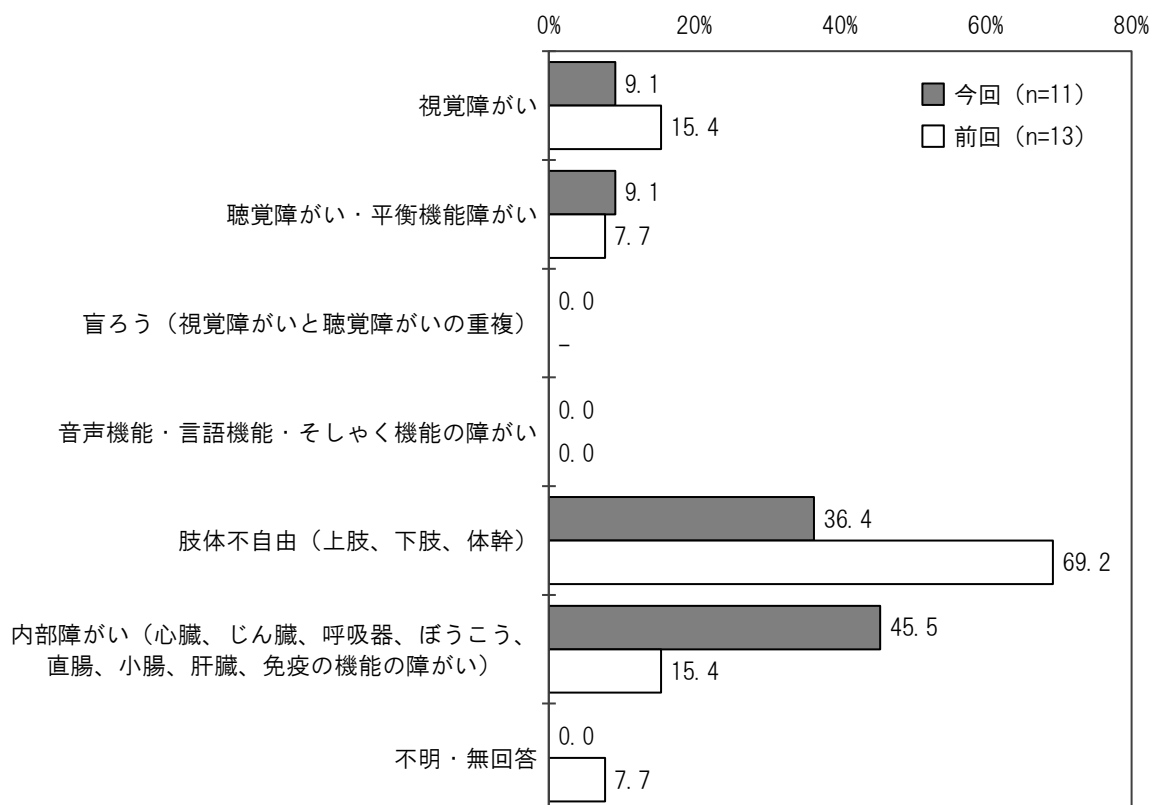
回答者が1名のため掲載省略

【問3で「身体障害者手帳」と回答した方】

問3－1 手帳に記載されている障がいは次のどれですか。主な障がい1つをお答えください。
（単数回答）

主な身体障がいの種類についてみると、全体では「内部障がい（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい）」が45.5%と最も高く、次いで「肢体不自由（上肢、下肢、体幹）」が36.4%、「視覚障がい」「聴覚障がい・平衡機能障がい」が9.1%となっています。

前回調査と比較すると、「内部障がい（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい）」で増加傾向、「視覚障がい」「肢体不自由（上肢、下肢、体幹）」で減少傾向がみられます。

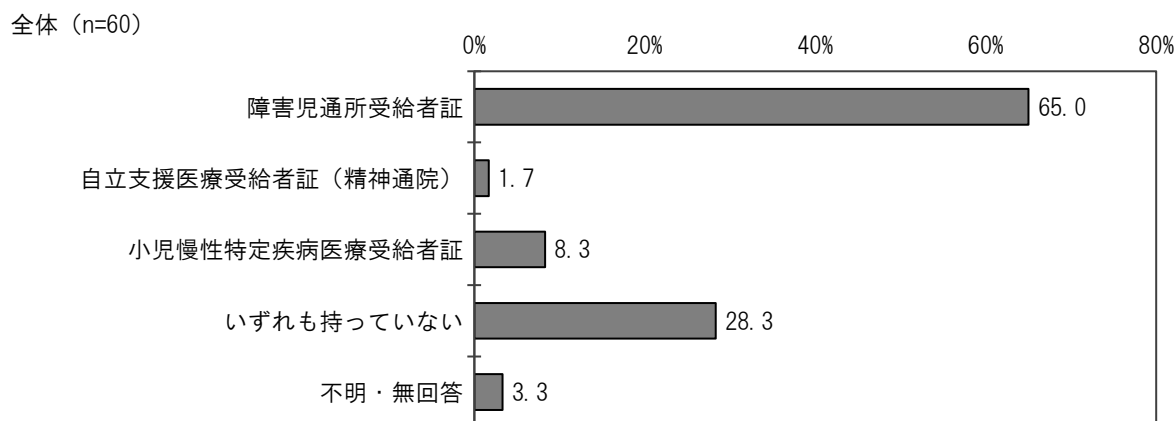


問4 お子さんは、障がい児等に関する受給者証をお持ちですか。(複数回答)

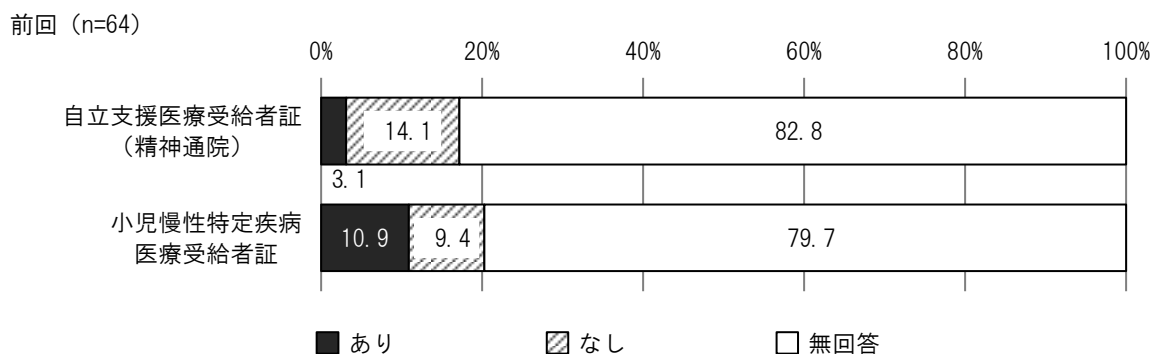
障がい児等に関する受給者証の所持状況についてみると、全体では「障害児通所受給者証」が65.0%と最も高く、次いで「いずれも持っていない」が28.3%、「小児慢性特定疾病医療受給者証」が8.3%となっています。

年齢別でみると、【0～6歳】【7～12歳】【16～18歳】で「障害児通所受給者証」、【13～15歳】で「いずれも持っていない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「障害児通所受給者証」「小児慢性特定疾病医療受給者証」、【知的障がい】で「障害児通所受給者証」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



《参考》



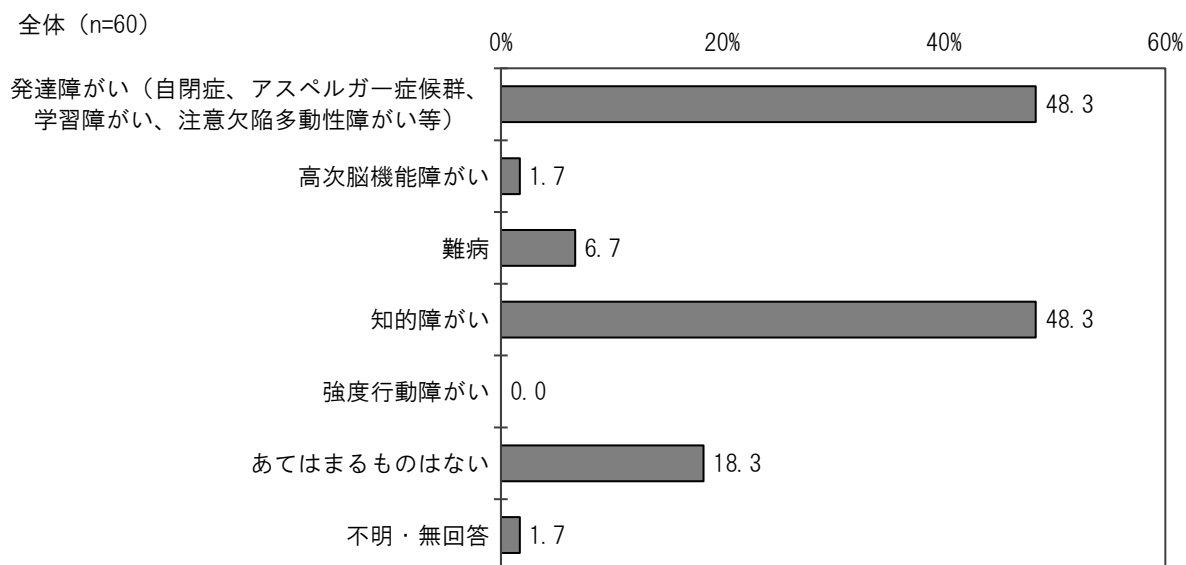
		n	障害児通所受給者証 (%)	自立支援医療受給者証 (精神通院) (%)	小児慢性特定疾病医療受給者証 (%)	いずれも持っていない (%)	不明・無回答 (%)
全体		60	65.0	1.7	8.3	28.3	3.3
年齢	0～6歳	15	93.3	0.0	13.3	6.7	0.0
	7～12歳	19	63.2	5.3	0.0	31.6	5.3
	13～15歳	16	37.5	0.0	12.5	43.8	6.3
	16～18歳	10	70.0	0.0	10.0	30.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	45.5	0.0	45.5	27.3	9.1
	知的障がい	43	65.1	0.0	4.7	32.6	2.3

問5 お子さんは、医師から診断等を受けているものはありますか。(複数回答)

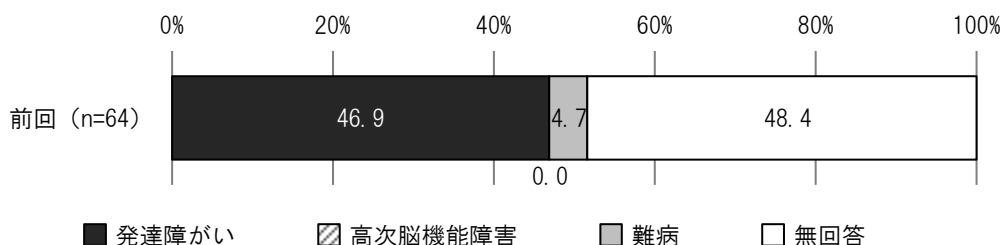
医師から診断を受けているものについてみると、全体では「発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等)」「知的障がい」が48.3%と最も高く、次いで「あてはまるものはない」が18.3%となっています。

年齢別でみると、【0～6歳】で「発達障がい」、【7～12歳】【13～15歳】【16～18歳】で「知的障がい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「発達障がい」「難病」「あてはまるものはない」、【知的障がい】で「知的障がい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



《参考》前回調査の設問は単数回答



		n	発達障がい（自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい等） 注意欠陥多動性障がい	高次脳機能障がい	難病	知的障がい	強度行動障がい	あてはまるものはない	不明・無回答
全体		60	48.3	1.7	6.7	48.3	0.0	18.3	1.7
年齢	0～6歳	15	73.3	0.0	6.7	33.3	0.0	20.0	6.7
	7～12歳	19	52.6	0.0	0.0	57.9	0.0	10.5	0.0
	13～15歳	16	37.5	0.0	18.8	50.0	0.0	25.0	0.0
	16～18歳	10	20.0	10.0	0.0	50.0	0.0	20.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	9.1	27.3	18.2	0.0	27.3	9.1
	知的障がい	43	46.5	2.3	4.7	65.1	0.0	14.0	0.0

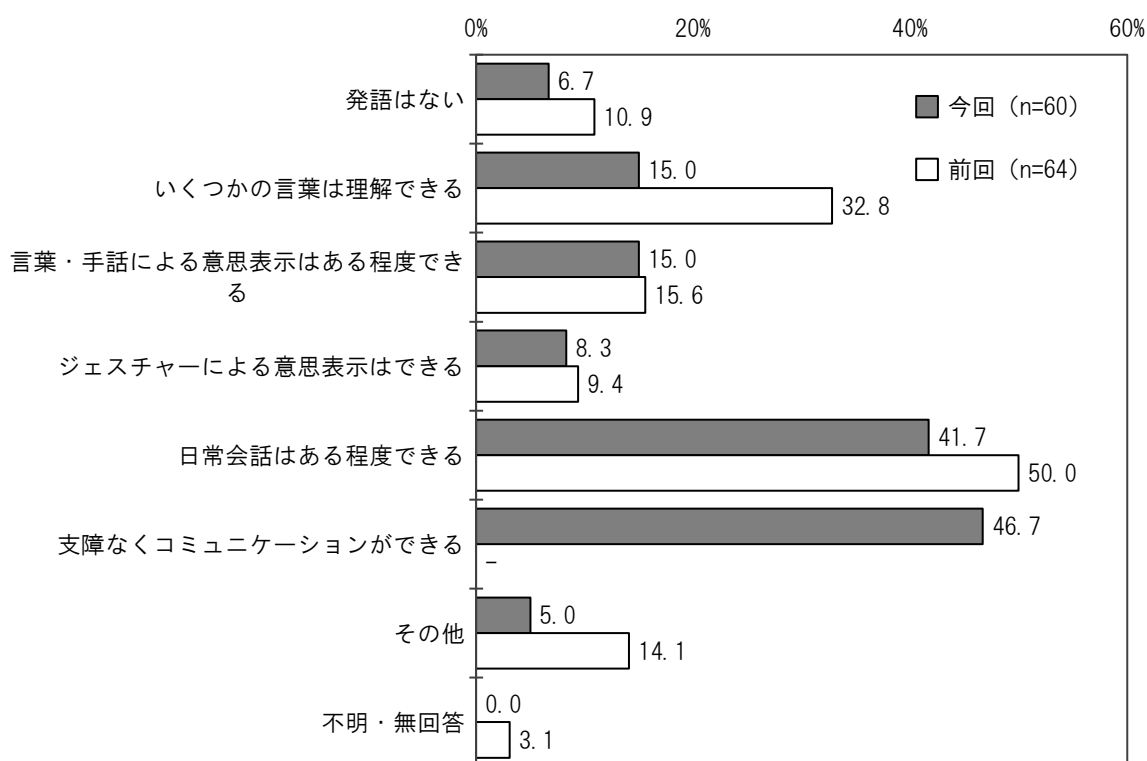
問6 コミュニケーション能力の程度をお答えください。(複数回答)

コミュニケーション能力の程度についてみると、全体では「支障なくコミュニケーションができる」が46.7%と最も高く、次いで「日常会話はある程度できる」が41.7%、「いくつかの言葉は理解できる」「言葉・手話による意思表示はある程度できる」が15.0%となっています。

前回調査と比較すると、「いくつかの言葉は理解できる」「日常会話はある程度できる」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】【13～15歳】で「支障なくコミュニケーションができる」、【7～12歳】【16～18歳】で「日常会話はある程度できる」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「支障なくコミュニケーションができる」、【知的障がい】で「日常会話はある程度できる」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	発語はない	いくつかの言葉は理解できる	言葉・手話による意思表示はある程度できる	ジェスチャーによる意思表示はできる	日常会話はある程度できる	支障なくコミュニケーションができる	その他	不明・無回答
全体		60	6.7	15.0	15.0	8.3	41.7	46.7	5.0	0.0
年齢	0～6歳	15	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	13.3	0.0
	7～12歳	19	0.0	5.3	10.5	0.0	52.6	47.4	5.3	0.0
	13～15歳	16	6.3	25.0	12.5	6.3	43.8	56.3	0.0	0.0
	16～18歳	10	0.0	10.0	20.0	10.0	50.0	40.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	54.5	9.1	0.0
	知的障がい	43	4.7	20.9	20.9	11.6	46.5	37.2	2.3	0.0

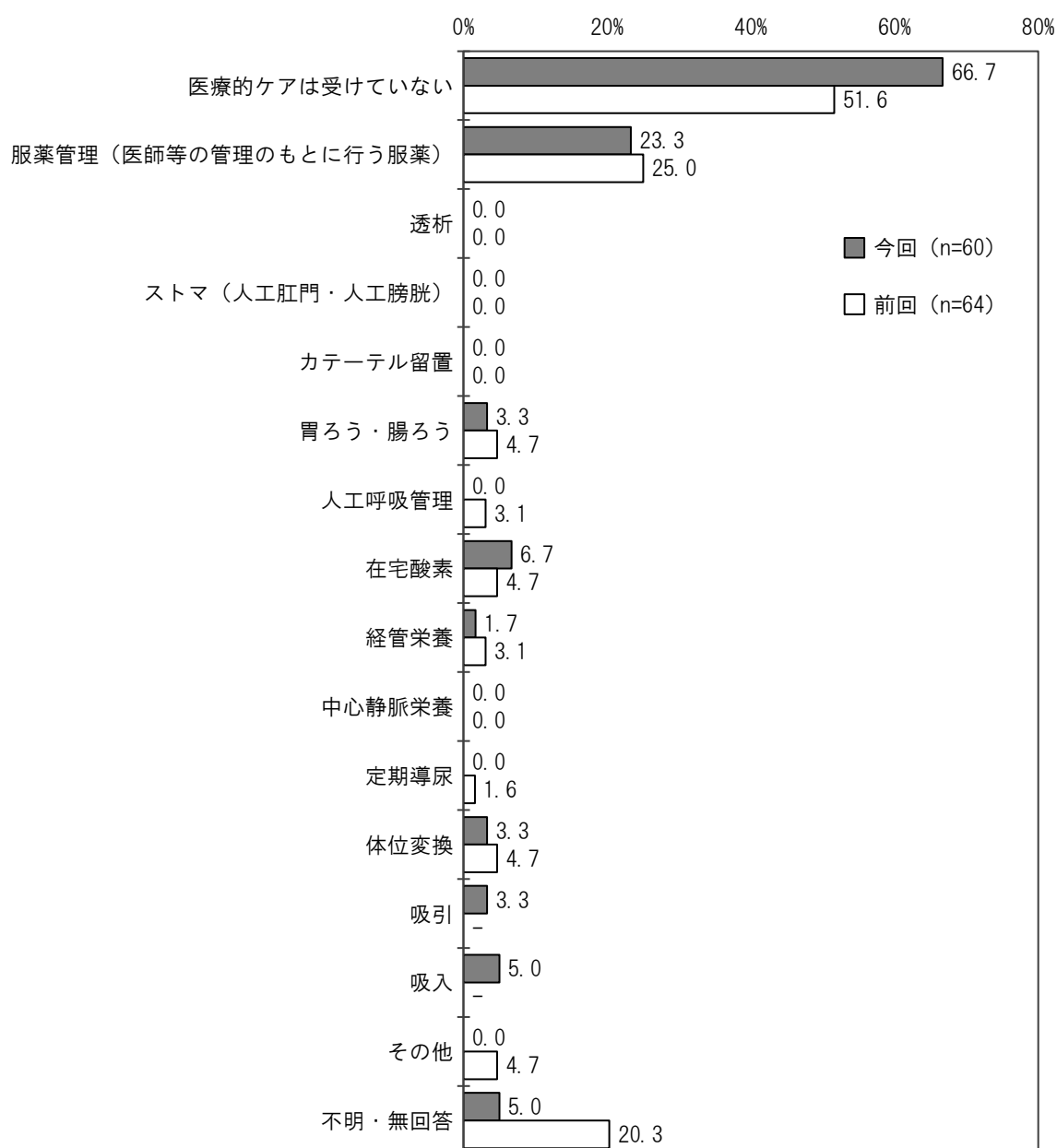
問7 お子さんは現在、次のような医療的ケア等を受けていますか。(複数回答)

現在受けている医療的ケア等についてみると、全体では「医療的ケアは受けていない」が66.7%と最も高く、次いで「服薬管理(医師等の管理のもとに行う服薬)」が23.3%、「在宅酸素」が6.7%となっています。

前回調査と比較すると、「医療的ケアは受けていない」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「医療的ケアは受けていない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「服薬管理」、【知的障がい】で「医療的ケアは受けていない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	医療的ケアは受けていない	服薬管理（薬） 管理のもとに医師等の服	透析	ストマ（人工膀胱） 人工肛門・	カテーテル留置	胃ろう・腸ろう	人工呼吸管理	在宅酸素
全体		60	66.7	23.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	6.7
年齢	0～6歳	15	80.0	13.3	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	13.3
	7～12歳	19	57.9	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	13～15歳	16	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	16～18歳	10	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	45.5	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	36.4
	知的障がい	43	74.4	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3

		n	経管栄養	中心静脈栄養	定期導尿	体位変換	吸引	吸入	その他	不明・無回答
全体		60	1.7	0.0	0.0	3.3	3.3	5.0	0.0	5.0
年齢	0～6歳	15	6.7	0.0	0.0	13.3	13.3	13.3	0.0	0.0
	7～12歳	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8
	13～15歳	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
	16～18歳	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	27.3	0.0	0.0
	知的障がい	43	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	7.0

4 外出について

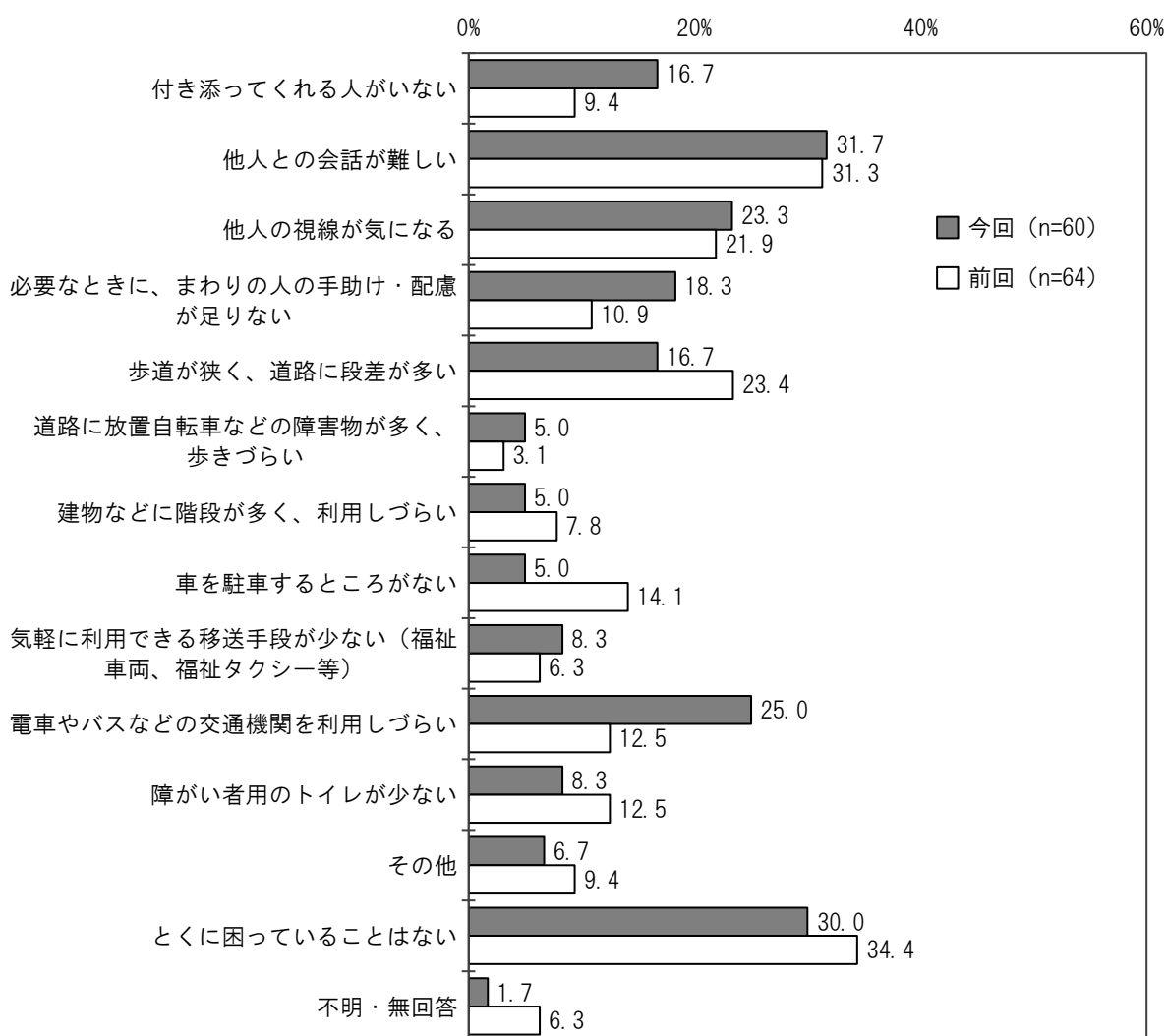
問8 お子さんが外出の際に困っていることはありますか。(複数回答)

外出の際に困っていることについてみると、全体では「他人との会話が難しい」が31.7%と最も高く、次いで「とくに困っていることはない」が30.0%、「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」が25.0%となっています。

前回調査と比較すると、「付き添ってくれる人がいない」「必要なときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない」「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」で増加傾向、「歩道が狭く、道路に段差が多い」「車を駐車するところがない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】で「他人との会話が難しい」「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」、【7～12歳】で「他人との会話が難しい」「とくに困っていることはない」、【13～15歳】で「とくに困っていることはない」、【16～18歳】で「他人との会話が難しい」「他人の視線が気になる」「歩道が狭く、道路に段差が多い」「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「歩道が狭く、道路に段差が多い」、【知的障がい】で「他人との会話が難しい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	他人の視線が気になる	足の人の手助け・配慮がない	必要なのに、まわり	歩道が狭く、道路に段差が多い	道路に障害物が多く、歩きづらい	建物などに階段が多く、利用しづらい	車を駐車するところがない	両手、福祉タクシー等）が少なく、移動が難しい	電車やバスなどの交通機関を利用しづらい	障がい者用のトイレが少ない	その他	はとくに困っていること	不明・無回答
全体		60	16.7	31.7	23.3	18.3	16.7	5.0	5.0	5.0	5.0	8.3	25.0	8.3	6.7	30.0	1.7
年齢	0～6歳	15	6.7	40.0	33.3	13.3	13.3	0.0	0.0	20.0	6.7	40.0	6.7	13.3	20.0	0.0	
	7～12歳	19	21.1	36.8	15.8	21.1	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	10.5	36.8	5.3	
	13～15歳	16	25.0	18.8	18.8	25.0	18.8	0.0	6.3	0.0	12.5	18.8	6.3	0.0	43.8	0.0	
	16～18歳	10	10.0	30.0	30.0	10.0	30.0	10.0	20.0	0.0	20.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0	
障がいの種類	身体障がい	11	9.1	0.0	9.1	18.2	36.4	9.1	27.3	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1	18.2	0.0	
	知的障がい	43	18.6	39.5	25.6	20.9	16.3	2.3	4.7	4.7	11.6	30.2	9.3	4.7	27.9	2.3	

5 余暇活動について

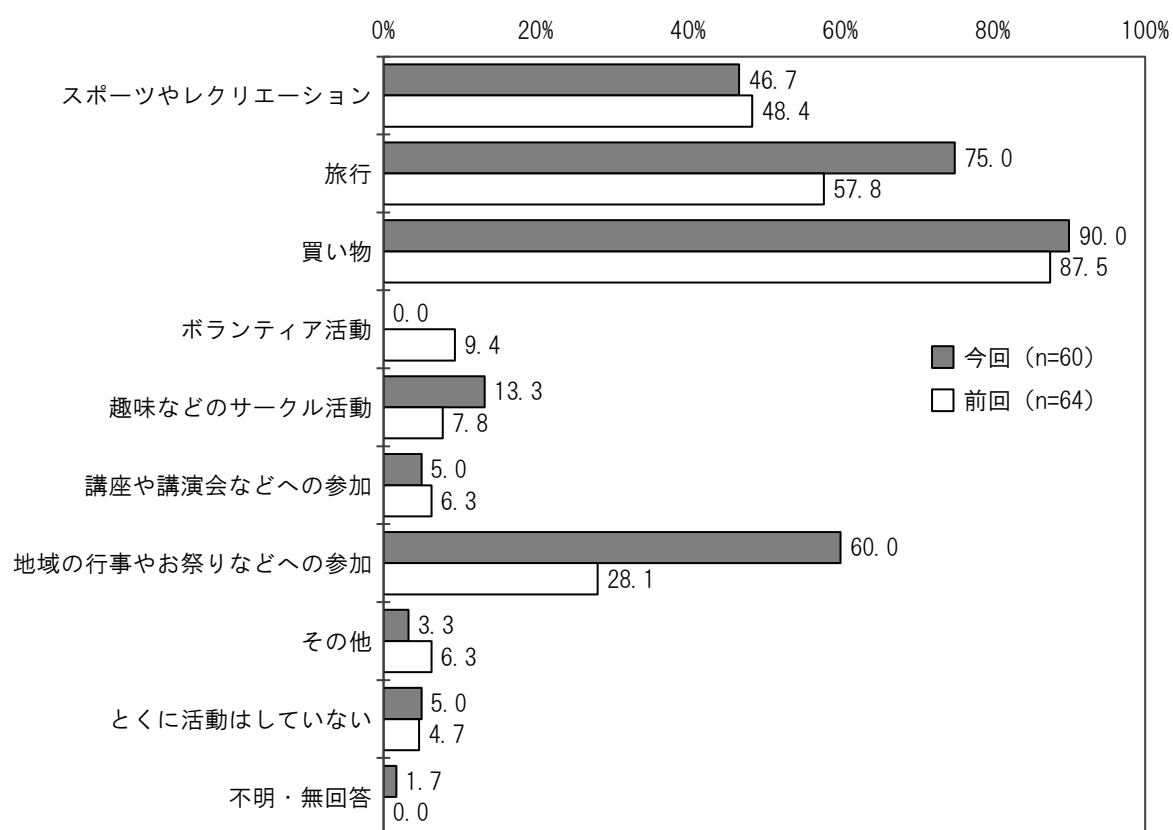
問9 お子さんは直近1年の間に、次のような活動をしましたか。(複数回答)

直近1年の間に行った活動についてみると、全体では「買い物」が90.0%と最も高く、次いで「旅行」が75.0%、「地域の行事やお祭りなどへの参加」が60.0%となっています。

前回調査と比較すると、「旅行」「趣味などのサークル活動」「地域の行事やお祭りなどへの参加」で増加傾向、「ボランティア活動」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】【7～12歳】【13～15歳】で「買い物」、【16～18歳】で「旅行」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「買い物」の割合が最も高くなっています。



		ンクス リポー エー ツシ やレ ヨレ	旅行	買 い 物	活 動 ボ ラ ン テ ィ ア	サ ー クル な ど の 活 動	な 講 座 へ の 講 演 会	の 参 加 祭 り な ど の 事 業	地 域 の 行 事 や お 祭 り	そ の 他	し と く に な 活 動 は い な い	不 明 ・ 無 回 答
	全体	60	46.7	75.0	90.0	0.0	13.3	5.0	60.0	3.3	5.0	1.7
年齢	0～6歳	15	33.3	73.3	93.3	0.0	6.7	6.7	80.0	0.0	6.7	0.0
	7～12歳	19	42.1	73.7	84.2	0.0	10.5	5.3	57.9	5.3	5.3	5.3
	13～15歳	16	43.8	62.5	93.8	0.0	18.8	6.3	50.0	6.3	6.3	0.0
	16～18歳	10	80.0	100.0	90.0	0.0	20.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	54.5	63.6	90.9	0.0	36.4	0.0	63.6	0.0	9.1	0.0
	知的障がい	43	46.5	74.4	88.4	0.0	14.0	7.0	58.1	4.7	4.7	2.3

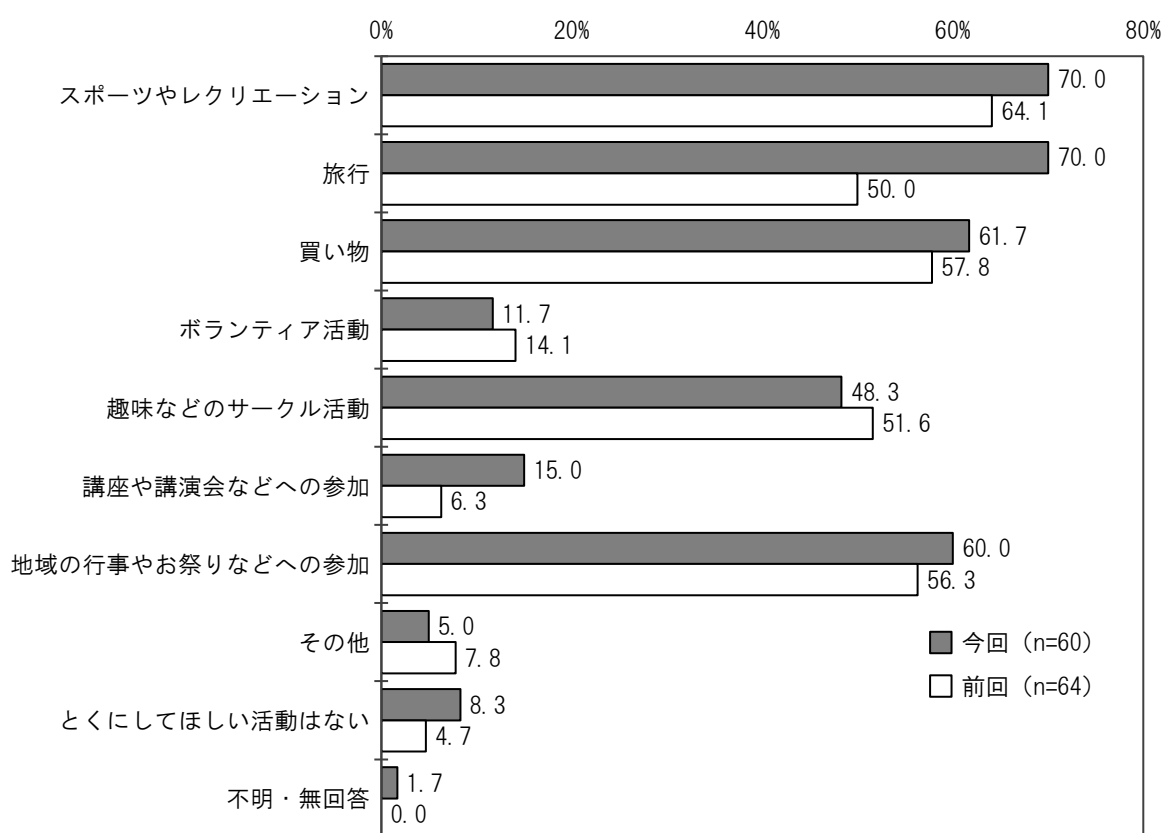
問10 お子さんには、これからどのような活動をしてほしいと思いますか。（複数回答）

これからしてほしい活動についてみると、全体では「スポーツやレクリエーション」「旅行」が70.0%と最も高く、次いで「買い物」が61.7%となっています。

前回調査と比較すると、「スポーツやレクリエーション」「旅行」「講座や講演会などへの参加」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】で「地域の行事やお祭りなどへの参加」、【7～12歳】で「スポーツやレクリエーション」「旅行」、【13～15歳】で「旅行」、【16～18歳】で「スポーツやレクリエーション」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「旅行」、【知的障がい】で「スポーツやレクリエーション」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



			ンクス リポー エー ツシ ヤレ ヨ	旅行	買 い 物	活 動 ボ ラ ン テ ィ ア	サ ー クル な ど の 活 動	講 座 や の 講 演 会	お祭 りの 参 加 の 行 事 や	そ の 他	い く つ か の 活 動 に し て は な ほ	不 明 ・ 無 回 答
全体		60	70.0	70.0	61.7	11.7	48.3	15.0	60.0	5.0	8.3	1.7
年齢	0～6歳	15	66.7	73.3	46.7	6.7	33.3	33.3	80.0	6.7	6.7	0.0
	7～12歳	19	68.4	68.4	63.2	5.3	52.6	10.5	57.9	5.3	10.5	5.3
	13～15歳	16	62.5	68.8	62.5	18.8	56.3	6.3	37.5	6.3	6.3	0.0
	16～18歳	10	90.0	70.0	80.0	20.0	50.0	10.0	70.0	0.0	10.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	63.6	72.7	54.5	18.2	63.6	9.1	54.5	9.1	9.1	0.0
	知的障がい	43	76.7	74.4	69.8	16.3	46.5	18.6	60.5	4.7	7.0	2.3

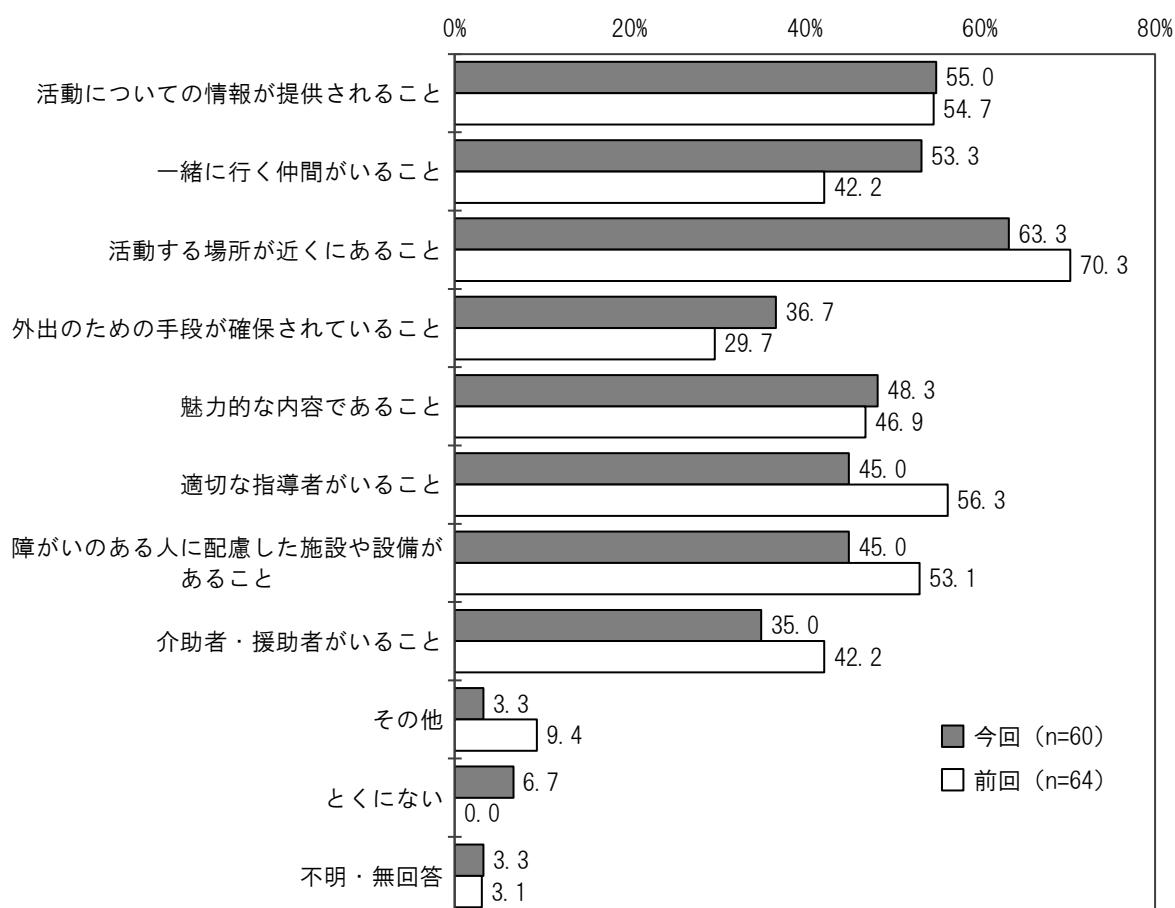
問11 前問のような活動をするためには、どのような条件が必要だと思いますか。（複数回答）

活動をするために必要な条件についてみると、全体では「活動する場所が近くにあること」が63.3%と最も高く、次いで「活動についての情報が提供されること」が55.0%、「一緒に行く仲間がいること」が53.3%となっています。

前回調査と比較すると、「一緒に行く仲間がいること」「外出のための手段が確保されていること」「とくになに」で増加傾向、「活動する場所が近くにあること」「適切な指導者がいること」「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」「介助者・援助者がいること」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】で「活動についての情報が提供されること」、【7～12歳】で「活動する場所が近くにあること」、【13～15歳】で「一緒に行く仲間がいること」「活動する場所が近くにあること」「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」、【16～18歳】で「一緒に行く仲間がいること」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「一緒に行く仲間がいること」「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」、【知的障がい】で「活動する場所が近くにあること」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	が活動に 提供されて いること の情報	一緒に 行く仲間 がい	活動する 場所が 近く	外出のた めの手段 とが	魅力的な 内容であ る	適切な指 導者がい る	障がいのある 人に配 慮した施設 や設備が あること	介助者・援 助者がい る	その他	とくに ない	不明・無 回答
全体		60	55.0	53.3	63.3	36.7	48.3	45.0	45.0	35.0	3.3	6.7	3.3
年齢	0～6歳	15	80.0	40.0	73.3	40.0	53.3	33.3	53.3	33.3	6.7	0.0	0.0
	7～12歳	19	36.8	52.6	63.2	31.6	52.6	57.9	31.6	31.6	0.0	5.3	10.5
	13～15歳	16	43.8	50.0	50.0	18.8	43.8	43.8	50.0	31.3	6.3	18.8	0.0
	16～18歳	10	70.0	80.0	70.0	70.0	40.0	40.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	72.7	45.5	54.5	45.5	18.2	72.7	45.5	9.1	9.1	0.0
	知的障がい	43	62.8	51.2	67.4	41.9	48.8	51.2	46.5	41.9	2.3	4.7	4.7

6 地域とのつながりについて

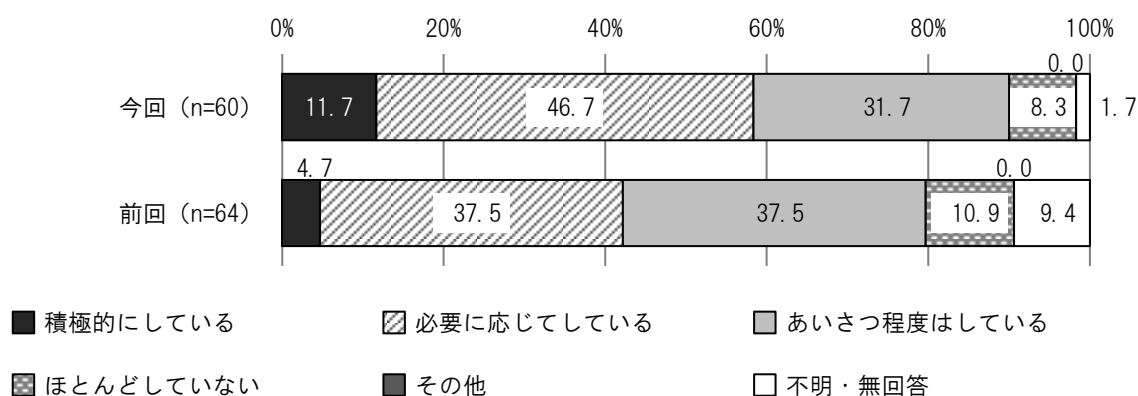
問12 家族として、ご近所とおつきあいは、次のどれにあてはまりますか。(単数回答)

ご近所づきあいの程度についてみると、全体では「必要に応じてしている」が46.7%と最も高く、次いで「あいさつ程度はしている」が31.7%、「積極的にしている」が11.7%となっています。

前回調査と比較すると、「積極的にしている」「必要に応じてしている」で増加傾向、「あいさつ程度はしている」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】【7～12歳】【16～18歳】で「必要に応じてしている」、【13～15歳】で「あいさつ程度はしている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「積極的にしている」「あいさつ程度はしている」「ほとんどしていいない」、【知的障がい】で「必要に応じてしている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	積極的にしている	必要に応じてしている	あいさつ程度はしている	ほとんどしていいない	その他	不明・無回答
全体		60	11.7	46.7	31.7	8.3	0.0	1.7
年齢	0～6歳	15	0.0	53.3	33.3	13.3	0.0	0.0
	7～12歳	19	5.3	57.9	31.6	5.3	0.0	0.0
	13～15歳	16	18.8	31.3	37.5	12.5	0.0	0.0
	16～18歳	10	30.0	40.0	20.0	0.0	0.0	10.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	18.2	27.3	27.3	0.0	0.0
	知的障がい	43	14.0	44.2	34.9	4.7	0.0	2.3

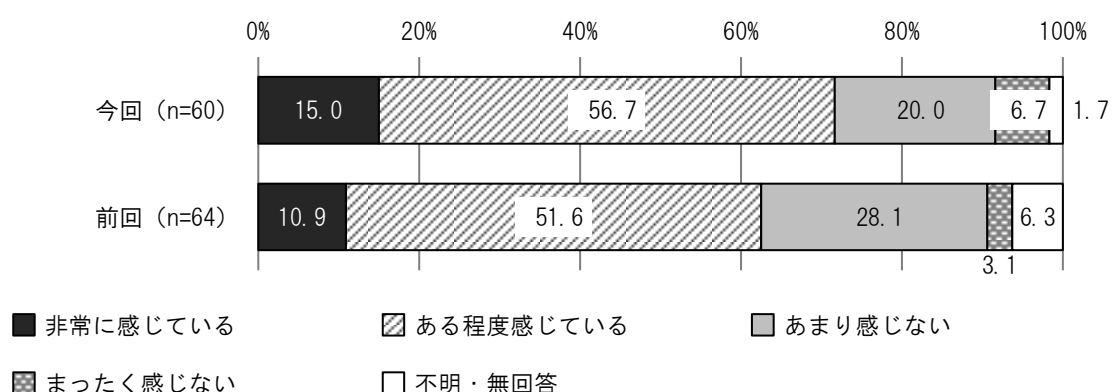
問13 お子さんは、地域の人や社会に支えられていると感じますか。(単数回答)

お子さんが地域の人や社会に支えられていると感じるかについてみると、全体では「ある程度感じている」が56.7%と最も高く、次いで「あまり感じない」が20.0%、「非常に感じている」が15.0%となっています。

前回調査と比較すると、「ある程度感じている」で増加傾向、「あまり感じない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】【7～12歳】【16～18歳】で「ある程度感じている」、「13～15歳」で「非常に感じている」「ある程度感じている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「ある程度感じている」の割合が最も高くなっています。



		n	非常に感じている	ある程度感じている	あまり感じない	まったく感じない	不明・無回答
全体		60	15.0	56.7	20.0	6.7	1.7
年齢	0～6歳	15	13.3	73.3	13.3	0.0	0.0
	7～12歳	19	0.0	68.4	21.1	10.5	0.0
	13～15歳	16	31.3	31.3	25.0	12.5	0.0
	16～18歳	10	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	54.5	9.1	9.1	0.0
	知的障がい	43	16.3	58.1	20.9	2.3	2.3

7 日中の過ごし方について

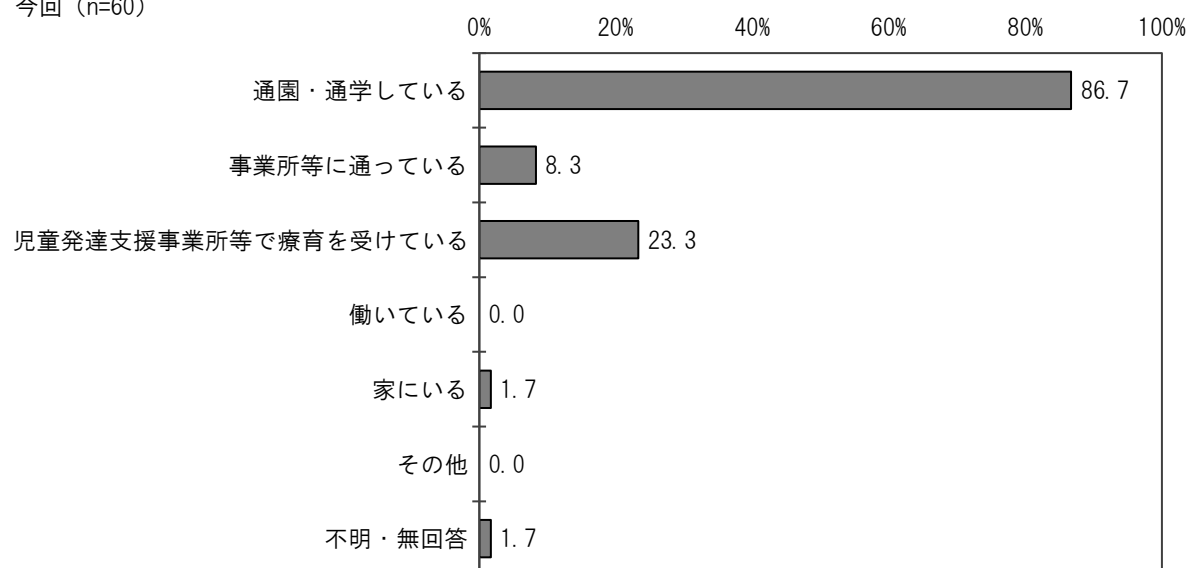
問14 お子さんは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（複数回答）

平日の日中の過ごし方についてみると、全体では「通園・通学している」が86.7%と最も高く、次いで「児童発達支援事業所等で療育を受けている」が23.3%、「事業所等に通っている」が8.3%となっています。

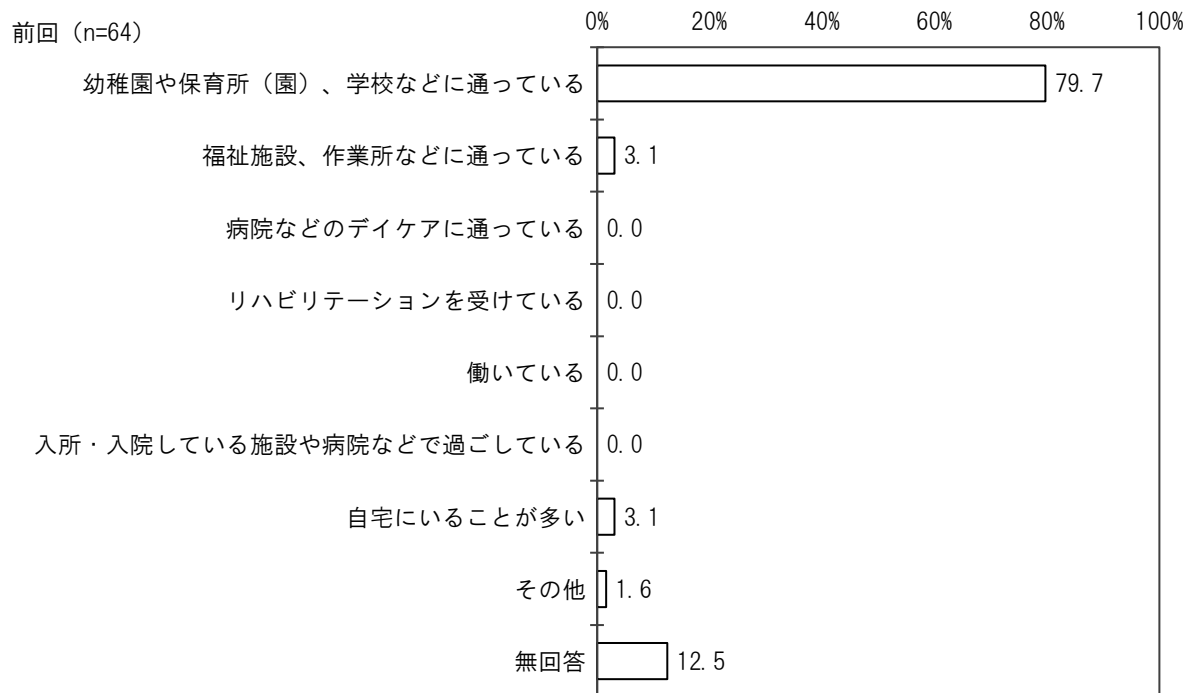
年齢別でみると、【0～6歳】で「児童発達支援事業所等で療育を受けている」の割合が最も高くなっています。【7～12歳】【13～15歳】【16～18歳】で「通園・通学している」の割合がそれぞれ最も高く、【7～12歳】【13～15歳】で100.0%となっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「通園・通学している」の割合が最も高くなっています。

今回（n=60）



《参考》前回調査の設問は単数回答

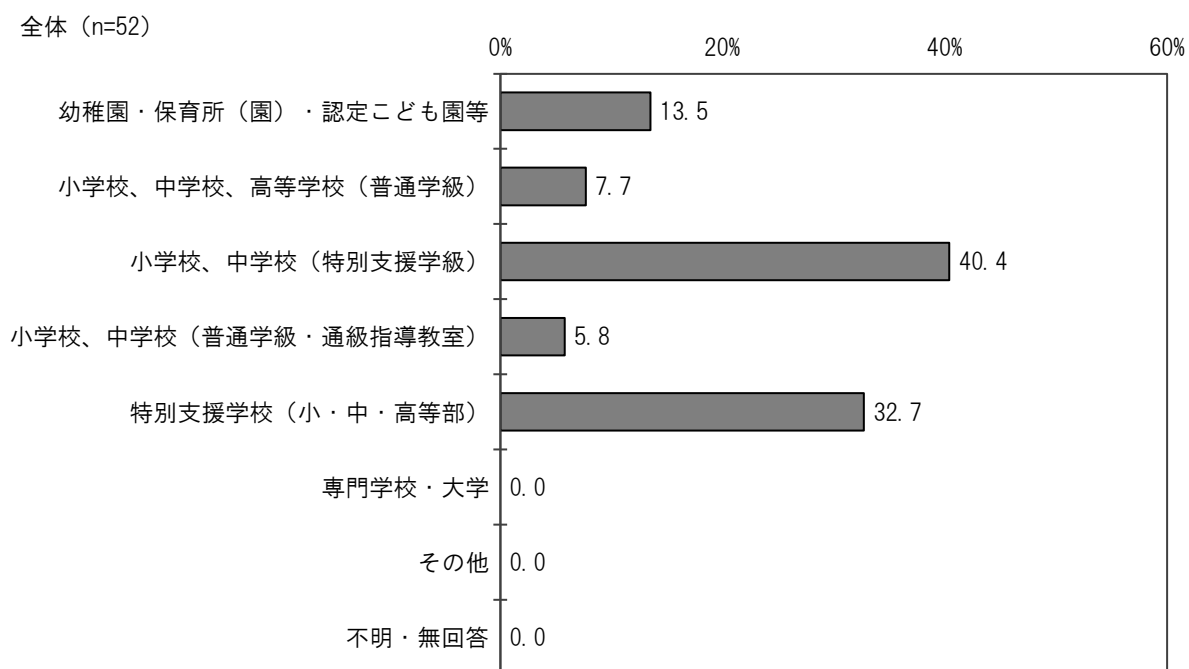


		n	通 る 園 ・ 通 学 し て	て 事 業 所 等 に 通 つ	受 け て い る 児 童 発 達 支 援 を 事	働 い て い る	家 に い る	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		60	86.7	8.3	23.3	0.0	1.7	0.0	1.7
年齢	0～6歳	15	53.3	20.0	66.7	0.0	6.7	0.0	0.0
	7～12歳	19	100.0	5.3	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	13～15歳	16	100.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	16～18歳	10	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
障がいの種類	身体障がい	11	72.7	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0
	知的障がい	43	88.4	7.0	18.6	0.0	0.0	0.0	2.3

【問14で「通園・通学している」と回答した方】

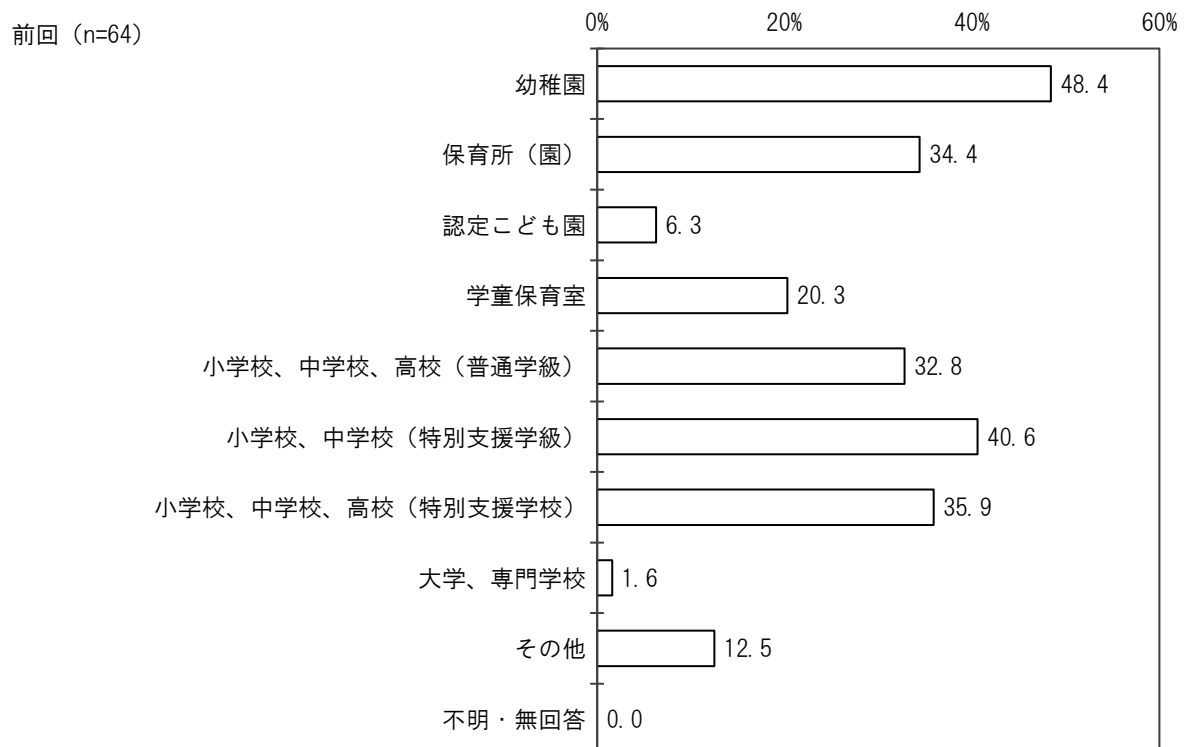
問14－1 お子さんの通園・通学先をお答えください。（単数回答）

通園・通学先についてみると、全体では「小学校、中学校（特別支援学級）」が40.4%と最も高く、次いで「特別支援学校（小・中・高等部）」が32.7%、「幼稚園・保育所（園）・認定こども園等」が13.5%となっています。



《参考》前回設問：お子さんは、次のような施設や教育機関を利用したこと(している)がありますか。

「利用したことがある(している)」と回答した割合



《参考》

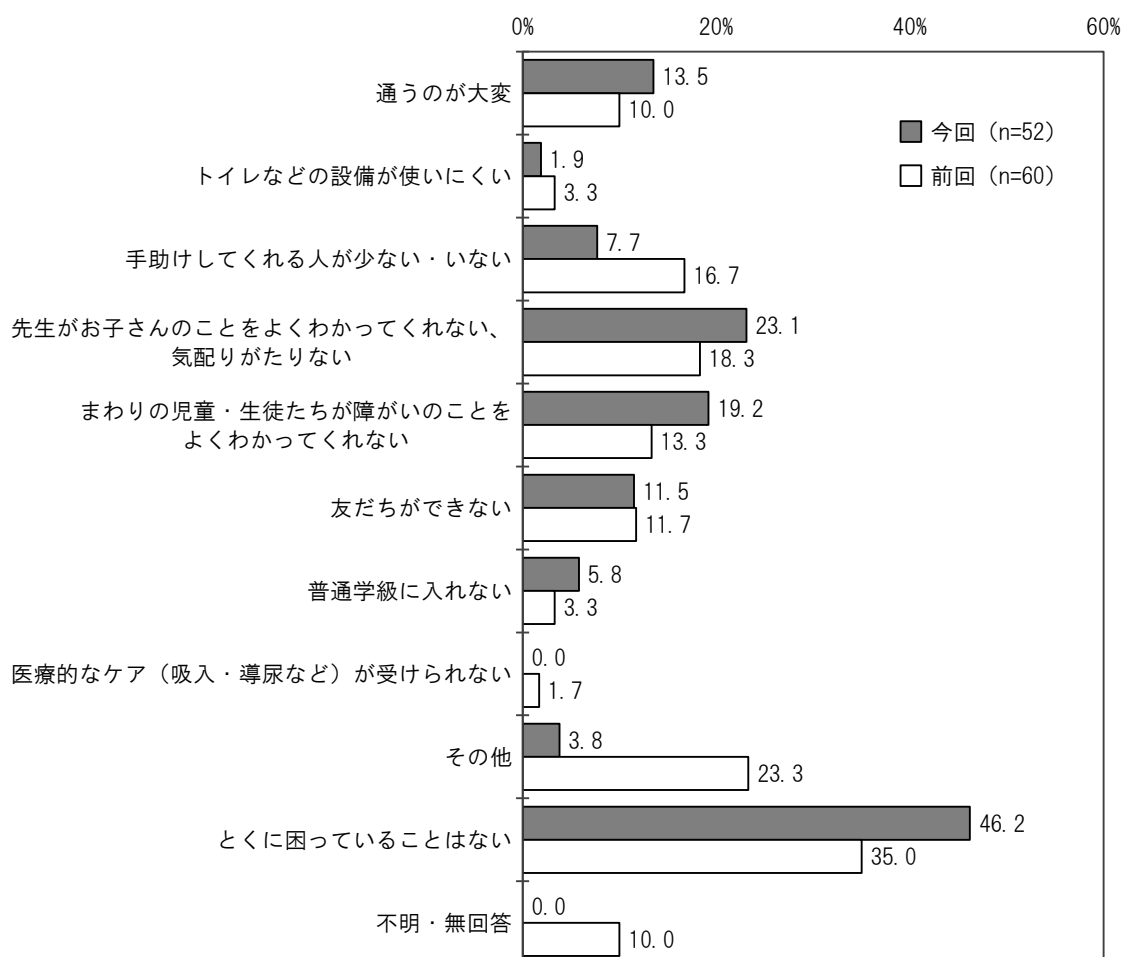
		幼稚園・保育所(園)	小学校、中学校、高等学校(普通学級)	小学校、中学校(特別支援学級)	小学校、中学校(普通学級・通級指導教室)	特別支援学校(小・中・高等部)	専門学校・大学	その他	不明・無回答
	n								
全体		52	13.5	7.7	40.4	5.8	32.7	0.0	0.0
年齢	0～6歳	8	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	7～12歳	19	0.0	10.5	73.7	5.3	10.5	0.0	0.0
	13～15歳	16	0.0	12.5	37.5	12.5	37.5	0.0	0.0
	16～18歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	8	0.0	25.0	12.5	12.5	50.0	0.0	0.0
	知的障がい	38	10.5	0.0	47.4	2.6	39.5	0.0	0.0

【問14で「通園・通学している」と回答した方】

問14-2 通園・通学で困っていることはありますか。(複数回答)

通園・通学等での困りごとについてみると、全体では「とくに困っていることはない」が46.2%と最も高く、次いで「先生がお子さんのことをよくわかってくれない、心配りがたりない」が23.1%、「まわりの児童・生徒たちが障がいのことをよくわかってくれない」が19.2%となっています。

前回調査と比較すると、「まわりの児童・生徒たちが障がいのことをよくわかってくれない」「とくに困っていることはない」で増加傾向、「手助けしてくれる人が少ない・いない」で減少傾向がみられます。



《参考》

		n	通うのが大変	トイレなどの設備が使いにくい	手助けしてくれる人が少ない・いない	先生がお子さんのことをよくわかってくれない、心配りがたりない	まわりの児童・生徒たちが障がいのことをよくわかってくれない	友だちができない	普通学級に入れない	医療的なケア（吸入・導尿など）が受けられない	その他	とくに困っていることはない	不明・無回答
全体		52	13.5	1.9	7.7	23.1	19.2	11.5	5.8	0.0	3.8	46.2	0.0
年齢	0～6歳	8	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0
	7～12歳	19	5.3	5.3	21.1	31.6	47.4	26.3	0.0	0.0	5.3	26.3	0.0
	13～15歳	16	18.8	0.0	0.0	25.0	0.0	6.3	12.5	0.0	6.3	43.8	0.0
	16～18歳	9	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0
障がいの種類	身体障がい	8	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	知的障がい	38	13.2	2.6	7.9	18.4	18.4	10.5	7.9	0.0	5.3	47.4	0.0

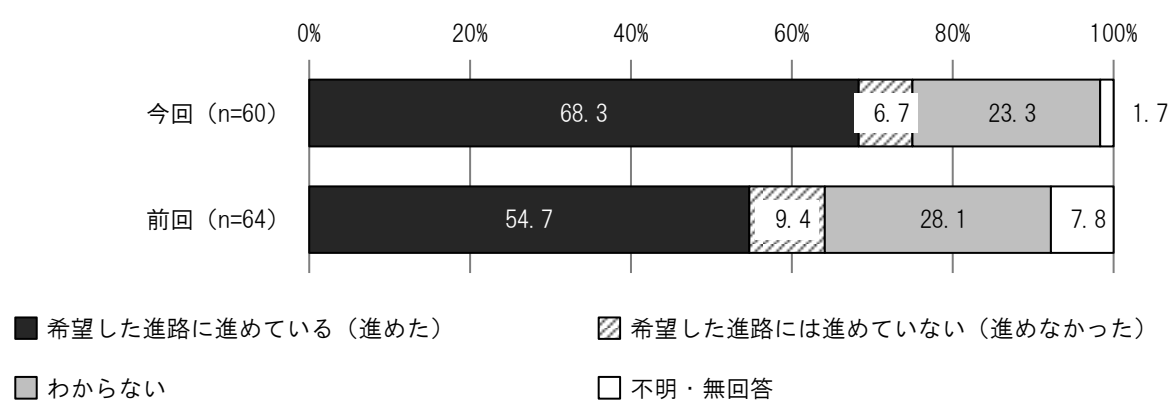
問15 お子さんの進路について、本人や保護者の方が希望していた進路に進むことができますか。(単数回答)

本人や保護者が希望していた進路に進むことができるかについてみると、全体では「希望した進路に進めている(進めた)」が68.3%と最も高く、次いで「わからない」が23.3%、「希望した進路には進めていない(進めなかった)」が6.7%となっています。

前回調査と比較すると、「希望した進路に進めている(進めた)」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「希望した進路に進めている(進めた)」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「希望した進路に進めている(進めた)」の割合が最も高くなっています。



		n	た め 希 望 い る (進 路 め に 進 め た)	め 進 め な か つ た (進 路 に 進 め た)	希 望 し た 進 路 に は 進 め な か つ た (進 路 に 進 め た)	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		60	68.3	6.7	23.3	1.7	
年 齢	0～6歳	15	60.0	20.0	20.0	0.0	
	7～12歳	19	68.4	5.3	26.3	0.0	
	13～15歳	16	75.0	0.0	25.0	0.0	
	16～18歳	10	70.0	0.0	20.0	10.0	
障がいの種類	身体障がい	11	72.7	0.0	27.3	0.0	
	知的障がい	43	60.5	7.0	30.2	2.3	

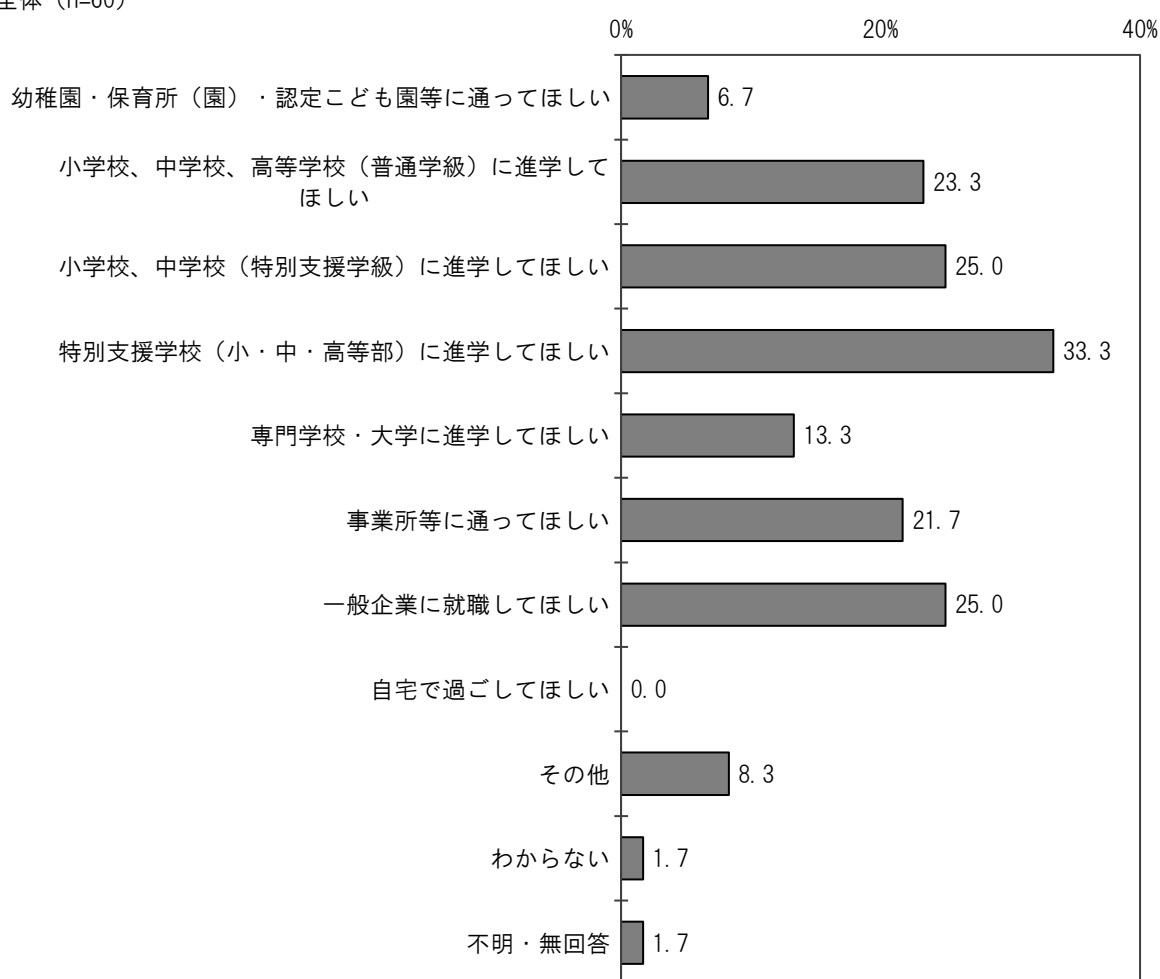
問16 今後の就園・就学・卒業後についてどのようにお考えですか。（複数回答）

今後の就園・就学・卒業後の考えについてみると、全体では「特別支援学校（小・中・高等部）に進学してほしい」が33.3%と最も高く、次いで「小学校、中学校（特別支援学級）に進学してほしい」「一般企業に就職してほしい」が25.0%となっています。

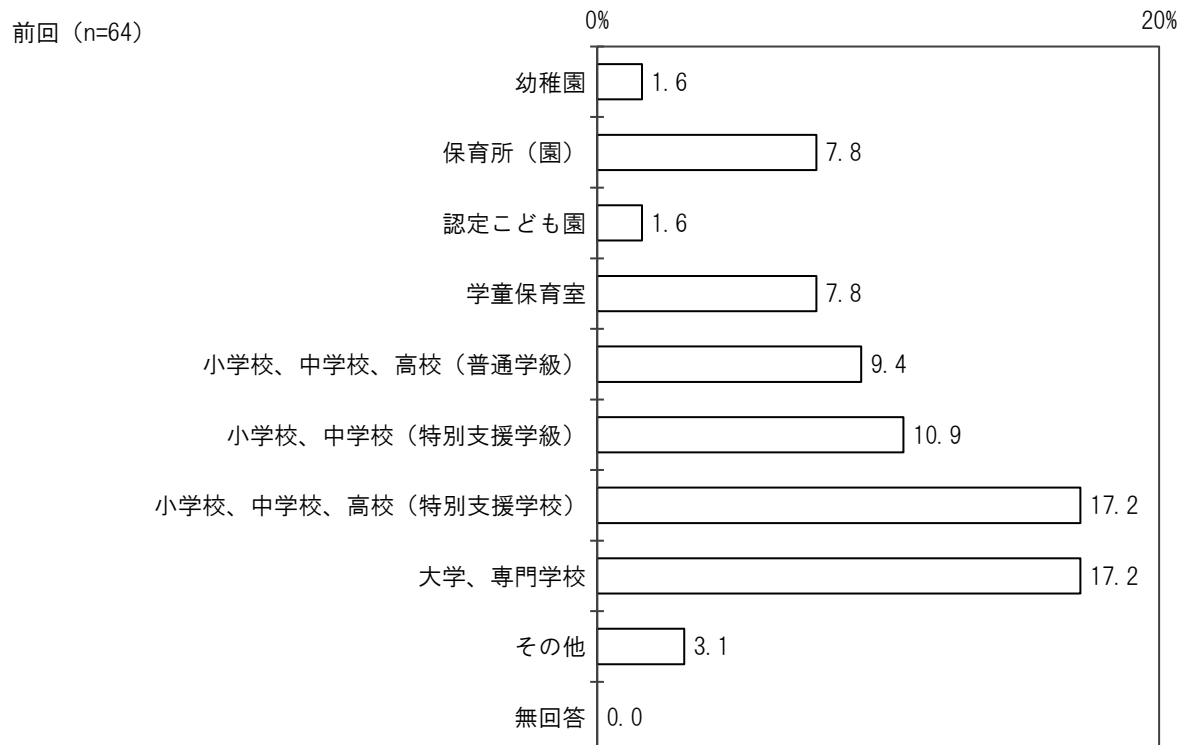
年齢別でみると、【0～6歳】で「小学校、中学校、高等学校（普通学級）に進学してほしい」「小学校、中学校（特別支援学級）に進学してほしい」「特別支援学校（小・中・高等部）に進学してほしい」、【7～12歳】で「小学校、中学校（特別支援学級）に進学してほしい」、【13～15歳】で「特別支援学校（小・中・高等部）に進学してほしい」、【16～18歳】で「事業所等に通ってほしい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「特別支援学校（小・中・高等部）に進学してほしい」の割合が最も高くなっています。

全体（n=60）



《参考》前回設問：お子さんは、次のような施設や教育機関を利用したこと(している)がありますか。また、今後、利用したいですか。
「今後、利用したい」と回答した割合



		n	園等に通ってほしい (幼稚園・保育所・認定こども園)	小学校・中学校・高等学校(普通学級)に進学してほしい	小学校・中学校(特別支援学級)に進学してほしい	特別支援学校(小・中・高等部)に進学してほしい	専門学校・大学に進学してほしい	事業所等に通ってほしい	一般企業に就職してほしい	自宅で過ごしてほしい	その他	わからない	不明・無回答
全体		60	6.7	23.3	25.0	33.3	13.3	21.7	25.0	0.0	8.3	1.7	1.7
年齢	0～6歳	15	26.7	33.3	33.3	33.3	20.0	6.7	26.7	0.0	0.0	6.7	0.0
	7～12歳	19	0.0	26.3	52.6	36.8	15.8	10.5	21.1	0.0	10.5	0.0	0.0
	13～15歳	16	0.0	25.0	0.0	50.0	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	16～18歳	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	10.0	0.0	30.0	0.0	10.0
障がいの種類	身体障がい	11	9.1	18.2	18.2	36.4	0.0	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0
	知的障がい	43	7.0	16.3	23.3	34.9	11.6	30.2	23.3	0.0	9.3	2.3	2.3

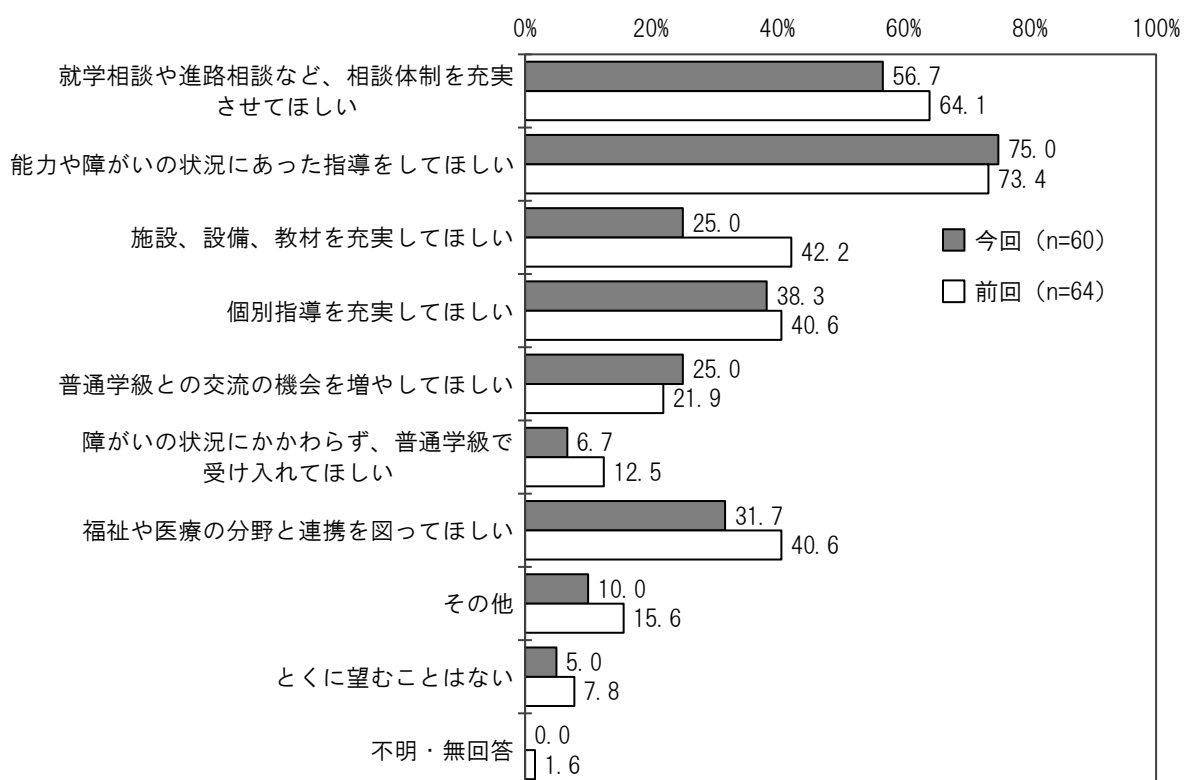
問17 学校教育に望むことはどのようなことですか。（複数回答）

学校教育に望むことについてみると、全体では「能力や障がいの状況にあった指導をしてほしい」が75.0%と最も高く、次いで「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」が56.7%、「個別指導を充実してほしい」が38.3%となっています。

前回調査と比較すると、「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」「施設、設備、教材を充実してほしい」「障がいの状況にかかわらず、普通学級で受け入れてほしい」「福祉や医療の分野と連携を図ってほしい」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「能力や障がいの状況にあった指導をしてほしい」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」、【知的障がい】で「能力や障がいの状況にあった指導をしてほしい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	せてほ しい	就学相 談や進 路相談 を充実 させな い	い あつた 指導を してい る状況 に	能力や 障がい の状況 に	施設、 設備、 教材を 充	実して ほしい	個別指 導を充 実にし てほ しい	普通学 級との 交流の 機会を 増やし てほ しい	障がい の状況 にか かわら ず、普 通学級 で受け 入れて ほしい	福祉や 医療の 分野と 連携を 図って ほしい	その他	とくに 望むこ とはな い	不明・ 無回答
全体		60	56.7	75.0	25.0	38.3	25.0	6.7	31.7	10.0	5.0	0.0			
年齢	0～6歳	15	73.3	86.7	40.0	40.0	20.0	0.0	53.3	13.3	0.0	0.0			
	7～12歳	19	57.9	94.7	21.1	52.6	42.1	15.8	26.3	10.5	0.0	0.0			
	13～15歳	16	50.0	56.3	18.8	31.3	12.5	6.3	25.0	6.3	12.5	0.0			
	16～18歳	10	40.0	50.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0			
障がいの種類	身体障がい	11	54.5	45.5	36.4	18.2	0.0	0.0	36.4	9.1	18.2	0.0			
	知的障がい	43	60.5	81.4	30.2	39.5	30.2	4.7	34.9	7.0	4.7	0.0			

8 相談・情報について

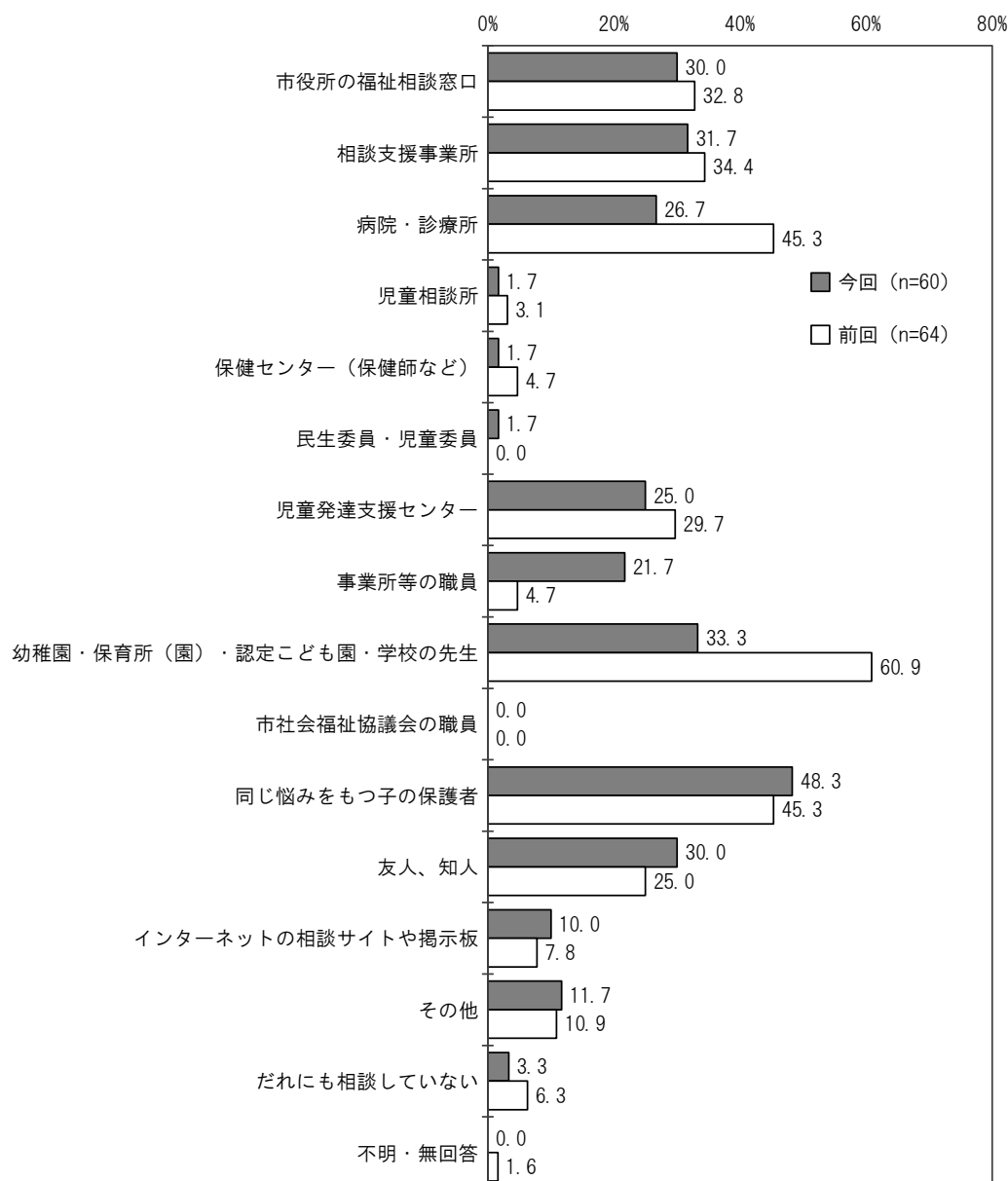
問18 お子さんのことで、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（複数回答）

悩みごとや心配ごとの相談先についてみると、「同じ悩みをもつ子の保護者」が48.3%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所（園）・認定こども園・学校の先生」が33.3%、「相談支援事業所」が31.7%となっています。

前回調査と比較すると、「事業所等の職員」「友人、知人」で増加傾向、「病院・診療所」「幼稚園・保育所（園）・認定こども園・学校の先生」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】で「児童発達支援センター」、【7～12歳】【13～15歳】で「同じ悩みをもつ子の保護者」、【16～18歳】で「相談支援事業所」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「同じ悩みをもつ子の保護者」の割合が最も高くなっています。



		窓 口	市役所の福祉相談	相談支援事業所	病院・診療所	児童相談所	保健センター（保健師など）	民生委員・児童委員	児童発達支援センター	事業所等の職員
		n								
	全体	60	30.0	31.7	26.7	1.7	1.7	1.7	25.0	21.7
年齢	0～6歳	15	26.7	26.7	26.7	6.7	0.0	0.0	73.3	40.0
	7～12歳	19	26.3	21.1	21.1	0.0	0.0	5.3	15.8	15.8
	13～15歳	16	31.3	31.3	31.3	0.0	6.3	0.0	6.3	18.8
	16～18歳	10	40.0	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
障がいの種類	身体障がい	11	45.5	36.4	45.5	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1
	知的障がい	43	25.6	37.2	23.3	0.0	2.3	2.3	20.9	18.6

		も（幼稚園・保育園・学・校の先生）	幼稚園・保育園・学・校の先生	市の社会福祉協議会の職員	同じ悩みをもつ子の保護者	友人、知人	相談サイトやネットの掲示板	その他	いだれにも相談して	不明・無回答
		n								
	全体	60	33.3	0.0	48.3	30.0	10.0	11.7	3.3	0.0
年齢	0～6歳	15	40.0	0.0	46.7	46.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	7～12歳	19	26.3	0.0	52.6	26.3	5.3	15.8	5.3	0.0
	13～15歳	16	25.0	0.0	50.0	18.8	18.8	18.8	0.0	0.0
	16～18歳	10	50.0	0.0	40.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	0.0	54.5	45.5	9.1	9.1	0.0	0.0
	知的障がい	43	32.6	0.0	51.2	27.9	11.6	11.6	4.7	0.0

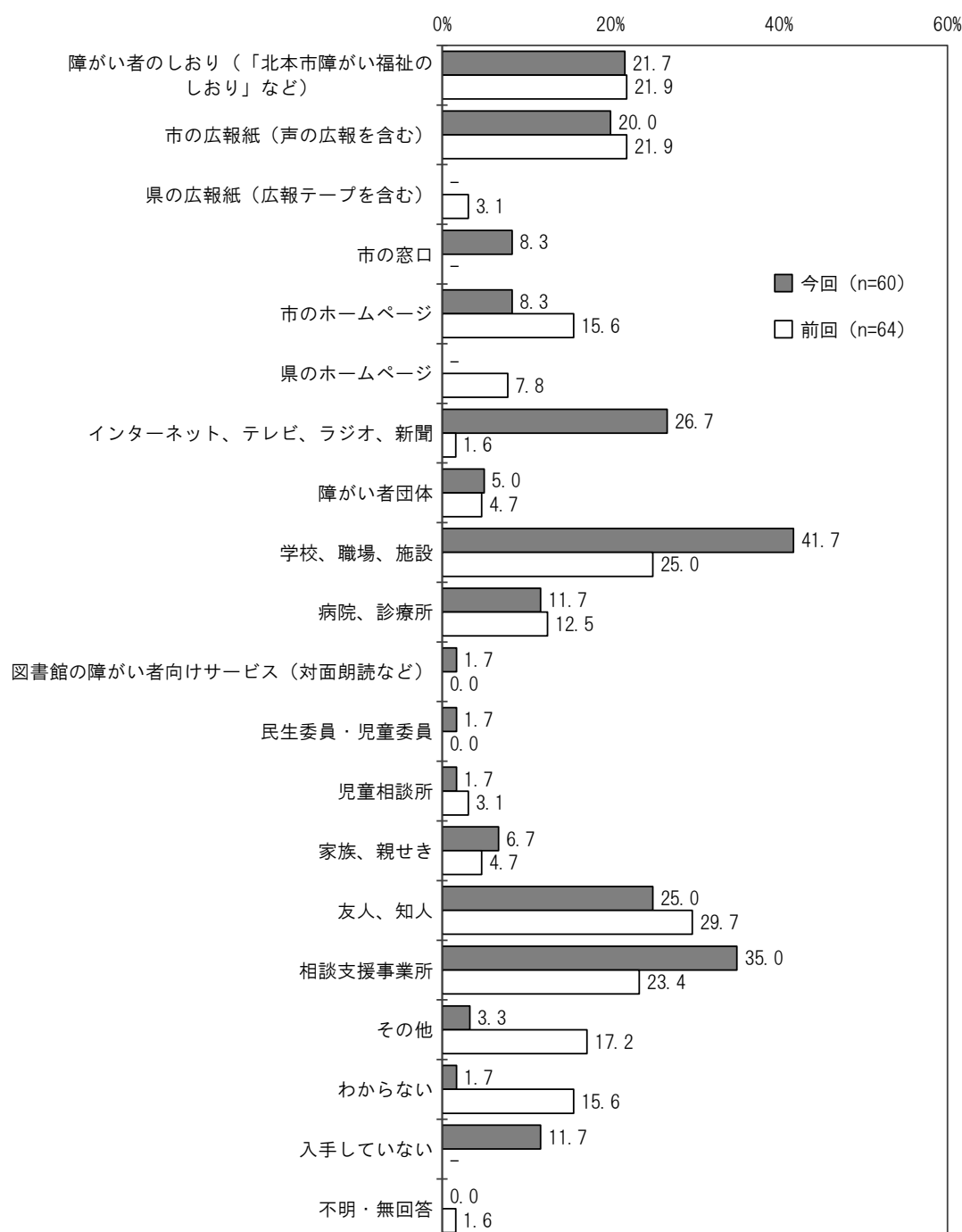
問19 障がい福祉サービスなどの情報をどこから得ていますか。（複数回答）

障がい福祉サービスなどの情報の入手先についてみると、「学校、職場、施設」が41.7%と最も高く、次いで「相談支援事業所」が35.0%、「インターネット、テレビ、ラジオ、新聞」が26.7%となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット、テレビ、ラジオ、新聞」「学校、職場、施設」「相談支援事業所」で増加傾向、「市のホームページ」「わからない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】で「相談支援事業所」、【7～12歳】【13～15歳】【16～18歳】で「学校、職場、施設」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「相談支援事業所」、【知的障がい】で「学校、職場、施設」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	障がい者のしおり（「北 本市障がい福祉のしお り」など）	市の広報紙（声の広報を 含む）	市の窓 口	市のホーム ページ	イン ター ネッ ト、 テレ ビ、 ラジ オ、 新聞	障 が い 者 団 体	学 校、 職 場、 施 設	病 院、 診 療 所	図 書 館 の 障 が い 者 向 け サ ー ビ ス （ 対 面 朗 読 な ど）
全体		60	21.7	20.0	8.3	8.3	26.7	5.0	41.7	11.7	1.7
年齢	0～6歳	15	26.7	20.0	20.0	6.7	26.7	0.0	20.0	6.7	0.0
	7～12歳	19	10.5	15.8	0.0	5.3	21.1	0.0	47.4	15.8	5.3
	13～15歳	16	25.0	18.8	0.0	6.3	25.0	12.5	43.8	12.5	0.0
	16～18歳	10	30.0	30.0	20.0	20.0	40.0	10.0	60.0	10.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	36.4	9.1	27.3	27.3	27.3	18.2	27.3	18.2	0.0
	知的障がい	43	23.3	20.9	7.0	4.7	25.6	4.7	46.5	7.0	0.0

		n	民 生 委 員・ 児 童 委 員	児 童 相 談 所	家 族、 親 せ き	友 人、 知 人	相 談 支 援 事 業 所	そ の 他	わ か ら な い	入 手 し て い な い	不 明・ 無 回 答
全体		60	1.7	1.7	6.7	25.0	35.0	3.3	1.7	11.7	0.0
年齢	0～6歳	15	0.0	0.0	6.7	33.3	46.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	7～12歳	19	5.3	5.3	5.3	21.1	31.6	0.0	5.3	21.1	0.0
	13～15歳	16	0.0	0.0	12.5	18.8	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	16～18歳	10	0.0	0.0	0.0	30.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	0.0	0.0	9.1	18.2	45.5	9.1	0.0	18.2	0.0
	知的障がい	43	2.3	2.3	7.0	25.6	34.9	2.3	2.3	9.3	0.0

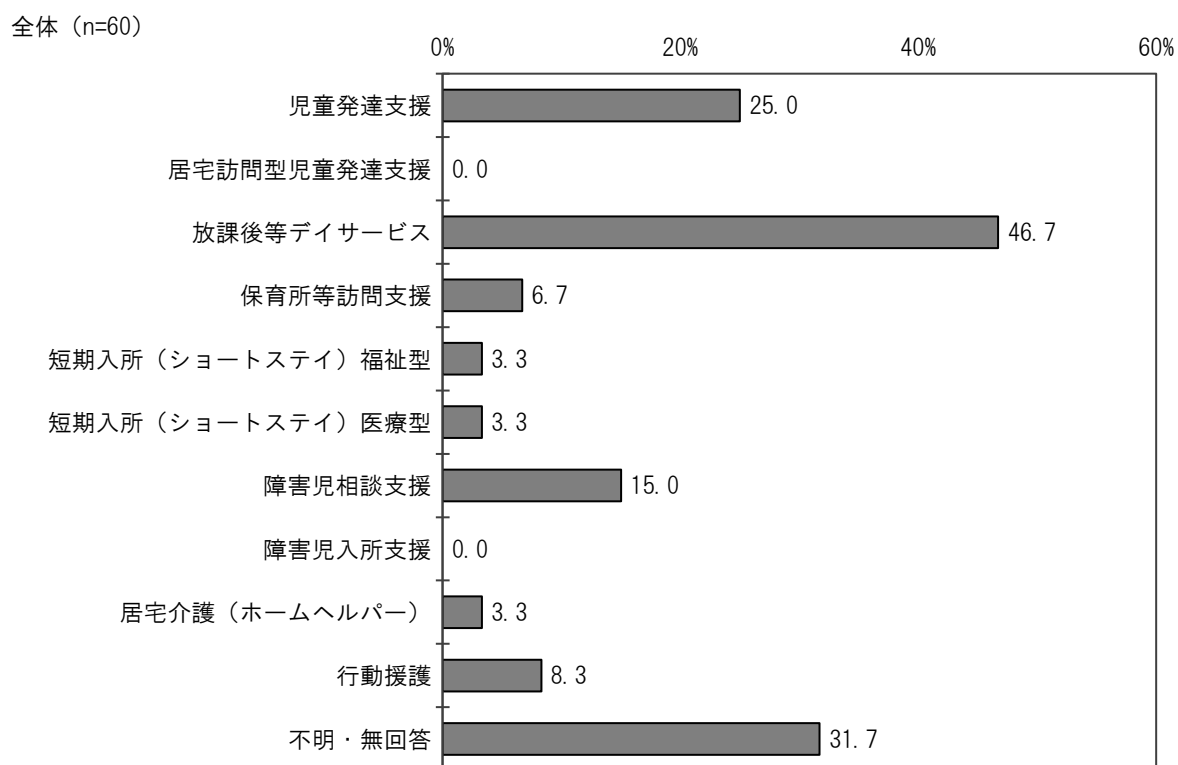
9 障がい児福祉サービスについて

問20 下記の障がい児福祉サービス等を利用していますか。(複数回答)

サービスの利用状況についてみると、「放課後等デイサービス」が46.7%と最も高く、次いで「児童発達支援」が25.0%、「障害児相談支援」が15.0%となっています。

年齢別でみると、【0～6歳】で「児童発達支援」、【7～12歳】【13～15歳】【16～18歳】で「放課後等デイサービス」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

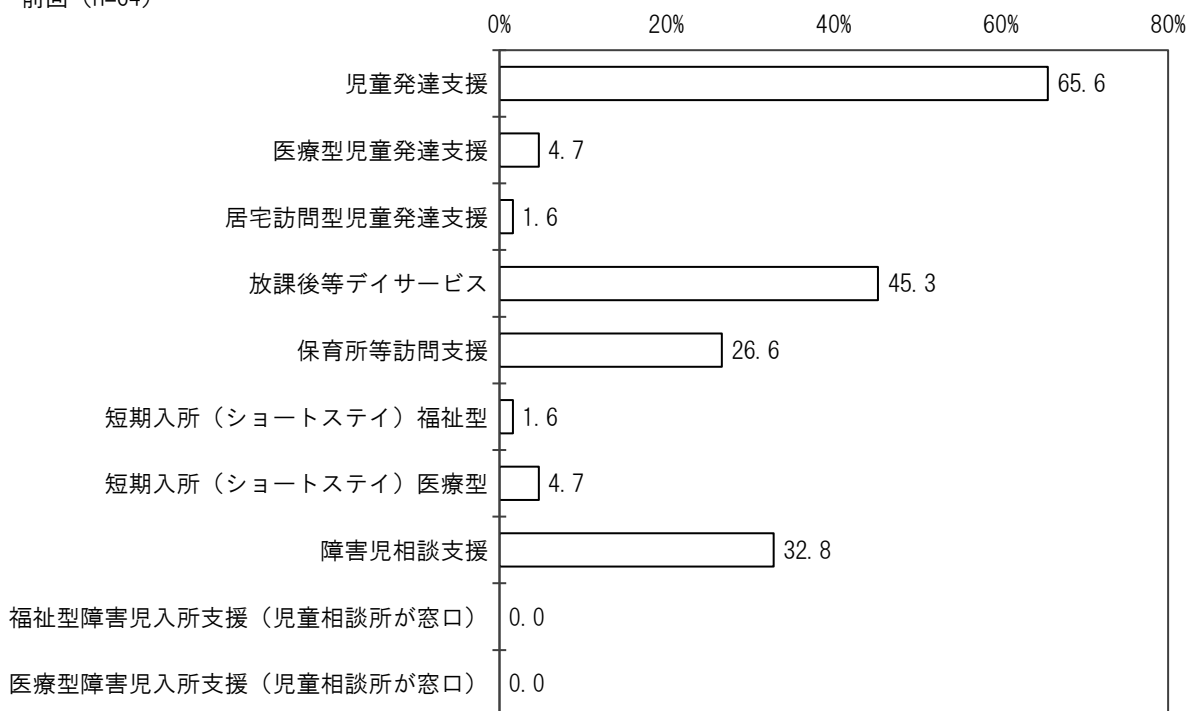
障がいの種類別では、【身体障がい】で「児童発達支援」、【知的障がい】で「放課後等デイサービス」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



《参考》前回設問：お子さんは、次のサービスを利用したこと(している)がありますか。

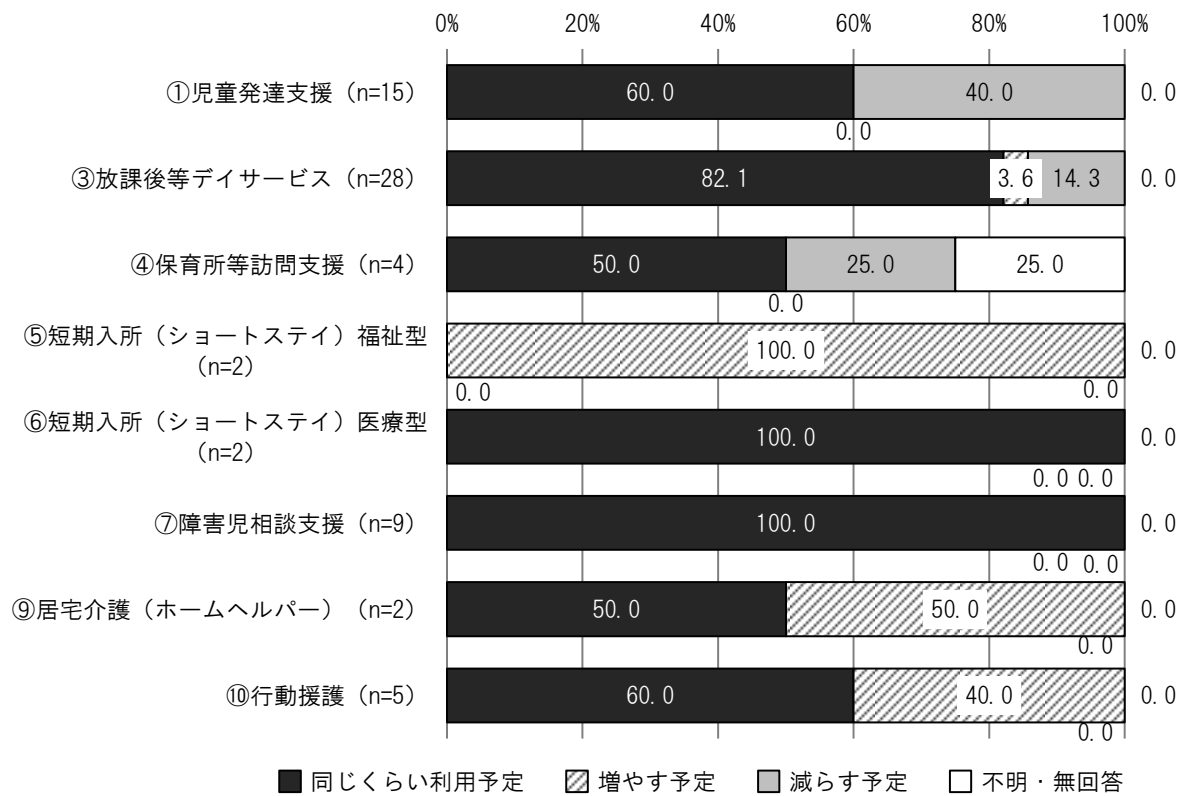
「利用の有無」で「ある」と回答した割合

前回 (n=64)



		n	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	短期入所（ショートステイ）福祉型	短期入所（ショートステイ）医療型	障害児相談支援	障害児入所支援	居宅介護（ホームヘルパー）	行動援護	不明・無回答
全体		60	25.0	0.0	46.7	6.7	3.3	3.3	15.0	0.0	3.3	8.3	31.7
年齢	0～6歳	15	86.7	0.0	13.3	26.7	0.0	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
	7～12歳	19	10.5	0.0	73.7	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	5.3	5.3	26.3
	13～15歳	16	0.0	0.0	31.3	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3	68.8
	16～18歳	10	0.0	0.0	70.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	30.0	30.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	0.0	18.2	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	9.1	9.1	54.5
	知的障がい	43	20.9	0.0	51.2	4.7	4.7	0.0	16.3	0.0	2.3	11.6	32.6

■今後（３年以内）の利用予定（単数回答）



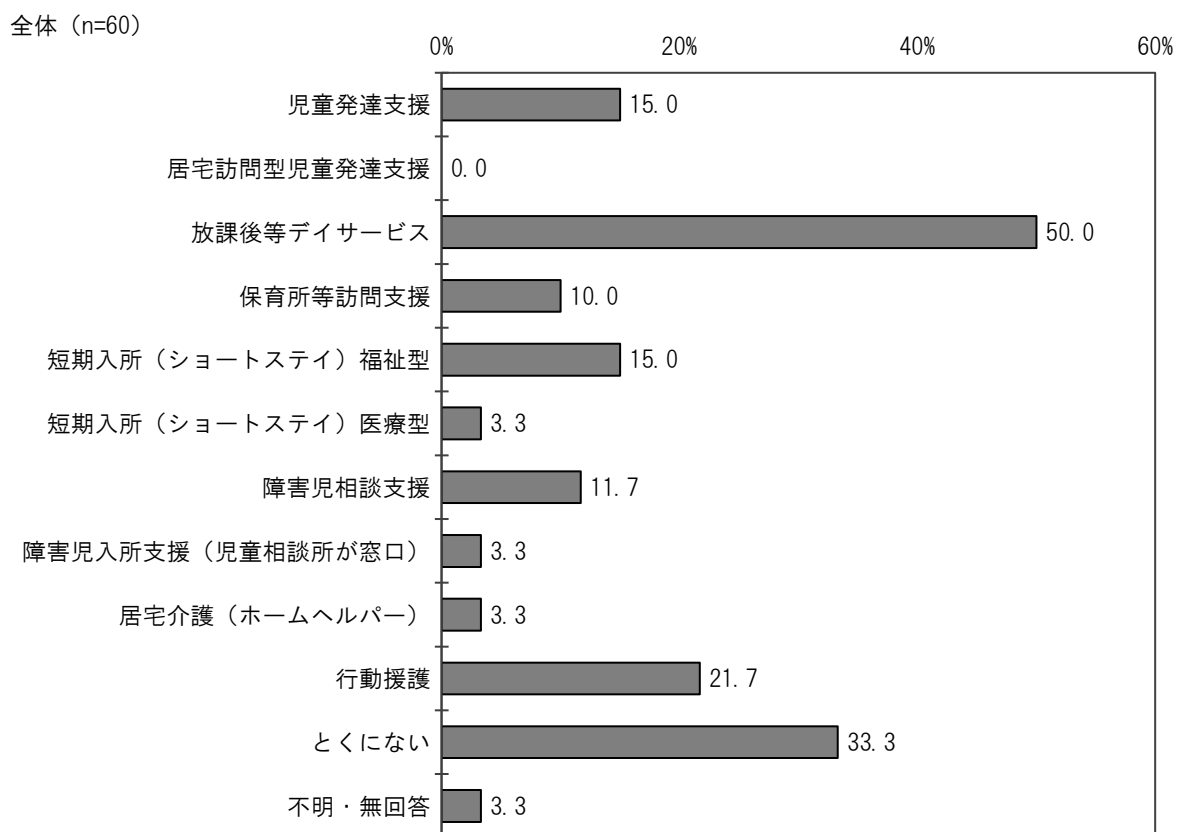
※②居宅訪問型児童発達支援、⑧障害児入所支援は(n=0)のため省略

問21 現在の利用にかかわらず、今後（おおむね3年以内）に利用したい障がい児福祉サービスはありますか。（複数回答）

今後利用したい障がい福祉サービスについてみると、「放課後等デイサービス」が50.0%と最も高く、次いで「とくにない」が33.3%、「行動援護」が21.7%となっています。

年齢別でみると、【0～6歳】【7～12歳】で「放課後等デイサービス」、【13～15歳】【16～18歳】で「とくにない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

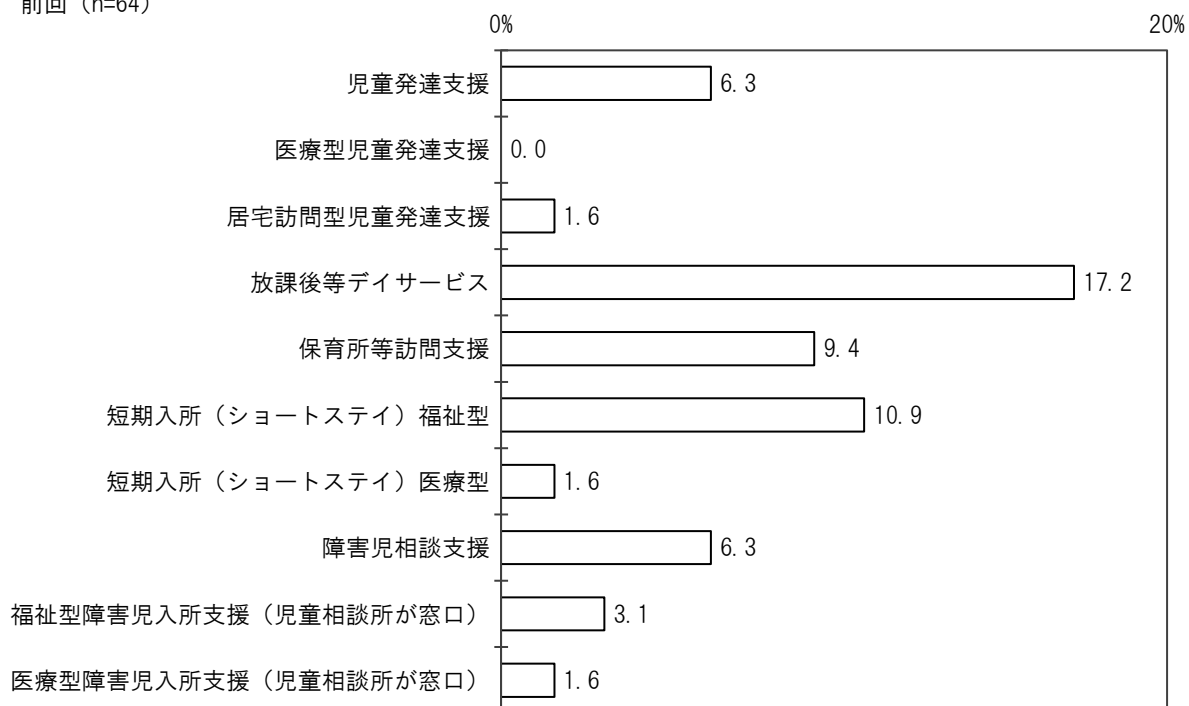
障がいの種類別では、【身体障がい】で「とくにない」、【知的障がい】で「放課後等デイサービス」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



《参考》前回設問：あなたは、ここ1年くらいの間に、次のサービスを利用しましたか。また、今後、利用したいですか。

今後の利用希望で「ある」と回答した割合

前回（n=64）



		児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	短期入所（ショートステイ）福祉型	短期入所（ショートステイ）医療型	障害児相談支援	（児童相談所が窓口）	障害児入所支援（ヘルパー）	居宅介護（ホームヘルパー）	行動援護	とくにない	不明・無回答
	n													
全体		60	15.0	0.0	50.0	10.0	15.0	3.3	11.7	3.3	3.3	21.7	33.3	3.3
年齢	0～6歳	15	40.0	0.0	66.7	33.3	6.7	13.3	0.0	6.7	6.7	6.7	20.0	0.0
	7～12歳	19	15.8	0.0	63.2	5.3	10.5	0.0	31.6	0.0	5.3	15.8	15.8	5.3
	13～15歳	16	0.0	0.0	25.0	0.0	31.3	0.0	6.3	6.3	0.0	37.5	56.3	6.3
	16～18歳	10	0.0	0.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	50.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	18.2	0.0	45.5	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	54.5	0.0
	知的障がい	43	4.7	0.0	51.2	7.0	18.6	0.0	11.6	4.7	2.3	25.6	34.9	4.7

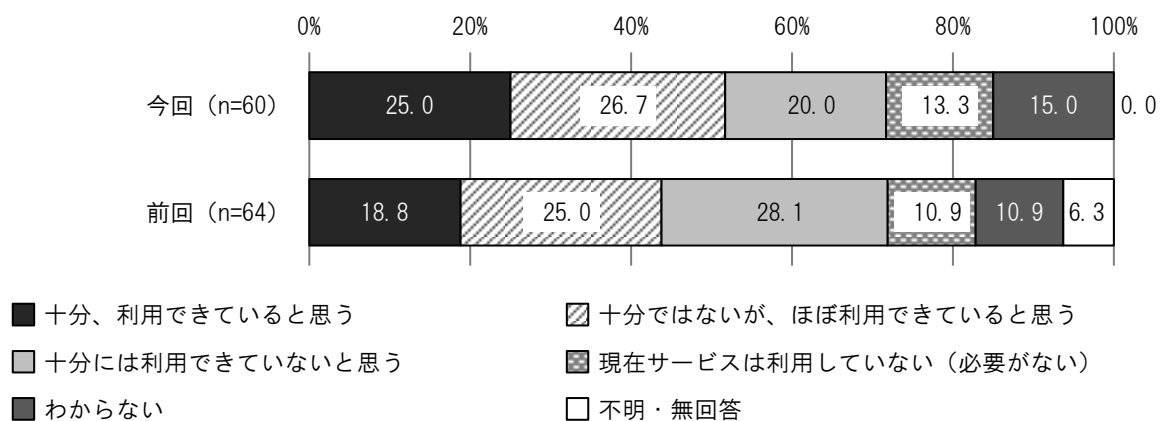
問22 あなたは、現在、福祉サービスを十分に利用できていると思いますか。（単数回答）

福祉サービスを十分に利用できていると思うかについてみると、全体では「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が26.7%と最も高く、次いで「十分、利用できていると思う」が25.0%、「十分には利用できていないと思う」が20.0%となっています。

前回調査と比較すると、「十分、利用できていると思う」で増加傾向、「十分には利用できていないと思う」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】で「十分、利用できていると思う」、【7～12歳】で「十分には利用できていないと思う」、【13～15歳】で「現在サービスは利用していない（必要がない）」、【16～18歳】で「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」「わからない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「十分、利用できていると思う」「わからない」、【知的障がい】で「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



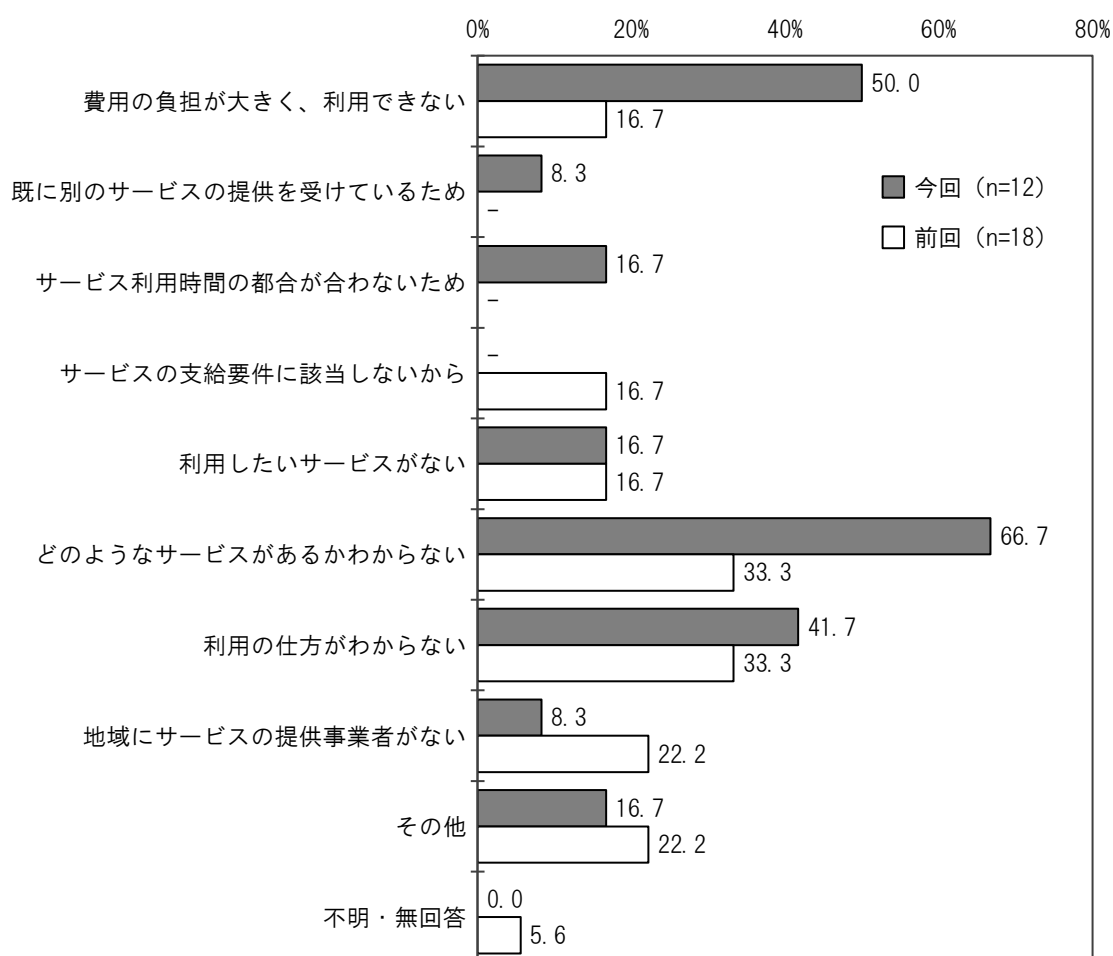
		n	十分、利用できていると思う	十分ではないが、ほぼ利用できていると思う	十分には利用できていないと思う	現在サービスは利用していない（必要がない）	わからない	不明・無回答
全体		60	25.0	26.7	20.0	13.3	15.0	0.0
年齢	0～6歳	15	53.3	33.3	6.7	0.0	6.7	0.0
	7～12歳	19	15.8	26.3	31.6	10.5	15.8	0.0
	13～15歳	16	12.5	18.8	25.0	31.3	12.5	0.0
	16～18歳	10	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	18.2	9.1	18.2	27.3	0.0
	知的障がい	43	27.9	30.2	18.6	14.0	9.3	0.0

【問 22 で「十分には利用できていないと思う」と回答した方】

問22－ 1 利用できていないと思う理由は何ですか。（複数回答）

十分に利用できていないと思う理由についてみると、全体では「どのようなサービスがあるかわからない」が66.7%と最も高く、次いで「費用の負担が大きく、利用できない」が50.0%、「利用の仕方がわからない」が41.7%となっています。

前回調査と比較すると、「費用の負担が大きく、利用できない」「どのようなサービスがあるかわからない」「利用の仕方がわからない」で増加傾向、「地域にサービスの提供事業者がない」で減少傾向がみられます。

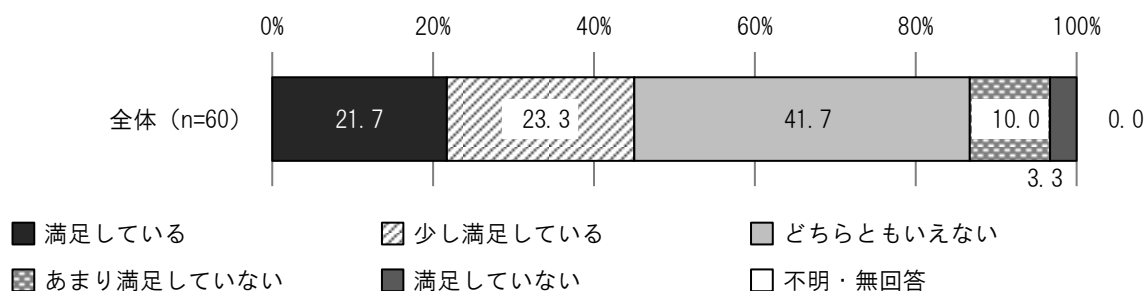


問23 障がい福祉サービス全般について、満足していますか。(単数回答)

市の障がい福祉サービス全般についての満足度についてみると、全体では「どちらともいえない」が41.7%と最も高く、次いで「少し満足している」が23.3%、「満足している」が21.7%となっています。

年齢別でみると、【0～6歳】で「少し満足している」、「【7～12歳】【13～15歳】【16～18歳】で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。



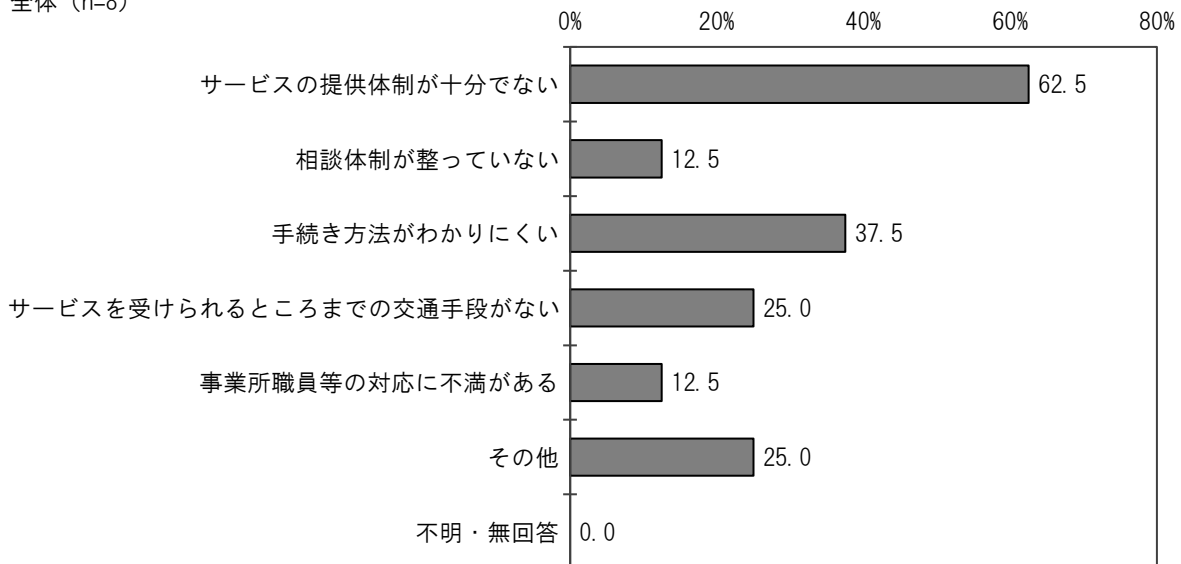
		n	満足している	少し満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	不明・無回答
全体		60	21.7	23.3	41.7	10.0	3.3	0.0
年齢	0～6歳	15	33.3	40.0	6.7	13.3	6.7	0.0
	7～12歳	19	15.8	26.3	36.8	15.8	5.3	0.0
	13～15歳	16	18.8	18.8	62.5	0.0	0.0	0.0
	16～18歳	10	20.0	0.0	70.0	10.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	18.2	9.1	54.5	9.1	9.1	0.0
	知的障がい	43	25.6	23.3	39.5	9.3	2.3	0.0

【問 23 で「あまり満足していない」または「満足していない」と回答した方】

問23－ 1 満足していない理由は何ですか。（複数回答）

満足していない理由についてみると、全体では「サービスの提供体制が十分でない」が62.5%と最も高く、次いで「手続き方法がわかりにくい」が37.5%、「サービスを受けられるところまでの交通手段がない」が25.0%となっています。

全体（n=8）



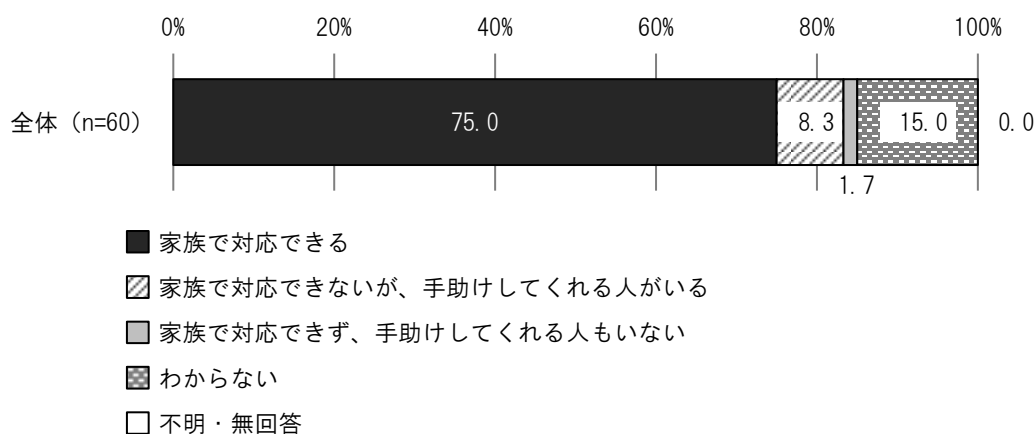
10 災害対策について

問24 災害時、障がいのあるお子さんとの避難について、家族で対応できると思いますか。または、手助けしてくれる人はいますか。（単数回答）

災害時の避難対応についてみると、全体では「家族で対応できる」が75.0%と最も高く、次いで「わからない」が15.0%、「家族で対応できないが、手助けしてくれる人がいる」が8.3%となっています。

年齢別でみると、いずれも「家族で対応できる」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「家族で対応できる」の割合が最も高くなっています。



		n	家族で対応できる	家族で対応できないが、手助けしてくれる人がいる	家族で対応できず、手助けしてくれる人もいない	わからない	不明・無回答
全体		60	75.0	8.3	1.7	15.0	0.0
年齢	0～6歳	15	73.3	13.3	6.7	6.7	0.0
	7～12歳	19	84.2	0.0	0.0	15.8	0.0
	13～15歳	16	62.5	12.5	0.0	25.0	0.0
	16～18歳	10	80.0	10.0	0.0	10.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	54.5	27.3	0.0	18.2	0.0
	知的障がい	43	74.4	7.0	2.3	16.3	0.0

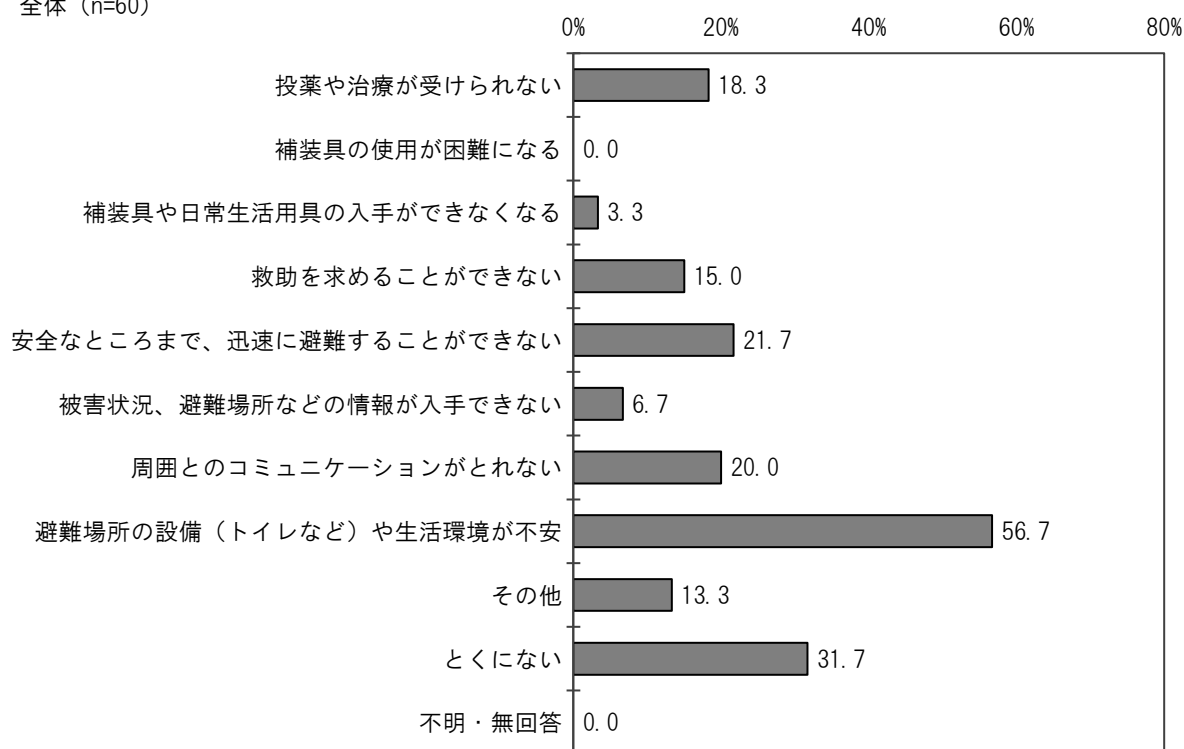
問25 地震や台風などの災害時に困ると思うことは何ですか。(複数回答)

災害時に困ると思うことについてみると、全体では「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」が56.7%と最も高く、次いで「とくにない」が31.7%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が21.7%となっています。

年齢別でみると、いずれも「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」の割合が最も高くなっています。

全体 (n=60)



		n	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手がでなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とのコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安	その他	とくにない	不明・無回答
全体		60	18.3	0.0	3.3	15.0	21.7	6.7	20.0	56.7	13.3	31.7	0.0
年齢	0～6歳	15	13.3	0.0	13.3	6.7	26.7	6.7	20.0	80.0	13.3	20.0	0.0
	7～12歳	19	21.1	0.0	0.0	21.1	15.8	5.3	26.3	52.6	15.8	36.8	0.0
	13～15歳	16	12.5	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	18.8	43.8	12.5	37.5	0.0
	16～18歳	10	30.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	10.0	50.0	10.0	30.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	36.4	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	63.6	18.2	36.4	0.0
	知的障がい	43	11.6	0.0	0.0	18.6	23.3	7.0	27.9	60.5	14.0	25.6	0.0

11 権利擁護などについて

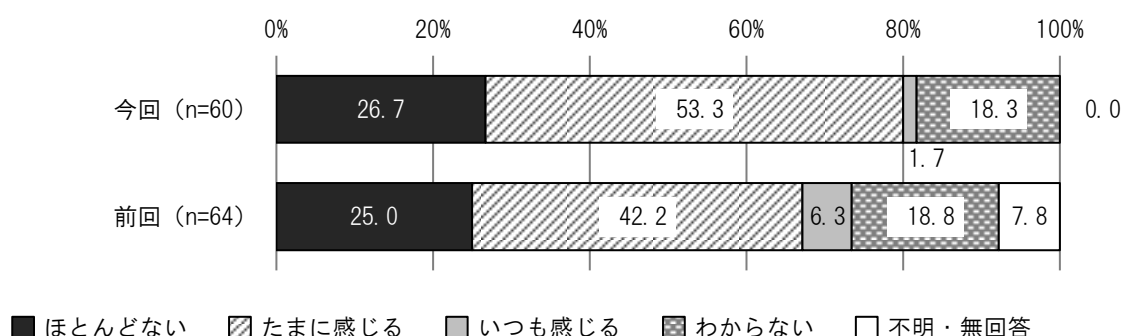
問26 障がいがあることで、差別や人権侵害を受けていると感じることはありますか。(単数回答)

障がいがあることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがあるかについてみると、全体では「たまに感じる」が53.3%と最も高く、次いで「ほとんどない」が26.7%、「わからない」が18.3%となっています。

前回調査と比較すると、「たまに感じる」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】【7～12歳】【16～18歳】で「たまに感じる」、【13～15歳】で「ほとんどない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「ほとんどない」、【知的障がい】で「たまに感じる」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



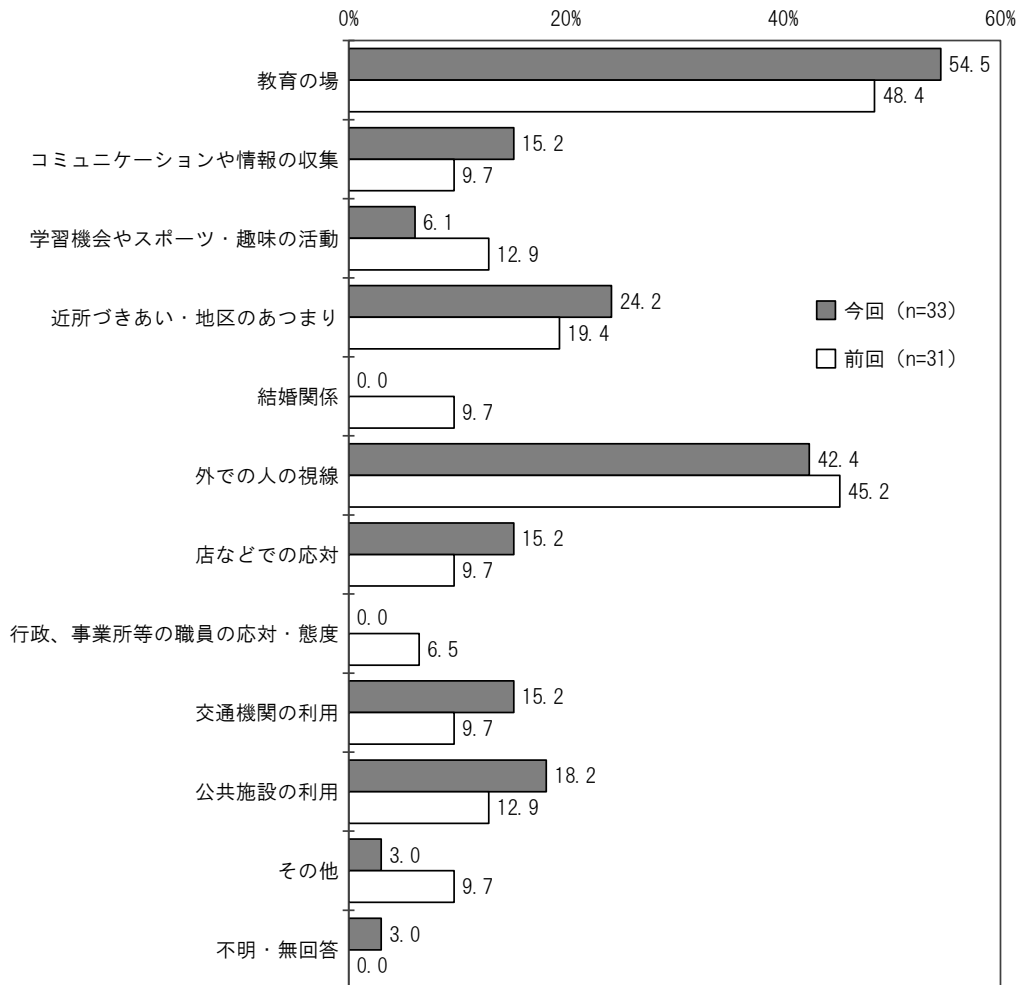
		n	ほとんどない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	不明・無回答
全体		60	26.7	53.3	1.7	18.3	0.0
年齢	0～6歳	15	33.3	60.0	0.0	6.7	0.0
	7～12歳	19	10.5	68.4	5.3	15.8	0.0
	13～15歳	16	43.8	25.0	0.0	31.3	0.0
	16～18歳	10	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	54.5	27.3	0.0	18.2	0.0
	知的障がい	43	20.9	58.1	2.3	18.6	0.0

【問 26 で「たまに感じる」または「いつも感じる」と回答した方】

問26- 1 どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。(複数回答)

どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じるかについてみると、全体では「教育の場」が54.5%と最も高く、次いで「外での人の視線」が42.4%、「近所づきあい・地区のあつまり」が24.2%となっています。

前回調査と比較すると、「教育の場」「コミュニケーションや情報の収集」「店などでの応対」「交通機関の利用」「公共施設の利用」で増加傾向、「学習機会やスポーツ・趣味の活動」「結婚関係」「行政、事業所等の職員の応対・態度」で減少傾向がみられます。



《参考》

		教育の場	情報の収集	コミュニケーションや	趣味の活動	学習機会やスポーツ・	近所づきあい・地区のあつまり	結婚関係	外での人の視線	店などでの応対	行政、事業所等の職員の応対・態度	交通機関の利用	公共施設の利用	その他	不明・無回答
	n														
全体		33	54.5	15.2	6.1	24.2	0.0	42.4	15.2	0.0	15.2	18.2	12.9	3.0	3.0
年齢	0～6歳	9	33.3	11.1	0.0	33.3	0.0	66.7	11.1	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	11.1
	7～12歳	14	78.6	21.4	7.1	21.4	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
	13～15歳	4	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	75.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	16～18歳	6	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

問27 以下の法律や制度を知っていますか。

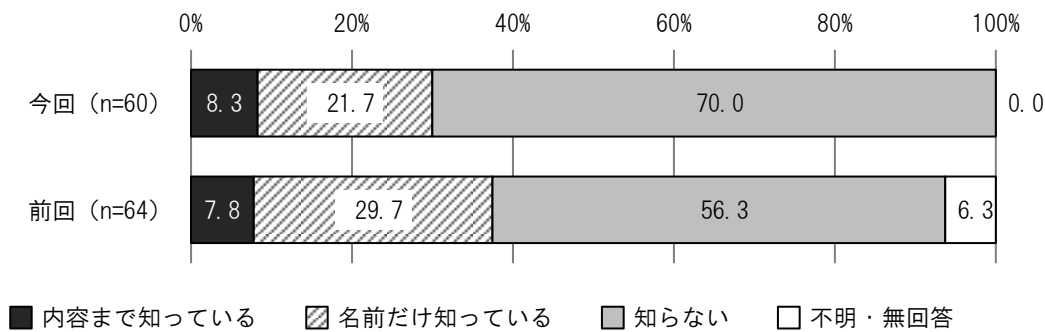
問27 ①障害者差別解消法（単数回答）

全体では「知らない」が70.0%と最も高く、次いで「名前だけ知っている」が21.7%、「内容まで知っている」が8.3%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」で増加傾向、「名前だけ知っている」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「知らない」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「知らない」の割合が最も高くなっています。



		n	内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	不明・無回答
全体		60	8.3	21.7	70.0	0.0
年齢	0～6歳	15	6.7	13.3	80.0	0.0
	7～12歳	19	10.5	21.1	68.4	0.0
	13～15歳	16	12.5	18.8	68.8	0.0
	16～18歳	10	0.0	40.0	60.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	0.0	45.5	54.5	0.0
	知的障がい	43	7.0	16.3	76.7	0.0

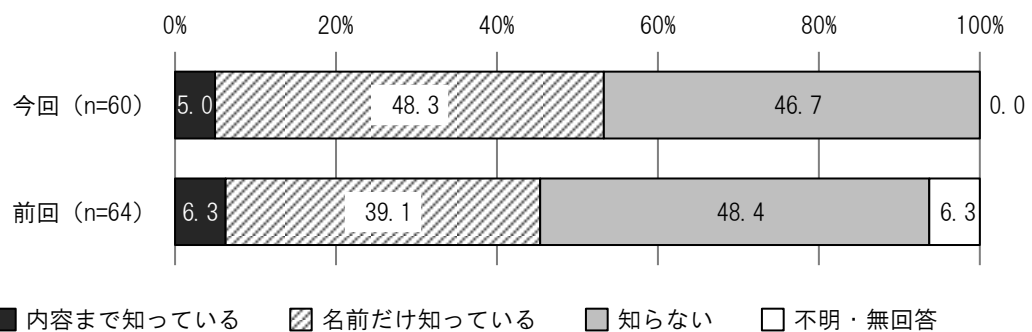
問27 ②障害者虐待防止法（単数回答）

全体では「名前だけ知っている」が48.3%と最も高く、次いで「知らない」が46.7%、「内容まで知っている」が5.0%となっています。

前回調査と比較すると、「名前だけ知っている」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】【16～18歳】で「名前だけ知っている」、【7～12歳】で「名前だけ知っている」「知らない」、【13～15歳】で「知らない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「知らない」、【知的障がい】で「名前だけ知っている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	不明・無回答
全体		60	5.0	48.3	46.7	0.0
年齢	0～6歳	15	6.7	53.3	40.0	0.0
	7～12歳	19	5.3	47.4	47.4	0.0
	13～15歳	16	6.3	31.3	62.5	0.0
	16～18歳	10	0.0	70.0	30.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	0.0	45.5	54.5	0.0
	知的障がい	43	2.3	53.5	44.2	0.0

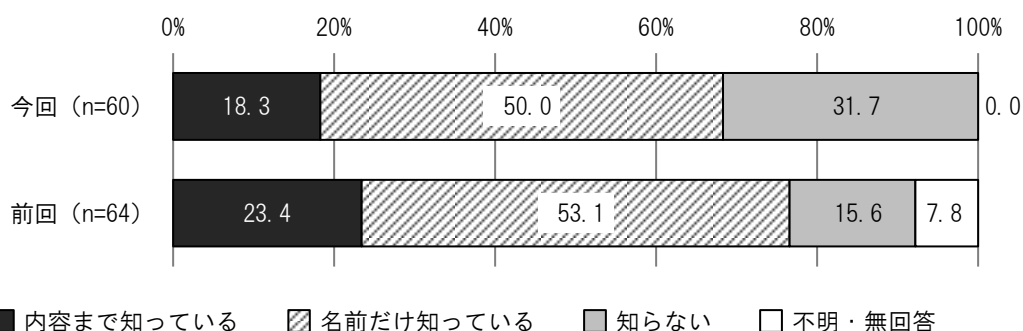
問27 ③成年後見制度（単数回答）

全体では「名前だけ知っている」が50.0%と最も高く、次いで「知らない」が31.7%、「内容まで知っている」が18.3%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」で増加傾向、「内容まで知っている」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】で「知らない」、【7～12歳】【13～15歳】【16～18歳】で「名前だけ知っている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「名前だけ知っている」の割合が最も高くなっています。



		n	内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	不明・無回答
全体		60	18.3	50.0	31.7	0.0
年齢	0～6歳	15	20.0	33.3	46.7	0.0
	7～12歳	19	15.8	52.6	31.6	0.0
	13～15歳	16	18.8	56.3	25.0	0.0
	16～18歳	10	20.0	60.0	20.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	9.1	54.5	36.4	0.0
	知的障がい	43	18.6	55.8	25.6	0.0

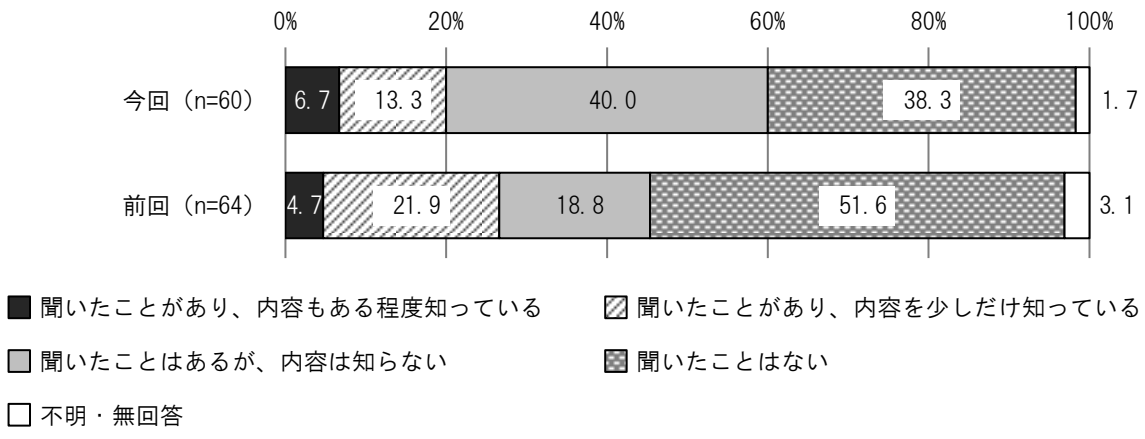
問28 あなたは北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。（単数回答）

北本市の子どもの権利条例の認知度についてみると、全体では「聞いたことはあるが、内容は知らない」が40.0%と最も高く、次いで「聞いたことはない」が38.3%、「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」が13.3%となっています。

前回調査と比較すると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」で増加傾向、「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」「聞いたことはない」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】【16～18歳】で「聞いたことはあるが、内容は知らない」「聞いたことはない」、【7～12歳】で「聞いたことはあるが、内容は知らない」、【13～15歳】で「聞いたことはない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「聞いたことはない」、【知的障がい】で「聞いたことはあるが、内容は知らない」「聞いたことはない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	聞いたことがあり、内容もある程度知っている	聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことはない	不明・無回答
全体		60	6.7	13.3	40.0	38.3	1.7
年齢	0～6歳	15	6.7	0.0	46.7	46.7	0.0
	7～12歳	19	5.3	26.3	42.1	26.3	0.0
	13～15歳	16	12.5	6.3	31.3	43.8	6.3
	16～18歳	10	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	0.0	9.1	36.4	45.5	9.1
	知的障がい	43	4.7	16.3	39.5	39.5	0.0

12 暮らしについて

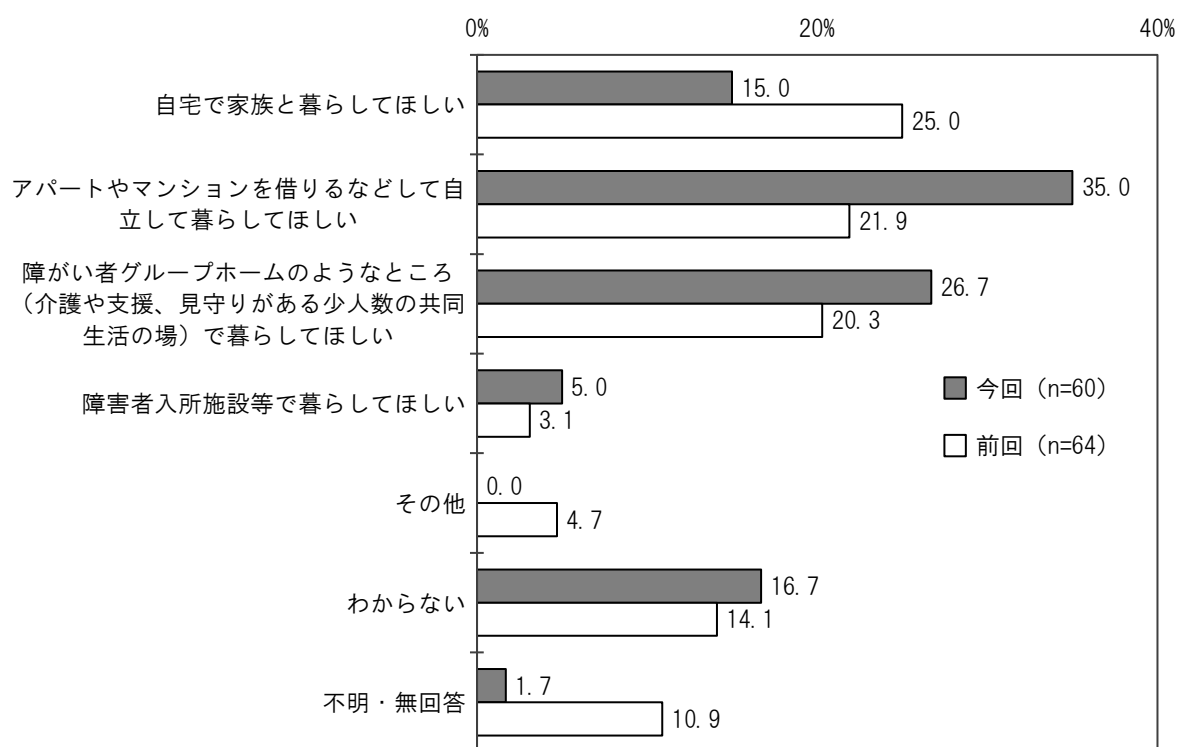
問29 将来的にお子さんにはどのように暮らしてほしいですか。（単数回答）

希望する暮らし方についてみると、全体では「アパートやマンションを借りるなどして自立して暮らしてほしい」が35.0%と最も高く、次いで「障がい者グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい」が26.7%、「わからない」が16.7%となっています。

前回調査と比較すると、「アパートやマンションを借りるなどして自立して暮らしてほしい」「障がい者グループホームのようなところで暮らしてほしい」で増加傾向、「自宅で家族と暮らしてほしい」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】で「わからない」、【7～12歳】【13～15歳】で「アパートやマンションを借りるなどして自立して暮らしてほしい」、【16～18歳】で「障がい者グループホームのようなところで暮らしてほしい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「自宅で家族と暮らしてほしい」、【知的障がい】で「障がい者グループホームのようなところで暮らしてほしい」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



			自宅 で家族と暮らしてほしい	アパートやマンションを借りるなどして自立して暮らしてほしい	障がい者グループホームのようなどころへ介護や支援（見守りがある少ない人数の共同生活の場）で暮らしてほしい	障害者入所施設等で暮らしてほしい	その他	わからない	不明・無回答
		n							
全体		60	15.0	35.0	26.7	5.0	0.0	16.7	1.7
年齢	0～6歳	15	13.3	26.7	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	7～12歳	19	21.1	36.8	21.1	0.0	0.0	15.8	5.3
	13～15歳	16	12.5	43.8	31.3	6.3	0.0	6.3	0.0
	16～18歳	10	10.0	30.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	36.4	27.3	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0
	知的障がい	43	14.0	27.9	37.2	7.0	0.0	11.6	2.3

13 介助・援助について

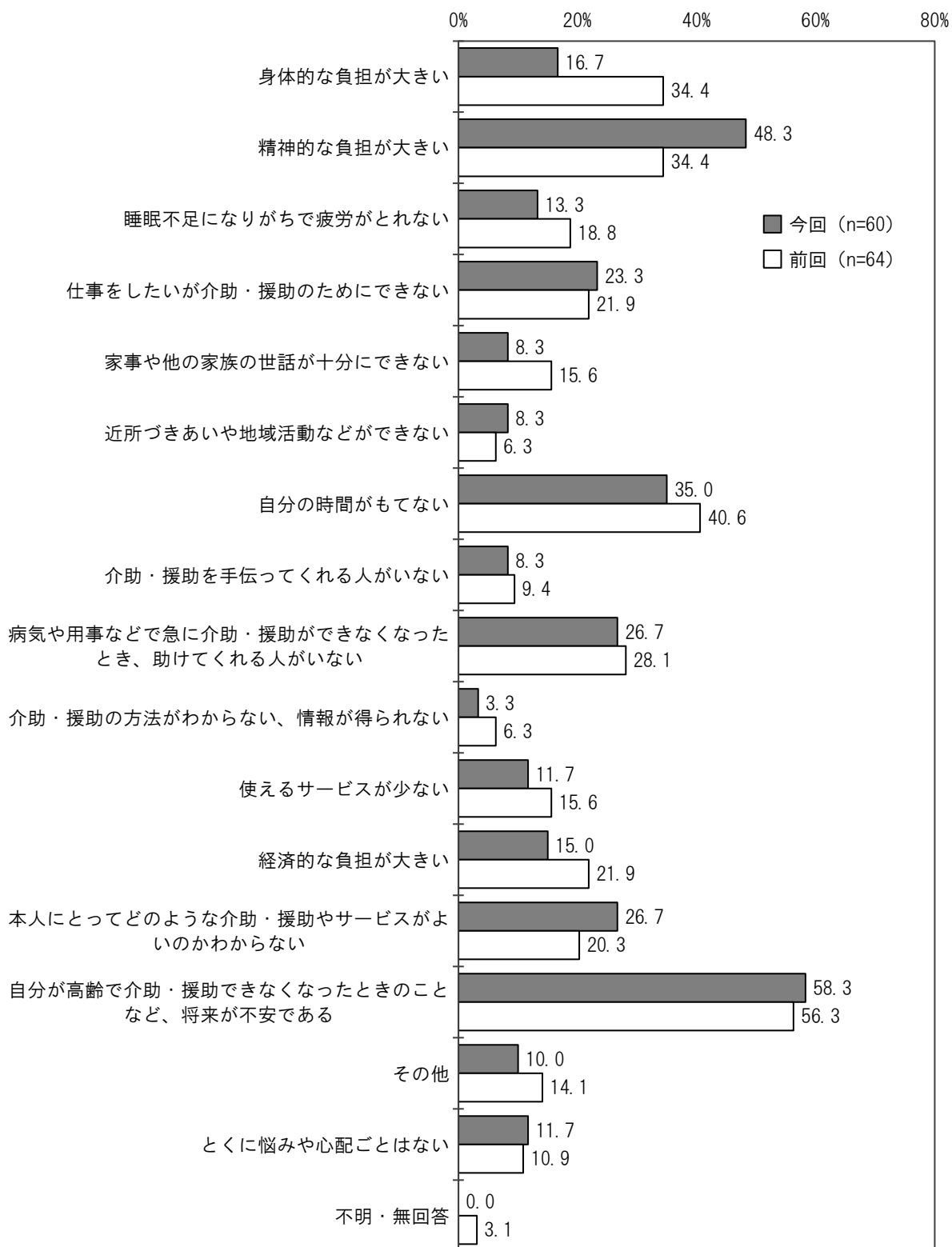
問30 ふだんから介助・援助をしていて、どのような悩みや心配ごとがありますか。(複数回答)

介助・援助の悩みや心配ごとについてみると、全体では「自分が高齢で介助・援助できなくなった時のことなど、将来が不安である」が58.3%と最も高く、次いで「精神的な負担が大きい」が48.3%、「自分の時間がもてない」が35.0%となっています。

前回調査と比較すると、「精神的な負担が大きい」「本人にとってどのような介助・援助やサービスがよいかわからない」で増加傾向、「身体的な負担が大きい」「睡眠不足になりがちで疲労がとれない」「家事や他の家族の世話が十分にできない」「自分の時間がもてない」「経済的な負担が大きい」で減少傾向がみられます。

年齢別でみると、【0～6歳】【13～15歳】で「精神的な負担が大きい」「自分が高齢で介助・援助できなくなった時のことなど、将来が不安である」、【7～12歳】【16～18歳】で「自分が高齢で介助・援助できなくなった時のことなど、将来が不安である」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「精神的な負担が大きい」「仕事をしたいが介助・援助のためにできない」「自分が高齢で介助・援助できなくなった時のことなど、将来が不安である」、【知的障がい】で「自分が高齢で介助・援助できなくなった時のことなど、将来が不安である」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	睡眠不足になりがちで疲労がとれない	仕事をしたいが介助・援助のためにできない	家事や他の家族の世話が十分にできない	近所づきあいや地域活動などができない	自分の時間がもてない	介助・援助を手伝ってくれる人がいない	病気や用事などで急に介助・援助がでなくなる人がないとき、助けてくれる人がいないとき、
	全体	60	16.7	48.3	13.3	23.3	8.3	8.3	35.0	8.3	26.7
年齢	0～6歳	15	26.7	46.7	13.3	40.0	6.7	13.3	40.0	6.7	20.0
	7～12歳	19	15.8	57.9	15.8	10.5	15.8	10.5	31.6	15.8	31.6
	13～15歳	16	6.3	50.0	12.5	25.0	6.3	6.3	25.0	6.3	31.3
	16～18歳	10	20.0	30.0	10.0	20.0	0.0	0.0	50.0	0.0	20.0
障がいの種類	身体障がい	11	27.3	36.4	18.2	36.4	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1
	知的障がい	43	16.3	53.5	11.6	27.9	4.7	7.0	39.5	9.3	34.9

		n	介助・情報・援助が得られないがわからない	使えるサービスが少ない	経済的な負担が大きい	本人にとつてどのようないのかわからない	本人にとつてどのようないのかわからない	将来が不安である	自分が高齢で介助・援助できなくなる	その他	とくに悩みや心配ことはない	不明・無回答
	全体	60	3.3	11.7	15.0	26.7	58.3	10.0	11.7	0.0	0.0	0.0
年齢	0～6歳	15	0.0	6.7	26.7	26.7	46.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0
	7～12歳	19	5.3	21.1	15.8	31.6	68.4	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0
	13～15歳	16	6.3	6.3	6.3	12.5	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	16～18歳	10	0.0	10.0	10.0	40.0	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	0.0	9.1	18.2	9.1	36.4	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0
	知的障がい	43	4.7	9.3	11.6	27.9	74.4	7.0	9.3	0.0	0.0	0.0

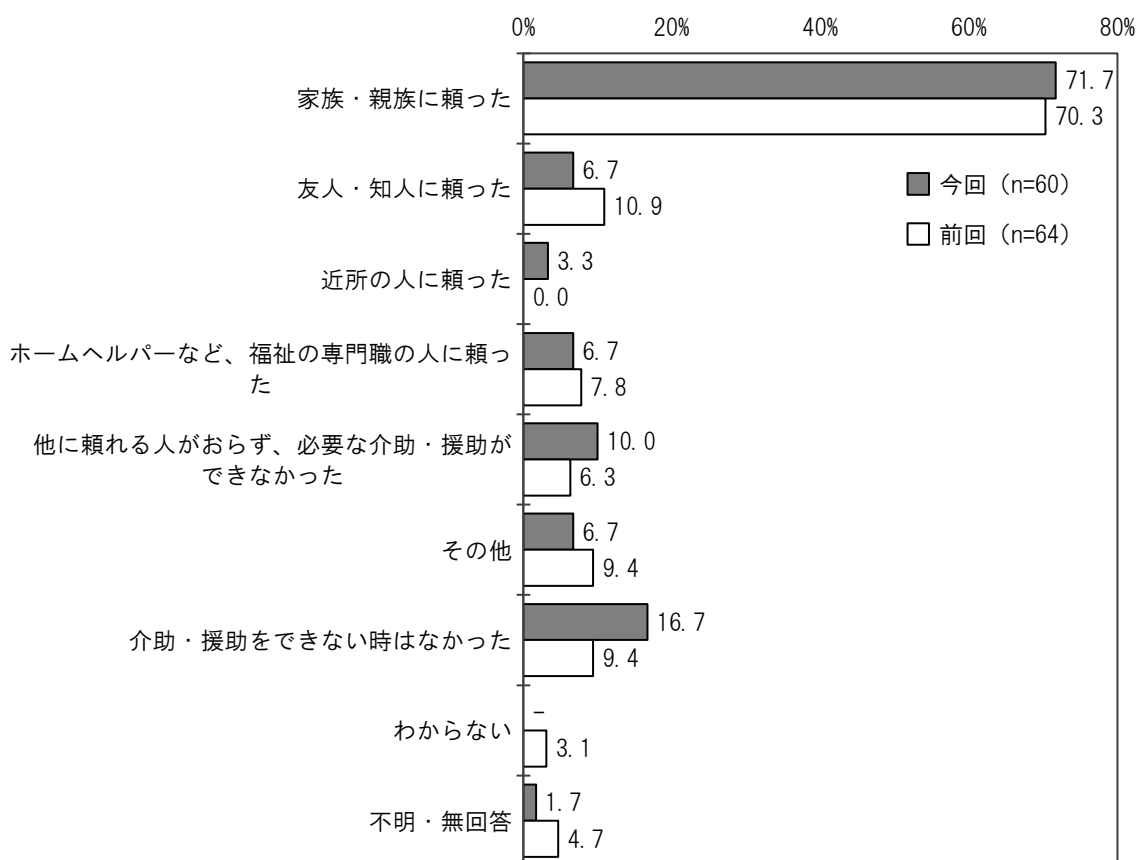
問31 あなた（介助・援助をしている方）が介助・援助をできない時、どのように対処しましたか。
（複数回答）

介助・援助できない時の対処についてみると、全体では「家族・親族に頼った」が71.7%と最も高く、次いで「介助・援助をできない時はなかった」が16.7%、「他に頼れる人がおらず、必要な介助・援助ができなかった」が10.0%となっています。

前回調査と比較すると、「介助・援助をできない時はなかった」で増加傾向がみられます。

年齢別でみると、いずれも「家族・親族に頼った」の割合が最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】【知的障がい】ともに「家族・親族に頼った」の割合が最も高くなっています。



		家族・親族に頼った	友人・知人に頼った	近所の人に頼った	ホームヘルパーなど、福祉の専門職の人に頼った	必要な介助・援助がおらず、できなかった	他に頼れる人がおらず、必要な介助・援助ができなかった	その他	介助・援助をできない時はなかった	不明・無回答
	n									
全体		60	71.7	6.7	3.3	6.7	10.0	6.7	16.7	1.7
年齢	0～6歳	15	80.0	13.3	0.0	6.7	6.7	0.0	20.0	0.0
	7～12歳	19	57.9	0.0	5.3	5.3	21.1	10.5	15.8	5.3
	13～15歳	16	75.0	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	18.8	0.0
	16～18歳	10	80.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	63.6	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0
	知的障がい	43	76.7	2.3	4.7	7.0	9.3	7.0	14.0	2.3

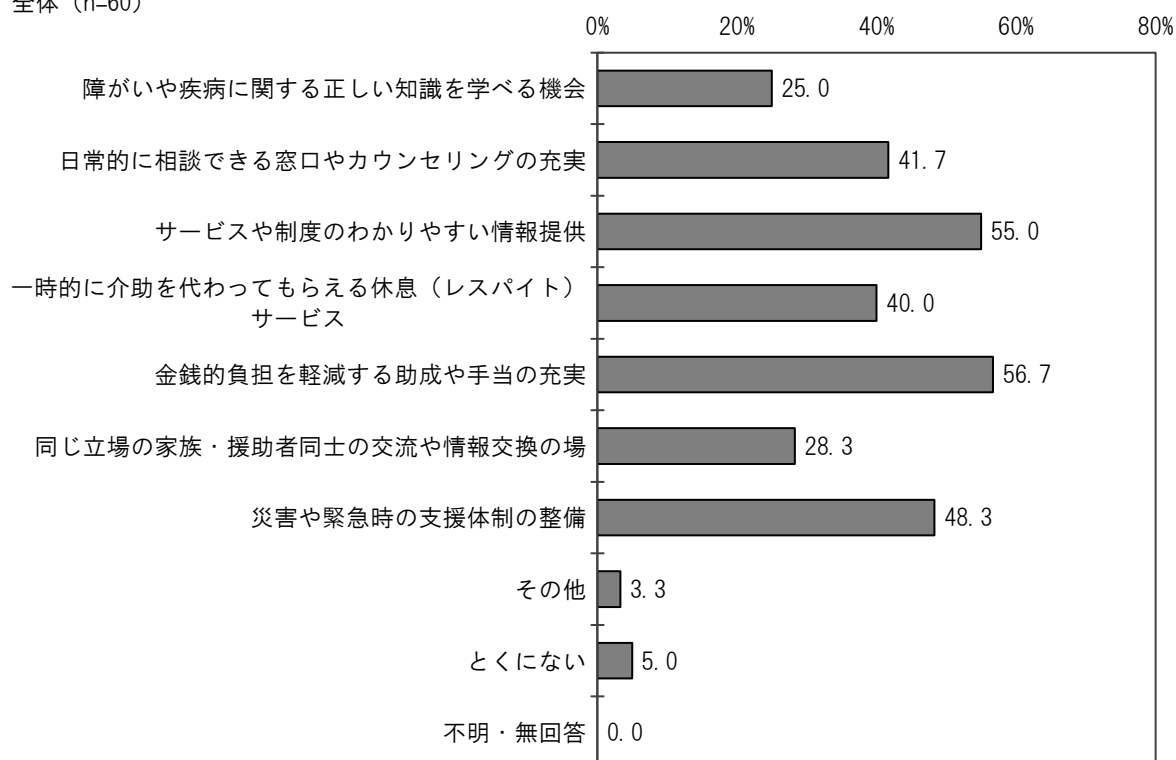
問32 家族・援助者への支援で必要だと思うことは何ですか。（複数回答）

家族・援助者への支援で必要だと思うことについてみると、全体では「金銭的負担を軽減する助成や手当の充実」が56.7%と最も高く、次いで「サービスや制度のわかりやすい情報提供」が55.0%、「災害や緊急時の支援体制の整備」が48.3%となっています。

年齢別でみると、【0～6歳】【7～12歳】【16～18歳】で「サービスや制度のわかりやすい情報提供」、【13～15歳】で「金銭的負担を軽減する助成や手当の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「金銭的負担を軽減する助成や手当の充実」「災害や緊急時の支援体制の整備」、【知的障がい】で「金銭的負担を軽減する助成や手当の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

全体（n=60）



		n	障がいや知識を学べる機会	日常的に相談できる窓口	サービスや制度のわかりやすい情報提供	一時的に介助を代わりにサラービス	金銭的負担を軽減する助成や手当の充実	同じ立場の家族・援助者との交流や情報交換の場	災害や緊急時の支援体制の整備	その他	とくにない	不明・無回答
全体		60	25.0	41.7	55.0	40.0	56.7	28.3	48.3	3.3	5.0	0.0
年齢	0～6歳	15	40.0	40.0	66.7	46.7	60.0	40.0	60.0	6.7	0.0	0.0
	7～12歳	19	26.3	57.9	63.2	36.8	57.9	36.8	47.4	5.3	10.5	0.0
	13～15歳	16	12.5	25.0	37.5	43.8	68.8	18.8	43.8	0.0	0.0	0.0
	16～18歳	10	20.0	40.0	50.0	30.0	30.0	10.0	40.0	0.0	10.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	9.1	18.2	45.5	27.3	54.5	36.4	54.5	0.0	0.0	0.0
	知的障がい	43	27.9	44.2	55.8	51.2	60.5	30.2	53.5	2.3	4.7	0.0

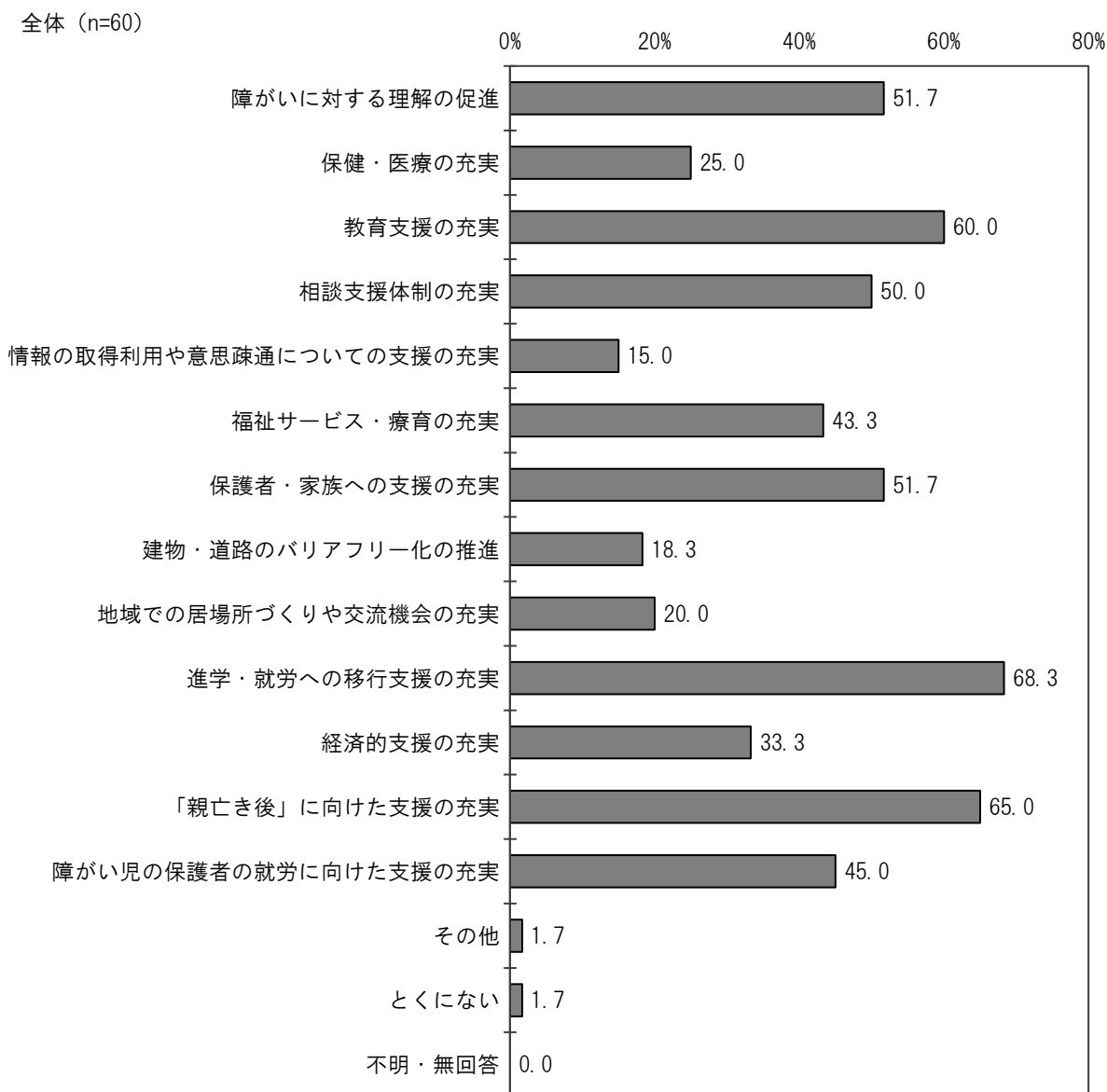
14 市の施策について

問33 あなたは、障がい児施策で、どのような面に力を入れてほしいと思いますか。（複数回答）

障がい児施策で力を入れてほしいことについてみると、全体では「進学・就労への移行支援の充実」が68.3%と最も高く、次いで「『親亡き後』に向けた支援の充実」が65.0%、「教育支援の充実」が60.0%となっています。

年齢別でみると、【0～6歳】で「障がいに対する理解の促進」「進学・就労への移行支援の充実」、【7～12歳】で「教育支援の充実」「相談支援体制の充実」「進学・就労への移行支援の充実」、【13～15歳】で「『親亡き後』に向けた支援の充実」、【16～18歳】で「進学・就労への移行支援の充実」「『親亡き後』に向けた支援の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの種類別では、【身体障がい】で「進学・就労への移行支援の充実」、【知的障がい】で「『親亡き後』に向けた支援の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



		n	進 障 が い に 対 す る 理 解 の 促	保 健 ・ 医 療 の 充 実	教 育 支 援 の 充 実	相 談 支 援 体 制 の 充 実	通 情 報 の 取 得 利 用 や 意 思 疎 通 の 充 実	実 福 祉 サ ー ビ ス ・ 療 育 の 充 実	充 保 護 者 ・ 家 族 へ の 支 援 の 充 実	建 物 ・ 道 路 の バ リ ア フ ー 化 の 推 進
全体		60	51.7	25.0	60.0	50.0	15.0	43.3	51.7	18.3
年齢	0～6歳	15	73.3	20.0	53.3	46.7	13.3	60.0	66.7	26.7
	7～12歳	19	52.6	21.1	78.9	78.9	15.8	52.6	52.6	5.3
	13～15歳	16	50.0	37.5	56.3	31.3	18.8	25.0	37.5	18.8
	16～18歳	10	20.0	20.0	40.0	30.0	10.0	30.0	50.0	30.0
障がいの種類	身体障がい	11	63.6	27.3	36.4	36.4	9.1	27.3	54.5	36.4
	知的障がい	43	55.8	27.9	60.5	55.8	20.9	44.2	55.8	18.6

		n	交 流 機 会 の 充 実	地 域 で の 居 場 所 づ く り や	進 学 ・ 就 労 へ の 移 行 支 援	経 済 的 支 援 の 充 実	援 「 親 亡 き 後 」 に 向 け た 支 援	に 障 が い の 保 護 者 の 就 労	そ の 他	と く に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		60	20.0	68.3	33.3	65.0	45.0	1.7	1.7	0.0	0.0
年齢	0～6歳	15	13.3	73.3	46.7	66.7	66.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	7～12歳	19	36.8	78.9	36.8	52.6	47.4	0.0	5.3	0.0	0.0
	13～15歳	16	6.3	56.3	37.5	81.3	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	16～18歳	10	20.0	60.0	0.0	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	11	9.1	81.8	27.3	63.6	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的障がい	43	27.9	69.8	34.9	79.1	44.2	2.3	0.0	0.0	0.0

問34 そのほか、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。（記述回答）

17名の方からご意見が寄せられました。主なご意見は下記のとおりです。

分類項目	主な意見内容
障害福祉サービス、施設について	・所得制限を無くして欲しい。共働きで、デイサービスを利用したいが、学童のように毎日利用すると高額で利用できない。 ・障がいのある子が保育所・幼稚園に入ろうとすると、それを理由に断られてしまい、全く相手にもしてくれないようなところもありました。障がいがあることで色々大変な思いをする、不利な状況になることが多いので、サービス等充実していてもらえるとありがたいです。 ・放課後等デイサービスを利用していたが、利用者負担金額が上がり利用が難しくなった。
療育・保育・教育・子育てについて	・子どもの年齢が上がるにつれて、私たち保護者は不安が大きくなります。小学校入学までの手厚いサービス、それ以降のサービス、相談先について、本当に不安に感じています。 ・インクルーシブ教育と言われていますが、実際は幼児期の段階からできる子・できない子を区別しての教育が、特に令和に入ってから見られるようになったと思います。通常学級の情報を特別支援学級の児童・生徒の保護者も同時期に得たいです。物品購入など期限後に伝えられることも多く、悲しい気持ちになります。
その他	・子ども(障がい児)が大人になったときの生活が不安でならない。自分達も年をとって共倒れしないか今から心配。安心して生活でき、信頼できる事業所が見つかるか不安。なかなか相談できる場所もない。保護者の就労も時間的に制限されるので、金銭的な不安もある。 ・特別障害者手当が打ち切られた。年収が若干増えたせいなのだが、増えた年収分の手取りより、無くなった手当の金額の方が多く、バランスが取れていない。制度の金額を見直すよう国にも検討してほしい。 ・行政との連携について、自ら主体的に動ける障がい児は少ないと思う。高等特別支援学校卒業後も、行政との定期的なつながりがあるとよいと思う。

「第四次北本市障害者福祉計画」
「北本市第八期障害福祉計画及び北本市第四期障害児福祉計画」
策定のためのアンケート調査結果報告書

発行日 令和8年3月

発 行 北本市

編 集 〒364-8633 埼玉県北本市本町1-111

北本市福祉部障がい福祉課

T E L 048-591-1111(代表)

F A X 048-593-2862
